

## 目 次

一般会計・特別会計予算の概要 .....	2
一般会計	
一般会計予算の概要 .....	6
歳入 .....	8
歳出	
議会費 .....	16
総務費 .....	18
民生費 .....	50
衛生費 .....	88
農林水産業費 .....	105
商工費 .....	111
土木費 .....	118
消防費 .....	143
教育費 .....	149
公債費 .....	178
特別会計	
取手駅西口都市整備事業特別会計 .....	179
用地先行取得事業特別会計 .....	183
国民健康保険事業特別会計 .....	185
後期高齢者医療特別会計 .....	193
介護保険特別会計 .....	199
競輪事業特別会計 .....	225
取手地方公平委員会特別会計 .....	229
参考資料 .....	233

- ※ 合併前の取手市・藤代町を旧取手市・旧藤代町と表記
- ※ 事業別説明中の担当課右脇のページ表記は、平成 29 年度予算書の当該事業掲載ページを示す
- ※ 事業別説明中の（ ）内の金額は、平成 28 年度当初予算額を表記

*主要事業の特定財源は下記の凡例により名称を省略			
分担金	:分担金	県 交	:県交付金
負担金	:負担金	財産収入	:財産運用収入、財産売却収入
使用料	:使用料	寄附金	:寄附金
手数料	:手数料	繰入金	:特別会計繰入金、基金繰入金
国 負	:国庫負担金	繰越金	:繰越金
国 補	:国庫補助金	諸収入	:延滞金、加算金及び過料
国 委	:国庫委託金		市預金利子、貸付金元利収入
県 負	:県負担金		受託事業収入、収益事業収入
県 補	:県補助金		雑入
県 委	:県委託金	市 債	:地方債

## 平成 2 9 年 度 予 算 説 明 書

地方自治法第 2 1 1 条第 2 項及び同法施行令第 1 4 4 条第 1 項第 5 号の規定に基づき、次のとおり提出します。

平成 2 9 年 3 月

取手市長 藤井 信吾

## 平成29年度当初予算について

### 《予算規模等》

1. 平成29年度の一般会計当初予算規模は**356億2,000万円**で、前年度当初予算と比較して**9億3,000万円減**（対前年度比**2.5%減**）となります。

予算規模が減となった要因は、平成29年度に予定していた学校施設の耐震補強工事や大規模改造工事等が、国の経済対策（「未来への投資を実現する経済対策」）による平成28年度第2次補正予算の対象となったため、事業費総額で14億4,545万円を平成28年度3月補正予算に前倒しとなったことです。この分を当初予算に加えた実質的な予算規模については、前年度と比較して5億1,545万円の増となります。

2. 特別会計（7事業）を合わせた予算規模は、**263億4,655万2千円**となり、前年度当初予算と比較して**8,007万6千円減**（対前年度比**0.3%減**）となります。

この中で大きく増額となったのは後期高齢者医療（1億9,214万円増）、介護保険（2億1,344万円増）の2つの特別会計です。

取手駅西口都市整備事業については、国の経済対策（「未来への投資を実現する経済対策」）による平成28年度第2次補正予算の対象となったため、事業費総額で5億6,693万円を平成28年度12月補正予算に前倒しで計上しております。

《予算総括表》

(単位：千円)

会計別	区分	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	比較	増減率
一般	会計	35,620,000	36,550,000	△ 930,000	△ 2.5%
特別	会計	26,346,552	26,426,628	△ 80,076	△ 0.3%
	取手駅西口 都市整備事業	878,371	1,136,387	△ 258,016	△ 22.7%
	用地先 取得事業	112,439	113,925	△ 1,486	△ 1.3%
	国民健康 保険事業	14,070,961	14,297,194	△ 226,233	△ 1.6%
	後期高齢者 医療	2,369,868	2,177,723	192,145	8.8%
	介護 保険	7,565,527	7,352,082	213,445	2.9%
	競輪 事業	1,348,633	1,348,660	△ 27	△ 0.0%
	取手地 公平委員 会	753	657	96	14.6%
合計		61,966,552	62,976,628	△ 1,010,076	△ 1.6%

# 一 般 会 計

## 平成 29 年度一般会計予算の概要

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	平成 29 年度 当 初 予 算		平成 28 年度 当 初 予 算		比 較	増減率
		構成比		構成比		
01 市税	14,153,281	39.7	14,306,149	39.1	△ 152,868	△ 1.1
02 地方譲与税	303,000	0.9	309,000	0.8	△ 6,000	△ 1.9
03 利子割交付金	14,000	0.0	18,000	0.1	△ 4,000	△ 22.2
04 配当割交付金	76,000	0.2	107,000	0.3	△ 31,000	△ 29.0
05 株式等譲渡所得割交付金	42,000	0.1	53,000	0.2	△ 11,000	△ 20.8
06 地方消費税交付金	1,547,000	4.3	1,580,000	4.3	△ 33,000	△ 2.1
07 ゴルフ場利用税交付金	54,000	0.2	54,000	0.2	0	0.0
08 自動車取得税交付金	41,000	0.1	34,000	0.1	7,000	20.6
09 地方特例交付金	56,000	0.2	56,000	0.2	0	0.0
10 地方交付税	5,616,000	15.8	5,611,000	15.4	5,000	0.1
11 交通安全対策特別交付金	14,000	0.0	14,000	0.0	0	0.0
12 分担金及び負担金	219,883	0.6	233,209	0.6	△ 13,326	△ 5.7
13 使用料及び手数料	953,427	2.7	947,829	2.6	5,598	0.6
14 国庫支出金	4,502,090	12.6	4,292,267	11.7	209,823	4.9
15 県支出金	2,159,435	6.1	1,987,916	5.4	171,519	8.6
16 財産収入	39,522	0.1	44,812	0.1	△ 5,290	△ 11.8
17 寄附金	100,182	0.3	5,197	0.0	94,985	1,827.7
18 繰入金	1,134,952	3.2	1,279,128	3.5	△ 144,176	△ 11.3
19 繰越金	500,000	1.4	500,000	1.4	0	0.0
20 諸収入	835,528	2.3	1,144,193	3.1	△ 308,665	△ 27.0
21 市債	3,258,700	9.2	3,973,300	10.9	△ 714,600	△ 18.0
合 計	35,620,000	100.0	36,550,000	100.0	△ 930,000	△ 2.5

## 【歳出】

(単位：千円、%)

区 分	平成 29 年 度 当 初 予 算		平成 28 年 度 当 初 予 算		比 較	増減率
		構成比		構成比		
01 議会費	286,032	0.8	271,524	0.7	14,508	5.3
02 総務費	4,918,747	13.8	5,010,851	13.7	△ 92,104	△ 1.8
03 民生費	13,901,785	39.0	13,251,433	36.3	650,352	4.9
04 衛生費	1,559,422	4.4	1,638,296	4.5	△ 78,874	△ 4.8
05 農林水産業費	209,046	0.6	214,432	0.6	△ 5,386	△ 2.5
06 商工費	420,689	1.2	409,516	1.1	11,173	2.7
07 土木費	4,728,398	13.3	4,662,744	12.8	65,654	1.4
08 消防費	1,811,600	5.1	1,850,175	5.1	△ 38,575	△ 2.1
09 教育費	3,701,276	10.4	4,910,413	13.4	△ 1,209,137	△ 24.6
10 災害復旧費	5	0.0	5	0.0	0	0.0
11 公債費	4,032,995	11.3	3,981,506	10.9	51,489	1.3
12 諸支出金	5	0.0	299,105	0.8	△ 299,100	△ 100.0
13 予備費	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
合 計	35,620,000	100.0	36,550,000	100.0	△ 930,000	△ 2.5

# 歳 入

## 1 市 税

### ・ 市民税

(個人市民税)

(単位：人、千円)

区 分	平成29年度(A)	平成28年度(B)	比較(A)-(B)
納税義務者数	52,770	52,260	510
均等割額	181,536	179,361	2,175
所得割額	5,417,569	5,384,723	32,846
分離課税額	40,000	50,000	△ 10,000
予 算 額	5,639,105	5,614,084	25,021

\*積算根拠 (単位：円)

	(調定見込額)	(収納率)	(予算額)
・均等割	3,500円 × 52,770人	× 98.29%	≒ 181,536,000円
・所得割	5,511,822,000円	× 98.29%	≒ 5,417,569,000円
・分離課税退職分	40,000,000円	× 100.00%	= 40,000,000円
		計	5,639,105,000円

(法人市民税)

### ・ 均等割

(単位：千円、件)

区 分	均等割額 (円)	法 人 件 数		均 等 割 額		
		平成29年度	平成28年度	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	比 較 (A)-(B)
		総 数	総 数			
9号法人	3,000,000	12	11	36,000	33,000	3,000
8号法人	1,750,000	2	2	3,500	3,500	0
7号法人	410,000	119	118	48,790	48,380	410
6号法人	400,000	4	4	1,600	1,600	0
5号法人	160,000	79	70	12,640	11,200	1,440
4号法人	150,000	16	18	2,400	2,700	△ 300
3号法人	130,000	289	291	37,570	37,830	△ 260
2号法人	120,000	11	12	1,320	1,440	△ 120
1号法人	50,000	1,355	1,418	67,750	70,900	△ 3,150
合 計		1,887	1,944	211,570	210,550	1,020

※平成29年度は1号法人から減免対象法人数を差し引いている。

### ・ 法人税割 (税率 12.1%)

(単位：千円)

平成29年度(A)	平成28年度(B)	比較(A)-(B)
1,186,355	1,544,870	△ 358,515

\*積算根拠

	(調定見込額)	(収納率)	(予算額)
・均等割	211,570,000円	× 99.56%	≒ 210,639,000円 ①
・法人税割	1,191,598,100円	× 99.56%	≒ 1,186,355,000円 ②
	計 ① + ②	=	1,396,994,000円

・固定資産税

(土地)  
土地に関する調べ(免税点含む)

(単位:地積 千㎡、課税標準額 千円)

地目	年度	平成29年度			平成28年度			比較 (A)-(B)
		筆数	地積	課税標準額 (A)	筆数	地積	課税標準額 (B)	
田	調整区域	18,544	19,954	2,280,143	18,563	19,954	2,281,640	△ 1,497
	市街化区域	223	103	213,200	231	107	225,414	△ 12,214
畑	調整区域	9,465	4,790	272,302	9,461	4,800	275,525	△ 3,223
	市街化区域	1,878	844	2,107,637	1,533	760	2,113,174	△ 5,537
宅地		47,332	13,147	87,052,481	47,142	13,123	88,545,840	△ 1,493,359
山林	一般	2,191	1,324	41,387	2,195	1,329	41,531	△ 144
	介在	861	408	1,065,094	860	410	1,083,338	△ 18,244
池沼		112	81	652	112	81	652	0
原野		733	234	7,464	735	234	7,497	△ 33
雑種地		11,519	3,875	21,462,214	11,813	3,943	21,817,989	△ 355,775
合計		92,858	44,760	114,502,574	92,645	44,741	116,392,600	△ 1,890,026

\*積算根拠

$$\begin{aligned}
 & \text{(課税標準額)} \quad \text{(免税点以下)} \quad \text{(税率)} \quad \text{(税額)} \\
 & (114,502,574,068円 - 435,725,308円) \times 1.4\% = 1,596,935,882円 \\
 & \text{(税額)} \quad \text{(減免見込額)} \quad \text{(調定見込額)} \\
 & 1,596,935,882円 - 2,137,085円 = 1,594,798,797円 \\
 & \text{(調定額)} \quad \text{(収納率)} \quad \text{(予算額)} \\
 & 1,594,798,000円 \times 98.61\% \div 1,572,630,000円
 \end{aligned}$$

(家屋)

(単位:床面積 千㎡、課税標準額 千円)

区分	平成29年度		平成28年度		比較 (A)-(B)
	床面積	課税標準額 (A)	床面積	課税標準額 (B)	
既存分	6,106	195,118,357	6,046	189,963,642	5,154,715
新增分	94	6,255,214	77	5,023,785	1,231,429
合計	6,200	201,373,571	6,123	194,987,427	6,386,144

(家屋)

\*積算根拠

$$\begin{array}{l}
 \text{(課税標準額)} \qquad \qquad \text{(税率)} \qquad \qquad \text{(税額)} \\
 201,373,571,000\text{円} \times 1.4\% \quad \quad \quad \doteq 2,819,230,000\text{円} \\
 \text{(税額)} \qquad \text{(新築軽減・減免等)} \quad \text{(調定見込額)} \\
 2,819,230,000\text{円} - 120,366,000\text{円} = 2,698,864,000\text{円} \\
 \text{(調定見込額)} \qquad \text{(収納率)} \qquad \text{(予算額)} \\
 2,698,864,000\text{円} \times 98.61\% \quad \quad \quad \doteq 2,661,349,000\text{円}
 \end{array}$$

(償却資産)

(単位：千円)

区分 \ 年度	平成29年度		平成28年度		比較 (A)-(B)
	件数	調定見込額 (A)	件数	調定見込額 (B)	
市長決定	558	744,900	515	691,911	52,989
総務大臣配分	14	211,693	14	206,668	5,025
知事配分	2	8,447	2	8,740	△ 293
合計	574	965,040	531	907,319	57,721

\*積算根拠

$$\begin{array}{l}
 \text{(調定見込額)} \quad \text{(収納率)} \quad \text{(予算額)} \\
 965,040,000\text{円} \times 98.61\% \quad \quad \quad \doteq 951,625,000\text{円}
 \end{array}$$

(国有資産等所在市町村交付金および納付金)

(単位：円)

区分 \ 年度	平成29年度(A)	平成28年度(B)	比較 (A)-(B)
茨城県 管財課	2,410,400	2,391,100	19,300
茨城県 住宅課	47,200	47,200	0
茨城県 企業局	3,887,800	3,887,800	0
関東財務局	209,900	207,200	2,700
裁判所	300	300	0
合計	6,555,600	6,533,600	22,000

・軽自動車税

(単位：台、円)

区 分		平成 29 年度			平成 28 年度			比 較 (C)-(D)		
		税額 (円)	課税台数 (A)	調定額 (C)	税額 (円)	課税台数 (B)	調定額 (D)			
原 動 機 付 自 転 車	50cc以下	2,000	4,050	8,100,000	2,000	4,088	8,176,000	△ 76,000		
	51cc～90cc	2,000	295	590,000	2,000	296	592,000	△ 2,000		
	91cc～125cc	2,400	744	1,785,600	2,400	745	1,788,000	△ 2,400		
	ミニカー	3,700	57	210,900	3,700	59	218,300	△ 7,400		
	小 計		5,146	10,686,500		5,188	10,774,300	△ 87,800		
小 型 特 殊	農 耕 用	二 輪		0		103	247,200	△ 247,200		
		四 輪	1,000cc以下	2,400	0	0	492	1,180,800	△ 1,180,800	
			1,000cc超		0	0	575	1,380,000	△ 1,380,000	
	農耕用作業用	2,400	1,156	2,774,400		0	0	2,774,400		
	特殊作業用	5,900	53	312,700	5,900	52	306,800	5,900		
	小 計		1,209	3,087,100		1,222	3,114,800	△ 27,700		
軽 自 動 車	自 家 用	二 輪 車	3,600	1,038	3,736,800	3,600	1,049	3,776,400	△ 39,600	
		乗 用		5,400	1,038	5,605,200	5,400	779	4,206,600	1,398,600
				7,200	13,684	98,524,800	7,200	14,917	107,402,400	△ 8,877,600
				8,100	654	5,297,400	8,100	401	3,248,100	2,049,300
				10,800	196	2,116,800	10,800	251	2,710,800	△ 594,000
				12,900	2,263	29,192,700	12,900	1,120	14,448,000	14,744,700
		小 計		17,835	140,736,900		17,468	132,015,900	8,721,000	
		貨 物		3,800	47	178,600	3,800	25	95,000	83,600
				4,000	2,552	10,208,000	4,000	3,322	13,288,000	△ 3,080,000
				5,000	158	790,000	5,000	98	490,000	300,000
			6,000	1,435	8,610,000	6,000	790	4,740,000	3,870,000	
	小 計		4,192	19,786,600		4,235	18,613,000	1,173,600		
	営 業 用	乗 用	5,500	1	5,500	5,500	1	5,500	0	
		貨 物		2,900	5	14,500	2,900	1	2,900	11,600
				3,000	105	315,000	3,000	117	351,000	△ 36,000
				3,800	3	11,400	3,800	7	26,600	△ 15,200
				4,500	16	72,000	4,500	12	54,000	18,000
小 計			129	412,900		137	434,500	△ 21,600		
小 計		23,195	164,678,700		22,890	154,845,300	9,833,400			
二輪の小型自動車		6,000	1,442	8,652,000	6,000	1,471	8,826,000	△ 174,000		
合 計			30,992	187,104,300		30,771	177,560,400	9,543,900		

\*積算根拠 調定見込額 187,104,300円 × 収納率 97.95% ≒ 183,266,000円 (予算額)

・市たばこ税

(単位：本、円)

区分	平成29年度(A)	平成28年度(B)	比較(A)-(B)
課税標準本数	118,330,046	119,105,217	△ 775,171
税額	600,000,000	613,989,000	△ 13,989,000

\*積算根拠

・たばこ販売本数(平成28年度推定販売本数)

1級たばこ 112,854,038本      3級たばこ 5,476,008本

・従量割 課税標準額

(1級) 112,854,038本×0.98(伸び率)

×5,262/1,000(1本当たりの税額) ≙ 581,961,188円 … ①

(3級) 5,476,008本×0.98(伸び率)

×3,355/1,000(1本当たりの税額) ≙ 18,004,566円 … ②

計 ① + ② ≙ 600,000,000円 (予算額)

※ 3級たばこ税率改正H29.4.1~ (1,000本あたり2,925円⇒3,355円) 影額額 2,307,592円

・都市計画税

(土地) 納税義務者数及び課税標準額 (免税点以上)

(単位：人、千円)

年度 項目	平成29年度		平成28年度		比較 (A)-(B)	比較 (C)-(D)
	納税義務者数 (A)	課税標準額 (C)	納税義務者数 (B)	課税標準額 (D)		
土地	26,020	132,014,512	25,815	133,652,064	205	△ 1,637,552

※納税義務者数の合計は、法人も含めた実数である。

\*積算根拠

(課税標準額)      (税率)      (税額)

132,014,512,243円 × 0.3% = 396,043,536円

(税額)      (減免見込額)      (調定見込額)

396,043,536円 - 257,379円 = 395,786,157円

(調定額)      (収納率)      (予算額)

395,786,000円 × 98.61% ≙ 390,284,000円

(家屋)

(単位：床面積 千㎡、課税標準額 千円)

区分	平成29年度		平成28年度		比較 (A)-(B)
	床面積	課税標準額(A)	床面積	課税標準額(B)	
既存分	4,903	166,395,666	4,847	161,749,666	4,646,000
新增分	85	5,630,666	65	4,507,000	1,123,666
合計	4,988	172,026,332	4,912	166,256,666	5,769,666

\*積算根拠

(課税標準額)      (税率)      (税額)

172,026,332,000円 × 0.30% ≙ 516,079,000円

(税額)      (減免等)      (調定見込額)

516,079,000円 - 608,000円 = 515,471,000円

(調定見込額)      (収納率)      (予算額)

515,471,000円 × 98.61% ≙ 508,305,000円

## 29年度市税滞納繰越予算計上積算表

(単位：円)

税 目	28 年度末 調定見込額  (A)	収 入 見込率  (B)	収入見込額  (A) × (B) = (C)	不納欠損 見込額  (D)	29年度への 滞納繰越見込額 (H29調定額)  (A)-(C)-(D) = (E)	徴 収 見込率  (F)	徴収見込額  (E) × (F) = (G)	27年度 収納率  (参考)
個人市民税	6,120,918,271	93.51%	5,723,384,796	54,200,000	343,333,000	32.64%	112,052,255	27.84%
前年度分	5,705,211,000	98.29%	5,607,651,892	0	97,559,000	35.50%	34,633,445	
前々年度以前分	415,707,271	27.84%	115,732,904	54,200,000	245,774,000	31.50%	77,418,810	
法人市民税	1,431,721,952	98.90%	1,415,981,040	5,000,000	10,740,000	24.16%	2,595,120	21.39%
前年度分	1,419,644,000	99.56%	1,413,397,566	0	6,246,000	25.00%	1,561,500	
前々年度以前分	12,077,952	21.39%	2,583,474	5,000,000	4,494,000	23.00%	1,033,620	
固定資産税	5,631,389,501	93.26%	5,251,900,500	44,000,000	335,488,000	31.97%	107,261,890	26.65%
前年度分	5,212,806,000	98.61%	5,140,347,997	0	72,458,000	35.50%	25,722,590	
前々年度以前分	418,583,501	26.65%	111,552,503	44,000,000	263,030,000	31.00%	81,539,300	
軽自動車税	197,025,795	94.24%	185,684,546	1,700,000	9,640,000	24.80%	2,390,300	24.35%
前年度分	187,104,300	97.95%	183,268,662	0	3,835,000	26.00%	997,100	
前々年度以前分	9,921,495	24.35%	2,415,884	1,700,000	5,805,000	24.00%	1,393,200	
市たばこ税	0	100.00%	0	0	0	0.00%	0	0.00%
前々年度以前分	0	100.00%	0	0	0	0.00%	0	
都市計画税	972,319,373	93.12%	905,457,759	7,800,000	59,060,000	31.95%	18,870,380	26.65%
前年度分	898,186,000	98.61%	885,701,215	0	12,484,000	35.50%	4,431,820	
前々年度以前分	74,133,373	26.65%	19,756,544	7,800,000	46,576,000	31.00%	14,438,560	
合 計	14,353,374,892	93.93%	13,482,408,640	112,700,000	758,261,000	32.07%	243,169,945	27.10%
前年度計	13,422,951,300	98.57%	13,230,367,331	0	192,582,000	34.97%	67,346,455	
前々年度以前計	930,423,592	27.09%	252,041,309	112,700,000	565,679,000	31.08%	175,823,490	

※ 滞納繰越分の予算額は、それぞれ各税目千円未満切り捨てて計上しているため、端数の関係で合計とは一致しない。

(単位：千円、%)

歳入項目	29年度	28年度	増減額	増減率	概要
2 地方譲与税	303,000	309,000	△ 6,000	△ 1.9	
自動車重量譲与税	213,000	219,000	△ 6,000	△ 2.7	道路特定財源の一般財源化に伴い、市町村道整備の財源としての使途制限を廃止。自動車重量税総額の407/1,000が市町村に譲与されるもので、道路の延長及び面積に按分して譲与される。
地方揮発油譲与税	90,000	90,000	0	0.0	道路特定財源の一般財源化に伴い、地方道路譲与税の名称を地方揮発油譲与税に改正。地方揮発油税総額の100分の42が道路の延長及び面積に按分して市町村に譲与される。
3 利子割交付金	14,000	18,000	△ 4,000	△ 22.2	個人の納めた県民税利子割の100分の59.4に相当する金額を市町村に対し個人県民税の額に按分して交付される。
4 配当割交付金	76,000	107,000	△ 31,000	△ 29.0	県に納入された配当割額の100分の59.4に相当する金額を市町村に対し個人県民税の額に按分して交付される。
5 株式等譲渡所得割交付金	42,000	53,000	△ 11,000	△ 20.8	県に納入された株式等譲渡所得割額の100分の59.4に相当する金額を市町村に対し個人県民税の額に按分して交付される。
6 地方消費税交付金	1,547,000	1,580,000	△ 33,000	△ 2.1	地方消費税の2分の1に相当する金額が、直近の国勢調査の人口、事業所統計の従業者数により按分して交付される。また、地方消費税の引上げ分については、全額国勢調査の人口により按分し交付される。
7 ゴルフ場利用税交付金	54,000	54,000	0	0.0	県に納入された当該市町村に所在するゴルフ場に係るゴルフ場利用税の10分の7に相当する金額が交付される。
8 自動車取得税交付金	41,000	34,000	7,000	20.6	道路特定財源の一般財源化に伴い、市町村道整備の財源としての使途制限を廃止。県に納入された自動車取得税総額の100分の66.5に相当する金額が、市町村に道路の延長及び面積に按分して交付される。
9 地方特例交付金	56,000	56,000	0	0.0	
減収補てん特例交付金 (住宅ローン分)	56,000	56,000	0	0.0	所得税から個人市民税への税源移譲により、所得税で控除しきれない住宅借入金等特別税額控除(ローン控除)を個人市民税から控除することとなったことに伴い、市町村に生じる減収を補てんするため交付される。
10 地方交付税	5,616,000	5,611,000	5,000	0.1	
普通交付税	5,280,000	5,150,000	130,000	2.5	国税のうち所得税・法人税・酒税・消費税を原資とし、基準財政需要額が基準財政収入額を超える団体に交付される。(臨時財政対策債に振替、2,130,000千円)
特別交付税	336,000	461,000	△ 125,000	△ 27.1	普通交付税で補捉されない特別の財政需要に対し、地方交付税総額の6%が交付される。

(単位：千円、%)

歳入項目	29年度	28年度	増減額	増減率	概要
11 交通安全対策特別交付金	14,000	14,000	0	0.0	交通安全施設整備の財源として交付されるもので、交付基準は交通事故発生件数と人口集中地区人口が基礎となり交付される。
12 分担金及び負担金	219,883	233,209	△ 13,326	△ 5.7	老人福祉施設入所者負担金、民間保育園入所児保護者負担金、取手北相馬休日夜間緊急診療所運営費負担金、常総地域病院群輪番制病院運営費負担金、放課後児童対策事業保護者負担金等
13 使用料及び手数料	953,427	947,829	5,598	0.6	・使用料（自転車駐車場、公立保育所、道路・住宅・公園、体育館・テニスコート、公民館・ギャラリー等） ・手数料（戸籍関係、し尿処理、粗大ごみ収集運搬、建築確認等）
14 国庫支出金	4,502,090	4,292,267	209,823	4.9	各事業及び事務にかかる負担金、補助金、委託金（生活保護費負担金1,295,022千円、児童手当負担金1,036,520千円、自立支援給付費負担金646,250千円、子どものための教育・保育給付費負担金516,074千円）
15 県支出金	2,159,435	1,987,916	171,519	8.6	各事業及び事務にかかる負担金、補助金、委託金
16 財産収入	39,522	44,812	△ 5,290	△ 11.8	土地売却収入、土地貸付料、利子等
17 寄附金	100,182	5,197	94,985	1,827.7	一般寄附金、平和基金寄附金、みどりの基金寄附金、ふるさと取手応援基金寄附金等
18 繰入金	1,134,952	1,279,128	△ 144,176	△ 11.3	・基金繰入金 財政調整基金繰入金500,000千円、減債基金繰入金400,000千円、みどりの基金繰入金14,108千円、公共施設整備基金繰入金156,025千円、学校施設整備基金繰入金26,900千円、ふるさと取手応援基金繰入金32,700千円、環境基金繰入金119千円
					・特別会計繰入金 後期高齢者医療特別会計繰入金100千円、介護保険特別会計繰入金5,000千円
19 繰越金	500,000	500,000	0	0.0	平成28年度からの繰越金
20 諸収入	835,528	1,144,193	△ 308,665	△ 27.0	市税延滞金、預金利子、貸付金元利収入、受託事業収入、収益事業収入、給食事業収入、雑入
21 市債	3,258,700	3,973,300	△ 714,600	△ 18.0	民生債、農林水産業債、商工債、土木債、消防債、教育債、合併特例債、公共施設等除却債、臨時財政対策債、災害援護資金貸付債
	うち臨時財政対策債	2,130,000	1,740,000	390,000	22.4

# 1 議会費

## 1 議会費 1 議会費

[担当：議会事務局] P. 48

1001 議員報酬等に要する経費 204,251,000 円 (204,638,000 円)

[一財 204,251,000 円]

### ○ 内容

#### (1) 報酬

議 長	@494,000×12 ヶ月×1 人
副議長	@444,000×12 ヶ月×1 人
議 員	@411,000×12 ヶ月×22 人

#### (2) 期末手当

議 長	@494,000×1.15×3.25 月×1 人
副議長	@444,000×1.15×3.25 月×1 人
議 員	@411,000×1.15×3.25 月×22 人

#### (3) 議員共済給付費負担金

@410,000×24 人×12×39.7/100=46,877,760 円

[担当：議会事務局] P. 49

2001 議会調査運営に要する経費 17,767,000 円 (8,770,000 円)

[その他 7,800,000 円 一財 9,967,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 7,800,000 円]

### ○ 目的

#### (1) 議員の費用弁償に係る経費

各委員会の所管事項に係る先進地を視察し、その成果を市政運営に反映することにより、更なる市政発展を図るため実施するものである。

#### (2) 採決表示システム使用料

本会議採決時において、個々の議員の表決結果が瞬時に表示される電子採決表示システムを導入し、本会議における議員の賛否の結果を明らかにすることなど、市民に議会の公開性を高める。

#### (3) 政務活動費

議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会における会派又は無会派議員に対し交付する。用途については、調査研究費、研修費、資料購入費、広報費、広聴費等に要する経費を定めている。

#### (4) 議場用音響機器一式購入

議場内液晶ディスプレイ、マイク等音響機器一式を購入することにより、議場内の音響設備を整えるため、購入するものである。

○ 内容

- (1) 議員の費用弁償に係る経費  
・ 常任委員会旅費 @60,000×24人      ・ 議会運営委員会旅費 @60,000×9人
- (2) 採決表示システム使用料 @11,700×12ヶ月×1.08
- (3) 政務活動費 @100,000×24人
- (4) 議場用音響機器一式 @8,030,890×1.08

[担当：議会事務局] P. 50

2101 議会報及び会議録発行に要する経費 5,514,000円 (5,349,000円)

[一財 5,514,000円]

○ 目的

- (1) 会議録作成支援システム

会議録作成に係る事務の迅速化を図るために、会議録作成支援システムを導入。これにより本会議又は委員会等において、リアルタイムによる効率的な作業が図られる。

- (2) 会議録検索システム

議会情報のスムーズな公開を目的に、会議録作成支援システムと連携し、インターネットを利用した会議録の迅速な検索を可能とすることにより、市民サービスや議員の調査活動の向上が図られる。

- (3) 議会だより

議会報を発行し、各定例会の内容や議会の活動などについて、紙面により広く市民に知らせる。

○ 内容

- |                 |           |                     |
|-----------------|-----------|---------------------|
| (1) 会議録作成支援システム | 保守点検委託料   | @960,000×1×1.08     |
| 〃               | ソフトウェア    | @310,000×1.08       |
| (2) 会議録検索システム   | システム使用料   | @46,000×12ヶ月×1.08   |
| (3) 議会だより       | 印刷製本費 10P | @390,950×4回×1.08    |
| 〃               | 印刷製本費 2P  | @115,000×1回×1.08    |
| 〃               | 折込手数料 10P | @10×35,100部×4回×1.08 |
| 〃               | 折込手数料 2P  | @2×35,100部×1回×1.08  |
| 〃               | 二つ折り手数料   | @1×1,500部×5回        |

## 2 総務費

### 1 総務管理費 1 一般管理費

[担当：藤代総合窓口課] P. 53

0801 藤代総合窓口事務に要する経費 10,141,000 円 (11,407,000 円)

[その他 24,000 円 一財 10,117,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：雇用保険料本人負担分 24,000 円]

○ 目的

ワンストップ行政サービスの充実を図り、市民に利便性と質の高いサービスを提供する。

○ 内容

主な経費の内訳は、一般職非常勤報酬、消耗品費、コピー機使用料、業務端末機使用料等である。

[担当：市民協働課] P. 54

1201 市民憲章推進に要する経費 312,000 円 (223,000 円)

[一財 312,000 円]

○ 目的

市民の皆さんが郷土を愛し誇りを持てるように、また、明るく住みよいまちを築くために制定された市民憲章の普及啓発と推進事業を行う。

○ 内容

- ・ 市内河川敷等の環境美化活動
- ・ 市内文化財巡り
- ・ 市民憲章の普及啓発活動（善行表彰等）

[担当：人事課] P. 56

2201 職員研修に要する経費 7,378,000 円 (9,539,000 円)

[その他 153,000 円 一財 7,225,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：研修受講経費助成金 30,000 円]

[諸収入：防火管理講習受講補助金 3,000 円]

[諸収入：研修職員宿舍使用料 120,000 円]

○ 目的

地方自治体を取り巻く大きな環境の変化のなか、人材育成を実効性のあるものとする為には「職員研修の充実」「組織文化の醸成」「人事管理の最適化」の三要素のバランスが重要となる。複雑高度化した課題や多様化する市民ニーズに対し、適正かつ迅速な対応を図る為、自己啓発の促進、職場研修の支援、職場外研修の提供を更に進め、当市が求める職員像である政策形成力、創意工夫と柔軟な発想力を持った人材の育成を図る。

○ 内容

研修予定一覧

(単位：人)

区 分	研 修 名	対 象	受講人員 (延べ)
庁内研修	人事評価制度研修	評価者・被評価者	800
	メンタルヘルス研修	一般職員	100
	L G B T研修	一般職員	80
派遣研修	茨城県市町村職員研修	20 研修：指定職員	51
	常総広域職員共同研修	12 研修：指定職員	180
	市町村アカデミー	3 研修：指定職員	4
	各種専門研修・講座	希望職員	165
合 計			1,380

・ 庁内研修

改正地方公務員法に基づく人事評価を基礎とした人事管理を進めるうえで、公正・公平で信頼性の高い制度運用が図れるよう、評価者、被評価者双方に対する「人事評価研修」を継続的に実施する。

また、社会環境の変化のなか、業務の高度化・複雑化による業務量の増大などにより、全国の地方自治体において課題とされる「職員のメンタルヘルス対策」の一つとして研修を実施し、職場におけるメンタルヘルス対策の正しい知識と理解、また、セルフケアによる自らの心の健康管理の手法を習得する。

さらに、近年関心が高まってきているLGBTに特化した職員研修を実施することで、LGBTに対する正しい知識・理解を深め、市民対応時や身近な職場内での配慮・対応に活かしていく。

・ 派遣研修

社会環境の変化と市民の地方行政運営に対する意識の高まりにおいて、多様化・高度化する行政ニーズに対応する為、階層別研修、専門特別研修等のほか、幅広い研修機会を提供することにより、個々の自己啓発意識の誘発を促すと共に、組織の運営方針や組織目標に沿った政策形成能力と職務遂行能力の向上、各種業務に応じた知識と専門能力を習得する。

[担当：安全安心対策課] P. 57

3001 防犯に要する経費 14,304,000円(14,547,000円)

[一財 14,304,000円]

○ 目的

犯罪を未然に防止し、犯罪のない明るい社会の実現と防犯・暴力追放思想の普及と高揚、善良な風俗の保護並びに少年の健全育成の推進を図る。また、茨城県警及び地元ボランティアとの協力連携のもと警察官経験者による立ち番、及び防犯パトロール隊の拠点となる防犯ステーションを運営する。

○ 内容

・ 防犯カメラ設置工事

・ 取手地区防犯協会への補助

- ・防犯、暴力追放街頭キャンペーンの実施
- ・自主防犯組織結成事業の補助及び結成促進
- ・防犯ステーション運営事業
- ・防犯パトロール、防犯座談会の開催
- ・警察への連絡

[担当：安全安心対策課] P. 58

3301 空き家等の適正管理事業に要する経費 1,060,000 円 (1,079,000 円)

[その他 4,000 円 一財 1,056,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：雇用保険料本人負担分 4,000 円]

○ 目的

近年、空き家となる家屋が増加し環境悪化を招いており、防犯上も危険となることから、空き家等の適正な管理に関し必要事項を定め管理不全な状態になることを防止し、生活環境の保全及び安全で安心な地域社会の実現に向けて取り組む。

○ 内容

- ・空き家、所有者等の実態調査
- ・「空き家等調査台帳」整備
- ・所有者に対する助言指導

## 1 総務管理費 2 文書広報費

[担当：情報管理課] P. 59

2101 ファイリングシステムに要する経費 2,055,000 円 (1,263,000 円)

[一財 2,055,000 円]

(1) ファイリングシステム維持管理

○ 目的

ファイリングシステムは市民との共有財産である公文書を効率的に管理し、情報開示請求権、及び自己情報コントロール権を保障するもので、平成9年度より導入している。全職員の共通認識の保持・向上のため、年度ごとの維持管理目標を定め、適切かつ合理的なファイリング環境を保つことを目的としている。

○ 内容

情報公開条例、及び個人情報保護条例の円滑な運用と市民サービスの向上に資するため、全職員によるファイリングシステムの維持管理に取り組んでいる。また、取手市文書管理委員会による職員相互の維持管理実地指導等により、ファイリング環境の定期的な内部監査、及び文書管理のための意識向上を図っている。

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| ・ファイリングシステム維持管理用消耗品     | 825,000 円 |
| ・ファイリングシステムフォルダーラベル印刷製本 | 441,000 円 |
| ・ファイリング用3段キャビネット購入      | 378,000 円 |
| ・文書運搬用スロープ購入            | 162,000 円 |

(2) 廃棄文書リサイクル

○ 目的

平成20年度より継続して実施。廃棄文書リサイクル事業により、文書の廃棄作業に要する時間の短縮・作業の効率化、及び人的コストの削減を図る。さらに裁断処理により廃棄文

書の個人情報漏洩のリスクにも配慮し、かつリサイクル処理によるゴミの減量化、省資源化についても寄与するものである。

○ 内容

シュレッダー処理による廃棄文書は、個人情報を含む保存年限経過文書、及び随時廃棄文書を対象に、合せて年間約 23 トンの廃棄量を見込んでいる。市役所敷地内等において、年間 5 回程度、シュレッダー裁断処理を実施している。作業は市職員の立会いのもと、委託業者所有の大型シュレッダー登載車両(トラック)により行い、その後古紙リサイクルルートにのせるものである。これにより、的確なセキュリティが確保されるほか、ゴミの減量化と環境問題に配慮しつつ、業務の効率化による文書廃棄作業に要する労力・人件費の軽減につながっている。

- ・廃棄文書リサイクル処分委託料 249,000 円

[担当：総務課] P. 59

2201 法務に要する経費 4,452,000 円 (5,952,000 円)

[一財 4,452,000 円]

○ 目的

取手市例規集データベースシステムを更新し、より機能面を向上させた上で引き続き運用するとともに、例規整備支援システムの活用、官報及び法令関係書誌の購読、顧問弁護士への委嘱等を通じ、自律的かつ適正な法務運営を図る。

また、平成 28 年 4 月 1 日から施行された改正行政不服審査法に対応して、行政不服審査会を設置し、外部の有識者を委員とした第三者機関での審査を通じ、提起された審査請求に対して公正・公平な審査を実施していく。

○ 内容

- (1) 行政不服審査会(委員 3 人)の開催に伴う報酬及び費用弁償
- (2) 顧問弁護士との打合せ等に伴う弁護士事務所への出張旅費
- (3) 法令関係書誌の追録及び購読料等
- (4) 行政活動に伴う法律問題の相談等の業務に当たる顧問弁護士(1 人)の委嘱
- (5) 取手市例規集データベースシステムの運用・国家法令システムの使用
- (6) 例規整備支援・改正情報提供システムの使用

[担当：広報広聴課] P. 60

2801 広報発行に要する経費 17,744,000 円 (18,079,000 円)

[国・県 52,000 円 一財 17,692,000 円]

\* 特財積算根拠

[国委：自衛官募集事務委託金 52,000 円]

○ 目的

- ・「広報とりで」…市の施策やお知らせ、市内の出来事等を掲載し、行政と市民を結ぶパイプ役として、的確な情報を提供する。
- ・政策特集広報「薬」…市が現在進めている重要施策やプロジェクト事業などを途中経過も含め分かりやすくお知らせし、市政への関心を高めるとともに、市政への市民参加の

意識高揚を図る。

○ 内容

< 広報紙の発行 >

1 広報発行に要する主な経費

・「広報とりで」印刷業務委託料	5,876,000 円
・「広報とりで」新聞折り込み料	7,506,000 円
・広報郵送料	785,000 円
・広報等封入業務手数料	72,000 円
・「広報とりで」二つ折り業務手数料	75,000 円
・「政策特集広報」印刷業務委託料	1,289,000 円

2 発行概要

(1) 広報とりで

- ・規格：タブロイド版 年 24 回（計 198 ページ）  
12 ページ 年 2 回、8 ページ 年 21 回、6 ページ 年 1 回
- ・印刷部数：42,000 部

(2) 政策特集広報「薬」

- ・規格：A4 版 8 ページ 年 3 回（計 24 ページ）
- ・印刷部数：45,200 部

3 配布方法

(1) 広報とりで

- ・新聞折り込みによる配布(折り込み部数 35,100 部)
- ・郵送による配布(郵送件数 340 通)※新聞未購読者等への郵送
- ・市民課・藤代総合窓口課・取手支所・取手駅前窓口・公民館・郵便局・駅(JR・TX・関東鉄道)・スーパーマーケット等に配置

(2) 政策特集広報「薬」

- ・各地区市政協力員から各世帯へ配付の他、郵送及び公共施設等に配置

[担当：広報広聴課] P. 61

2901 市民相談に要する経費 4,712,000 円 (4,586,000 円)

[一財 4,712,000 円]

○ 目的

市民の日常生活上の悩みに応じた各種相談業務の開設や市役所に来た方への細やかな案内業務をするなど市民サービスの向上を図る。

○ 内容

- ・市民相談一覧

相 談 種 別	内 容
市 民 相 談	市民の多種多様な相談に関すること
総 合 案 内 窓 口	来庁者に対する案内業務に関すること
行 政 相 談 (月 1 回)	行政 (国や県) に関すること

人 権 相 談 (月 2 回)	人権・近隣関係・家庭内・親族間に関すること
司 法 書 士 相 談 (月 1 回)	不動産登記、金銭貸借・相続等に関すること
法 律 相 談 (月 4 回)	相続・離婚・多重債務等民事事案に関すること
社会保険労務士相談 (月 1 回)	年金・労働問題全般に関すること
行 政 書 士 相 談 (月 1 回)	相続・遺言・農地転用等に関すること

内訳	・ 消耗品費	23,000 円
	・ 市民法律相談委託料	1,679,000 円
	・ 総合案内業務委託料	2,787,000 円
	・ 人権擁護委員協議会負担金	223,000 円

[担当：魅力とりで発信課] P. 61

3101 ホームページ管理に要する経費 2,829,000 円 (1,284,000 円)

[その他 1,560,000 円 一財 1,269,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：広告掲載料 1,560,000 円]

○ 目的

ホームページを有効に活用して市を広く PR し、市民生活に必要な情報を迅速に、また誰に対しても優しく提供していく。また、より充実した情報共有を目指すため、ホームページのコンテンツ検証と、高齢者・障害者を含めた誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できる取り組み（ウェブアクセシビリティ）の意識の向上や探しやすいホームページの実現のための職員研修を行う。

○ 内容

・ 旅費	6,000 円
・ ホームページリニューアル効果検証業務	488,000 円
・ メール配信システム管理業務	1,556,000 円
・ アクセシビリティ・サポーター使用料	519,000 円
・ 多言語自動翻訳サービス使用料	260,000 円

## 1 総務管理費 3 友好交流費

[担当：秘書課] P. 62

2001 都市間交流に要する経費 4,014,000 円 (3,881,000 円)

[一財 4,014,000 円]

○ 目的

取手市民と姉妹都市ユーバ市民の交流を深めるとともに、国際性豊かな学生を育成するため、ユーバ市からの受け入れ事業および取手市中・高生の派遣事業を実施し、国際社会の構築を積極的に推進する。受け入れ事業については、ウェルカムパーティーや、取手市について広く知ることができ、興味を持ってもらえるような視察や体験企画など、互いの交流をさらに促進して今後の両市関係に資することができるような事業を行う。また、一昨年度から始めた学生の作品交換による交流も引き続き実施し、両市の学生の交流を促進す

る。

中国桂林市との友好都市交流についても、両市の市民同士がより交流を深め、両国友好を推進できるよう交流事業を実施していく。平成 29 年度は日中国交正常化 45 周年の節目を迎えるため、周年事業を兼ねて市民訪中団の派遣を行うほか、一昨年度から始めた作品交換による交流を活用し、両市の学生が交流する場を設けることで、交流の促進を図る。

取手市国際交流協会は、日本語教室の実施を始め、交流イベントを通じた外国人と市民の交流の場を提供するなど、在住外国人が地域社会に溶け込みやすい環境をつくるための事業を実施しており、「多文化共生社会」の構築を推進していることから、市としてその活動を支援する。

#### ○ 内容

- ・取手市国際交流協会への補助 720,000 円

〔主な事業〕

在住外国人のための日本語教室・外国人とのバスツアー・会報の発行・世界の料理を楽しむ集い・取手チャットスクエア（TCS）・シニアのための英会話講座・文書翻訳および無料相談会等のボランティア活動

- ・姉妹都市ユーバ市との交流事業 1,862,000 円

【派遣】 ユーバ市（中・高生）派遣補助金 540,000 円

ユーバ市派遣時英会話研修謝礼 8,000 円

ユーバ市（随行職員等）派遣経費 927,000 円（記念品、旅費、電話など）

【受入】 ユーバ市訪問団受け入れ記念品、ホストファミリー謝礼等 296,000 円

その他受入諸費用、パーティー用消耗品等 91,000 円

- ・友好都市桂林市との交流事業 1,327,000 円

〔主な事業〕 桂林市への市民親善訪問団派遣

- ・写真交流 記念品・消耗品・郵送料 95,000 円

- ・日中友好協会負担金 10,000 円

## 1 総務管理費 4 財政管理費

[担当：財政課] P. 63

2101 ふるさと取手応援寄附金推進事業に要する経費 153,332,000 円（0 円）

[その他 100,001,000 円 一財 53,331,000 円]

\* 特財積算根拠

[財産収入：ふるさと取手応援基金利子 1,000 円]

[寄附金：ふるさと取手応援基金寄附金 100,000,000 円]

#### ○ 目的

ふるさと取手応援寄附条例に基づき、市のまちづくりを応援する人々からの寄附を広く募り、多様な事業に活用するための原資として確保・活用することを目的とする。また、寄附者に市の特産品等を御礼品として送ることで、市内産業の活性化を図り、全国に向けて市の魅力を発信していく。

#### ○ 内容

ふるさと納税ポータルサイトに登録し、インターネットを活用したふるさと取手応援寄

附金の受付や、寄附者への御礼品送付業務を行う。民間ポータルサイトのホームページ等を積極的に活用することで、全国的に取手市の魅力を発信し、市内の特産品や農産物をPRするとともに、寄附者の利便性向上を図り、広くふるさと取手応援寄附金を周知していく。

通信運搬費

・受領書およびワンストップ特例通知送付に係る郵送料 1,132,000 円

委託料

・インターネット上での寄附金受付および御礼品発送等業務委託 51,960,000 円

積立金

・ふるさと取手応援基金利子および寄附金 100,001,000 円

1 総務管理費 6 財産管理費

[担当：管財課] P. 65

0601 契約事務に要する経費 2,738,000 円 (2,675,000 円)

[一財 2,738,000 円]

○ 目的

入札・契約における公平性、透明性、競争性の確保を図るとともに、入札・契約事務の適正な運用を推進する。

○ 内容

入札・契約の過程並びにその内容を客観的な視点から審議する外部委員による入札監視等委員会（平成 19 年度設置）を開催するほか、インターネット上でのやり取りによって入札手続きを行う電子入札システム（平成 18 年度導入）を活用した入札を執行する。

主な事業費

事業項目	予算額	備考
入札監視等委員会の開催	報償費 64,000 円	取手市入札監視等委員会を年 2 回開催
電子入札システムによる入札の執行	使用料及び賃借料 2,637,000 円	茨城県建設 CALS/EC 共同利用センター利用料

[担当：公共施設整備課] P. 66

0801 公共施設の整備に要する経費 8,300,000 円 (10,500,000 円)

[国・県 532,000 円 その他 3,468,000 円 一財 4,300,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成分）

1,597,000 円×1/3≒532,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,468,000 円]

○ 目的

公共施設の耐震診断調査を実施し、その結果に基づく耐震補強工事を行うことにより、公共施設の耐震性の確保と環境の整備を図る。また、建築基準法に基づく公共施設の定期点検を実施し、建築物の損傷、腐食その他の劣化状況を把握する。

○ 内容

耐震診断調査業務委託料（高須公民館）	4,000,000 円
施設定期点検業務委託料	4,300,000 円

[担当：管財課] P. 66

2001 庁舎の管理に要する経費 89,606,000 円（144,091,000 円）

[その他 1,000 円 一財 89,605,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：電話通話料 1,000 円]

○ 目的

取手市役所庁舎全体の維持管理を図る。

○ 内容

庁舎管理業務委託内訳

委 託 料	予算額 (円)	内 容
庁舎管理業務委託料	23,026,000	23,026,000×1
夜間警備委託料	5,768,000	5,768,000×1
電話交換業務委託料	10,991,000	10,991,000×1
消防設備保守点検委託料	605,000	庁舎年 2 回 605,000×1
電気設備検査委託料	756,000	年次・毎月点検 756,000×1
エレベーター保守点検委託料	1,024,000	年 12 回 1,024,000×1
自動ドア保守点検委託料	324,000	年 2 回 324,000×1
植栽・剪定業務委託料	900,000	剪定年 2 回：除草年 5 回
市役所敷地内草刈業務委託料	400,000	年 1 回 400,000×1
地下タンク埋設配管漏洩検査委託料	50,000	年 1 回 50,000×1
電話交換機保守点検委託料	1,944,000	1,944,000×1
自家発電設備定期点検業務委託	262,000	262,000×1

[担当：管財課] P. 67

2101 自動車の維持管理に要する経費 28,397,000 円（62,362,000 円）

[その他 67,000 円 一財 28,330,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：広告掲載料 67,000 円]

○ 目的

公用車の効率的維持管理を図る。

○ 内容

・自動車維持管理内訳

委 託 料	予算額 (円)	内 容
市バス等運転業務委託料	6,199,000	21,600 円／1 日×240 日 その他手当等

使用料及び賃借料	予 算 額 (円)	内 容
公用車リース料	13,580,000	現リース車 37 台、新規リース (入替) 車 2 台、新規リース車 1 台、リース車合計 38 台

[担当：管財課] P. 68

2201 市有財産管理に要する経費 9,109,000 円 (6,599,000 円)

[一財 9,109,000 円]

○ 目的

公有財産台帳システムの維持管理と市有地の環境整備を図る。

○ 内容

委 託 料	予 算 額 (円)	内 容
市有地草刈業務委託料	4,131,000	市有地全 26 か所の除草・処分
公有財産台帳管理システム更新委託料	1,534,000	台帳情報更新・システム保守

[担当：藤代総合窓口課] P. 68

2301 藤代庁舎の管理に要する経費 51,840,000 円 (31,208,000 円)

[地方債 21,600,000 円 その他 1,184,000 円 一財 29,056,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：合併特例債 22,784,000 円×95%≒21,600,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,184,000 円]

○ 目的

藤代庁舎全体の適正な維持管理を図る。

○ 内容

現在、藤代庁舎で使用している油圧式エレベーターの部品が、平成 29 年 12 月で供給停止となることとともない、万が一の故障による使用不能の事態を避けるため、ロープ式エレベーターに改修する。ロープ式エレベーターは、油圧式に比べて消費電力が少ないため節電も期待できる。

その他の経費は、施設の適切な維持管理のための委託料等である。

工事請負費

・エレベーター改修工事 22,784,000 円

委託料

・機械設備環境衛生管理業務委託料 4,271,000 円

・清掃管理業務委託料 5,692,000 円

・消防設備保守点検委託料 376,000 円

・エレベーター保守点検委託料 595,000 円

・微量 PCB 分析調査委託料 162,000 円

・夜間警備委託料 4,536,000 円

・電気設備検査委託料 346,000 円

・自動ドア保守点検委託料 265,000 円

・植栽剪定業務委託料 295,000 円

## 1 総務管理費 7 企画費

[担当：魅力とりで発信課] P. 70

### 0701 シティプロモーションに要する経費 11,181,000 円 (0 円)

[一財 11,181,000 円]

#### ○目的

市内外に対する PR 活動を通じて取手市の知名度・魅力度の向上を図り、交流人口・定住人口の増加を図る。また、メディアへのニュースリリースや、ウェブ等での PR 活動を通じて、市民にも知られていない取手市の魅力を発掘・訴求することにより、地域を活性化させるとともに、市民の取手市に対する誇りを醸成する。

#### ○内容

・旅費	90,000 円
・消耗品費	86,000 円
・取手ブランド構築・発信業務委託料	8,574,000 円
・プレスリリース配信委託料	726,000 円
・市民 CP 実行委員会委託料	1,500,000 円
・ウェブサーバシステム使用料	205,000 円

[担当：政策推進課] P. 71

### 1001 行政改革推進委員会に要する経費 178,000 円 (270,000 円)

[一財 178,000 円]

#### ○目的

市民・有識者からなる行政改革推進委員会にて、行政改革の推進に関する重要事項を調査審議し、社会経済情勢の変化に対応した効率的な市政の実現を図る。

#### ○内容

行政改革推進委員会から答申を受け、行政サービスの質の向上と持続可能な行政経営の実現を目的とし、平成 28 年度から平成 31 年度までを実施期間とする「とりで行政経営改革プラン 2016」を策定した。

このプランの進捗状況や取組内容について、本委員会に報告し、市民の視点から審議して頂き、その評価や意見を計画の推進や見直しに反映させていく。

[担当：公共施設整備課] P. 71

### 2202 公共施設マネジメントに関する経費 1,104,000 円 (4,800,000 円)

[一財 1,104,000 円]

#### ○目的

市民の利便性を考慮しつつ最少の経費で最大の効果を得るため、費用の削減や機能の改善などを積み重ねながら、将来を見据えた横断的な視点に立って全体最適の実現を目指す。

#### ○内容

公共施設のファシリティ(土地・建物・設備)情報が、データベースシステムにより一元管理・共用化がなされ、さらに情報の充実や活用の推進を図る。

公共施設マネジメントシステム使用料	985,000 円
-------------------	-----------

[担当：政策推進課] P. 72

2301 公有用地利活用に要する経費 8,446,000 円 (0 円)

[一財 8,446,000 円]

○ 目的

小中学校の統廃合等により、学校跡地などの公有用地の有効な利活用方策が検討課題となっている。平成 27 年度においては、旧取手第一中学校跡地及び井野小学校跡地について利活用計画を策定し、昨年度から計画の実現化に向けて事業に着手している。

今年度においては、白山西小学校跡地及び小文間小学校跡地の 2 箇所について、利活用計画を策定し、公有用地の有効な利活用を推進していく。

○ 内容

白山西小学校跡地及び小文間小学校跡地について、周辺住民の利便性向上、市民協働・官民連携等の視点を踏まえ、公有用地利活用計画の立案及びこれに付随して必要となる調査・検証、市民懇談会実施補助等の業務を委託する。

・公有用地利活用計画策定支援業務委託料 8,446,000 円

## 1 総務管理費 8 電算組織管理費

[担当：情報管理課] P. 72

2001 電算・OA 化等に要する経費 308,836,000 円 (307,385,000 円)

[国・県 2,598,000 円 その他 64,000 円 一財 306,174,000 円]

\* 特財積算根拠

[国委：国民年金事務委託金 2,302,000 円]

[国委：特別児童扶養手当事務委託金 219,000 円]

[県委：常住人口調査委託金 77,000 円]

[財産収入：(株)茨城計算センター配当金 64,000 円]

○ 目的

住民記録、税金、福祉など、市民が行う様々な手続きについて、市が迅速な窓口対応を提供するとともに、その後の内部処理業務、財務管理業務、文書管理業務等について、コンピュータシステムを活用し、正確で高速な事務処理を実現するものである。

庁内ネットワークの活用により藤代庁舎、取手支所、取手駅前窓口、戸頭窓口コーナーでも本庁舎と同様の証明発行業務や手続きの受付を行うほか、県域 WAN (いばらきブロードバンドネットワーク) を活用して、市民がインターネットから利用できる電子申請・届出サービス、公共施設予約サービス、地図情報閲覧サービス (いばらきデジタルまっぷ)、ウェルネスプラザにおける公衆無線 Wi-Fi の提供等、市民の利便性向上を図るものである。

また、庁内の情報システムにおけるセキュリティを徹底するため、国が示す「自治体情報システム強靱性向上モデル」により、マイナンバー関連システムをインターネットリスクから分離し、端末からのデータ持ち出し不可設定、生体認証システムの導入、さらにはインターネット接続口を県が集約して集中監視するシステム (いばらき情報セキュリティクラウド) への接続など、高度な監視を行い、情報システムを取り巻くより一層のセキュリティ向上をはかるものである。

○ 内容

(1) 各種ネットワーク及びシステム維持費

庁内システムの運用及びインターネットサービス提供のためのネットワーク回線の確保や情報システムの維持管理を行う。また県や県内市町村と共同で整備しているいばらき電子申請・届出システム、いばらき公共施設予約システム、茨城域域統合型GIS、いばらき情報セキュリティクラウド及び県域WANと相互接続しているLGWAN（総合行政ネットワーク）の運用管理、番号制度にかかる中間サーバシステムの保守管理を行なう。

また、庁舎内及び公共施設等において、ネットワーク機器及びネットワークに接続するパソコン端末、KIOSK端末等の整備、維持を行なう。

・サーバ室夜間警備委託料	467,000円
・電算室自動消火装置使用料	531,000円
・電算室自動消火装置点検委託料	46,000円
・光専用回線、サーバ室夜間警備専用回線通信運搬費	14,315,000円
・いばらきブロードバンド負担金	5,599,000円
・いばらき情報セキュリティクラウド負担金	1,932,000円
・WAFシステム負担金	260,000円
・情報系サーバ機器等使用料	34,928,000円
・情報系ネットワーク運用管理業務委託料	7,388,000円
・第3次LGWAN機器使用料	400,000円
・第3次LGWAN機器保守点検委託料	174,000円
・出先機関フロアスイッチ使用料	2,571,000円
・無線LAN機器使用料	1,473,000円
・公衆無線LAN機器使用料	1,426,000円
・事務用パソコン使用料	25,369,000円
・情報系端末用パソコン使用料	853,000円
・事務用プリンター使用料	1,724,000円
・いばらき公共施設予約システム整備運営協議会負担金	711,000円
・電子申請・届出システム負担金	243,000円
・統合型GIS負担金	688,000円
・森林クラウドシステム負担金	123,000円
・地方公共団体情報システム機構負担金	180,000円
・県高度情報化推進協議会負担金	40,000円
・中間サーバ保守運用負担金	2,445,000円

(2) 電算機処理委託・電子計算機器リース

住民基本台帳・各種税台帳等大量のデータ処理及び管理、財務会計・予算編成等の事務処理システムの安定的かつ継続的な運用、各種帳票類作成等の定型業務の効率的かつ正確な遂行を行うため情報処理業務を委託するものである。

あわせて、これらシステムの安全で確実な稼動のため、サーバ、バックアップ装置、ネットワーク機器及び窓口端末等、住民サービスの提供及び内部事務処理上重要な機器類を整備し、保守管理を図るものである。

- ・電算機情報処理業務委託料 193,656,000 円
- ・業務系サーバ機器等使用料 5,919,000 円

## 1 総務管理費 9 交通安全対策費

[担当：安全安心対策課] P. 74

0501 交通安全事務に要する経費 2,112,000 円 (2,143,000 円)

[その他 105,000 円 一財 2,007,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：県民交通災害共済加入推進交付金 105,000 円]

○ 目的

各年齢層に応じた交通安全教育や交通安全キャンペーン等による啓発活動を実施し、さらに民間交通安全活動団体の補助育成などによって交通事故の無い明るいまちづくりを推進するとともに市民の交通安全意識の高揚を図る。

○ 内容

- ・自転車安全利用条例の啓発活動
- ・各交通安全対策に関する会議等への出席
- ・春、夏、秋、年末の交通安全運動の実施
- ・幼児、児童、生徒、高齢者への交通安全教室の開催
- ・各交通安全活動団体への負担金、補助金

[担当：安全安心対策課] P. 74

2001 交通安全の施設整備に要する経費 7,761,000 円 (7,696,000 円)

[一財 7,761,000 円]

○ 目的

交通危険箇所の視野を確保し道路交通の視認性を高め、危険事項を掲示するなどにより交通事故の未然防止と交通の円滑化を図る。

○ 内容

- ・カーブミラー新設 49 基、修繕 60 ヶ所
- ・交通安全看板の設置
- ・道路区画線標示 3,170m、修繕 2,600m
- ・パトライト修理
- ・パトライト電気代

[担当：安全安心対策課] P. 75

2101 自転車駐車場の維持管理に要する経費 227,227,000 円 (49,262,000 円)

[地方債 161,300,000 円 その他 20,111,000 円 一財 45,816,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：公共施設等除却債 179,239,000 円×90%≒161,300,000 円]

[使用料：自転車駐車場使用料 17,814,000 円]

[使用料：バイク駐車場使用料 2,284,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 13,000 円]

○ 目的

自転車等の利用が多い駅周辺に自転車等駐車を確保・維持管理することにより自転車等利用者の利便性の向上を図り、さらには路上放置自転車を無くし交通の円滑と安全を図る。また、老朽化した東第1自転車駐車場の解体工事を実施する。

○ 内容

- ・管理委託（有料1ヶ所 無料5ヶ所）
- ・土地借上料（4ヶ所）

取手駅前西口の自転車駐車場「サイクルステーションとりで」（地下1階・地上3階からなる自走式と機械式併用自転車駐車場、収容台数873台）の更なる利便性の向上と適正な維持管理を図る。

- ・東第1自転車駐車場解体補償費 179,239,000 円

[担当：安全安心対策課] P. 76

2201 放置自転車対策に要する経費 6,785,000 円（6,584,000 円）

[その他 104,000 円 一財 6,681,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：放置自転車移動保管手数料 100,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 4,000 円]

○ 目的

自転車放置整理区域にしている取手駅・新取手駅周辺の路上放置自転車をなくし、交通の円滑と安全を確保するとともに交通道德の高揚を図る。

○ 内容

- ・放置自転車撤去移動
- ・放置自転車処分
- ・保管場所管理、放置自転車の返還
- ・取手駅放置整理区域の監視

[担当：安全安心対策課] P. 76

2301 交通安全推進指導隊に要する経費 2,404,000 円（2,404,000 円）

[一財 2,404,000 円]

○ 目的

交通道德の普及と高揚を図り、交通事故を未然に防止して交通安全を確保するとともに市民の自主的交通安全活動を推進指導する。

○ 内容

- ・自転車安全利用の指導、助言活動
- ・通学路の安全点検
- ・花火大会、地区祭礼指導等での交通整理
- ・公的催事、地域の祭礼等での交通指導
- ・各交通安全運動期間中のキャンペーン、立哨活動

## 1 総務管理費 10 地方振興費

[担当：市民協働課] P. 77

1001 市政協力員に要する経費 14,869,000 円（14,586,000 円）

[一財 14,869,000 円]

○ 目的

地域と行政との連絡調整役として市政協力員を委嘱し、市民生活の利便と市政運営の円滑化を図るとともに、市政協力員としての見識を深めるために研修会を実施する。

○ 内容

- ・ 市政協力員報酬（市政協力員 83名）H29年度よりゆめみ野地区に2名配置
- ・ 功労者表彰記念品
- ・ 研修会経費

[担当：市民協働課] P.77

1101 市補助金等検討委員会に要する経費 224,000円（224,000円）

[一財 224,000円]

○ 目的

市民による自主的なまちづくり活動への支援を目的とした一般公募補助金制度により、申請のあった事業について団体から事業概要の説明及び質疑応答によるヒアリングを行うなど事業の必要性や効果について審査し、補助金の効果的な交付を図る。

さらに、施策補助金についても委員の意見を伺う。

○ 内容

- ・ 委員会開催に伴う委員謝礼  
委員長 6,700円×1人×7回、委員 6,300円×4人×7回
- ・ H29年度実施一般公募補助対象事業

(単位：円)

団体名	事業名	事業内容	予算額	担当課
チャレンジの広場	チャレンジの広場事業	ボッチャ・スポーツ吹き矢などの障害者スポーツを通して、障害者と健常者が交流するイベントを開催する。	35,000	障害福祉課
手話サークル「あゆみ」	手話サークル「あゆみ」事業	手話を通じた聴覚障害者等への社会参加の呼びかけや会員の手話の習得と技術の向上を図る。	60,000	障害福祉課
取手合唱連盟	取手市内合唱団体の活動支援事業	取手市及び近隣地域の音楽情報提供並びに相互交流の場とした合同演奏会(ふれあいコンサート)を開催する。	130,000	文化芸術課
[新規]とりで市民後見の会	市民後見人養成事業	地域において活動できる成年後見人等となる人材の確保を目的として、成年後見人等の活動を担う人材の育成事業を市民向けに行う。	70,000	高齢福祉課
[新規]とねっこ保育会	子育て支援事業「絵を描く会」	「絵を描く会」を開催し、子ども達が絵具で自由に絵を描き、絵に表現される子どもの心を講師を交え親と懇談しながら探り、子育てに活かせるようなワークショップを行う。	100,000	子育て支援課

[担当：市民協働課] P. 77

2001 地区振興に要する経費 27,360,000 円 (27,353,000 円)

[その他 5,003,000 円 一財 22,357,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：認可地縁団体登録証明書交付手数料 3,000 円]

[諸収入：コミュニティ助成事業補助金 5,000,000 円]

○ 目的

各地区の自主的なコミュニティづくりのための活動を積極的に支援し、地域の連帯感を深め、自治組織の強化と円滑な運営を図る。

○ 内容

- ・地区補助金の交付（75 地区）H29 年度よりゆめみ野地区に新規交付
- ・コミュニティ助成事業補助金（台宿町内会、下萱場町内会）

[担当：市民協働課] P. 78

2201 市民活動支援に要する経費 4,056,000 円 (4,552,000 円)

[その他 116,000 円 一財 3,940,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：コピー手数料 24,000 円]

[諸収入：印刷機使用料 92,000 円]

○ 目的

市民の自主的な社会貢献活動を促進するために、市民活動支援センターを拠点として相談業務や情報の収集・発信、活動場所の提供を行うとともに、市民活動に参加している方や興味のある方に、今後の活動に役立つ知識を学ぶ講座や講演会を開催し、市民の自主的な社会貢献活動を促進するための支援を行う。

また、市民との協働と住みよいまちづくりを推進するために、市が管理する公共施設等の里親制度登録団体に対して支援を行う。

○ 内容

- ・市民活動支援の講座及び講演会の開催
- ・市民活動団体の活動場所と情報の提供
- ・市民活動支援センターの管理運営
- ・里親登録団体への物品提供

[担当：市民協働課] P. 78

2301 地区集会所整備に要する経費 8,780,000 円 (2,427,000 円)

[一財 8,780,000 円]

○ 目的

自治会・町内会が自主的に行う地域集会所の新築・修繕等に要する経費の一部を補助し、地域コミュニティ活動を側面から支援する。

○ 内容

- ・集会所建設事業補助金（1ヶ所）

- ・集会所整備事業補助金（5ヶ所）
- ・集会所維持事業補助金（4ヶ所）

（単位：円）

	事業名	集会所名	事業概要	補助金交付額
1	建設事業	駒場団地集会所	改築工事	7,140,000
2	整備事業	駒場団地集会所	外構工事	382,000
3	整備事業	市之代集会所	外壁塗装、屋根・雨戸修繕	275,000
4	整備事業	平野集会所	外壁補修、雨戸交換	257,000
5	整備事業	小浮気公民館	外壁塗装工事、ドア交換	498,000
6	整備事業	新田公会堂（小文間）	玄関廊下修理	68,000
7	維持事業	永山会館	私有地に建設されている集会所の土地賃借料に要する経費	60,000
8	維持事業	酒詰生活改善集会所	私有地に建設されている集会所の土地賃借料に要する経費	25,000
9	維持事業	大日堂集会所（山王）	私有地に建設されている集会所の土地賃借料に要する経費	15,000
10	維持事業	戸頭団地賃貸住宅集会所	集会所の家賃に要する経費	60,000
	計			8,780,000

【担当：市民協働課】 P. 79

2401 市民活動支援センター移転に要する経費 10,662,000円（新規）

【地方債 6,300,000円 その他 2,700,000円 一財 1,662,000円】

\* 特財積算根拠

【市債：公共施設等除却債 7,000,000円×90%=6,300,000円】

【繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,700,000円】

○ 目的

開設以来、市民の自発的な社会貢献活動を支援する拠点として利用されてきた市民活動支援センターは、建物の老朽化や駐車場の不足、バリアフリー未対応といった諸問題を抱えており、現在地での改修や改築は費用面や建物構造等により困難となっている。今回、移転先調整の目途が付き、可能な限り利用者への負担が少ない近傍の藤代庁舎1階に移転することで、老朽化への対応や駐車場問題の改善、バリアフリー化された環境を確保する。

○ 内容

- ・藤代庁舎移転先整備工事（空調、電気等） 3,000,000円
- ・       "       ネットワーク配線工事       73,000円
- ・       "       ブラインド修繕       189,000円
- ・旧センター解体工事       7,000,000円
- ・引越業務委託料       200,000円
- ・移転に伴う各種消耗品費       200,000円

## 1 総務管理費 11 災害対策費

[担当：安全安心対策課] P. 79

2101 防災訓練に要する経費 836,000 円 (5,162,000 円)

[一財 836,000 円]

### ○ 目的

取手市地域防災計画に基づき、防災関係機関や民間企業及び市民の協力・参加を得て総合的な防災訓練を行い災害発生時における防災対策の習熟と防災関係機関相互の協力連帯体制の強化、並びに市民の防災意識の高揚を図り、災害時における対応力を向上させる。

### ○ 内容

#### ・総合防災訓練

職員非常参集、災害対策本部設置、災害情報収集・報告、住民避難誘導、負傷者の救出救護等の訓練の実施

[担当：安全安心対策課・排水対策課] P. 80

2201 災害対策に要する経費 32,467,000 円 (31,675,000 円)

[その他 1,200,000 円 一財 31,267,000 円]

### \* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,200,000 円]

### ○ 目的

災害時に備えての準備及び発生時の応急処理を行う。

### ○ 内容

- ・災害時の備えとして、食糧品（アルファ米）、保存水、毛布を購入する。
- ・避難所の備品の整備を図るため、プライベート空間となる間仕切りを購入する。
- ・台風やゲリラ豪雨等、集中降雨の際の緊急的な冠水対策のため排水ポンプを設置する。
- ・災害時優先携帯電話にて情報通信手段を確保し、情報通信ネットワークの整備を図る。
- ・利根川水系県南水防組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合との連携による水防対策の充実を図る。

備品購入費 1,331,000 円

- ・災害時は迅速な飲料水確保が必要であり、速やかな応急給水ができる緊急用給水タンク(1t)を購入する。

[担当：安全安心対策課] P. 81

2301 防災施設等の整備に要する経費 11,794,000 円 (7,074,000 円)

[その他 1,500,000 円 一財 10,294,000 円]

### \* 特財積算根拠

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,500,000 円]

### ○ 目的

災害時における災害情報収集、災害情報の伝達を迅速・正確に行うため機器等の整備を推進する。

○ 内容

- ・防災機器に関する消耗品、修繕料、その他諸経費
- ・防災行政無線及び全国瞬時警報システムの保守点検

[担当：安全安心対策課] P. 81

2401 自主防災組織に要する経費 9,316,000 円 (9,155,000 円)

[一財 9,316,000 円]

○ 目的

市民の防災意識と地域防災力の向上を図り、災害時の被害の軽減を図る。

○ 内容

- ・災害時優先携帯電話 1,665,360 円
- ・防災士育成事業補助金 800,000 円
- ・自主防災組織運営補助金 6,249,750 円
- ・自主防災組織資機材補助金 600,000 円

[担当：社会福祉課] P. 82

2506 平成 23 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震に伴う応急処理経費 3,201,000 円  
(3,276,000 円)

[国・県 701,000 円 地方債 2,500,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：被災住宅復興支援事業補助金 701,000 円]

[市債：災害援護資金貸付債 2,500,000 円]

○ 目的

災害救助法が適用された区域内において、東日本大震災の被害からの生活の立て直しのための資金の貸付け、住宅の補修費用を金融機関等から借り入れた場合の利子を補助することで生活再建の負担軽減を図る。

○ 内容

- 1 東日本大震災で住居等が被災した市民が、民間金融機関等から借入れ（補助対象借入上限額、家屋補修等 640 万円、土地改良 390 万円）をして、住宅の補修等を行う場合、利子の 1%（借入利子が 1%以内の場合、実質借入利子分）を補助し、負担軽減を図る。
  - ・継続（13 件）・新規分（2 件） 701,000 円
- 2 東日本大震災被災者で、住居等が半壊以上の被災を受けた市民に、生活立て直しのための資金を貸し付ける。据置期間 6 年、償還期間 13 年（据置期間を含む）利率 1.5%（保証人がいる場合は無利子）。
  - ・住宅の半壊（1 件） 2,500,000 円

[担当：社会福祉課] P. 82

2507 平成 23 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震に伴う避難者支援経費 8,110,000 円  
(16,924,000 円)

[国・県 6,817,000 円 一財 1,293,000 円]

＊ 特財積算根拠

[県負：東日本大震災に係る災害救助費負担金 6,817,000 円]

○ 目的

東日本大震災により、住居が全壊、流失又は原発事故による避難者に対して、市が民間住宅を借上げ、応急仮設住宅として貸与していたが、平成 29 年 3 月末をもって自主避難者への応急仮設住宅の貸与が制度上終了したことにより、帰宅困難区域からの避難者 12 世帯に住宅の貸与を継続する。

○ 内容

避難者対応応急住宅借上げに伴う家賃及び共益費並びに必要な経費

- ・実避難世帯（12 世帯分） 7,760,400 円
- ・平成 29 年度契約更新事務手数料（12 世帯分） 349,218 円

[担当：下表のとおり] P. 82

2510 平成 23 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震に伴う放射線対策経費 5,546,000 円  
(5,631,000 円)

[一財 5,546,000 円]

(単位：円)

事業項目	担当課	目的・内容	事業費
市有地草枝処分委託	管財課	市有地の維持管理に伴い発生した枝葉等の処分を業者に委託する。	98,000
保育所給食食材残留放射線検査	子育て支援課	給食の安全・安心を確保することを目的とし、児童に提供する給食食材の安全性を確認するため、市内保育所の給食食材の放射性物質検査を実施する。	146,000
米の放射能検査結果通知郵送料	農政課	平成 29 年産米の出荷制限が解除された際に米の放射能検査結果を市内全農家に通知するための郵送料。	152,000
公園草枝処分委託	水とみどりの課	公園の維持管理にて発生した枝葉の処分が、放射性物質の影響により常総環境センターにおいて処分ができなくなったため、処分を業者に委託する。	5,000,000
小中学校給食食材残留放射線検査	学務給食課	給食の安全・安心を確保することを目的とし、児童・生徒に提供する給食食材の安全性を確認するため、市内小中学校の給食食材の放射性物質検査を実施する。	150,000

1 総務管理費 12 国民保護対策費

[担当：安全安心対策課] P. 83

2001 国民保護対策に要する経費 99,000 円 (99,000 円)

[一財 99,000 円]

○ 目的

国民保護法に基づき取手市国民保護協議会を設置し、国民(取手市民)の保護のための措置に関する施策を総合的に推進する。

○ 内容

国民保護協議会委員の報酬及び旅費

## 1 総務管理費 13 男女共同参画推進費

[担当：市民協働課] P. 83

### 1001 男女共同参画審議会に要する経費 89,000 円 (267,000 円)

[一財 89,000 円]

○ 目的

本市における男女共同参画社会推進のための市長の諮問に応じ調査審議するほか、市長に建議する。

○ 内容

委員 7 名の報酬 委員長 6,700 円×1 人×2 回、委員 6,300 円×6 人×2 回

[担当：市民協働課] P. 83

### 2001 男女共同参画社会の推進に要する経費 1,688,000 円 (1,762,000 円)

[その他 11,000 円 一財 1,677,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：第三次取手市男女共同参画計画書売却代 11,000 円]

○ 目的

家庭、職場、地域などあらゆる分野において男性と女性がお互いの人権を尊重し個性と能力を十分に生かしきれぬ男女共同参画社会をめざし、意識の啓発と環境の整備、政策方針決定の場への女性の参画促進のための施策を、市、市民及び事業者が実施する。

○ 内容

[意識の改革事業]

- ・男女共同参画情報紙の発行、折込み、編集員謝礼 757,000 円
- ・研修等参加旅費 8,000 円
- ・男女共同参画誌購読料 5,000 円

[啓発・人材育成事業]

- ・男女共同参画地域推進委託料（男女共同参画に熱意のある市民が実行委員会を組織し、講演会事業などを実施する） 300,000 円

[相談事業]

- ・男女共同参画苦情処理員報酬 7,000 円

（市が実施する男女共同参画に関する施策等についての意見・苦情の申し出に対応する）

[計画周知事業]

平成 29 年度は第三次取手市男女共同参画計画の初年度となることから、計画書及び概要版を印刷し、広く周知する。また、若い世代への啓発を兼ねて、中学生を対象に男女共同参画に関する標語を募集する。最優秀賞の標語は懸垂幕にし、男女共同参画推進月

間に掲揚する。

・標語優秀者記念品	7,000 円
・標語懸垂幕	50,000 円
・計画書印刷代 (200 部)	441,000 円
・概要版印刷代 (500 部)	113,000 円

## 1 総務管理費 15 諸費

[担当：総務課] P. 84

### 2001 非核平和推進関係経費 108,000 円 (128,000 円)

[その他 108,000 円]

\* 特財積算根拠

[財産収入：平和基金利子 1,000 円]

[寄附金：平和基金寄附金 100,000 円]

[諸収入：戦争体験記売却代 6,000 円]

[諸収入：送料個人負担分 1,000 円]

○ 目的

非核兵器平和都市宣言都市として、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを後世に伝えると共に、平和の尊さを広く啓発する。

○ 内容

(1) 通信運搬費 5,000 円 原爆パネル借用のための送料

(2) 平和基金積立金 103,000 円

募金箱を市内金融機関等 28 ヶ所に設置し、募金活動を行う。

[担当：総務課] P. 85

### 2101 地域改善対策に要する経費 1,069,000 円 (1,069,000 円)

[一財 1,069,000 円]

○ 目的

人権・同和問題の正しい理解と認識を深め、差別の解消を図る。

○ 内容

(1) 茨城県地域人権運動連合会取手支部への補助金 100,000 円

(2) 全日本同和会茨城県連合会取手支部への補助金 583,000 円

(3) 人権・同和問題研修会等への参加経費 交通費・宿泊費 77,200 円、資料代 205,000 円

(4) 機関紙購読料 102,048 円

[担当：政策推進課] P. 85

### 2701 常総地方広域市町村圏事務組合負担金 1,143,792,000 円 (1,096,955,000 円)

[一財 1,143,792,000 円]

○ 目的

近隣自治体において、広域的に共同で処理することで、より効率化できる業務を一部事務組合で行っている。常総地方広域市町村圏事務組合を組織し、下記の業務について、4 市

(取手市・常総市・守谷市・つくばみらい市) で共同処理するものである。

○ 内容

共同処理している業務

- ・ごみ処理に関する業務
- ・総合運動公園に関する業務
- ・地域交流センターに関する業務
- ・障害者支援施設に関する業務
- ・総合防災センターに関する業務
- ・職員の共同研修に関する業務

## 2 徴税費 2 賦課徴収費

[担当：課税課] P. 88

0501 市民税等賦課に要する経費 31,764,000 円 (28,476,000 円)

[その他 30,000 円 一財 31,734,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：課税証明書 10,000 円]

[諸収入：ナンバー弁償金 1,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 19,000 円]

○ 目的

申告方法の多様化による利便性の向上と申告会場の混雑緩和による市民サービスの向上を図り、もって安定的な財源の確保を目的とする。

○ 内容

・申告受付業務委託料 5,745,000 円

申告データ入力・申告書作成補助者を派遣会社に委託することにより、監督者及び総合案内を増員し、申告者を類型化してあらかじめ必要な書類の作成を指導し、データ入力や申告書作成の効率化を図ることで、申告者の待ち時間を短縮する。

[担当：納税課] P. 89

0701 徴収事務に要する経費 37,396,000 円 (32,010,000 円)

[その他 3,200,000 円 一財 34,196,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：市税督促手数料 3,200,000 円]

(1) 市税のコンビニ収納に要する経費 4,372,000 円

○ 目的

納税の利便性の向上と安定的な税収の確保を図る。

○ 内容

市県民税、固定資産税、軽自動車税を、コンビニエンスストアの店舗（一部を除く）から納付できる。納期限を過ぎた場合も、コンビニ用納付書を再発行することで納付可能となる。

(2) クレジットカード収納に要する経費 983,000 円

○ 目的

納税の利便性の向上と安定的な税収の確保を図る。

○ 内容

市県民税、固定資産税、軽自動車税を、パソコン・スマートフォンを利用して、クレジットカード（ビザ、マスター、JCB、アメリカン・エクスプレス、ダイナース）で納付することができる。

(3) 公金収納情報データ処理委託に要する経費 7,123,000 円

○ 目的

収納率向上のため、納税者からの照会等に対する迅速化及び収納管理事務の効率化を図る。

○ 内容

市税の収納処理について、金融機関等の窓口で収納された領収済通知書（紙ベース）を、OCR 読み込み・パンチ入力処理によって電子データに変換し、「消込み用データ」として受け取り事務処理を行う。

(4) 茨城租税債権管理機構負担金 16,999,000 円

○ 目的

滞納者及び収入未済額の縮減を図り、収納率の向上に努める。

○ 内容

市において、徴収困難な滞納事案を積極的に移管する。

**[担当：課税課] P. 90**

**2001 資産評価システムに要する経費 23,580,000 円 (44,305,000 円)**

[一財 23,580,000 円]

○ 目的

固定資産の課税客体をより正確に把握することにより、課税内容の適正化、均衡化を図る。また、誤課税を防ぐために登記簿照合等の業務を行うもの。

○ 内容

固定資産評価課税事務に利用している地図情報システムのデータを利用して、分筆や合筆等の土地の異動に伴う画地データを更新している。さらに、鉄軌道用地評価額算出業務、住宅用地検証図業務、家屋異動判読調査業務を追加し、誤課税防止を図り適正な課税業務を行えるようにするものである。また、航空写真の活用により評価対象となる土地及び家屋の利用状況を把握し、現況確認業務をもとに適正な評価と課税を行う。

- ・ 固定資産評価システム業務委託料 18,630,000 円
- ・ 固定資産評価用航空写真撮影業務委託料 4,191,000 円
- ・ 土地評価システム用パソコン等使用料 759,000 円

**[担当：課税課] P. 90**

**2101 不動産評価鑑定に要する経費 1,762,000 円 (25,744,000 円)**

[一財 1,762,000 円]

○ 目的

固定資産税の賦課時における、適正な評価額を得る。

○ 内容

平成 28 年度から、平成 30 年度基準年度の評価替に伴う固定資産土地の正確な把握と適正な評価のため、標準宅地の本鑑定及び下落率修正算定において、それぞれ 570 地点の 3 か年分（平成 29 年度～平成 31 年度）を同一の不動産鑑定士に委託するもので、今年度においては平成 29 年 7 月 1 日時点での下落率算定鑑定業務を行う。

### 3 戸籍住民基本台帳費 1 戸籍住民基本台帳費

[担当：市民課] P. 91

0501 戸籍・住民基本台帳事務に要する経費 25,346,000 円 (25,631,000 円)

[国・県 1,487,000 円 その他 23,859,000 円]

\* 特財積算根拠

[国委：中長期在留者住居地届出等事務委託金 1,388,000 円]

[国委：日雇健康保険事務委託金 3,000 円]

[県委：人口動態調査事務委託金 96,000 円]

[手数料：総務手数料 7,890,000 円]

[手数料：戸籍住民登録手数料 15,949,000 円]

[諸収入：日雇健康保険事務委託金 20,000 円]

○ 目的

戸籍・住民基本台帳関係の届出及び各種証明書の交付について、戸籍システムのリースにより、事務処理の正確性や迅速性をさらに高め、また 4 箇所の出先機関との連携により市民サービスの向上を図る。

○ 内容

- ・戸籍総合システムの機器一式及びソフトに要する経費
- ・住民基本台帳ネットワークシステムのリースに要する経費
- ・記載事項証明の編集発行や山王郵便局での住民票等の交付に必要な窓口証明発行機をリースする経費

<戸籍・住民票等の手数料件数>

(1)総務手数料 10,454,000 円

種 別	単 価 (円)	件 数	合 計 (円)
印 鑑 登 録	300	3,900	1,170,000
印 鑑 登 録 証 明 ( 窓 口 交 付 分 )	300	20,800	6,240,000
印 鑑 登 録 証 明 ( 自 動 交 付 機 分 )	200	10,000	2,000,000
印 鑑 登 録 証 明 ( コ ン ビ ニ 交 付 分 )	200	1,200	240,000
仮 ナ ン バ ー	750	600	450,000
そ の 他 の 証 明	300	100	30,000

個人番号カード	800	30	24,000
通知カード	500	600	300,000

(2)戸籍住民登録手数料 27,471,300円

種 別	単 価 (円)	件 数	合 計 (円)
戸 籍 謄 本	450	12,000	5,400,000
戸 籍 抄 本	450	3,600	1,620,000
除 原 謄 抄 本	750	6,000	4,500,000
受 理 証 明 書 他	350	300	105,000
	1,400	2	2,800
戸籍記載事項証明	350	30	10,500
住 民 票 の 写 し ( 窓 口 交 付 分 )	300	43,770	13,131,000
住 民 票 の 写 し ( 自 動 交 付 機 分 )	200	5,500	1,100,000
住 民 票 の 写 し ( コ ン ビ ニ 交 付 分 )	200	1,200	240,000
住 民 票 の 写 し ( 広 域 住 民 票 )	300	40	12,000
住 基 関 覧	4,000	30	120,000
戸 籍 附 票	300	1,400	420,000
住基記載事項証明	300	1,700	510,000
身 分 証 明	300	1,000	300,000

[担当：取手支所] P.92

0601 支所事務に要する経費 6,719,000円 (6,804,000円)

[その他 15,000円 一財 6,704,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：雇用保険料本人負担分 15,000円]

○ 目的

市内東部及び取手駅周辺等の住民を対象に戸籍・住基関係の届出、住民票・印鑑証明書等各種証明書の交付、国民健康保険・国民年金の資格得喪届、児童手当・医療福祉費等支給申請、各種税・手数料等の収納その他、広範な窓口業務を取り扱っている。また、市の行事や観光・地理の案内等も行い、地域住民の利便に供している。

市内西部においては、戸頭公民館内に戸頭窓口を設置し、戸籍謄抄本、住民票、印鑑証明及び各種税証明等の発行業務を行い、市民サービスの向上を図っている。

○ 内容

- ・ 一般職非常勤報酬
- ・ オンライン端末機使用料
- ・ 保守点検委託料

[担当：取手支所] P. 93

0701 取手駅前窓口事務に要する経費 9,804,000円(9,688,000円)

[一財 9,804,000円]

○ 目的

取手駅利用の通勤・通学者の方々の利便向上を目指し、業務時間を午前10時から午後7時までとし、土・日・祝日においても業務を行う。毎月第3水曜日及び年末年始の定休日を除き、戸籍謄抄本、住民票及び印鑑証明書等各種証明書の交付並びに各種税及び手数料の収納並びに図書の出借業務も行っている。

取手駅前窓口は、平成29年3月1日から新たにリボンとりでビル3階へ移転し、今後も、多様化する市民のニーズやライフスタイルに対応するとともに、なお一層の市民サービスの向上を図る。

○ 内容

- ・ 一般職非常勤報酬
- ・ 機械警備委託料
- ・ 駅前窓口借上料
- ・ 駅前窓口利用者用駐車場借上料
- ・ 光熱水費
- ・ 公用車リース料

[担当：市民課] P. 94

2001 自動交付機に要する経費 4,629,000円(7,069,000円)

[その他 3,100,000円 一財 1,529,000円]

\* 特財積算根拠

[手数料：総務手数料 2,000,000円]

[手数料：戸籍住民登録手数料 1,100,000円]

○ 目的

本庁舎及び藤代庁舎に設置している2台の自動交付機により、市民の多様なニーズやライフスタイルに対応するため、閉庁後や土・日曜日でも住民票の写しや印鑑登録証明の交付が受けられるようにするとともに、手続きの簡素化による窓口の混雑緩和を図る。

○ 内容

- |         |                              |
|---------|------------------------------|
| 設置場所    | ・ 取手市役所本庁舎玄関ホール内及び藤代庁舎玄関ホール内 |
| 稼働日及び時間 | ・ 平日 午前8時30分～午後7時            |
|         | ・ 土日 午前8時30分～午後5時            |
| 稼働休止日   | ・ 祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)      |
|         | ・ 振替休日及び国民の休日                |

[担当：市民課] P. 94

2101 郵便局による諸証明発行に要する経費 442,000円(442,000円)

[その他 442,000円]

\* 特財積算根拠

[手数料：戸籍住民登録手数料 442,000円]

○ 目的

「地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律」に基づき、山王支

所の廃止の代替施設として平成 15 年 12 月に藤代山王郵便局において各種証明書の発行業務を実施している。

○ 内容

1. 以下の請求の受付及び交付事務（本人請求に係わるもの）

- ・ 戸籍の謄本・抄本（除籍も含む）
- ・ 納税証明及び所得証明
- ・ 住民票の写し
- ・ 戸籍附票の写し
- ・ 印鑑登録証明

2. 取扱日及び時間

土・日曜日・祝日及び 12/29～1/3 を除く日の午前 9 時から午後 4 時まで

3. 主な経費の内訳

郵便局での申請・交付業務に必要な窓口証明発行機をリースする経費、窓口証明発行機の保守点検委託料、郵便局の取扱手数料及び電話回線使用料などである。

[担当：市民課] P. 94

**2201 個人番号事務に要する経費 36,236,000 円 (25,252,000 円)**

[国・県 24,829,000 円 その他 368,000 円 一財 11,039,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：個人番号カード交付事業費補助金 20,697,000 円]

[国補：個人番号カード交付事務費補助金 4,132,000 円]

[手数料：総務手数料 324,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 44,000 円]

○ 目的

各機関において分散管理されている個人情報をつなぐ役目と、国や地方公共団体等における情報連携等のメリットのために、平成 27 年 10 月 5 日から個人番号（マイナンバー）制度が実施され、それに伴う個人番号カードの作成業務等を地方公共団体情報システム機構（以下 J-LIS）に一括業務委託し、市民課・藤代窓口において個人番号カードの交付事務等を行う。

○ 内容

- ・ 個人番号カード発行業務に伴う地方公共団体情報システム機構（J-LIS）への関連事務委任交付金
- ・ 個人番号カード発行業務に伴う一般職非常勤職員の報酬等
- ・ 個人番号カード交付時に使用する顔認証用機器の使用料
- ・ 個人番号カードプリンター使用料

[担当：市民課] P. 95

**2401 旅券事務に要する経費 4,083,000 円 (4,081,000 円)**

[その他 14,000 円 一財 4,069,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：雇用保険料本人負担分 14,000 円]

○ 目的

旅券（パスポート）事務が県から市町村に権限委譲となり業務を行なっている。月曜日か

ら金曜日に申請及び交付業務を行い、さらに旅券の交付は本人交付の原則から、日曜日の午前中も交付業務を行うことで市民サービスの向上を図る。

○ 内容

旅券(パスポート)の申請受付、審査及び交付事務を行う。

窓口開設日時：月曜から金曜日 午前9時から午後4時45分まで

日曜日(交付のみ) 午前9時から正午まで

[担当：市民課] P. 96

2501 コンビニ交付に要する経費 2,976,000円(9,534,000円)

[その他 480,000円 一財 2,496,000円]

\* 特財積算根拠

[手数料：総務手数料 240,000円]

[手数料：戸籍住民登録手数料 240,000円]

○ 目的

平成27年10月から個人番号(マイナンバー)制度が開始されたことに伴い、申請者に個人番号カード(マイナンバーカード)の交付が開始された。平成28年7月より個人番号カードを持っていれば、特段の手続きなしで、全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、セイコーマートで、住民票、印鑑証明等の発行が可能となった。発行可能時間も土日祝日含む(12月29日から1月3日を除く)すべての日の午前6時30分から午後11時まで発行可能となり、利便性が向上するとともに窓口待ち時間の縮減や窓口業務の軽減が図れる。

○ 内容

- ・ コンビニ交付に伴う地方公共団体情報システム機構(J-LIS)への手数料
- ・ コンビニ交付に伴う地方公共団体情報システム機構(J-LIS)への運営負担金

### 3 戸籍住民基本台帳費 2 住居表示費

[担当：市民課] P. 96

2001 住居表示に要する経費 60,000円(691,000円)

[一財 60,000円]

○ 目的

住居表示区域に係る町名、街区及び住居番号の表示並びに住居表示台帳の維持管理

○ 内容

- ・ 住居表示区域内における建物の新築(新設)及び増改築に係る住居番号の設定並びに住居表示台帳の更新

#### 4 選挙費 1 選挙管理委員会費

[担当：総務課] P. 97

0501 選挙管理委員会に要する経費 503,000 円 (464,000 円)

[国・県 22,000 円 一財 481,000 円]

\* 特財積算根拠

[国委：在外選挙委託金 22,000 円]

○ 目的

選挙管理委員会事務の公正・適正な執行を図る。

○ 内容

- |   |           |
|---|-----------|
| (1) 選挙管理委員会開催経費                         | 342,000 円 |
| 開催に伴う委員報酬(10 回分 委員長報酬@9,000 委員報酬@8,400) |           |
| (2) 選挙関係書誌購読料及び参考図書を購入                  | 15,468 円  |
| (3) 選挙啓発ポスターコンクール応募者記念品                 | 22,500 円  |
| (4) 全国市区選挙管理委員会連合会分担金                   | 38,000 円  |
| (5) 全国市区選挙管理委員会連合会関東支部分担金               | 13,500 円  |

#### 4 選挙費 2 諸選挙費

[担当：総務課] P. 98

3001 茨城県知事選挙に要する経費 43,090,000 円 (0 円)

[国・県 43,090,000 円]

\* 特財積算根拠

[県委：茨城県知事選挙費委託金 43,090,000 円]

○ 目的

茨城県知事選挙の執行。

○ 内容

茨城県知事選挙に要する経費である。

平成 29 年 9 月 25 日の任期満了により執行される予定である。

#### 5 統計調査費 1 統計調査総務費

[担当：政策推進課] P. 100

0501 統計事務に要する経費 160,000 円 (161,000 円)

[その他 3,000 円 一財 157,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：統計とりで売却代 1,000 円]

[諸収入：県民手帳頒布手数料 2,000 円]

○ 目的

情報化社会における統計の重要性を深く認識し、統計教育の推進と、統計思想の普及向上を図る。

○ 内容

(1) 統計グラフコンクールの実施

(2) 県統計協会への参画

**5 統計調査費 2 諸統計調査費**

[担当：政策推進課] P.102

**3601 就業構造基本調査に要する経費 1,674,000 円 (0 円)**

[国・県 1,674,000 円]

\* 特財積算根拠

[県委：就業構造基本調査 1,674,000 円]

○ 目的

国民の就業・不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、5年ごとに実施している統計調査である。

○ 内容

(1) 期日 平成 29 年 10 月 1 日

(2) 指導員数 4 名、調査員数 27 名

### 3 民生費

#### 1 社会福祉費 1 社会福祉総務費

[担当：社会福祉課] P. 106

2001 社会福祉協議会助成に要する経費 125,026,000 円 (124,386,000 円)

[一財 125,026,000 円]

○ 目的

社会福祉協議会の特性を活かし、市民の地域福祉に関する活動の推進を図る。

○ 内容

・社会福祉協議会運営費補助金	125,026,000 円
取手市社会福祉協議会本所運営経費	77,228,000 円
藤代支所運営経費	20,263,000 円
在宅福祉サービス運営事業	706,000 円
ヘルパーステーション運営事業	18,534,000 円
ボランティア支援センター運営事業	814,000 円
成年後見事業	7,481,000 円

[担当：社会福祉課] P. 106

2201 民生委員に要する経費 17,612,000 円 (17,612,000 円)

[国・県 25,000 円 一財 17,587,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：民生委員推薦会交付金 25,000 円]

○ 目的

民生委員・児童委員の活動について、必要な支援を行う。

○ 内容

民生委員児童委員 187 人 (内、主任児童委員 15 人)

取手市民生委員児童委員協議会に対する助成 @93,300 円×187 人=17,447,100 円

[担当：社会福祉課] P. 106

2301 行旅死病人取扱いに要する経費 1,423,000 円 (1,423,000 円)

[国・県 1,233,000 円 一財 190,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：行旅病人及び行旅死亡人取扱費補助金 1,233,000 円]

○ 目的

行旅病人の援護及び行旅死亡人の死体の収容、埋葬等を行う。

○ 内容

行旅死亡人 (3 体分) 及び墓地埋葬法第 9 条対応死亡人 (3 体分) に係る諸費用	@200,400 円×6 体=1,202,400 円
墓地埋葬法第 9 条死体火葬料 (3 体分)	@ 10,000 円×3 体= 30,000 円
無縁墓地管理経費	189,108 円

[担当：社会福祉課] P. 107

2401 遺族等の援護に要する経費 538,000 円 (12,000 円)

[一財 538,000 円]

○ 目的

戦傷病者戦没者遺族等援護法により、戦没者遺族、戦傷病者、旧軍人等に対し、各種の援護をする。

○ 内容

戦没者追悼式に係る諸経費 526,000 円 (2年に1度開催し、今年度がその年にあたる。) 会場設営菊花代、案内状郵送代、バス借上料等

[担当：社会福祉課] P. 107

2501 更生保護に要する経費 756,000 円 (778,000 円)

[一財 756,000 円]

○ 目的

社会奉仕の精神の下、罪を犯した人たちの更生や犯罪のない社会形成の啓発に努め、地域社会の浄化を図り、個人及び公共の福祉に寄与する。

○ 内容

- ・ 取手地区保護司会負担金 276,600 円
- ・ 県更生保護協会負担金 80,533 円
- ・ 更生保護女性会補助金 98,000 円
- ・ 取手地区保護司会取手支部補助金 300,000 円

[担当：社会福祉課] P. 108

2901 中国残留邦人支援事業に要する経費 9,173,000 円 (8,343,000 円)

[国・県 6,681,000 円 一財 2,492,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：中国残留邦人支援費負担金 6,669,000 円]

[国委：遺族及び留守家族等援護事務委託金 12,000 円]

○ 目的

中国残留邦人等の置かれている特別な事情を鑑み、老後の生活の安定、地域でのいきいきとした暮らしを支援する。

○ 内容

- ・ 支援・相談員の派遣 12,000 円

中国残留邦人等が安心して生活を送れるよう、求めに応じて必要な助言等を行うため、支援・相談員を派遣する。

- ・ 支援給付金の給付 8,892,000 円

永住帰国した中国残留邦人等のうち、満額の老齢基礎年金を受給してもなお生活の安定が十分に図れない人に対し、老齢基礎年金制度による対応を補完する支援給付を行う。給付の種類には、生活支援給付・住宅支援給付・医療支援給付・介護支援給付等がある。国負担率 3/4

[担当：障害福祉課] P. 108

3101 特定疾病療養者見舞金支給に要する経費 16,024,000円 (15,044,000円)

[一財 16,024,000円]

○ 目的

見舞金を支給することにより療養者本人・家族の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

原因が不明で治療方法が未確立なため、その治療期間が長期にわたるもので、茨城県の医療費公費負担制度適用疾病（平成27年7月から適用疾病が306種類に増えた。）の療養者で、継続的に入院・通院している方を対象に見舞金（年額20,000円）を支給する。

・消耗品費 4,000円      ・扶助費 @20,000×801人=16,020,000円

[担当：健康づくり推進課] P. 108

3401 健康づくり推進事業に要する経費 11,680,000円 (5,989,000円)

[その他 6,021,000円 一財 5,659,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,400,000円]

[諸収入：健康づくりキャラクターポロシャツ売却代 600,000円]

[諸収入：食育料理イベント個人負担金 21,000円]

○ 目的

取手市の健康づくりを進めるためにイベントや講演会を実施する。また、健康づくり施策の方向性を明確に発信するとともに、健康づくり推進のための具体策を企画立案し、関係部署と連携して実施することを目的とする。

○ 内容

・講師謝礼 250,000円

健康づくり、幸せづくりの推進を図るための講師謝礼。

・食育かるた大会賞品代 18,000円

とりで食育かるた大会の賞品代。

・旅費 457,000円

先進地視察、スマートウエルネスシティ首長研究会への随員、健康づくり施策研修への参加等。

・消耗品費 1,211,000円

健康づくり促進配布グッズ等を製作する。また、健康づくりキャラクターを用いたポロシャツを作成し、市民に販売する。健康づくりメニュー啓発用ののぼり旗を作成する。

・印刷製本費 1,127,000円

食育推進を図るため食育カレンダーを作成し、小中学校や公共施設に配布する。また、健康づくりメニュー案内チラシを作成し、市民に健康づくりメニューの普及を図る。

・健康づくり講演会委託料 756,000円

健康づくりを進めるための講演会開催委託料。

- ・食育推進事業委託料 1,500,000 円  
市内飲食店において健康づくりメニューを作成するための、メニュー監修業務委託料。
- ・ヘルスロード案内看板設置委託料 3,332,000 円  
ヘルスロードのコース案内の看板設置委託料。
- ・有料道路通行料 10,000 円  
先進地視察の際の有料道路通行料。
- ・自動血圧計一式 2,682,000 円  
各公民館（13 館）に自動血圧計を設置するための備品購入費。
- ・負担金 328,000 円  
ウエルネスマネジメント研修会の 1 名分の負担金。

[担当：健康づくり推進課] P. 109

4201 ウェルネスプラザ管理運営に要する経費 134,784,000 円（134,742,000 円）

[一財 134,784,000 円]

○ 目的

本市の市民交流支援・健康づくり支援・子育て支援施策を展開する中核的施設として、取手ウェルネスプラザ及び取手ウェルネスパークの管理運営を行い、市民の健康づくり施策の推進と持続可能な中心市街地の活性化を図る。

○ 内容

- ・火災保険料 59,000 円  
取手ウェルネスプラザ及びウェルネスステージに係る火災保険料。
- ・ウェルネスプラザ指定管理料 131,706,000 円  
取手ウェルネスプラザ及び取手ウェルネスパークの指定管理料。
- ・CC-Sprint 動作可視化/分析システム保守点検 42,000 円  
CC-Sprint 動作可視化/分析システムの定期点検料。
- ・トレーニングマシン使用料 817,000 円  
健康運動教室に使用する e-wellness システム用エアロバイク使用料。
- ・土地借上料 2,160,000 円  
取手ウェルネスプラザ第 3 駐車場の土地借上料。

[担当：社会福祉課] P. 110

4301 生活困窮者自立相談支援事業に要する経費 21,420,000 円（20,267,000 円）

[国・県 13,875,000 円 一財 7,545,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：生活困窮者自立相談支援費負担金 13,875,000 円]

○ 目的

平成 25 年 12 月に成立した生活困窮者自立支援法に基づき、様々な問題を抱え経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが出来なくなる恐れのある、生活困窮者を早期に把握し、生活保護に至る前の段階から支援を行う。国負担率 3/4（人口規模等により国庫負担に上限額がある）。

○ 内容

地域の実情に合った支援体制を築き上げることにより、生活困窮状態から早期自立を支援する「生活困窮者自立支援制度」のうち、必須事業である自立相談支援事業を委託により行う。

配置人員（主任相談支援員 1 名・相談支援員 1 名・就労支援員 1 名）

委託費内訳

・人件費	19,032,880 円
・事業費	414,000 円
・事務費	438,000 円
・消費税分	1,534,634 円

[担当：社会福祉課] P. 110

4401 生活困窮者住宅確保給付事業に要する経費 638,000 円（1,062,000 円）

[国・県 478,000 円 一財 160,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：生活困窮者住宅確保給付費負担金 638,000 円×3/4≒478,000 円]

○ 目的

本事業は生活困窮者自立支援法に基づき、離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅確保給付金を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。国負担率 3/4

○ 内容

生活困窮者自立相談支援事業のうち必須事業である住宅確保給付金の支給を行う。

賃貸住宅入居者が対象で家賃を原則 3 ヶ月給付する。

給付額	単身世帯	上限 35,400 円
	複数世帯	42,000 円から

[担当：社会福祉課] P. 110

4501 むくもり学習支援事業に要する経費 1,439,000 円（1,514,000 円）

[国・県 719,000 円 一財 720,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：むくもり学習支援事業費補助金 1,439,000 円×1/2≒719,000 円]

○ 目的

本事業は、生活保護世帯や生活困窮状態にある世帯の子どもたちに対し、学習支援や子どもたちの悩み、進学に関する助言等を行い、子どもたちの学習意欲の向上を図る。

○ 内容

「生活困窮者自立支援制度」のうち、任意事業である学習支援事業を委託により行う。

委託費内訳

・講師謝礼(定例)	5,000 円×3 名×47 回=705,000 円
・講師謝礼(臨時)	5,000 円×3 名×10 回=150,000 円
・事務費等	110,000 円

- ・人件費 432,000 円
- ・消費税 42,000 円

## 1 社会福祉費 2 障害者福祉費

[担当：障害福祉課] P. 110

0501 障害福祉事務に要する経費 1,064,000 円 (591,000 円)

[一財 1,064,000 円]

### ○ 目的

障害福祉の業務を円滑に実施する。

### ○ 内容

#### ・報償費

身体障害者相談員は身体障害者のうちから、知的障害者相談員は知的障害者の保護者に委嘱する。

身体障害者相談員謝礼 @20,000×5人=100,000円

知的障害者相談員謝礼 @20,000×2人=40,000円

#### ・消耗品費

窓口用簡易磁気ループ購入費

聴覚障害者用コミュニケーションツール（補聴器の機能を増幅させる装置）を国保年金課の窓口に設置する。

@26,719×1台=26,719円

ヘルプカード用名札ケース

@50×5,000枚×1.08=270,000円

#### ・委託料

職員健康診断委託料 65,000円（B型肝炎検査2人、結核検査2人）

個別相談、家庭訪問など様々な方と接触する機会の多い職員が、B型肝炎及び結核に感染する危険を防止するために予防接種と検査を実施する。

#### ・備品購入費

視覚障害者用拡大読書器 @198,000円×1台=198,000円

#### ・補助金

障害者を支援する団体に団体活動費を補助し、障害者の福祉の増進を図る。

取手市身体障害者福祉協議会補助金 72,000円

取手市重症心身障害児（者）を守る会補助金 28,000円

手話サークル「あゆみ」補助金（一般公募補助対象事業） 60,000円

チャレンジの広場補助金（一般公募補助対象事業） 35,000円

[担当：障害福祉課] P. 111

2001 障害者手帳申請診断書料助成に要する経費 1,455,000 円 (1,334,000 円)

[一財 1,455,000 円]

### ○ 目的

身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付申請のために要した診断書料の一部を助成し、障害者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

診断書料のうち消費税額を除いた額の 1/2 で 5,000 円を上限に助成する。

@2,927 円×497 件=1,454,719 円

[担当：障害福祉課] P.111

2101 重度障害者福祉タクシー利用料金助成に要する経費 5,753,000 円 (6,040,000 円)

[一財 5,753,000 円]

○ 目的

在宅の重度の障害者が医療機関等への往復に要するタクシー及び取手市福祉有償運送の許可を得た団体による移送サービスの利用に係る費用の一部を助成することにより、重度障害者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

自動車税の減免を受けていない重度障害者の医療機関等への往復に要するタクシー利用料金の初乗運賃相当額、移送団体利用の場合は 1 回の利用につき 700 円を助成する。

・慢性透析療法を実施している者 年 60 回限度

・その他の者 年 36 回限度

タクシー利用券印刷代 @500×420 冊×1.08= 226,800 円

タクシー利用料金助成 @728 円×570 枚×12 月=4,979,520 円

移送団体利用料金助成 @700 円× 65 枚×12 月= 546,000 円

[担当：障害福祉課] P.111

2201 重度障害者紙おむつ支給に要する経費 1,309,000 円 (1,379,000 円)

[一財 1,309,000 円]

○ 目的

18 歳以上の在宅の重度障害者に対して紙おむつを支給することにより、障害者及び介護にあたる家族の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

紙おむつ（フラットタイプ、パンツ式テープ止めタイプ、はくパンツタイプ、尿取りパット）4 種類の中から選択。障害者本人が市民税非課税の方を対象に、年 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）支給する。

@10,100 円×30 人×4 回×1.08=1,308,960 円

[担当：障害福祉課] P.112

2401 障害児（者）及び付添人交通費支給に要する経費 4,747,000 円 (4,747,000 円)

[一財 4,747,000 円]

○ 目的

訓練が必要な障害児（者）及び付添人が、障害者福祉施設又は学校等に通うために要する交通費、燃料費の一部を助成し、当該家庭の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

月額 5,000 円を限度に、年 3 回（8 月・12 月・4 月）助成する。

<内訳>

・身体障害者	@24,500円×16人=	392,000円
・精神障害者	@38,500円×92人=	3,542,000円
・知的障害者	@38,000円×19人=	722,000円
・児童療育	@7,000円×13人=	91,000円
・合計		4,747,000円

[担当：障害福祉課] P.112

#### 2701 障害者福祉センターつつじ園管理運営に要する経費

29,475,000円 (33,097,000円)

[国・県 982,000円 その他 2,000,000円 一財 26,493,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：地域生活支援事業補助金 655,000円]

[県補：地域生活支援事業補助金 327,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,000,000円]

○ 目的

在宅の障害者（主に知的障害者対象）の方に就労訓練、生活訓練及び生活介護を提供し、身辺自立・社会参加の促進を図るとともに、宿泊施設を備えることで冠婚葬祭等により介護者が介護できないときの支援（夜間支援）を行う。

また、障害者の地域生活支援促進のために日中の居場所、創作的活動の機会の提供、日常生活の相談支援や地域交流を行う「地域活動支援センター事業」を実施する。

○ 内容

指定管理者制度により運営する障害者福祉施設であり、平成26年度から平成29年度まで取手市社会福祉協議会が運営を行う。

・障害者福祉センターつつじ園指定管理料	26,618,000円
内訳) 障害福祉サービス等	19,932,000円
地域生活支援事業 生活訓練事業(夜間支援)	1,311,000円
" 地域活動支援センター事業	5,375,000円
・火災保険料	17,000円
・空調設備改修工事実施設計業務委託	1,000,000円
旧館は平成8年に建設され空調設備も20年を経過しており、改修工事を行うにあたって実施設計を行う。	
・樹木伐採業務委託料	559,000円
・旧館作業室コーナークッション取付工事	1,281,000円

[担当：障害福祉課] P.112

#### 2801 障害者福祉センターふじしろ管理運営に要する経費

29,390,000円 (4,880,000円)

[地方債 20,700,000円 その他 6,880,000円 一財 1,810,000円]

\* 特財積算根拠

[市債：障害者福祉センターふじしろ施設整備事業債 25,980,000円×80%≒20,700,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,480,000 円]

[諸収入：商工会藤代支所光熱水費使用料 400,000 円]

○ 目的

在宅の障害者（主に知的障害者対象）の方に自立訓練（生活訓練）就労訓練を提供し、自立した日常生活を営むために必要な訓練、就労の機会や生産活動の提供、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行う。

○ 内容

指定管理者制度により運営する障害者福祉施設であり、平成 26 年度から平成 29 年度まで取手市社会福祉協議会が運営を行う。

- ・ 障害者福祉センターふじしろ指定管理料 2,065,000 円
- ・ 火災保険料 16,000 円
- ・ 加圧給水ユニット交換工事 1,329,000 円
- ・ 外壁改修工事設計 980,000 円
- ・ 外壁改修工事 25,000,000 円

障害者福祉センターふじしろが使用している旧藤代保健センターの建物は、築 29 年を経過し老朽化による雨漏り等が発生しているため、外壁の改修工事を行う。

[担当：障害福祉課] P. 113

2901 障害者福祉センターあけぼの管理運営に要する経費

23,114,000 円 (27,241,000 円)

[国・県 2,250,000 円 一財 20,864,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：地域生活支援事業補助金 1,500,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 750,000 円]

○ 目的

在宅の障害者（主に身体障害者対象）の方に生活介護及び機能訓練を提供するとともに、地域活動支援センターⅡ型を併設することで創作的活動、レクリエーション、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを実施し障害者の身辺自立・社会参加の促進を図る。

○ 内容

指定管理者制度により運営する障害者福祉施設であり、平成 26 年度から平成 29 年度まで取手市社会福祉協議会が運営を行う。

- 障害者福祉センターあけぼの指定管理料 23,114,000 円
- 内訳) 障害福祉サービス等 14,114,000 円
- 地域生活支援事業 地域活動支援センターⅡ型事業 9,000,000 円

[担当：障害福祉課] P. 113

3201 特別障害者援護に要する経費 22,269,000 円 (21,800,000 円)

[国・県 16,690,000 円 一財 5,579,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：特別障害者手当給付費 22,253,880 円×3/4≒16,690,000 円]

○ 目的

在宅の常時特別な介護（児童にあつては常時の介護）を必要とする重度障害者の方に、その重度の障害ゆえに生ずる特別の負担の一助として手当を支給することにより、重度障害者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

- ・ 特別障害者手当 @26,830 円×43 人×12 月=13,844,280 円
- ・ 障害児福祉手当 @14,600 円×42 人×12 月= 7,358,400 円
- ・ 福祉手当（経過措置） @14,600 円× 6 人×12 月= 1,051,200 円  
年 4 回支給  
5 月(2~4 月分)、8 月(5~7 月分)、11 月(8~10 月分)、2 月(11~1 月分)に支給
- ・ 通信運搬費 13,000 円

[担当：障害福祉課] P. 113

3301 介護給付費等に関する経費 1,296,023,000 円 (1,200,120,000 円)

[国・県 969,375,000 円 一財 326,648,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：自立支援給付費負担金 1,292,500,000 円×1/2=646,250,000 円]

[県負：自立支援給付費負担金 1,292,500,000 円×1/4=323,125,000 円]

○ 目的

障害者が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、全国共通の基準により障害の種類や程度、介護者の状況などを踏まえ支給決定される障害福祉サービスについて、自立支援給付費として支給することにより、障害者の福祉の増進を図る。

○ 内容

- ・ 障害者給付審査会委員報酬 1,127,000 円  
会長 @17,000 円×1 人×7 回= 119,000 円  
委員 @16,000 円×9 人×7 回=1,008,000 円
- ・ 障害者給付審査会委員費用弁償 56,000 円
- ・ 扶助費（自立支援給付費） 1,292,500,000 円  
介護給付費 709,633,547 円  
居宅介護 (47,996,085 円) 83 人  
行動援護 (3,958,304 円) 2 人  
重度訪問介護 (213,000 円) 2 人  
同行援護 (2,898,882 円) 7 人  
療養介護 (15,620,833 円) 5 人  
生活介護 (478,751,106 円) 214 人  
短期入所 (10,344,568 円) 17 人  
施設入所支援 (149,850,769 円) 109 人  
訓練等給付費 542,250,032 円  
共同生活援助 (95,052,227 円) 60 人  
宿泊型自立訓練 (2,486,141 円) 2 人  
自立訓練(機能) (3,685,298 円) 5 人

自立訓練(生活)	(35,545,562円)	22人
就労移行支援	(76,665,681円)	36人
就労継続支援A型	(81,368,513円)	50人
就労継続支援B型	(247,446,610円)	170人
計画相談支援給付費	20,470,594円	
特定障害者特別給付費	20,145,827円	
・消耗品費	133,000円	
・通信運搬費	32,000円	
・自立支援システム使用料	78,000円	
・給付審査会医師意見書文書料	921,000円	(新規者・継続者 180人分)
・国保連支払審査手数料	1,176,000円	

[担当：障害福祉課] P.114

### 3302 自立支援医療に関する経費 42,783,000円 (42,785,000円)

[国・県 32,065,000円 一財 10,718,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：自立支援医療給付費負担金	更生医療	37,284,000円×1/2=	18,642,000円
	育成医療	1,108,000円×1/2=	554,000円
	療養介護医療費	4,362,000円×1/2=	2,181,000円]
[県負：自立支援医療給付費負担金	更生医療	37,284,000円×1/4=	9,321,000円
	育成医療	1,108,000円×1/4=	277,000円
	療養介護医療費	4,362,000円×1/4=	1,090,000円]

#### ○ 目的

更生医療 身体障害者(身体障害者手帳所持者)で、その障害を除去・軽減する手術等の治療に対して提供される、更生のために必要な医療費を支給する。(対象となる医療行為の制限あり。)

育成医療 18歳未満の障害児(身体に障害のある方に限る)で、その障害を除去・軽減する手術等の治療に対して提供される、生活の能力を得るために必要な医療費を支給する。(対象となる医療行為の制限あり。)

療養介護 療養介護に係る介護給付費を受けた障害者で、病院や施設等で機能訓練や介護等を受けている場合に、医療に要した費用を支給する。

#### ○ 内容

免疫療法(HIV、腎臓、肝臓移植手術後の免疫療法)、心臓手術、腎臓移植術、関節形成手術、角膜手術、人工透析、人工関節手術等の医療費について支給する。

・更生医療給付費 37,284,000円

内訳) 生保透析者	@275,000円×7人×12月=	23,100,000円
生保免疫者	@280,000円×2人×12月=	6,720,000円
一般透析者	@32,000円×1人×12月=	384,000円
一般免疫者	@41,000円×9人×12月=	4,428,000円
一般肝臓・腎臓免疫者	@29,000円×5人×12月=	1,740,000円
一般肢体	@456,000円×2人	= 912,000円

- ・ 育成医療給付費 1,108,000 円
  - 内訳) 肢体不自由 @132,000 円× 2 人 = 264,000 円
  - 咀嚼機能障害 @5,000 円× 5 人×12 月 = 300,000 円
  - 心臓機能障害 @230,000 円× 2 人 = 460,000 円
  - 肝臓機能障害 @7,000 円× 1 人×12 月 = 84,000 円
- ・ 療養介護医療費 4,362,000 円
  - 重度障害者療養介護分 @72,700 円× 5 人×12 月 = 4,362,000 円
- ・ 審査支払手数料 29,000 円

[担当：障害福祉課] P.114

### 3303 補装具費に関する経費 16,000,000 円 (15,000,000 円)

[国・県 12,000,000 円 一財 4,000,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：自立支援補装具費負担金 8,000,000 円]

[県負：自立支援補装具費負担金 4,000,000 円]

○ 目的

身体障害者手帳所持者及び難病の方に、身体の失われた部分や障害のある部分を補って、日常生活や働くことを容易にする用具の交付もしくは修理を行い、身体障害者の福祉の向上を図る。

○ 内容

- ・ 補装具交付及び修理費 16,000,000 円
  - 義肢、装具、座位保持装置、盲人安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、車いす、歩行器及び重度障害者用意思伝達装置等が交付及び修理対象品目である。

[担当：障害福祉課] P.114

### 3304 地域生活支援事業に関する経費 51,411,000 円 (46,106,000 円)

[国・県 36,015,000 円 一財 15,396,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：地域生活支援事業補助金 24,010,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 12,005,000 円]

○ 目的

障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ効果的、効率的に柔軟な事業形態による事業を実施し、障害者の福祉の増進を図る。

○ 内容

〈報償費〉

- ・ 自立支援協議会委員謝礼 @2,000 円×23 人×4 回=184,000 円
  - 自立支援協議会は、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関の連携を図り支援体制の整備を行う。

〈手数料〉

- ・ 成年後見制度利用支援事業（市長による後見開始の審判の申立）

申立鑑定料 @100,000 円×1 人×1.08=108,000 円  
申立診断書 @10,000 円×1 人×1.08= 10,800 円  
申立収入印紙、連絡用切手代 8,000 円

〈委託料〉

- ・意思疎通支援事業委託料 272,000 円  
手話通訳者や要約筆記者の派遣を委託し、障害者の意思疎通の円滑化を図る。  
@19,000×12 月=228,000 円  
通訳者派遣事務費  
@1,800×24 件=43,200 円
- ・精神障害者家族等相談員事業委託料  
精神障害者及びその家族等の相談を対象とした相談員委託事業で、家族等への必要な援助を行う。  
精神障害者家族等相談員事業委託料 @20,000 円×3 人=60,000 円
- ・地域活動支援センター事業委託料 4,648,492 円  
地域活動支援センターとは、障害者等が通う場であり、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の場として運営されるものである。I 型は専門職員を配置し相談支援事業を併せて実施すると共に医療、福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、障害に対する理解促進を図るための普及啓発事業を行う。  
(委託先) 地域活動支援センター I 型「いなしきハートフルセンター」  
竜ヶ崎保健所管内の 5 市 2 町（守谷市、取手市、龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、利根町、河内町）で委託している。負担割合は人口割、利用者割等により決定される。
- ・生活支援（生活訓練等）事業委託料 109,200 円  
精神障害者の社会復帰と自立、社会参加の促進を図るため、創作的活動又は生産活動の機会の提供、日常的な相談への対応や地域交流活動等を行なうもの。  
(委託先) 地域活動支援センター クローバ沼南 @9,100×12 月=109,200 円

〈負担金、補助及び交付金〉

- ・地域身体障害者スポーツ大会負担金 60,000 円  
6 市 1 町 1 村（取手市、つくばみらい市、牛久市、龍ヶ崎市、美浦村、阿見町、稲敷市、かすみがうら市）で持ち回り開催するスポーツ大会負担金で各市町村同額
- ・社会参加促進事業補助金 786,000 円  
社会福祉協議会の取手市総合ボランティア支援センターの行う手話奉仕員、要約筆記奉仕員、点訳奉仕員の養成事業、点字・声の広報等発行事業、ボランティア活動支援事業に対する補助金
- ・成年後見制度利用支援事業  
後見人等報酬等助成金 @28,000×1 人×12 ヶ月=336,000 円

〈扶助費〉

- ・日常生活用具給付 22,419,000 円  
ストマ用装具 18,178,895 円 その他の日常生活用具 4,240,082 円  
ストマ用装具、電気式たん吸引器、入浴補助用具、聴覚障害者用通信装置などを給付し日常生活の利便を図る。

- ・自動車改造費助成 200,000 円  
@100,000 円×2 件
- ・自動車運転免許取得費助成 200,000 円  
@100,000 円×2 件
- ・障害者生活ホーム助成 2,367,000 円  
@65,730 円×3 人×12 月
- ・移動支援 3,768,632 円  
屋外での移動が困難な視覚障害者、全身性障害者、知的障害者及び精神障害者の方に、外出の際の移動を支援する。  
@1,884,316(平成 28 年 4 月～9 月分)×2 = 3,768,632 円
- ・日中一時支援 11,954,956 円  
日中において監護する者がいないため一時的に見守り等の支援が必要な障害者の方に活動の場を提供し、家族の就労支援や一時的な休息を得られるようにする。  
@5,977,478(平成 28 年 4 月～9 月分)×2 = 11,954,956 円
- ・訪問入浴サービス 3,495,000 円  
自宅において入浴することが困難な重度障害者の方に、移動入浴車によるサービスを提供し、重度障害者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。  
@1,747,500(平成 28 年 4 月～9 月分)×2 = 3,495,000 円

[担当：障害福祉課] P. 115

3601 あけぼの、さくら荘、かたらいの郷入浴施設障害者使用料助成に要する経費  
2,392,000 円 (1,639,000 円)

[一財 2,392,000 円]

○ 目的

入浴施設の利用料金を助成することにより経済的負担の軽減と、障害者の地域生活支援、社会参加促進を図る。

○ 内容

「取手市立老人福祉センターあけぼの」「取手市立老人福祉センターさくら荘」「取手市立かたらいの郷」の障害者とその付添人 1 名の利用料金 200 円を助成する。

@200 円×11,960 人 (3 施設延利用実績で、あけぼの、さくら荘については H27 実績から、かたらいの郷については H28 第 2 四半期までの実績から) = 2,392,000 円

利用実績内訳 あけぼの 3,395 人 さくら荘 1,765 人 かたらいの郷 6,800 人

## 1 社会福祉費 3 老人福祉費

[担当：高齢福祉課] P. 116

2202 緊急通報装置給付に関する経費 15,017,000 円 (10,090,000 円)

[その他 3,233,000 円 一財 11,784,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金：緊急通報システム設置費負担金 3,233,000 円]

○ 目的

在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、突発的な災害、急病、事故等の緊急事態に早急な通報ができる緊急通報装置を設置することにより、高齢者等の不安を軽減する。今年度からは、通報先を消防署からセンターに移すことで、医師や看護師による専門的な相談も可能となるほか、安否センサーの設置も順次行っていく。

○ 内容

緊急通報システム使用料 @1,100,000×1.08×12月=14,256,000円

[担当：高齢福祉課] P.117

2204 高齢者等移動支援事業に関する経費 11,451,000円(10,540,000円)

[一財 11,451,000円]

○ 目的

介護保険の要支援、要介護の方などの移動制約者に外出促進、閉じこもり防止のため、移送団体やタクシーを利用した際に使える利用券を助成するとともに、移送団体に対して助成を行うことで、サービスの充実を図る。

○ 内容

- ・移送サービス及びタクシー利用料助成事業

移動制約者の外出促進と閉じこもり防止を図るため、道路運送法により登録した団体が行う移送サービスについて、利用料の一部を市が助成する。

移送団体利用券 @700円×710件×12月=5,964,000円

移送団体・タクシー共通利用券 @730円×340件×12月=2,978,400円

- ・福祉車両点検整備費補助事業 380,000円

- ・移送サービス介助等補助金

移動支援の際の介助及び迎車に対し、費用の一部を助成する。

@200円×710件×12月=1,704,000円

- ・利用料助成については、本人が市民税非課税の方を対象とする。発行枚数は月4枚。

[担当：高齢福祉課] P.118

2206 愛の定期便事業に関する経費 1,125,000円(1,127,000円)

[一財 1,125,000円]

○ 目的

ひとり暮らし高齢者を訪問して、乳酸飲料の配布及び安否の確認をすることにより、健康の保持及び孤独感の解消を図る。

○ 内容

外出の機会が少なく閉じこもりがちになっている65歳以上のひとり暮らし高齢者宅に、乳酸飲料を配布しながら安否確認を行う事業。週3回(月・水・金)利用者負担なし。

乳酸飲料業者配達 月・水 @78円×2本×95日×60人=889,200円

社協ヘルパー配達 金 @40円×2本×48日×60人=230,400円

[担当：高齢福祉課] P. 118

2208 お休み処に関する経費 4,679,000円 (3,889,000円)

[その他 11,000円 一財 4,668,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：雇用保険料本人負担分 11,000円]

○ 目的

高齢者と地域の人々とのふれあいの場を提供することで、地域とのつながりを強め、高齢者の見守り、孤独感の解消を図る。

○ 内容

取手市内にある空き店舗を利用し、地域の人が気軽に立ち寄れる喫茶スペースを提供する。運営にあたっては運営団体との協働のもと、ボランティアスタッフを活用し、お茶や談話で憩えるような場にする。

・お休み処施設賃借料（家賃・共益費）

戸頭団地 @58,764円×12月=705,168円

井野団地 @52,352円×12月=628,224円

・非常勤職員報酬

@851円×6時間×20日×12ヶ月×2ヶ所=2,450,880円

[担当：高齢福祉課] P. 118

2301 敬老祝金支給に要する経費 5,627,000円 (5,109,000円)

[一財 5,627,000円]

○ 目的

高齢者に対し、敬老祝金を支給し、長寿を祝福するとともに、市民の敬老思想の高揚を図る。

○ 内容

支給対象年齢は88歳と99歳以上の高齢者で、支給額は一律10,000円。

99歳以上対象者については、訪問し褒賞と祝金を手渡しする。

敬老祝金 5,500,000円 88歳 @10,000円×450人=4,500,000円

99歳以上 @10,000円×100人=1,000,000円

[担当：高齢福祉課] P. 119

2701 シルバー人材センター助成に要する経費 34,200,000円 (34,200,000円)

[その他 10,003,000円 一財 24,197,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：シルバー人材センター貸付金元利収入 10,003,000円]

(1)取手市シルバー人材センター補助金 24,100,000円

○ 目的

高齢者のライフスタイルに合わせた就業を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献する。

○ 内容

シルバー会員による受託事業等を実施するための技能講習会、事務費及び職員の人件費。  
受託事業・・・植木の手入れ、襖・障子の張替え、清掃、草刈り、施設管理、  
家事手伝い、一般事務 他

(2) 取手市シルバー人材センター貸付金 10,000,000 円

○ 目的

取手市シルバー人材センターの配分金（会員の仕事の対価）の立替え払い用資金に資するための貸付金。

○ 内容

シルバー人材センターでは、市内一般家庭・企業、取手市等の公共団体からさまざまな仕事を受注しており、毎月の就業を月末で締め切り、会員への配分金の支払いは翌月 15 日に行っている。円滑な配分金支払いのために貸し付けを行い、年度内に償還させる。

[担当：高齢福祉課] P. 119

2801 あげぼの管理運営に関する経費 39,142,000 円 (39,903,000 円)

[その他 2,400,000 円 一財 36,742,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,000,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 400,000 円]

○ 目的

老人福祉法に定める老人福祉センターとして、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの提供を目的とする。また、高齢者に関する各種の相談に応ずる。

○ 内容

浴場の利用と趣味教室活動の場として、月約 4,500 人の高齢者が利用している。

指定管理料は、施設管理運営に係る光熱水費、人件費、設備維持管理費が主な内訳である。

指定管理者は取手市社会福祉協議会。指定管理契約期間は平成 26 年度から平成 29 年度。

- ・ 指定管理料 36,195,000 円
- ・ 浴室目隠しフェンス修繕 931,000 円
- ・ 給水ポンプユニット取替工事 1,413,000 円
- ・ 脱衣所ロッカー取替 438,000 円

[担当：高齢福祉課] P. 120

2802 かたらいの郷管理運営に関する経費 35,522,000 円 (90,023,000 円)

[その他 600,000 円 一財 34,922,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 600,000 円]

○ 目的

高齢者の生きがいの増進と利用者の世代間の交流を図る。

○ 内容

世代間の交流、教養の向上、高齢者の生きがいの増進、ボランティア活動の推進等。

大浴場を中心として、月約 8,000 人が利用している。

指定管理料は施設管理運営に係る光熱水費、人件費、設備維持管理費が主な内訳である。指定管理者は日本環境マネジメント株式会社。指定管理契約期間は平成 27 年度から平成 31 年度。

- ・指定管理料 34,835,000 円
- ・浴室タイル改修 667,000 円

**[担当：高齢福祉課] P. 120**

**2803 ふれあいの郷管理運営に関する経費 61,500,000 円 (2,800,000 円)**

[地方債 49,200,000 円 その他 12,300,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：ふれあいの郷施設整備事業債 61,500,000 円×80%=49,200,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 12,300,000 円]

○目的

高齢者が要介護状態等になったときに、家庭事情等のため在宅での生活が出来ない場合等に、特別養護老人ホームに入所することで、日常生活の安定と充足を図る。

○内容

社会福祉法人取手市社会福祉事業団を指定管理者に指定している。介護サービス利用料金により運営しているため、指定管理料は発生していない。協定書により、施設の大規模な修繕・工事は市が実施することとなっており、平成 29 年度は新たにエレベーターの設置を行う。

- ・ふれあいの郷エレベーター設置工事監理業務委託 2,500,000 円
- ・ふれあいの郷エレベーター設置工事 59,000,000 円

**[担当：高齢福祉課] P. 120**

**2804 さくら荘管理運営に関する経費 30,424,000 円 (80,355,000 円)**

[その他 1,000,000 円 一財 29,424,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,000,000 円]

○目的

老人福祉法に定める老人福祉センターとして、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの提供を目的とする。また、高齢者に関する各種の相談に応ずる。

○内容

各種趣味教室活動が充実し、高齢者の方の生きがい増進の場として、月約 2,000 人の高齢者が利用している。平成 30 年度に外壁・屋根改修工事を予定しており、平成 29 年度は設計業務委託を実施する。

指定管理者は取手市社会福祉協議会。指定管理契約期間は平成 26 年度から平成 29 年度。

- ・指定管理料 28,900,000 円
- ・さくら荘外壁・屋根改修工事設計業務委託料 1,200,000 円

[担当：高齢福祉課] P. 121

3301 老人ホーム入所措置に要する経費 11,177,000 円 (12,326,000 円)

[その他 1,304,000 円 一財 9,873,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金：老人福祉施設入所者負担金 1,304,000 円]

○ 目的

養護老人ホーム（身体は自立であるが家族の虐待、経済的などの理由から在宅での生活が困難な高齢者の入所施設）へ入所措置し、高齢者の安全と生活の安定を図る。

○ 内容

養護老人ホームにおいて日常生活を営む入所者 4 名の生活費・事務費等の入所措置費。費用徴収基準により、本人及び扶養義務者から負担金を徴収している。

[担当：高齢福祉課] P. 121

3401 高齢者クラブ活動に要する経費 3,601,000 円 (2,840,000 円)

[国・県 592,000 円 一財 3,009,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：高齢福祉対策費補助金 592,000 円]

○ 目的

高齢者クラブの活動を通じて高齢者福祉の向上に成果をあげるために、各高齢者クラブに社会活動促進の助成をし、高齢者クラブの充実と発展を図り、高齢者の生きがいと地域活動を促進する。

○ 内容

高齢者クラブが行う、健康と生きがいづくりなどの諸事業の事業費に対し、補助要綱を定め、基本額と人数割額によって補助金を交付している。

・基本額	@ 20,000 円×45 クラブ=	900,000 円
・人数割 30 人以下	@ 7,200 円× 8 クラブ=	57,600 円
31 人から 49 人	@ 21,600 円× 8 クラブ=	172,800 円
50 人から 74 人	@ 64,800 円×19 クラブ=	1,231,200 円
75 人以上	@104,400 円×10 クラブ=	1,044,000 円

[担当：健康づくり推進課] P. 121

3501 介護予防拠点施設管理に要する経費 2,124,000 円 (1,889,000 円)

[一財 2,124,000 円]

○ 目的

地域の高齢者が気楽に集い、ふれあえる場を提供し、さらに健康づくりや趣味のサークルを企画する施設の管理運営を行い、健康増進と生きがいづくりを図る。

○ 内容

健康相談、健康体操、趣味教室、チューブ体操、そば打ち講座等を実施。

参加対象者は市内在住 60 歳以上の方。

指定管理者は取手市社会福祉協議会。指定管理期間は平成 26 年度から平成 29 年度。

いきいきプラザ・げんきサロン(戸頭西・稲・藤代) 指定管理料 7,754,000 円のうち、介護

予防拠点施設運営に関する経費 5,841,000 円を介護保険特別会計で支出。

- ・火災保険料 4,000 円  
いきいきプラザに係る火災保険料
- ・いきいきプラザ・げんきサロン指定管理料 1,913,000 円  
いきいきプラザ・げんきサロン(戸頭西・稲・藤代)の施設管理委託料
- ・自動血圧計一式 207,000 円  
げんきサロン藤代に設置する自動血圧計の備品購入費

[担当：高齢福祉課] P. 122

4901 介護保険利用料助成事業に要する経費 6,231,000 円 (4,738,000 円)

[一財 6,231,000 円]

○ 目的

低所得者(保険料段階区分第1段階者・第2段階者・第3段階者)の在宅介護サービス利用者負担額の一部を助成することにより、利用者の負担を軽減する。

○ 内容

保険料段階区分により、平成28年3月以前のサービスについては利用者負担額の50%、30%、15%を、平成28年4月以降のサービスについては利用者負担額の30%、20%、15%をそれぞれ助成する。

保険料段階区分第1段階者：老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税の方  
又は世帯全員が市民税非課税の方で、前年の合計所得金額  
と公的年金等収入額の合計金額が80万円以下の方

(~H28.3)@46,050円×120名×50%=2,763,000円

(H28.4~)@46,050円×130名×30%=1,795,950円

保険料段階区分第2段階者：世帯全員が市民税非課税の方で、前年の合計所得金額と  
公的年金等収入額の合計金額が80万円超120万円以下の方

(~H28.3)@46,050円×55名×30%=759,825円

(H28.4~)@46,050円×65名×20%=598,650円

保険料段階区分第3段階者：世帯全員が市民税非課税の方で、前年の合計所得金額と  
公的年金等収入額の合計金額が120万円超の方

@46,050円×30名×15%=207,225円

[担当：高齢福祉課] P. 122

5201 高齢者福祉計画・介護保険事業計画に要する経費 1,910,000 円 (0 円)

[一財 1,910,000 円]

○ 目的

高齢者福祉サービスと介護保険サービスを充実・強化させ、高齢者が健康で生きがいをもって、いきいきと健やかに暮らすことのできる環境を構築するため、第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画を策定する。

○ 内容

アンケート調査を実施し、計画に市民の意向を反映するため、策定支援の委託を行う。

- ・高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定支援委託料 1,350,000 円

[担当：高齢福祉課] P. 123

6301 小貝川三次元プロジェクト事業に要する経費 7,521,000 円 (7,521,000 円)

[一財 7,521,000 円]

○ 目的

小貝川の恵まれた自然環境の中で、「水・陸・空」の三次元を活用した高齢者の介護予防・障害者の支援・子育て支援を推進する。

○ 内容

ポニーによる乗馬、E ボート、カヌーなどのアウトドア活動を通じての、介護予防と障害者支援、子育て支援と総合学習支援等を行う。

小貝川三次元プロジェクト運営補助金 4,500,000 円

小貝川生き生きクラブ運営委託料 3,000,000 円

## 1 社会福祉費 4 女性行政費

[担当：子育て支援課] P. 124

2001 配偶者等からの暴力の相談に要する経費 10,000 円 (10,000 円)

[一財 10,000 円]

○ 目的

配偶者等から暴力の被害者に対する相談・助言を行い、状況の改善や生活の自立を図る。

○ 内容

DV 相談に係る事務経費。

## 1 社会福祉費 5 医療福祉費

[担当：国保年金課] P. 124

0501 医療福祉事務に要する経費 15,390,000 円 (15,777,000 円)

[国・県 5,487,000 円 一財 9,903,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：医療福祉事務費 10,975,000 円×1/2≒5,487,000 円]

○ 目的

医療福祉費支給事務の効率的な実施を図る。

○ 内容

審査支払手数料 マル福分(国保連合会)	@49	×65,000 件=	3,185,000 円
(支払基金)	@81.7	×73,000 件=	5,964,100 円(調剤以外)
	@41.5	×44,000 件=	1,826,000 円(調剤)
ぬくもり分(国保連合会)	@49	×2,000 件=	98,000 円
(支払基金)	@81.7	×7,000 件=	571,900 円(調剤以外)
	@41.5	×4,400 件=	182,600 円(調剤)

国保連合会共同電算処理委託料 1,759,000 円

[担当：国保年金課] P.125

0601 医療福祉費助成に要する経費 614,680,000円(616,030,000円)

[国・県 269,027,000円 その他 66,676,000円 一財 278,977,000円]

\* 特財積算根拠

[県補：(医療福祉医療費 604,730,000円－高額療養費返納金 66,675,096円)×1/2  
≒269,027,000円]

[諸収入：高額療養費返納金 66,675,000円]

[諸収入：第三者行為返納金等 1,000円]

○ 目的

出生から中学3年生・母子家庭の母子・父子家庭の父子・妊産婦・重度心身障害者の方々に  
対して、公費で医療費の一部を負担し、少子化対策の促進を図る。

茨城県の医療費助成制度では支給制限を受ける0歳児から中学3年生までの小児を対象  
に、保険診療分費用の一部を取手市が負担するぬくもり医療支援事業を実施している。

○ 内容

疾病や負傷等に関する診療・調剤費・柔道整復師の施術及び補装具等に対する医療費等の  
扶助を行う。

## 1 社会福祉費 6 国民年金費

[担当：国保年金課] P.125

0501 国民年金事務に要する経費 1,094,000円(528,000円)

[国・県 1,094,000円]

\* 特財算出根拠

[国委：国民年金事務委託金 1,094,000円]

○ 目的

国民年金制度は、老後の安定した生活基盤を築くために、国民が保険料を出し合いお互  
いを支えあう制度である。老後の所得保障だけでなく万一病気やケガで重い障害が残った  
場合の障害基礎年金や家計の大黒柱を失ったときに遺族基礎年金が支給される公的年金制  
度で、国から法定受託事務として行っている。

○ 内容

公的年金制度は、国民年金と厚生年金に分かれ、国民年金は、日本国内に住む20歳から  
60歳までのすべての方が加入することになっている。

日本年金機構が個人番号(マイナンバー)の利用開始に伴い、国民年金適用関係届書の  
電子媒体化の運用を予定していることから、市の国民年金電算システムを改修し日本年金  
機構へ報告する届書を電子媒体で行う。

国民年金適用関係届書電子媒体化システム改修委託料 584,000円

- ・システム改修費 @460,000×1.08=496,800円
- ・電子媒体処理結果費 @80,000×1.08=86,400円

## 2 児童福祉費 1 児童福祉総務費

[担当：子育て支援課] P.127

1001 児童福祉審議会に要する経費 186,000円(186,000円)

[一財 186,000円]

### ○ 目的

本市における子ども・子育て支援及び児童福祉全般に関する事項について調査、審議する。

### ○ 内容

児童福祉審議会委員報酬 178,000円

児童福祉審議会委員旅費 8,000円

(平成28年度実績)

年3回開催。取手市子ども子育て支援事業計画(平成27年度～平成31年度)の進捗管理、要保護児童対策に関する事、(仮称)取手市立取手東部保育所・地域子育て支援センター建設工事に関する事などについてを審議。

[担当：子育て支援課] P.127

1201 子ども・子育て事業に要する経費 8,270,000円(9,087,000円)

[国・県 5,492,000円 その他 27,000円 一財 2,751,000円]

### \* 特財積算根拠

[国補：子ども・子育て支援交付金 2,746,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 2,746,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 27,000円]

### ○ 目的

急速な少子化の進捗並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化に鑑み、地域や子育て世帯のニーズを把握し、総合的・計画的に子ども・子育て支援に関する事業を実施する。

### ○ 内容

利用者支援事業実施経費 8,270,000円

#### ・子育てコーディネーター

白山および藤代地域子育て支援センターで、専任非常勤職員(保健師各1名づつ)が、育児不安を抱えていたり、子どもの発達に気になる保護者からの相談に応じ、相談者が抱える課題を解決するために早期に適切な専門機関等につなげ、身近な場所である支援センターで継続的な見守りを行う。また、下記の保育コンシェルジュの役割も兼ねる。

#### ・保育コンシェルジュ

子育て支援課窓口で、専任臨時職員(1名)が子育てに関する施設・利用サービスの情報を提供、また、利用者に最適な子育て支援に係る施設・サービス等を提案し、円滑な利用の手助けを行う。

[担当：障害福祉課] P.128

2001 こども発達センター管理運営に要する経費 42,536,000円(32,835,000円)

[一財 42,536,000円]

### ○ 目的

発達に遅れや偏りのある児童(概ね就学前)とその親を対象に、児童福祉法による児童

発達支援事業、放課後等デイサービス事業を提供し、基本的な生活習慣や対人関係を育み、心身の発達を促すことを目的とする。

○ 内容

指定管理者制度により運営する障害児福祉施設であり、平成 26 年度から平成 29 年度まで取手市社会福祉協議会が運営を行う。

通園部門（単独通園、親子通園）、専門職指導（作業療法、言語療法、心理指導など）、相談部門（発達相談、就学相談）を三本柱として専門的な療育を行う。

その他の事業としてこども発達センターの継続利用者で小学校 2 年生までを対象に、放課後等デイサービス事業を行う。

- ・ こども発達センター指定管理料 42,517,000 円
- ・ 火災保険料 19,000 円

[担当：子育て支援課] P.128

2101 家庭児童相談室に要する経費 3,786,000 円 (3,558,000 円)

[国・県 62,000 円 その他 13,000 円 一財 3,711,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：子ども・子育て支援交付金 31,000 円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 31,000 円]

[負担金：子育て支援短期利用者負担金 1,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 12,000 円]

○ 目的

子どもに関する各般の問題について、家庭その他からの相談に応じ、子どもの置かれた環境の状況を捉え、効果的な援助を行い、もって子どもの福祉を図るとともに、その権利を擁護する。

○ 内容

家庭相談員による相談、助言を行う。

[担当：子育て支援課] P.129

2801 児童扶養手当に要する経費 363,466,000 円 (356,502,000 円)

[国・県 121,018,000 円 その他 301,000 円 一財 242,147,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：児童扶養手当負担金 363,053,000 円×1/3≒121,017,000 円]

[県補：母子・寡婦福祉資金貸付事務処理特例交付金 1,000 円]

[諸収入：児童扶養手当返納分（過年度）301,000 円]

○ 目的

父母の離婚等により父又は母と生計をともにしていない児童の父・母又は両親にかわってその児童を養育している方に対し、児童の健やかな成長を願って手当を支給し、福祉の増進を図る。

○ 内容

支給対象：父母の離婚等で父又は母と一緒に生活していない 18 歳に達した最初の 3 月

31日までの児童（心身におおむね中度以上の障害がある場合は20歳未満）  
を監護している父・母または両親にかわって養育している方（所得制限あり）

全部支給の場合

対象児童数(人)	月額(円)
1	42,330 (平成29年8月支給分からは42,290)
2	52,330 (平成29年8月支給分からは52,280)
3	58,330 (平成29年8月支給分からは58,270)

※ 3人目以降は、6,000円（平成29年8月支給分からは5,990円）ずつ加算  
一部支給の場合 月額42,320円から9,990円まで（平成29年8月支給分からは  
42,280円から9,980円まで）段階的に支給する。

手当支給月は、4月、8月、12月で前月分までを支給する。

対象者数：全部支給344人、一部支給442人、2子加算219人、3子以降加算53人

[担当：子育て支援課] P.129

3001 要保護児童対策事業に要する経費 244,000円（140,000円）

[国・県 140,000円 一財 104,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：子ども・子育て支援交付金 70,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 70,000円]

○ 目的

要保護児童の早期発見と早期対応により適切な対応を図る。児童虐待についての啓発活動を行うことにより虐待の早期発見・未然防止を図る。

○ 内容

代表者会議、実務者会議、個別支援会議を定期・随時に開催し要保護児童の支援を調整する。児童虐待防止の啓発活動を行う。

[担当：障害福祉課] P.130

3201 児童療育システムに要する経費 1,688,000円（1,780,000円）

[国・県 1,005,000円 一財 683,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：地域生活支援事業補助金 670,000円]

[県補：地域生活支援事業補助金 335,000円]

○ 目的

発達に遅れや偏りを持つ子とその親を支えるため、障害の早期発見から療育、保育、就学へつながる一貫した地域支援体制を整え、それぞれの機関の役割を明確にしながら、その受け皿となる各機関の療育的専門機能の充実を図る。

○ 内容

発達支援専門員（コーディネーター）を配置し、関係機関との連絡調整会議等を通して、児童の支援体制づくりに取り組む。さらに、市内幼稚園・保育所への巡回相談の実施、保健

センターの親子教室、こども発達センターの事業を専門的視点でサポートする。

・巡回相談員謝礼	@20,000×60回＝	1,200,000円
・講演会講師謝礼	@20,000×2回＝	40,000円
・メンター研修講師謝礼	@50,000×2回＝	100,000円
・療育システム連絡会会員謝礼	@20,000×1人＝	20,000円
・旅費	研修旅費	8,000円
・消耗品費		29,000円
・使用料及び賃借料	公用車リース料	217,000円
・研修負担金		26,000円

[担当:子育て支援課] P.130

**3301 少子化対策事業に要する経費 4,862,000円(4,676,000円)**

[国・県 1,866,000円 その他 57,000円 一財 2,939,000円]

\* 特財積算根拠

[国補:子ども・子育て支援交付金 933,000円]

[県補:子ども・子育て支援交付金 933,000円]

[諸収入:とりでファミリー・サポートセンター入会金 57,000円]

○ 目的

地域社会のなかで、子どもたちが健やかに生まれ育ち、安心して子育てができる環境整備に取り組む。

○ 内容

子育ての手助けをしてほしい人と手助けができる人が会員となり、地域の相互援助活動を実施する。

ファミリー・サポートセンター運営事業委託料 4,860,000円

[担当:子育て支援課] P.131

**3901 児童手当事務に要する経費 4,199,000円(4,191,000円)**

[その他 7,000円 一財 4,192,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:雇用保険料本人負担分 7,000円]

○ 目的

児童手当の給付事務を、適正かつ迅速に支給する

○ 内容

申請書受理・審査認定・支給決定までの一連の事務処理

報酬 1,719,000円

共済費 288,000円

旅費 51,000円

需用費 84,000円

役務費 2,057,000円

## 2 児童福祉費 2 児童措置費

[担当：子育て支援課] P.131

2601 児童手当支給に要する経費 1,490,100,000円(1,509,000,000円)

[国・県 1,263,310,000円 一財 226,790,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：被用者3歳未満児童手当 277,200,000円×37/45=227,920,000円]

[県負：被用者3歳未満児童手当 277,200,000円×4/45=24,640,000円]

[国負：被用者3歳以上中学校修了前児童手当 868,200,000円×4/6=578,800,000円]

[県負：被用者3歳以上中学校修了前児童手当 868,200,000円×1/6=144,700,000円]

[国負：非被用者中学校修了前児童手当 300,900,000円×4/6=200,600,000円]

[県負：非被用者中学校修了前児童手当 300,900,000円×1/6=50,150,000円]

[国負：特例給付者児童手当 43,800,000円×4/6=29,200,000円]

[県負：特例給付者児童手当 43,800,000円×1/6=7,300,000円]

### ○ 目的

児童を養育されている方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図る。

### ○ 内容

支給対象：中学校修了前の児童を養育する方に手当を支給する。

#### ・手当月額

3歳未満 15,000円

3歳以上～小学生 10,000円 第3子以降は15,000円

中学生 10,000円

所得制限超 児童1人につき 一律 5,000円

・対象者数：3歳未満1,900人、3歳～小学生6,675人、中学生2,130人、  
特例給付730人

・年3回支給 6月支給(2月分から5月分まで)、10月支給(6月分から9月分まで)、  
2月支給(10月分から1月分まで)

[担当：障害福祉課] P.131

2701 在宅障害児福祉手当支給に要する経費 2,820,000円(2,820,000円)

[国・県 846,000円 一財 1,974,000円]

\* 特財積算根拠

[県補：障害児福祉手当補助金 846,000円]

### ○ 目的

在宅の心身に重度障害のある20歳未満の児童で、国の障害児福祉手当に該当しない児童を養育している父母又はその養育者に手当を支給することにより、家庭の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。

### ○ 内容

特別児童扶養手当1級受給者、身体障害者手帳1・2級、療育手帳④・Aで、国の障害児福祉手当所得制限以下の家庭を対象に支給する。

@5,000 円×47 人×12 月=2,820,000 円

月額 5,000 円 年 3 回支給 8 月(4~7 月分)、12 月(8~11 月分)、4 月(12~3 月分)支給

[担当：障害福祉課] P.132

2901 障害児施設給付費に要する経費 279,369,000 円 (199,396,000 円)

[国・県 209,040,000 円 一財 70,329,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：障害児施設給付費負担金 278,720,000 円×1/2=139,360,000 円]

[県負：障害児施設給付費負担金 278,720,000 円×1/4=69,680,000 円]

○ 目的

発達に遅れや偏りのある児童が基本的動作、知識技能等の訓練を受けることにより生活の質を高めることができるよう、利用した障害児通所サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス）について、障害児通所給付費として支給することにより、障害児の福祉の増進を図る。

○ 内容

- ・ 障害児通所給付費 278,720,000 円
  - 児童発達支援 (55,740,000 円) 238 人
  - 放課後等デイサービス (222,980,000 円) 161 人
- ・ 国保連支払審査手数料 649,000 円

[担当：障害福祉課] P.132

3001 軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業に要する経費 350,000 円 (186,000 円)

[国・県 110,000 円 一財 240,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業補助金 110,000 円]

○ 目的

身体障害者手帳の交付対象とならない 18 歳未満の軽度・中等度難聴児に対し、言語の習得、教育等における健全な発達を支援するため、補聴器、FM 型補聴器の購入に必要な費用の一部を補助することにより、難聴児の言語訓練及び生活適応訓練の促進及び子育て世代の負担軽減を図る。

○ 内容

両耳の聴力レベルが 30 デシベル以上で 70 デシベル未満又は専門医等が必要であると認められた児童で、片耳の聴力レベルが 70 デシベル以上の軽度・中等度の難聴児への補聴器、FM 型補聴器購入の費用の一部を助成する。

軽度・中等度難聴用補聴器（補助額は基準価格の 2/3）

@55,439 円×6 台×2/3=221,756 円

FM 型補聴器（補助額は基準価格の 1/3）

@183,000 円×1.048×2 台×1/3=127,856 円

## 2 児童福祉費 3 児童入所費

[担当：子育て支援課] P.132

2001 民間保育園入所に要する経費 1,465,325,000円 (1,206,170,000円)

[国・県 796,298,000円 その他 125,789,000円 一財 543,238,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：子どものための教育・保育給付費負担金 484,560,000円]

[県負：子どものための教育・保育給付費負担金 242,280,000円]

[県補：子どものための教育・保育給付費補助金 69,458,000円]

[負担金：民間保育園入所児保護者負担金 125,789,000円]

○ 目的

保護者の就労又は疾病等により、乳幼児を保育園に入所させることで、乳幼児の健全な心身の発達を図る。

○ 内容

民間保育園児入所委託料

(単位：延べ人数、円)

園名	定員	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	計	入所委託料
取手保育園	90	80	345	247	461	1,223	108,546,190
ふたば保育園	50	34	192	123	236	635	71,004,667
育英保育園	90	79	307	227	439	1,142	97,395,008
たちばな保育園	90	56	461	175	510	1,292	112,451,486
共生保育園	60	41	249	96	390	836	84,058,310
稲保育園	90	119	389	185	400	1,093	116,521,304
戸頭東保育園	110	35	301	143	438	1,027	64,895,459
計	580	444	2,244	1,196	2,874	7,248	654,872,424

地域型保育園児入所委託料

(単位：人数、円)

園名	定員	0歳児	1・2歳児	計	入所委託料
取手市医師会どんぐり保育園	30	10	20	30	56,938,800

施設給付型幼稚園児入所委託料

(単位：延べ人数、円)

園名	利用定員	1号認定	入所委託料
チューリップ幼稚園	60	562	33,546,204
チューリップ第二幼稚園	45	431	30,322,242
計	105	993	63,868,446

認定こども園 1号認定児入所委託料

(単位:延べ人数、円)

認定こども園 2号3号認定児入所委託料

(単位:延べ人数、円)

園名	利用定員	1号認定	委託料	2号認定	3号認定	委託料
幼 取手ふたば文化	239	1,950	41,815,868	487	190	53,601,344
保 めぐみ幼稚園	142	643	25,668,877	325	295	57,217,427
連 戸頭さくらの森	135	801	39,925,354	177	163	40,358,675
携 みどりが丘幼稚園	228	1,872	67,245,013	374	181	47,848,011
型 たかさごスクール取手	153	42	6,122,897	663	687	104,865,866
幼 取手幼稚園	55	441	19,000,029	2	-	6,584,615
稚 白山幼稚園	95	822	27,736,705	14	-	24,537,968
園 光風台幼稚園	115	1,131	51,708,173	11	-	17,021,801
型 あづま幼稚園	90	1,042	51,215,998	5	-	7,000,000
計	1,252	8,744	330,438,914	2,058	1,516	359,035,707

[担当:子育て支援課] P.132

2101 乳幼児保育に要する経費 6,833,000円 (6,833,000円)

[国・県 3,416,000円 一財 3,417,000円]

\* 特財積算根拠

[県補:乳児等保育事業費補助金 3,416,000円]

○ 目的

民間保育園等における乳児等の保育に対し、直接従事する非常勤保育士の雇用に要する費用の助成を行い、民間保育所等における乳児等の保育体制の整備の向上を図る。

○ 内容

1歳児の担当(非常勤)保育士の雇用に要する経費を、各月初日における1歳児の人員に基づき算定した額の年間合計額

月額 3,900円 × 1歳児数 146名 × 12月 = 6,832,800円

[担当:子育て支援課] P.133

2201 民間保育園運営に要する経費 87,576,000円 (100,690,000円)

[国・県 25,482,000円 一財 62,094,000円]

\* 特財内訳

[国補:子ども・子育て支援交付金 12,741,000円]

[県補:子ども・子育て支援交付金 12,741,000円]

○ 目的

民間保育園が健全で安定した運営と児童福祉の増進を図ることを目的とする。

○ 内容

児童福祉法の規定により認可された保育園に対して運営補助金及び、延長保育促進事業補助金を交付する。また、日本スポーツ振興センター共済掛金を納入している民間保育園の設置者に設置者負担分相当額を補助する。

また、一時預かり事業、病児・病後児保育事業について、事業実施予定の民間保育園に対して補助金を交付する。

## 補助金内訳 1

(単位:円)

区 分	取手保育園	ふたば 保育園	育英保育園	たちばな 保育園	共生保育園	稲保育園
民間保育園 職員給与改善費	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000
民間保育園 格差是正費	980,980	980,980	980,980	980,980	980,980	1,070,160
民間保育園 施設管理費	972,000	540,000	972,000	972,000	648,000	972,000
主食費	777,600	356,400	658,800	626,400	486,000	615,600
民間保育園 一時預かり事業	-	-	-	1,580,000	-	1,580,000
民間保育園延長 保育促進事業補助金	1,342,000	1,342,000	600,000	600,000	600,000	1,642,000
民間保育園 病児・病後児保育 事業	-	-	-	-	-	2,407,000
日本スポーツ振 興センター共済 掛金	2.3号 21,000	2.3号 11,375	2.3号 20,125	2.3号 21,000	2.3号 14,000	2.3号 21,000
計	5,173,580	4,310,755	4,311,905	5,860,380	3,808,980	9,387,760

## 補助金内訳 2

(単位:円)

区 分	戸頭東 保育園	どんぐり 保育園	たかさご スクール取手 ・アネックス	取手ふたば 文化	めぐみ 保育園	戸頭 さくらの森
民間保育園 職員給与改善費	1,080,000	-	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000
民間保育園 格差是正費	980,980	-	1,070,160	980,980	980,980	980,980
民間保育園 施設管理費	1,188,000	-	1,490,400	637,200	648,000	615,600
主食費	637,200	-	777,600	432,000	486,000	388,800
民間保育園 一時預かり事業	-	1,473,000	1,473,000	1,124,000	1,500,000	1,220,800
民間保育園延長保 育促進事業補助金	1,642,000	552,000	600,000 1,642,000	1,642,000	600,000	600,000
民間保育園 病児・病後児保育 事業	-	2,921,000	-	-	-	-
日本スポーツ振 興センター共済 掛金	2.3号 21,875	3号 1,400	1.2.3号 23,355	1.2.3号 34,965	1.2.3号 21,870	1.2.3号 20,925
計	5,550,055	4,947,400	8,156,515	5,931,145	5,316,850	4,907,105

## 補助金内訳 3

(単位:円)

区 分	みどりが丘 幼稚園	取手幼稚園	白山幼稚園	光風台 幼稚園	あづま 幼稚園	チュールッ ・チュールッ 第二幼稚園
民間保育園 職員給与改善費	1,080,000	-	-	-	-	-
民間保育園 格差是正費	980,980	-	-	-	-	-
民間保育園 施設管理費	853,200	-	-	-	-	-
主食費	486,000	108,000	216,000	108,000	162,000	-
民間保育園 一時預かり事業	2,306,000	1,520,000	1,346,400	1,226,000	1,105,380	-
民間保育園延長保 育促進事業補助金	600,000	-	-	-	-	-
民間保育園 病児・病後児保育 事業	-	-	-	-	-	-
日本スポーツ振興 センター共済掛金	1.2.3号 41,715	1.2号 8,775	1.2号 15,525	1.2号 18,225	1.2号 13,500	1号 14,850
計	6,347,895	1,636,775	1,577,925	1,352,225	1,280,880	14,850

※日本スポーツ振興センター共済掛金については、認定番号により単価が変わる。

## [担当：子育て支援課] P.133

## 2401 管外保育委託に要する経費 99,150,000円(93,981,000円)

[国・県 53,604,000円 その他 6,067,000円 一財 39,479,000円]

## \* 特財積算根拠

[国負：子どものための教育・保育給付費負担金 31,514,000円]

[県負：子どものための教育・保育給付費負担金 15,757,000円]

[県補：子どものための教育・保育給付費補助金 6,333,000円]

[負担金：民間保育園入所児保護者負担金 6,067,000円]

## ○ 目的

保護者の就労等諸事情により、管外(市外)の保育園に入所する児童に係る経費を負担し、乳幼児の健全な心身の発達を図る。

## ○ 内容

## 保育所(園)入所委託料

(単位:人、円)

園名	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	計	入所委託料
管外公立保育所(園)	0	2	0	1	3	3,205,080
管外私立保育所(園)	2	10	5	15	32	34,853,840
管外私立施設給付型幼稚園	0	0	4	10	14	6,926,780
管外公立施設給付型幼稚園	0	0	0	1	1	532,320
管外認定こども園1号認定	0	0	20	40	60	27,367,800
管外認定こども園2号3号認定	2	4	4	15	25	26,261,730

[担当：子育て支援課] P.133

2701 多子世帯保育料軽減事業に要する経費 11,926,000 円 (0 円)

[国・県 5,963,000 円 一財 5,963,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：多子世帯保育料軽減事業補助金 5,963,000 円]

○目的

子どもを3人以上持つ世帯における3歳未満時の保育料を軽減することにより、多子世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する。

○内容

県1/2、市1/2を助成する。

助成対象（以下の全てを満たす場合）

- ① 第3子以降の3歳未満児であること
- ② 国基準額表の第4階層の一部（市民税所得税割課税額が、二人親世帯については57,700円以上。ひとり親世帯については77,101円以上）から第5階層に属する世帯の児童であること

市階層	国階層	利用者負担割合	保育必要量	年間延児童数	利用者負担額 (月額, 円)	市負担額 (円)
5	4	半額	標準時間	20	6,650	133,000
6	4	全額	短時間	12	19,700	236,400
6	4	半額	短時間	25	9,850	246,250
6	4	全額	標準時間	85	20,000	1,700,000
6	4	半額	標準時間	60	10,000	600,000
7	5	半額	短時間	10	13,550	135,500
7	5	全額	標準時間	20	27,500	550,000
7	5	半額	標準時間	34	13,750	467,500
8	5	全額	短時間	5	31,900	159,500
8	5	半額	短時間	1	15,950	15,950
8	5	全額	標準時間	15	32,400	486,000
8	5	半額	標準時間	40	16,200	648,000
9	5	全額	短時間	31	35,700	1,106,700
9	5	半額	短時間	31	17,850	553,350
9	5	全額	標準時間	105	36,200	3,801,000
9	5	半額	標準時間	60	18,100	1,086,000
合計				554	-	11,925,150

## 2 児童福祉費 4 保育所費

[担当：子育て支援課] P.134

2001 保育所の管理運営に要する経費 1,024,061,000 円 (1,019,531,000 円)

[その他 737,127,000 円 一財 286,934,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金：延長保育利用保護者負担金 1,318,000 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 166,000 円]

[使用料：公立保育所使用料（代理受領分） 507,979,000 円]

[使用料：市立幼稚園保育料（代理受領分） 24,212,000 円]

[使用料：公立保育所使用料（保護者負担分） 183,702,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,700,000 円]

[諸収入：管外保育受託収入 1,447,000 円]

[諸収入：保育所職員給食代 14,337,000 円]

[諸収入：一時保育利用者給食代 504,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 762,000 円]

○ 目的

保護者の就労または疾病等により、保育を必要とする乳幼児を公立保育所に入所させることで、保護者の社会活動を促進するとともに、乳幼児の健全な心身の発達を図る。

○ 内容

公立保育所7ヵ所の運営に要する非常勤保育士等の人件費および施設管理、給食運営、施設整備、公立保育所・幼稚園使用料等の経費。

公立保育所・幼稚園使用料（代理受領分）：子ども・子育て支援新制度における公立施設の公定価格は、国の公定価格の基準や地域の実情等を踏まえて定め、その全額が個人給付されるものである。公定価格から保護者負担金を引いた施設型給付費は、施設が法定代理受領する仕組みとなっているため、使用料として歳入に計上し、同額を給付金として歳出に計上するもの。

[担当：子育て支援課] P.137

2101 保育所の施設整備に要する経費 49,989,000 円 (21,216,000 円)

[地方債 35,900,000 円 その他 1,900,000 円 一財 12,189,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：合併特例債 37,800,000 円×95%≒35,900,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,900,000 円]

○ 目的

子どもたちが安全で安心した保育生活を送るために公立保育所の施設整備を図る。

○ 内容

吉田保育所、舟山保育所及び東部地域子育て支援センターの老朽化に伴う、旧取手第一中学校跡地への統合・新築工事に係る経費

実施期間 平成28年度～平成32年度

- ・ (仮称)取手市立取手東部保育所・地域子育て支援センター建設検討委員会委員謝礼  
50,400 円
- ・ (仮称)取手市立取手東部保育所・地域子育て支援センター新築工事影響事前調査  
11,500,000 円
- ・ (仮称)取手市立取手東部保育所・地域子育て支援センター新築工事設計業務委託料  
37,800,000 円
- ・ (仮称)取手市立取手東部保育所・地域子育て支援センター映像資料業務委託  
637,200 円

[担当：子育て支援課] P.137

2201 子育て支援に要する経費 16,312,000円 (16,331,000円)

[国・県 11,028,000円 その他 300,000円 一財 4,984,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：子ども・子育て支援交付金 5,514,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 5,514,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 300,000円]

○ 目的

核家族化と少子化が進む中で、家庭で子育てをしている保護者の情報交換の場の提供と、子育てに関する相談、助言などを行う。

○ 内容

白山・戸頭・藤代・東部地域子育て支援センターの管理運営費。

[担当：子育て支援課] P.138

2301 一時的保育事業に要する経費 9,382,000円 (9,280,000円)

[国・県 4,000,000円 その他 5,382,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：子ども・子育て支援交付金 2,000,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 2,000,000円]

[負担金：一時的保育事業保護者負担金 5,382,000円]

○ 目的

保護者の就労形態の多様化及び保護者の傷病等による緊急時の保育に対応するため、一時的な保育を実施する。

○ 内容

白山・久賀・永山保育所において、満1歳から就学前の児童を対象として、月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時まで保育を行うための一時保育事業管理運営費。

## 2 児童福祉費 5 母子福祉費

[担当：子育て支援課] P.139

2001 母子生活支援施設入所措置に関する経費 1,930,000円 (1,930,000円)

[国・県 1,429,000円 その他 13,000円 一財 488,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：母子生活支援施設措置費等負担金

(160,000円-1,100円)×12月×1/2≒953,000円]

[県負：母子生活支援施設措置費等負担金

(160,000円-1,100円)×12月×1/4≒476,000円]

[負担金：母子生活支援施設入所者負担金 1,100円×12月≒13,000円]

○ 目的

生活指導や救済が必要な配偶者のいない母子世帯（児童は原則18歳未満）を入所させ、自立に向けた支援を図る。

○ 内容

母子生活支援施設への入所費用を負担する。

[担当：子育て支援課] P. 139

**2002 母子家庭及び父子家庭自立支援給付金事業に関する経費**

7,767,000円(4,850,000円)

[国・県 5,825,000円 一財 1,942,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：母子家庭等対策総合支援事業費補助金 7,767,000円×3/4≒5,825,000円]

○ 目的

母子家庭・父子家庭の父母が、就職に有利で生活の安定に役立つ国家資格(指定)を取得する際に給付金を支給し、取得期間中の生活の安定と、取得後の経済的な自立を支援する。

○ 内容

母子家庭の母、父子家庭の父が、養成機関で1年以上就業する場合に給付金を支給する。

**3 生活保護費 1 生活保護総務費**

[担当：社会福祉課] P. 141

**0601 生活保護受給者就労支援に要する経費 1,225,000円(1,230,000円)**

[国・県 918,000円 その他 4,000円 一財 303,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：生活保護受給者就労支援事業補助金 1,225,000円×3/4≒918,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 4,000円]

○ 目的

近年の雇用情勢の悪化により、増加する稼働年齢層の生活保護受給者の就労を支援するため、非常勤職員を雇用して就労促進と業務の円滑化を図る。

○ 内容

生活保護受給者への就労支援を積極的に働きかけることにより、対象者が就職し、自立できるよう促す。国負担率3/4。

**3 生活保護費 2 扶助費**

[担当：社会福祉課] P. 142

**2001 生活保護に要する経費 1,726,696,000円(1,604,696,000円)**

[国・県 1,340,022,000円 その他 3,727,000円 一財 382,947,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：生活保護費負担金 1,726,696,000円×3/4=1,295,022,000円]

[県負：生活保護費負担金 180,000,000円×1/4=45,000,000円]

[諸収入：生活保護法第78条返還金 1,000円]

[諸収入：生活保護法第63条返還金 1,000円]

[諸収入：生活保護法第78条返還金(過年度分) 2,282,000円]

[諸収入：生活保護法第 63 条返還金(過年度分) 615,000 円]

[諸収入：生活保護費返還金(過年度分) 828,000 円]

○ 目的

生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。

○ 内容

取手市・保護世帯数	767 世帯	・扶助費	1,726,696,000 円
・保護人数	956 人	(内訳)	生活扶助 519,986,000 円
・保護率	9.0‰(パーミル)		住宅扶助 245,530,000 円
(平成 29 年 1 月現在)			教育扶助 4,262,000 円
			医療扶助 876,200,000 円
			介護扶助 66,215,000 円
			出産扶助 800,000 円
			生業扶助 2,560,000 円
			葬祭扶助 2,100,000 円
			施設事務費 8,743,000 円
			就労自立給付金 300,000 円

#### 4 災害救助費 1 災害救助費

[担当：社会福祉課] P.142

2001 災害見舞金等に要する経費 201,000 円 (201,000 円)

[一財 201,000 円]

○ 目的

市民が災害を受けたときに、罹災者又は葬祭を行う人に対して見舞金又は弔慰金をおくり、その援護と更生意欲の高揚を図る。

○ 内容

・災害見舞金	200,000 円
・災害援護資金貸付金	1,000 円

[参考] 災害見舞金の額

1. 死亡等の場合

・死亡	100,000 円
・全治 3 カ月以上の負傷	50,000 円
・全治 1 カ月以上 3 カ月未満の負傷	30,000 円

2. 住家、店舗及び倉庫の損壊、滅失等の場合

(1) 住家全壊(全焼)	3 人以下の世帯	70,000 円
	4 人以上の世帯	100,000 円
(2) 住家半壊(半焼)	3 人以下の世帯	30,000 円
	4 人以上の世帯	50,000 円
(3) 住家部分焼		10,000 円

- (4) 住家以外の家屋焼失 (20 m<sup>2</sup>以上の建物を対象とする)
- |         |          |
|---------|----------|
| 全壊 (全焼) | 20,000 円 |
| 半壊 (半焼) | 10,000 円 |
- (5) 借家 (1) から (4) まで列記の半額以下とする。
3. 床上浸水の場合 30,000 円

## 4 衛生費

### 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

[担当：保健センター] P.144

0501 保健衛生事務に要する経費 12,862,000 円 (12,206,000 円)

[国・県 160,000 円 その他 10,000 円 一財 12,692,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：献血推進事業費補助金 160,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 10,000 円]

#### ○ 目的

保健センター全般のスムーズな取り組みと、各種事業の推進を図る。

#### ○ 内容

・保健センター年間計画表を発行し、各種健康診査や検診、乳幼児の集団健診等のスケジュールを広く市民に周知する。

作成部数	47,000 部	作成委託料	787,000 円
		封入委託料	3,000 円
		折込手数料	312,000 円

・取手市民の出産に際し、新しい市民の誕生を祝うとともに出生子の健やかな成長を願い記念品を贈る。

キッズプレイルーム使用料	350,000 円
キッズプレイルーム利用券印刷代	103,000 円

[担当：保健センター] P.146

20 健康づくりに要する経費 1,045,000 円 (2,088,000 円)

[国・県 163,000 円 一財 882,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：健康増進事業費補助金 163,000 円]

#### ○ 目的

健康の保持・増進と疾病の予防を図る。

#### ○ 内容

自らの健康は自ら守るという認識のもと、健康の保持・増進・疾病予防のために必要な知識を学ぶとともに、自分の生活習慣を見直すための教室を開催する。糖尿病予防教室や子育て支援センターを利用している母親に対する健康教育を実施する。食育活動の推進を図るため、取手市食生活改善推進協議会に健康づくり推進事業を委託する。

・健康づくり推進事業関係経費	委託料	健康づくり推進事業委託料	800,000 円
・健康教育関係経費	報償費	健康教育講師謝礼	74,000 円
	需用費	消耗品費、修繕費	171,000 円

[担当：保健センター] P.146

2401 取手北相馬休日夜間緊急診療所運営に要する経費 27,442,000円 (27,746,000円)

[その他 10,786,000円 一財 16,656,000円]

\* 特財積算根拠

[負担金：取手北相馬休日夜間緊急診療所運営費負担金

守谷市 7,431,712円 + 利根町 2,355,020円 = 9,786,000円]

[諸収入：取手北相馬休日夜間緊急診療所運営費交付金(つくばみらい市) 1,000,000円]

○ 目的

日曜日や祝日、年末年始における日中及び夜間並びに土曜日の夜間を含めた初期救急医療に対する医療の確保を図る。

○ 内容

取手市、守谷市及び利根町により、取手北相馬休日夜間緊急診療所の運営を公益社団法人取手市医師会に委託し、日曜日や祝日、年末年始における日中及び夜間並びに土曜日の夜間に診療所を開設し、初期救急医療体制の構築を図る。

委託料 27,441,100円

[担当：保健センター] P.146

2501 常総地域病院群輪番制病院運営費補助金 34,419,000円 (34,319,000円)

[その他 20,435,000円 一財 13,984,000円]

\* 特財積算根拠

[負担金：常総地域病院群輪番制病院運営費負担金

常総市 5,072,258円 + 守谷市 7,091,592円 + つくばみらい市 5,285,996円

+ 利根町 2,985,934円 = 20,435,000円]

○ 目的

日曜日や祝日及び夜間(全日)の第二次救急医療体制として、重症患者(手術・入院を要する患者)の医療の確保を図り、また、小児救急医療輪番制により、地域の小児救急医療の確保を図る。

○ 内容

日曜日や祝日の日中及び全日の夜間において、常総地域内の宗仁会病院、JAとりで総合医療センター、取手医師会病院、東取手病院、総合守谷第一病院、守谷慶友病院、きぬ医師会病院及び水海道さくら病院の8病院が共同連携し、輪番方式で第二次救急医療業務を実施する。更には、JAとりで総合医療センター及び総合守谷第一病院による輪番方式により、乳幼児などを対象に小児救急医療業務を行い、経費を4市1町が補助する。

参加市町：取手市 常総市 守谷市 つくばみらい市 利根町

常総地域病院群輪番制病院運営費補助金 31,901,000円

小児救急医療輪番制運営負担金 2,518,000円

[担当：保健センター] P.147

4001 公的病院等運営費補助金 102,219,000円 (161,000,000円)

[一財 102,219,000円]

○ 目的

公的病院等に対し運営費を補助することにより、救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。

○ 内容

法人税法に規定する公益法人等のうち総務大臣が定めるものが開設する病院に対し、特別交付税に関する省令により算定した額を基準として、補助金を交付する。

平成 29 年度は、茨城県厚生農業協同組合連合会 JA とりで総合医療センター及び公益社団法人取手市医師会取手北相馬保健医療センター医師会病院に補助金を交付する。

[担当：保健センター] P. 147

4201 健康なまちづくり推進調査事業に要する経費 5,001,000 円 新規

[その他 5,000,000 円 一財 1,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:長寿社会づくりソフト事業費交付金 5,000,000 円]

○ 目的

市民が健康で生き活きと住み続けられるまちにするために、健康・市民協働を中心におき調査分析を行い、取手市が取り組むべき方策の基礎資料とする。

○ 内容

公益財団法人地域社会振興財団の長寿社会づくりソフト事業費交付金を使い、アンケート調査により生活圏域毎の地域診断を行い、保健・医療・福祉に係る現状を把握・分析する。

アンケート調査委託料 2,800,000 円

## 1 保健衛生費 2 予防費

[担当：保健センター] P. 147

2001 予防接種に要する経費 230,180,000 円 (242,277,000 円)

[その他 7,000 円 一財 230,173,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:雇用保険料本人負担分 7,000 円]

○ 目的

各種感染症の発生及び蔓延を防止し、市民(国民)の免疫水準を維持するために、予防接種の接種機会を安定的に確保する。

○ 内容

予防接種法に定める定期予防接種(A 類疾病、B 類疾病)及び予防接種法に基づかない取手市が費用の一部を助成して行う任意予防接種を実施する。

【定期予防接種】

(A 類疾病)ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎(ポリオ)・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎・結核・Hib 感染症・小児用肺炎球菌感染症・ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)・水痘・B 型肝炎

(B 類疾病)インフルエンザ(高齢者)・成人用(高齢者)肺炎球菌

【任意予防接種】

おたふくかぜ・ロタウイルス・小児インフルエンザ・成人用(高齢者)肺炎球菌

需用費	6,882,000 円		
	消耗品費(シール・白用紙等)	217,000 円	
	印刷製本費(予診票)	888,000 円	
	医薬材料費(薬液等)	5,777,000 円	
役務費	217,000 円		
	賠償保険料	217,000 円	
委託料	220,295,000 円		
	予防接種委託料	220,295,000 円	
扶助費	601,000 円		
	任意予防接種助成費	100,000 円	
	定期予防接種助成費	501,000 円	

<委託料内訳> 予防接種ワクチンの種類

(単位：人)

区分	予防接種ワクチンの種類		見込人数	助 成	
定期 予防接種	BCG(結核)		680	全 額	
	麻しん風しん(MR)		1,367	全 額	
	麻しん		2	全 額	
	風しん		2	全 額	
	四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)		2,660	全 額	
	不活化ポリオ		100	全 額	
	二種混合(ジフテリア・破傷風)		671	全 額	
	日本脳炎		3,757	全 額	
	HPV(子宮頸がん予防)		6	全 額	
	ヒブ		2,701	全 額	
	肺炎球菌(小児)		2,701	全 額	
	水痘		1,260	全 額	
	B型肝炎		1,995	全 額	
	肺炎球菌(高齢者)		一般	2,282	一 部
			減免者	18	全 額
インフルエンザ(高齢者)		一般	16,370	一 部	
		減免者	259	全 額	
任意 予防接種	おたふくかぜ		713	一 部	
	ロタウイルス		490	一 部	
	インフルエンザ(小児)		9,633	一 部	
	肺炎球菌(高齢者)		一般	638	一 部
減免者			13	全 額	

## 1 保健衛生費 3 母子衛生費

[担当：保健センター] P.149

20 乳幼児健診に要する経費 10,721,000円(10,425,000円)

[国・県 1,908,000円 その他 8,000円 一財 8,805,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：子ども・子育て支援交付金 954,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 954,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,000円]

### ○ 目的

家庭訪問、乳幼児健診により、生後早期からの子育て環境や、児の発育状況、母親の心身の健康状態を確認し、保護者との信頼関係を築きながら、疾病などの早期発見及び早期対応を図る。

### ○ 内容

#### (1) 家庭訪問

・生後4か月までの全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、安心して子育てができるように支援している。第1子と2,500g未満の低出生体重児には、地区担当保健師が訪問し、第2子以降に関しては、保健師・保育士等の赤ちゃん訪問員が訪問する。

・他市町村の依頼により、里帰りしている産婦・乳児の訪問も実施している。

・特定妊婦や要支援ケース、虐待ケースには地区担当保健師が訪問し、子育て支援課や児童相談所等の関係機関及び医療機関と連携して対応する。

#### (2) 健康診査

4か月児、1歳6か月児及び3歳5か月児を対象に健康診査を実施する。また、平成29年度より3歳5か月児健康診査においてフッ化物塗布を実施する。

4か月児健康診査：身体計測、診察(内科)、離乳食指導、保健指導及び図書館職員によるブックスタート

1歳6か月児健康診査：身体計測、診察(内科・歯科)、相談(発達・子育て・栄養)、保健指導及び歯科衛生士による歯みがき指導・フッ化物塗布

3歳5か月児健康診査：身体計測、診察(内科・歯科)、相談(発達・子育て・栄養)、保健指導及び歯科衛生士による歯みがき指導・フッ化物塗布、視能訓練士による視力検査、尿検査

・4か月児健診関係経費	報酬：医師報酬 21,000円×24回	504,000円
	需用費：消耗品費	34,000円
・1歳6か月児健診関係経費	報酬：医師報酬 21,000円×52回	1,092,000円
	報償費：心理発達相談員・歯科衛生士謝礼	1,404,000円
	需用費：消耗品費、医薬材料費	135,000円
・3歳5か月児健診関係経費	報酬：医師報酬 21,000×56回	1,176,000円
	報償費：心理発達相談・視能訓練士謝礼	1,676,000円
	需用費：消耗品費、印刷製本費、医薬材料費	145,000円



生後2～5か月の第1子を育てている母親を対象に、仲間づくりと「少し先を見通した子育ての知識」をBPプログラムの手法を用いて提供することにより、親の役割や育児スキルを参加者同士で学びあう場とし、育児不安や育児ストレスの軽減を図る。

### (3) 妊婦・乳児健康診査

#### ・妊婦健康診査

14回の公費負担での健康診査を実施し、妊婦の健康診査費用の負担軽減を図るとともに、その結果を把握し、必要時に、相談、支援、指導を行い、母子の健やかな経過を支援する。

#### ・産後ケア事業

出産後、おおむね4か月までの子育てや産後の体調不良があるが、身近な方から家事や育児の援助を受けられないなどの場合、市内の医療機関でデイケア(通所)とショートステイ(宿泊)で、安心して子育てができる育児支援をしていく。自己負担金あり。国からの1/2国庫負担(補助)金の交付対象事業。

#### ・乳児健康診査

乳児期に第1回(3～7か月の間)第2回(8～11か月の間)の2回公費負担での健康診査を実施し、その結果を確認する。

### (4) フォローアップ教室

#### ・親子教室

1歳6か月児健康診査、3歳5か月児健康診査の結果、発達の違いや偏りが心配される児や不安を抱えている保護者に対し、取手市療育システムの一環として、各課専門スタッフがかわり、より良い対応やアドバイスを保護者に伝え、継続的に支援していく。必要時には、療育機関や医療機関につなげる対応を行う。

#### ・親支援グループミーティング

家庭訪問や乳幼児健康診査で把握した育児不安や虐待の心配が予測される母親に対して、月1回程度のミーティングを開催する。グループミーティングの手法を用いて、自己を見つめ直し、育児不安や虐待リスクの軽減を図る。

### (5) 未熟児養育医療

身体の発育が未熟なまま出生した乳児に対し、速やかに適切な処置を講ずる目的で、指定医療機関において必要な医療の給付を行う。

未熟児養育医療については国庫負担(補助)金の交付対象となっており、養育医療給付事業負担金のうち国が1/2、県と市が1/4ずつ負担する。

### (6) 特定不妊治療費助成費

特定不妊治療に要した費用のうち、茨城県から受けた助成額を控除した額について、市も助成を行う。

対象者:特定不妊治療の必要のある夫婦(夫婦合算の所得制限あり、茨城県不妊治療費助成事業補助金の交付決定を受けていること)

・妊婦父親教室関係経費	報酬 : 医師報酬	21,000 円×5 回	105,000 円
	需用費: 消耗品費		129,000 円
	委託料: メール管理委託料		739,000 円
・母子健康教育関係経費	報償費: 歯科医師・歯科衛生士謝礼		303,000 円
	需用費: 消耗品費、医薬材料費		401,000 円
・妊婦・乳児健康診査関係経費	需用費: 消耗品費、印刷製本費		149,000 円

	役務費:手数料	794,000円
	委託料:妊婦健康診査委託料	54,160,000円
	乳児健康診査委託料	6,054,000円
	扶助費:妊婦・乳児健康診査費	1,550,000円
・産後ケア事業費	需用費:消耗品費、印刷製本費	133,000円
	委託料:産後ケア事業委託料	5,070,000円
・フォローアップ教室関係経費	報償費:心理発達相談員謝礼	800,000円
	心理士・保育士謝礼	168,000円
	需用費:消耗品費	37,000円
・未熟児養育医療関係経費	扶助費:医療機関未熟児養育費	2,270,000円
	役務費:手数料	2,000円
・特定不妊治療関係経費	扶助費:特定不妊治療費助成費	4,500,000円

## 1 保健衛生費 4 生活習慣病対策費

[担当:保健センター] P.153

20 生活習慣病対策検診に要する経費 73,243,000円 (71,482,000円)

[国・県 5,116,000円 その他 400,000円 一財 67,727,000円]

\* 特財積算根拠

[県補:健康増進事業費補助金 5,116,000円]

[諸収入:検診費用自己負担金 1,000円×200人=200,000円 500円×400人=200,000円]

### ○ 目的

検診により自己の健康状態を知り、生活習慣を見直すきっかけとすることにより、健康の保持・増進を図る。

### ○ 内容

健(検)診受診率向上対策としては、特に20～39歳の女性へのアプローチを強化して実施する。20～39歳の女性への健診個別通知を行い、ヘルスアップ健診、子宮がん検診、乳がん検診が同時に実施できるレディースデイ健診を集団健診(託児付)及び医療機関委託健診で実施するため、新たにレディースデイ健診を単独で予算化した。

・骨粗鬆症検診関係経費	委託料(300人)	899,000円
・乳がん検診関係経費	委託料(超音波・X線 3,040人)	9,058,000円
・胃がん検診関係経費	委託料(2,100人)	7,550,000円
・子宮がん検診関係経費	委託料(3,171人)	10,803,000円
・大腸がん検診関係経費	委託料(3,690人)	5,728,000円
・肺がん検診関係経費	委託料 肺がん検診(10,850人)	16,315,000円
	喀痰検査(200人)	720,000円
・健康診査関係経費	報償費 事後指導講師謝礼	120,000円
	委託料 ヘルスアップ健診(440人)	3,047,000円
	肝炎ウイルス検診(1,400人)	3,621,000円
・前立腺がん検診関係経費	委託料(2,605人)	4,902,000円
・歯科保健関係経費	報酬 (歯科医師報酬)	42,000円
	報償費(口腔外科医・歯科衛生士謝礼)	116,000円

	需用費(歯周疾患検診問診票等)	172,000 円
	役務費(歯周疾患検診個別通知郵送代)	666,000 円
	委託料(708 人)	3,045,000 円
・レディースデイ健診	報償費(保育士)	96,000 円
	需用費(消耗品費)	2,000 円
	委託料(522 人)	6,227,000 円

[担当：保健センター] P.156

2401 精神保健事業に要する経費 1,011,000 円 (1,013,000 円)

[一財 1,011,000 円]

○ 目的

こころの悩みや病気を抱える方及びその家族等に対する相談の場を設け、適切な支援を行うとともに、精神障害者の福祉の向上を図る。また、広く市民に対し自殺予防及び精神保健福祉に関する普及啓発を図る。

○ 内容

こころの健康相談として、精神科医師による相談を月 1 回実施する。

自殺予防対策事業については、庁内における自殺予防対策会議にて、検討実施していく。自殺予防週間・月間に、街頭キャンペーンを実施し、市民への普及啓発を進める。地域における見守りと気付きに重点をおき、身近な相談者を増やすため、ゲートキーパー養成講座・勉強会・ミニ講座を平成 29 年度も継続して開催していく。

メンタルチェックシステム「こころの体温計」を用い、ホームページから自分のこころの健康度をチェックし、必要時に適切な相談機関についての情報を提供できる体制を整える。

報償費	医師謝礼	@25,000 円×12 月=300,000 円
	ゲートキーパー養成講座講師謝礼	@50,000×2 回=100,000 円
需用費	印刷製本費	
	取手市ゲートキーパー手帳(A5 冊子)	@550×300 冊=178,200 円
	自殺予防街頭キャンペーン用リーフレット	@35×4,500=170,100 円
委託料	メンタルチェックシステム「こころの体温計」	111,000 円

## 1 保健衛生費 5 保健センター費

[担当：保健センター] P.157

2001 保健センター管理運営に要する経費 7,163,000 円 (7,856,000 円)

[一財 7,163,000 円]

○ 目的

保健センターで行う乳幼児健診、健康教育及び各種がん検診などのため、良好に施設の状態を保つよう維持管理を図る。

○ 内容

乳幼児健診、健康教育及び各種がん検診などを快適かつ円滑に行うため、衛生的な施設を維持するための清掃管理業務等を実施する。

需用費(光熱水費等)	2,290,000 円
委託料(施設維持管理委託料)	2,567,000 円

## 1 保健衛生費 6 環境衛生費

[担当：環境対策課] P. 158

### 1101 取手市環境審議会に要する経費 121,000 円 (121,000 円)

[一財 121,000 円]

#### ○ 目的

本市における環境行政全般について、調査審議する。

#### ○ 内容

審議会は、次の各号の事項について、市長の諮問に応じて調査・審議し、その結果を答申する。また、市長に建議することができる。

- 1 環境行政の基本的なあり方に関する事。
- 2 取手市環境基本計画に関する事。
- 3 環境衛生の維持及び公害の防止に関する事。
- 4 リサイクルの推進及び廃棄物の適正処理に関する事。
- 5 その他環境の保全及び創造に関し必要な事項。
- 6 前各号に掲げるもののほか、他の条例の規定によりその権限に属せられた事項。

[担当：環境対策課] P. 158

### 2101 犬猫対策に要する経費 2,697,000 円 (2,573,000 円)

[その他 2,441,000 円 一財 256,000 円]

#### \* 特財積算根拠

[手数料:犬登録手数料	(交 付)	@2,000×	350 件 =	700,000 円
	(再交付)	@1,000×	20 件 =	20,000 円]
[手数料:注射済票交付手数料	(交 付)	@400 ×	4,300 件 =	1,720,000 円
	(再交付)	@200 ×	5 件 =	1,000 円]

#### ○ 目的

狂犬病の予防及び公衆衛生・公共の福祉の増進を果たす。

#### ○ 内容

- ・犬の登録及び鑑札の交付、手数料徴収事務。
- ・狂犬病予防注射(集合注射)の実施、注射済票の交付、手数料徴収事務。
- ・路上で、交通事故で死亡した動物の処理を実施する。
- ・犬の飼い方マナー教室を開催する。
- ・犬の登録、狂犬病予防、ペットの飼い方等について広報、啓発を行う。
- ・迷子のペットが飼い主の元に戻れるよう、「迷子札ホルダー」を配付する。
- ・動物愛護団体との連携の一環として、犬猫の引取りに必要となるフードを支給する。

[担当：環境対策課] P. 158

### 2201 公衆トイレ管理に要する経費 7,753,000 円 (7,286,000 円)

[その他 300,000 円 一財 7,453,000 円]

#### \* 特財積算根拠

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 300,000 円]

○ 目的

取手駅西口公衆トイレ及び藤代駅南口公衆トイレを清潔に保ち、常に衛生的な状態でトイレの使用ができるようにする。

○ 内容

取手駅西口公衆トイレ及び藤代駅南口公衆トイレを毎日(1月1日は除く)清掃する。また、機器保守点検(取手駅西口公衆トイレ)及び機械警備(藤代駅南口公衆トイレ)を実施する。

[担当：環境対策課] P. 159

2301 雑草除去に要する経費 3,240,000円(3,240,000円)

[その他 3,240,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:草刈受託収入 3,240,000円]

○ 目的

空き地が雑草等により不良な状態とならないようにし、安全で清潔な生活環境を保持する。

○ 内容

雑草等が繁茂した空き地の所有者又は管理者に対して、適正な管理を行うよう指導するとともに、種々の事情で所有者又は管理者自身による雑草等の除去が困難な場合、委託を受けて除去を実施する。

[担当：環境対策課] P. 159

2401 取手市外2市火葬場組合負担金 43,903,000円(47,670,000円)

[その他 28,000,000円 一財 15,903,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:取手市外2市火葬場組合事務費 28,000,000円]

○ 目的

取手市外2市火葬場組合により火葬場「やすらぎ苑」の管理運営等を行う。

○ 内容

火葬場「やすらぎ苑」の管理運営の適正化を図り、火葬を円滑に実施する。

火葬場組合負担金

(単位:千円)

構成市	平均割 30%	人口割 70%	合計	前年比
取手市	10,048	33,855	43,903	△3,767
守谷市	10,048	20,619	30,667	△2,206
つくばみらい市	10,048	15,865	25,913	△1,838
計	30,144	70,339	100,483	△7,811

[担当：環境対策課] P. 160

3001 環境基本計画推進に要する経費 607,000円(636,000円)

[その他 119,000 円 一財 488,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:環境基金繰入金 119,000 円]

○ 目的

環境基本計画に定めた施策を総合的かつ計画的に推進する。

○ 内容

環境基本計画に基づき、地域の環境を保全するための施策を推進し、その進捗状況や取組による効果を検証し、見直しを行う。

具体的には、地球温暖化防止のための啓発活動を強化し、また環境の保全及び創造の観点から、「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」への参加、取手市里山・谷津田保全「いもりの里」協議会に対する補助金等を交付する。

[担当：環境対策課] P.160

**3501 レジ袋削減の推進に要する経費 104,000 円 (104,000 円)**

[一財 104,000 円]

○ 目的

地球温暖化防止とごみ減量のため、市民、市民団体、事業者及び行政が相互に連携し、日常生活や事業活動などあらゆる場面での環境負荷の軽減に向け、自らのライフスタイルを見直し、二酸化炭素やごみの排出抑制を図る契機とするため、レジ袋を削減することを目的とした、地域のスーパーなどを中心にレジ袋無料配布中止の実施や、マイバッグ持参運動を推進する。

○ 内容

レジ袋の削減については、ごみの発生を減らし、ひいては地球温暖化の防止につながる取組のひとつとして推進してきた。これまではマイバッグの普及運動という形で行われてきたが、最近では、市・事業者・市民団体の三者の協定にもとづき、スーパーなどの事業者がレジ袋の無料配布を止め有料化することによって削減する動きが広がっており、効果を上げている。

本市においては、平成 21 年 6 月に市民団体による「レジ袋削減推進取手市民の会」が結成され、市と協働でこの取組を推進している。

具体的には、市民の会とともに市内各所においてレジ袋を削減することを目的に、地域のスーパーなどを中心としたレジ袋無料配布中止の実施や、マイバッグ持参運動の PR 活動を行うなど、広く市民・消費者に周知を図るため啓発活動を実施する。

[担当：環境対策課] P.160

**3601 緑のカーテン推進に要する経費 262,000 円 (262,000 円)**

[一財 262,000 円]

○ 目的

夏季の冷房に使用するエネルギーを減らし、二酸化炭素の排出削減につなげて地球温暖化防止に役立てるため、緑のカーテンの推進を図る。

○ 内容

緑のカーテンは、建物の南側にネットを張り、つる性の植物を這わせて日射しを遮るこ

とにより、室内の温度を下げる。

緑のカーテンを公共施設(福祉交流センター、ふじしろ図書館、各公民館など)で率先的に実施し、一般家庭への普及を図る。また、広報紙でのPRや緑のカーテンコンテストを実施する。

## 1 保健衛生費 7 公害対策費

[担当：環境対策課] P. 161

2001 公害対策事業に要する経費 4,370,000円(4,353,000円)

[その他 100,000円 一財 4,270,000円]

\* 特財積算根拠

[手数料:土砂等による土地の埋立て等に係る特定事業許可申請手数料 100,000円]

### ○ 目的

市民の健康を守り、快適な生活環境を保全するため、公害の実態を把握し、発生を未然に防止する。そのため、水質分析調査、騒音・振動測定等の監視活動とともに、工場・事業所に指導を行う。

### ○ 内容

#### (1)水質汚濁防止対策

##### ①公共用水域の水質観測

市内河川(相野谷川、北浦川、西浦川)及び樋管において定期的に水質調査を実施し、公共用水域の水質汚濁の状況を把握する。

##### ②古利根沼水質・底質調査

古利根の自然環境を保全するため水質、底質の調査、監視を我孫子市との共同により実施する。

##### ③井戸水検査

市内全域から選定した井戸を対象に水質検査を行い、地下水の汚染状況を把握する。

##### ④産業廃棄物対策

フジランド産業廃棄物処分場からの地下水汚染を監視するため、周辺宅地内の井戸水の水質検査を継続して実施する。

#### (2)騒音・振動防止対策

##### ①自動車騒音の常時監視(平成24年4月県から権限移譲された)

環境省の処理基準により、騒音測定、交通量調査、沿道条件調査を行い、騒音レベルの推計(面的評価)を行い、結果を環境省に報告する。

[担当：環境対策課] P. 161

2501 放射能対策に要する経費 20,631,000円(24,974,000円)

[国・県 18,719,000円 その他 12,000円 一財 1,900,000円]

\* 特財積算根拠

[国補:放射線量低減対策特別緊急事業費補助金 16,870,000円]

[国補:消費者行政推進交付金事業費補助金 1,849,000円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 12,000円]

### ○ 目的

除染作業が終了した子ども関連施設の事後モニタリング測定を継続して実施し、除染効果の維持状況を確認するとともに、測定結果をホームページで公表し住民の安心感の醸成を図る。

また、学校や保育所(園)の給食が安全な食材が使用されていることを再確認し、安心して子ども達に給食を食べてもらえるよう給食食材の放射性物質検査を継続して実施する。合わせて家庭菜園等で採取した市民持ち込み食材の放射性物質検査を継続して実施し、食の安全・安心を確保する。

○ 内容

《除染関連事業》

・除染実施後モニタリング業務委託料	16,676,000 円
・放射線測定器校正手数料(2 台分)	162,000 円
・放射能講演会講師謝礼 (1 回分)	50,000 円

《放射能食材検査》

・給食食材検査関係公用車リース料	189,000 円
・放射性物質検査機器校正手数料(2 台分)	324,000 円
・食材検査員報酬(3 名分)	2,942,000 円

## 2 清掃費 1 清掃総務費

[担当：環境対策課] P.163

2001 清掃事業に要する経費 12,106,000 円 (11,224,000 円)

[その他 420,000 円 一財 11,686,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料:生活雑排水汲取手数料 @5,000×7 台×12 ヶ月=420,000 円]

○ 目的

清潔で住み良い環境づくりを図る。

○ 内容

- ・地区清掃により発生した、汚泥が入った土のう袋を収集し処分を行う。
- ・生活雑排水を浸透樹で処理している家庭のうち、浸透樹で処理しきれない雑排水の汲み取りを行う(汲取り戸数8戸)。
- ・小堀地区にある雑排水の沈殿槽について、定期清掃を実施する(5年に1回)。

[担当：環境対策課] P.163

2101 廃棄物不法投棄対策に要する経費 600,000 円 (605,000 円)

[一財 600,000 円]

○ 目的

廃棄物の不法投棄の未然防止及び不法投棄事案の早期解決により、良好な生活環境を確保するとともに公衆衛生の向上を図る。

○ 内容

取手市不法投棄ボランティア監視員及び廃棄物減量等推進員と連携を取り、市内の不法投棄の監視、早期発見を行うとともに、不法投棄の未然防止についての積極的な啓発活動を行う。

[担当：環境対策課] P. 164

2201 合併処理浄化槽設置整備費補助事業に要する経費 15,974,000円 (15,978,000円)

[国・県 10,922,000円 その他 56,000円 一財 4,996,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：循環型社会形成推進交付金 (15,033,000円×1/3)+(30,000円×10基)

=5,311,000円]

[県補：合併処理浄化槽設置事業費補助金 (15,033,000円×1/3)+(60,000円×10基)

=5,611,000円]

[手数料：一般廃棄物許可申請手数料 56,000円]

○ 目的

生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽の撤去を促進する。

○ 内容

対象区域：次の区域を除く区域

1. 公共下水道事業認可区域
2. 農業集落排水施設の処理区域及び処理計画区域

国県補助金分

5人槽相当 294,000円 ×29基=8,526,000円

7人槽相当 342,000円 ×15基=5,130,000円

10人槽相当 459,000円 ×3基=1,377,000円

単独撤去分 90,000円 ×10基= 900,000円

計 57基 15,933,000円

## 2 清掃費 2 じん芥処理費

[担当：環境対策課] P. 164

2001 じん芥収集に要する経費 356,746,000円 (355,247,000円)

[その他 15,449,000円 一財 341,297,000円]

\* 特財積算根拠

[手数料：一般廃棄物収集運搬業許可申請手数料 59,000円]

[手数料：粗大ごみ収集運搬手数料 4,368,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 18,000円]

[諸収入：資源物売却代 11,004,000円]

○ 目的

一般廃棄物(ごみ)の収集運搬を実施することにより市民の良好な生活環境を確保する。

○ 内容

市内一般家庭から排出される一般廃棄物(可燃、不燃、粗大)及び資源物(あき缶、あきビン、新聞紙、雑誌・雑紙、段ボール、紙パック、古着、プラスチック製容器包装、ペットボトル)の収集運搬を業者に委託して実施する。また、5種16分別による収集を行い、ごみの減量化を図る。

可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	有害ごみ		資源物									
			乾電池・体温計	蛍光管	あき缶	無色ビン	茶色ビン	その他の色ビン	新聞紙	雑誌・雑がみ	段ボール	紙パック	古着	容器包装

じん芥収集運搬委託料 349,372,656 円

公用車リース料 839,000 円

非常勤作業員報酬(2名分) 4,540,000 円

[担当：環境対策課] P.165

2101 ごみ処理事務に要する経費 6,672,000 円 (7,297,000 円)

[その他 6,632,000 円 一財 40,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料:粗大ごみ収集運搬手数料 6,632,000 円]

○ 目的

廃棄物(ごみ)の発生を抑制し、再利用を促進し清潔で快適な生活環境を保持する。また各団体と連絡調整や連携を図りながらごみ処理に関する情報の交換や、将来の方向性を協議する。

○ 内容

- ・ごみの発生抑制、資源の再使用・再生利用について、広報等を通じて市民に啓発し、循環型社会の構築を目指す。
- ・粗大ごみの受付事務に非常勤職員を採用し、迅速に対応する。
- ・関係機関との連絡調整や茨城県清掃協議会の活動を行う。

## 2 清掃費 3 ごみ減量推進費

[担当：環境対策課] P.165

2001 ごみ減量推進に関する経費 10,388,000 円 (10,440,000 円)

[一財 10,388,000 円]

○ 目的

ごみの減量化の推進、資源の有効利用など、リサイクルに関する市民の自主的な取組の促進を図る。

○ 内容

生ごみ処理容器購入補助金は、購入費の2分の1で1世帯2基まで1基につき限度額3,000円、電気式生ごみ処理機購入補助金は、購入費の2分の1で1世帯1基まで限度額20,000円を交付する。

資源回収助成金は、地区の自治会や子供会、PTA等の自主団体が回収した資源物については1kg当たり4円、その資源回収団体から資源回収業者が回収した資源物については1kg当たり1円の助成金を交付する。

## 2 清掃費 5 し尿処理費

[担当：環境対策課] P. 166

2001 し尿処理事業に要する経費 41,321,000 円 (44,128,000 円)

[その他 28,980,000 円 一財 12,341,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：し尿処理手数料 28,980,000 円]

### ○ 目的

市内の清潔な生活環境を保全する。

### ○ 内容

市内の汲取り式トイレのし尿汲取りを定期的を実施する。また、世帯の希望や災害時などの必要に応じて、臨時の汲取りを実施する。手数料は、し尿汲取券または口座振替によって徴収する。

《汲取実施戸数及び人数の見込み》

・定額制 1,000 人 ・特別加算 270 戸 ・従量制 7,700 本

[担当：環境対策課] P. 167

2101 龍ヶ崎地方衛生組合負担金 134,969,000 円 (140,866,000 円)

[一財 134,969,000 円]

### ○ 目的

取手市から搬出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を適切に行い、生活環境を保全する。

### ○ 内容

し尿及び浄化槽汚泥を龍ヶ崎地方衛生組合が「龍の郷クリーンセンター」において処理している。

建設費分 33,658,000 円

一般経費分 101,311,000 円

### 分 担 金 表

(単位：千円)

No	市町村名	建設費分	一般経費分	平成 29 年度 分 担 金	全体比 (%)	平成 28 年度 分 担 金	比 較
1	龍ヶ崎市	17,616	57,257	74,873	16.4	76,645	△1,772
2	牛久市	11,457	34,396	45,853	10.0	47,266	△1,413
3	取手市	33,658	101,311	134,969	29.6	140,866	△5,897
4	利根町	3,480	12,016	15,496	3.4	16,102	△606
5	河内町	6,040	20,738	26,778	5.9	26,781	△3
6	稲敷市	25,484	55,237	80,721	17.7	85,182	△4,461
7	美浦村	8,827	17,884	26,711	5.8	25,692	1,019
8	阿見町	12,341	38,661	51,002	11.2	52,059	△1,057
	計	118,903	337,500	456,403	100.00	470,593	△14,190

## 5 農林水産業費

### 1 農業費 1 農業委員会費

[担当：農業委員会] P.168

0501 農業委員会事務に要する経費 1,212,000 円 (1,042,000 円)

[一財 1,212,000 円]

○ 目的

農業委員会事務の円滑な遂行を図る。

○ 内容

- (1) 農家基本台帳の整備に関する事務
- (2) 農地に関する諸証明の発行
- (3) 農地常任委員会、農政常任委員会の運営に関する事務
- (4) 農地の権利移動、設定及び転用関係の許可事務及び届出に関する事務
- (5) 農業委員会総会、小委員会(各月1回)の運営に関する事務
- (6) 農業委員会会報発行(年2回)事務

[担当：農業委員会] P.169

2001 農業経営基盤強化促進事業に要する経費 388,000 円 (388,000 円)

[一財 388,000 円]

○ 目的

農用地の流動化を促進し、意欲ある農業者の規模拡大と農用地の有効利用に資する。

○ 内容

農業経営基盤強化促進事業の広報活動を行う。

[担当：農業委員会] P.170

2501 機構集積支援事業に要する経費 772,000 円 (733,000 円)

[国・県 770,000 円 その他 2,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：農業委員会補助金 770,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 2,000 円]

○ 目的

農地の利用状況を調査し、遊休農地の利用増進を図る。

○ 内容

- ・遊休農地の現地調査の実施及び、有効利用に係る意向を確認する。

消耗品費 60,000 円

通信運搬費 50,000 円

- ・農地台帳へ調査結果の情報入力を行う。

臨時職員賃金 1人 597,402 円

通勤手当 55,692 円

雇用保険料

7,184 円

## 1 農業費 3 農業振興費

[担当：農政課] P.171

### 2001 農業振興に要する経費 6,043,000 円 (12,908,000 円)

[国・県 3,570,000 円 一財 2,473,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：農業経営基盤強化資金利子助成補助金 40,000 円]

[県補：家畜伝染病予防事務交付金 1,000 円]

[県補：環境保全型農業直接支払交付金 521,000 円]

[県補：青年就農給付金(経営開始型)事業補助金 3,008,000 円]

#### ○ 目的

各種協議会及び農業関係団体等と連携を図り、地域における農業経営の安定と活性化を目指す。

#### ○ 内容

農業団体や各種協議会等に対する補助等及び認定農業者が農業経営安定化のために借り入れた資金に対する利子補給を行う。また、地域の担い手として新規青年就農者や規模拡大を図る農家及び環境保全に効果の高い営農活動に対して交付金を支払う。

[担当：農政課] P.172

### 3401 ふれあい農園事業に要する経費 1,080,000 円 (1,088,000 円)

[その他 1,068,000 円 一財 12,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：ふれあい農園利用料 1,068,000 円]

#### ○ 目的

自然とふれあいながら農業体験ができる環境を提供することにより、農業に対する理解を深めてもらうとともに、遊休農地の解消や地域の活性化を図る。

#### ○ 内容

農地を借り受け、市民農園として快適に利用できるよう管理、運営を行う。

農園一覧

農園名	利用料金	区画数	農園面積
宮和田(H6.3 開設)	1 区画 3,000 円/年	143	2,145 m <sup>2</sup> (1 区画=15 m <sup>2</sup> )
桑原(H4.2 開設)	1 区画 2,400 円/年	18	540 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )
小文間(H9.8 開設)	1 区画 2,400 円/年	29	870 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )
稲(H9.8 開設)	1 区画 2,400 円/年	44	1,320 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )
野々井 1(H2.5 開設)	1 区画 3,600 円/年	30	900 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )
野々井 2(H9.8 開設)	1 区画 3,600 円/年	22	660 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )
野々井 3(H9.8 開設)	1 区画 3,600 円/年	40	1,200 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )

野々井 4 (H14. 4 開設)	1 区画 2,400 円/年	44	1,320 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )
	1 区画 4,800 円/年	8	480 m <sup>2</sup> (1 区画=60 m <sup>2</sup> )
下高井 (H23. 4 開設)	1 区画 3,600 円/年	21	630 m <sup>2</sup> (1 区画=30 m <sup>2</sup> )
	1 区画 6,000 円/年	14	700 m <sup>2</sup> (1 区画=50 m <sup>2</sup> )
合 計		413	10,765 m <sup>2</sup>

[担当：農政課] P. 172

4001 市之代農業集落排水施設維持管理に要する経費 1,730,000 円 (2,540,000 円)

[その他 949,000 円 一財 781,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料：市之代農業集落排水使用料 949,000 円]

○ 目的

農業集落排水施設の適切な維持管理を実施することにより、良好な生活環境及び自然環境の維持に努める。

○ 内容

市之代地区農業集落排水処理施設の維持管理委託や処理水の水質検査等を実施する。

[担当：農政課] P. 173

4201 農業ふれあい公園維持管理に要する経費 5,706,000 円 (4,549,000 円)

[その他 1,600,000 円 一財 4,106,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料：農業ふれあい公園使用料 500,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,100,000 円]

○ 目的

自然とのふれあいや農業への理解を深めてもらうことを目的に、平成 12 年 4 月、市之代地区に開設した農業ふれあい公園の適切な維持管理を実施し、安全で快適な利用促進を図る。

○ 内容

総面積 14,852 m<sup>2</sup> (ログハウス風管理棟、貸し農園 (20 m<sup>2</sup>×76 区画)、シンボルパーゴラ、景観池、多目的広場、自由広場、駐車場等を配置)

施設使用料

施設名	使用料	摘 要	備 考
貸し農園	7,200 円	1 区画・年間	圏域内(取手市・守谷市・つくばみらい市)在住者の使用料 圏域外在住者は 5 割増
管理棟多目的室	1,500 円	9 時～12 時・13 時～16 時	
管理棟調理室	830 円	9 時～12 時・13 時～16 時	

[担当：農政課] P.173

4401 水田農業構造改革対策に要する経費 52,794,000円(54,673,000円)

[国・県 6,864,000円 一財 45,930,000円]

\* 特財積算根拠

[県補:経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金 6,864,000円]

○ 目的

米の需給環境は依然として過剰基調にあり、米価下落が続いているが、カロリーベースでの食料自給率は約39%と諸外国と比較しても極めて低い水準にある。こうした現状からの脱却には、農家の収入の安定化と余剰水田等を活用した、自給力の向上に寄与する作物の推進が必要である。そのため、国では「経営所得安定対策」を積極的に推進している。この政策を踏まえながら、地域の特性や実情に則した独自の補助事業を効果的に実施することで、米生産数量目標の達成に取り組むとともに、農業の活性化、効率的な農地利用、遊休農地の解消等を図る。

○ 内容

《平成29年産米生産数量目標等》

生産数量目標配分	7,282 t
水稲作付面積換算	1,385ha(基準単収526kg換算)
配分農家数	1,990戸

《補助金等》

補助金	予算額	備考
水田農業転作等実施補助金	40,000,000円	転作等達成者補助金及び集落達成金
水田農業推進センター活動事業費補助金	200,000円	取手市生産調整推進センターへの活動費補助
県経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金	6,864,000円	取手市農業再生協議会への事業費補助
水田農業転作等推進事業負担金	5,565,000円	茨城みなみ農業協同組合への事業負担金

[担当：農政課] P.174

4701 地産地消に要する経費 122,000円(122,000円)

[一財 122,000円]

○ 目的

地産地消を推進することにより、市民に安心、安全な農産物を提供するとともに、農産物の販売経路の確保、農業所得と生産意欲の向上、地域間コミュニケーションの活性化を図る。

○ 内容

市のイベント会場等で取手産新鮮農産物等を農家が直接持ち寄り軽トラックで販売する「とりで軽トラ市」を開催する。また、農産物直売所について「取手市農産物直売所マップ」を作成する。

## 1 農業費 4 農地費

[担当：農政課] P.174

2001 土地改良事業に要する経費 44,177,000 円 (44,846,000 円)

[国・県 4,258,000 円 地方債 10,400,000 円 その他 635,000 円 一財 28,884,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：湛水防除施設等管理費補助金 183,000 円]

[県補：多面的機能支払交付金 3,694,000 円]

[県補：農業生産基盤整備事業補助金 381,000 円]

[市債：災害関連事業債(地盤沈下対策分) 1,620,000 円×90%≒1,400,000 円]

[市債：土地改良事業債 10,000,000 円×90%=9,000,000 円]

[負担金：農業生産基盤整備事業負担金 635,000 円]

(1)福岡堰地区地盤沈下対策事業負担金【県営事業への負担金】

○ 目的

福岡堰土地改良区管内の用水路に不等沈下による逆勾配、中だるみ等の障害が生じ、農業用水の不足や排水不良が起こっているため改修を実施している。川通用水路、寺下用水路、谷井田用水路、九ヶ村用水路を改修している小貝東部2期地区は平成36年度に改修完了予定。また、鐘打落排水路、山谷落排水路等を改修している福岡堰4期地区は平成32年度改修完了予定。これにより、農業用水の確保と農業経営の安定化を図る。

○ 内容

・事業費負担金 1,620,000 円(工事費)

事業	実施箇所	内容
地盤沈下対策事業 小貝東部2期地区	取手市及びつくばみらい市管内 (九ヶ村用水路・谷井田用水路・ 寺下用水路)	用水路改修 L=21,700m
地盤沈下対策事業 福岡堰4期地区	つくばみらい市弥柳・谷井田 谷井田落排水路	排水路改修 L=7,937m

(2)守谷地区経営体育成基盤整備事業負担金【県営事業への負担金】

○ 目的

当地区は、昭和41年～45年にかけて構造改善事業による圃場整備が完了しているが、用水施設が老朽化し支障が生じている。パイプライン等による用水施設の整備と併せて、排水路及び農道整備等を実施することにより、生産性の高い水田営農の確立を図る。

○ 内容

受益面積は、守谷土地改良区管内の取手地区2.2ha、守谷地区65.5haの合わせて67.7haで、経営体育成基盤整備事業(土地改良総合整備)として、平成20～21年度で調査計画、平成22年～29年度の8ヵ年で工事を実施する。

・事業費負担金 100,000 円(工事費)

事業	実施箇所	内容
経営体育成基盤整備事業 守谷地区	取手市域及び守谷市域	暗渠排水工 A=33.2ha 客土工 A=23.8ha

(3) 藤代北部地区経営体育成基盤整備事業負担金【県営事業への負担金】

○ 目的

当地区は、昭和 45 年～52 年にかけて実施された県営圃場整備事業により 30a 区画の基盤整備が完了しているが、排水施設が老朽化し支障が生じている。排水路及び農道整備等を実施することにより、効率のかつ安定的な生産性の高い水田営農の確立を図る。

○ 内容

受益面積は福岡堰土地改良区管内の久賀地区 110ha で、経営体育成基盤整備事業(土地改良総合整備)として、平成 22～24 年度を調査計画期間とし、平成 25 年度から平成 30 年度の 6 ヶ年で事業を実施する。

・事業費負担金 10,000,000 円

事業	実施箇所	内容
経営体育成基盤整備事業 藤代北部地区	取手市域	排水路改修工事 L=5,011m 農道工 L=2,060m

(4) 小文間パイプライン整備負担金【団体営事業への負担金】

○ 目的

当地区における小用水路は土堀水路であり、地形的に中だるみを生じており、毎年の用水不足が生じているため改修工事を行うものである。これにより農業用水の反復利用と労力の軽減を図り、生産者の営農意欲を向上させることを目的とする。

○ 内容

小文間地区パイプライン整備事業の一環として行い、小用水への吐出し口までの整備に合わせ小用水(土堀水路)の改修工事を行うものである。平成 29 年度においては、延長 L=620m を予定、総延長 L=1,940m の整備工事を行う。

・事業費負担金 2,334,000 円(工事費)

(5) 多面的機能支払交付金

○ 目的

農業者又は農業者及び地域住民等で構成された組織が行う農地・水路・農道等の保全管理、農業施設の長寿命化を図る活動に対しての支援を目的とする。

○ 内容

市之代・貝塚・上高井・下高井地区、上萱場地区、浜田地区が実施する基礎的保全管理活動(田の草刈、水路泥上げ等 面積 16,420a) に対し交付。

交付単価 3,000 円/10a (田)

負担割合 国 1/2 県 1/4 市 1/4

・事業交付金 4,926,000 円

## 6 商工費

### 1 商工費 2 商工振興費

[担当：産業振興課] P.177

2001 商工業振興助成に関する経費 24,959,000円 (57,316,000円)

[その他 1,200,000円 一財 23,759,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料:駐車場使用料 1,200,000円]

#### ○ 目的

市内の商工会や商店街への助成等を行うことにより、市の商工業の発展に寄与することを目的とする。

#### ○ 内容

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| (1) 商店街活性化事業補助金      | 1,640,000円  |
| ・ 商店街活性化事業補助金 7団体    | 1,100,000円  |
| ・ 駅周辺活性化事業補助金 3団体    | 540,000円    |
| (2) 商工会事業補助金         | 19,226,000円 |
| ・ 取手市商工会職員の人件費       | 16,874,000円 |
| ・ 産業振興 ICT 推進事業      | 2,352,000円  |
| (3) とりで産業まつり補助金      | 2,000,000円  |
| (期 日) 平成 29 年 11 月予定 |             |
| (場 所) 取手緑地運動公園       |             |
| (参加者) 45,000 人見込み    |             |
| (4) 藤代商工祭補助金         | 1,000,000円  |
| (期 日) 平成 29 年 9 月予定  |             |
| (場 所) 藤代地区商店会大通り     |             |
| (参加者) 10,000 人見込み    |             |

[担当：産業振興課] P.177

2002 買い物弱者支援事業に関する経費 2,136,000円 (0円)

[一財 2,136,000円]

#### ○ 目的

既存スーパーの撤退、地元商店街の衰退、市民の高齢化に伴う買い物弱者への買い物環境の改善を図るために市内に移動販売車を巡回する。

#### ○ 内容

買い物が困難な市民に対して移動販売車にて生鮮三品等の買物の場を提供する事業者に対し、取手市買い物弱者支援事業補助金交付要綱に基づき人件費の一部を支援する。

178,000円×12ヶ月×1人分

[担当：産業振興課] P.177

2101 中小企業事業資金融資あっ旋事業に要する経費 94,155,000 円 (99,746,000 円)

[国・県 133,000 円 その他 34,003,000 円 一財 60,019,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：関東・東北豪雨災害緊急対策融資利子補給費補助金 133,000 円]

[諸収入：自治金融資金貸付金元利収入 34,003,000 円]

(1) 取手市中小企業事業資金融資あっ旋制度

○ 目的

市内の中小企業者に対する事業資金の保証あっ旋をすることで、市内中小企業者の金融の円滑化を図り、企業の安定と繁栄に寄与することを目的とする。

○ 内容

茨城県信用保証協会を公的保証人とすることで事業資金の借入を円滑にするとともに、市内金融機関に1年間の預託を行うことにより融資実行利率を低利に抑え、制度の基盤を強固なものにする。

また、制度利用者に対し、保証料を補助することで制度利用者の負担軽減を図る。

・制度の概要

制 度	自 治 金 融		振 興 金 融	
内 容	1,000 万円	返済 7 年	2,000 万円	返済 7 年
保 証 料	年 0.45～1.9% (平均で 1.15% 10 万円で約 3,200 円)			

・保証料補助の内訳

制 度	金 額	備 考
自治金融	27,941,000 円	新規 181 件 14,897,528 円、過年度 492 件 13,043,062 円
振興金融	26,743,000 円	新規 75 件 14,653,856 円、過年度 201 件 12,089,110 円
計	54,684,000 円	自治金融・振興金融保証債務残高 4,907,503,000 円 (1,086 件) ※平成 28 年 12 月末現在

・預託金、寄託金

制 度	金 額	備 考
自治金融預託金	33,000,000 円	市内金融機関 7 行に預託 (平成 29 年 10 月 17 日～平成 30 年 10 月 16 日)
損失補償寄託金	6,100,000 円	茨城県信用保証協会に寄託

(2) 関東・東北豪雨災害緊急対策融資に係る保証料補助と利子補給

○ 目的

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨で被害を受けた市内で事業を行っている中小企業者の早期復旧・復興を図る為。

○ 内容

県では関東・東北豪雨災害の影響により被害を受けた中小企業者に対し、早期復旧・復興が図れるよう、「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害緊急対策融資制度」を創設。市も県と連携協力の上、制度利用者を対象に保証料の補助と利子補給を実施し負担軽減を図る。

・制度の概要

信用保証料助成

要件	補助率	負担割合	保証料率
直接被害	10割	県 1/2 : 市 1/2	0.25～1.7%
間接被害	5割	県 1/2 : 市 1/2	0.7%

保証料率は、県保証協会の協力により、通常の保証料から0.2%軽減

利子補給

融資額	要件	補給割合	負担割合	金利
1千万以内	直接被害・間接被害	10割	県 1/2 : 市 1/2	0.6%
1千万超	直接被害	10割	県 2/3 : 市 1/3	1.2～1.6%
1千万超	間接被害	5割	県 2/3 : 市 1/3	1.2～1.6%

利子補給期間は、融資実行後3年間に限る

[担当：産業振興課] P.178

2701 中小企業育成事業に要する経費 4,427,000円(1,100,000円)

[一財4,427,000円]

(1) 産業振興チャレンジ支援事業補助金 900,000円

○ 目的

ワタシの街の起業支援 Match のプログラムを活用した起業家に対して、市内の店舗で利用可能な補助金を交付し、市内での起業を促進と、市内産業の活性化の両方を図る。

○ 内容

ワタシの街の起業支援 Match のプログラムで起業家カードを受け取った起業家に対し、市内の店舗で使用可能な補助金を交付することで、起業の促進や市内産業の活性化を図る。

(2) 市民の事業活動促進補助金事業 3,527,000円

○ 目的

市内経済の活性化を促進するためには、より多くの事業活動が必要であることから、多くの市民が積極的に事業活動を行うことできるよう、オフィスを賃貸借する際の賃料の一部を補助する。

○ 内容

事業活動の支援を主たる目的として設置された共用オフィスを市民が借りて事業活動を行う場合に、利用料の一部を補助し、市民の事業活動を促進し、市内経済の活性化を図る。

[担当：産業振興課] P.178

2801 産業振興に要する経費 96,730,000円(68,647,000円)

[国・県 24,777,000円 地方債 9,700,000円 一財 62,253,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：地方創生推進交付金 49,554,000円×1/2=24,777,000円]

[市債：創業支援施設整備事業債 (21,600,000円-10,800,000円)×90%≒9,700,000円]

(1) 産業活動支援条例に基づく奨励金 46,188,000円

○ 目的

市内経済活動の活性化のため、市内企業・事業所の振興策の強化を図る。また、市経済の

発展及び雇用機会の拡大に結びつく企業・事業所の事業拡大に対し支援する。

○ 内容

企業・事業所の事業拡大に対し、産業活動支援条例に基づき、施設奨励金及び雇用促進奨励金を交付し、地域経済の活性化を図る。

(2) 創業支援事業補助金 49,554,000 円

○ 目的

今まで行われていた、都市型の創業支援とは異なり、全国初となる地方都市での起業家タウンの実現を目指す。インキュベーションオフィスの設置、セミナーやスクールの開催に加え、地元企業による、起業応援団の組織、独自の広報媒体としてのフリーペーパーの発行等、新しい取り組みを市内で展開していく。

○ 内容

今までの創業支援事業に加え、龍ヶ崎市との広域連携に取組み、龍ヶ崎市内に新たに設置されるインキュベーションオフィスの相互利用や、両市にまたいでセミナー開催、龍ヶ崎市で新たに展開される起業応援団からのサービスの提供など、支援を拡充する。また、起業家がチャレンジできるリアル店舗「Match-Challengeshop」を新設し、物販業やサービス業の起業家への支援を拡充する。

[担当：産業振興課] P. 179

2901 空き店舗活用事業に要する経費 3,200,000 円 (3,200,000 円)

[一財 3,200,000 円]

○目的

空き店舗の有効利用及びまちの賑わいづくりの促進のため、空き店舗に出店する者に対し、取手市空き店舗活用補助金交付要綱に基づき支援する。

○内容

空き店舗活用事業補助金 3,200,000 円

項目	補助率	補助対象経費の上限額
店舗改装費	2分の1以内	100万円以内
店舗の賃借料	2分の1以内	月額5万円以内で1年間

## 1 商工費 3 労働対策費

[担当：産業振興課] P. 179

2001 労働対策に関する経費 2,137,000 円 (2,179,000 円)

[その他 8,000 円 一財 2,129,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,000 円]

○ 目的

平成 19 年 10 月開設の取手市地域職業相談室(通称:取手市ふるさとハローワーク)において、国と市が連携しながら、職業相談、職業紹介サービスを提供し、安定した雇用機会の確保、就職の促進を図る。

○ 内容

施設(94.08 m<sup>2</sup>)を藤代庁舎2階に設置し、国と市の共同で管理運営を行う。

業務時間	毎週月～金曜日 午前9時～午後5時		
主な業務	職業相談、職業紹介と求人情報の提供		
相談員	国2名	受付事務	市2名

[担当：産業振興課] P. 180

2002 勤労青少年体育センター管理運営に関する経費 8,331,000円(1,344,000円)

[国・県 1,666,000円 地方債 4,500,000円 その他 1,189,000円 一財 976,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成分) 5,000,000円×1/3  
≒1,666,000円]

[市債：勤労青少年体育センター施設整備事業債(5,000,000円-1,666,000円)×90%  
≒3,000,000円]

[市債：勤労青少年体育センター施設整備事業債 2,000,000円×75%=1,500,000円]

[使用料：施設使用料 355,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 834,000円]

○ 目的

勤労青少年体育センターの適切な維持管理を行う。また、同施設は昭和49年に設置され、老朽化が目立っている。利用者が多い施設であるため利用者の安全確保を目的に、耐震補強及び改修工事の実施設計を行う。

○ 内容

需用費 863,000円(光熱水費、修繕料、他)

役務費 10,000円(火災保険料)

委託料 7,458,000円

・体育センター清掃委託料 458,000円

・体育センター耐震補強工事施設設計業務委託料 7,000,000円

1 商工費 4 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理費

[担当：産業振興課] P. 180

2001 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理運営に要する経費 12,336,000円  
(13,010,000円)

[その他 1,335,000円 一財 11,001,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料：施設使用料 1,275,000円]

[手数料：コピー手数料 24,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 4,000円]

[諸収入：印刷機使用料 32,000円]

○ 目的

利用者が余暇を使い趣味の活動や学習活動をするために運営し、施設を良好な状態に保つために維持管理を行い、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

働く婦人の家の適切な維持管理を行う。主な経費は一般職非常勤報酬、需用費、委託料である。

- ・一般職非常勤報酬 3,155,000 円
- ・需用費 4,681,000 円（光熱水費、修繕料、他）
- ・委託料 3,727,000 円（施設の清掃管理委託、夜間管理委託、他）

[担当：産業振興課] P. 181

2101 働く婦人の家・勤労青少年ホーム活動に要する経費 266,000 円（265,000 円）

[その他 128,000 円 一財 138,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：講座参加個人負担金 128,000 円]

○ 目的

働く婦人及び勤労青少年の福祉の促進と健全な育成を図る。

○ 内容

主催講座実施予定

講座名	開催回数	参加人数見込 (延べ人数)
簿記(3級)	20回	300人

## 1 商工費 5 消費生活対策費

[担当：産業振興課] P. 182

2001 消費生活対策に要する経費 9,398,000 円（8,042,000 円）

[国・県 2,461,000 円 その他 25,000 円 一財 6,912,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：消費者行政推進事業費補助金 2,461,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 25,000 円]

○ 目的

消費者の利益の擁護及び増進に関する対策の推進を図り、消費生活に係る知識の普及と情報の提供に努め、市民の消費生活の安定と向上を確保することを目的とする。

○ 内容

(1) 消費生活展実施委託料 650,000 円

消費者団体等が、消費生活に関する題材を多面的かつ具体的に取り上げ、一般消費者の方たちへ問題提起や知識の向上を目的とした啓発活動である。

(2) 消費生活センター相談業務

商品やサービスの契約及び多重債務等に関する相談、苦情、問い合わせを受け付け、助言・斡旋・情報提供などを行う。また、消費者の自立を促し被害の未然防止を図る。

業務日	月曜日～金曜日
相談時間	午前9時～午後4時
相談員数	3人

## 1 商工費 6 観光費

[担当：産業振興課] P.183

2001 観光事業に関する経費 39,952,000円 (35,033,000円)

[一財 39,952,000円]

### ○ 目的

取手市の魅力を全国に発信し、観光事業の振興を図るため、市観光協会の各事業への助成等を行い、郷土愛の高揚に貢献する。

### ○ 内容

- (1) 小堀古利根周辺の清掃管理委託料 360,000円
- (2) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会負担金 526,000円  
(茨城県国際観光キャンペーン地区推進協議会負担金 70,000円含む)
- (3) 観光パンフレット作成業務 5,643,000円  
観光パンフレット「るるぶ特別編集 取手」全24頁 30,000部
- (4) 市観光協会補助金 33,403,000円

観光協会一般補助金	4,223,000円
花火大会補助金	25,080,000円
たこあげどんどまつり補助金	2,050,000円
桜ライトアップ事業補助金	750,000円
取手駅前にぎわい創出事業補助金	1,300,000円

### 観光協会主催イベント

イベント名	実施予定期日	場 所	参加者見込み
第64回とりで利根川大花火	平成29年8月中旬	取手緑地運動公園	100,000人
取手駅前にぎわいフェスタ	平成29年10～12月	取手ウェルネスプラザ	2,500人
第51回とりで利根川たこあげ大会	平成30年1月	取手緑地運動公園	4,700人
第48回とりで利根川どんどまつり	平成30年1月	取手緑地運動公園	2,500人
第5回とりで観光フォトコンテスト	平成30年2月中旬	ふじしろ図書館	—
第14回桜ライトアップ事業	平成30年3月下旬	老人福祉センター「さくら荘」	2,500人

## 7 土木費

### 1 土木管理費 1 土木総務費

[担当：管理課] P. 185

2501 道路管理に要する経費 52,009,000 円 (53,880,000 円)

[地方債 33,000,000 円 その他 6,045,000 円 一財 12,964,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：合併特例債 34,800,000 円×95%≒33,000,000 円]

[使用料：道路使用料 130,000 円]

[使用料：法定外公共物使用料 5,881,000 円]

[手数料：道路幅員証明手数料 1,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 33,000 円]

#### ○ 目的

市道の適正な管理を行うことにより、市民の安心安全な生活道路を維持する。

#### ○ 内容

道路の認定・廃止及び道路改良工事等により、市道に変更が生じた箇所について道路台帳の調書・図面を加除し、最新の状況で管理する。

藤代地区の雨水流末でもある北浦川河川整備事業(県事業)による橋梁架替に伴い、市道部分に対する応分の負担金を茨城県に支出する。

委託料	道路台帳整備委託料	6,210,000 円
負担金、補助及び交付金	北浦川谷中第 5 号橋(仮称)相橋架替負担金	34,800,000 円
	平成 27 年度～平成 31 年度(5 カ年の年割)	

### 2 道路橋りょう費 1 道路橋りょう総務費

[担当：管理課] P. 186

2101 街路灯の維持管理に要する経費 57,581,000 円 (58,025,000 円)

[その他 21,900,000 円 一財 35,681,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料：道路使用料 21,900,000 円]

#### ○ 目的

道路の交通安全及び防犯のために、街路灯の設置及び維持管理を行う。

#### ○ 内容

市内全域の街路灯について維持管理を行う。老朽化したポールの取替えを 30 本予定している。また新設要望箇所に 30 本を新たに設置する。

需用費	修繕料(LED 防犯灯以外の道路照明修繕)	2,101,000 円
工事請負費	街路灯設置工事(30 箇所)	1,307,000 円
備品購入費	街路灯用ポール(30 箇所)	584,000 円

## 2 道路橋りょう費 2 道路維持費

[担当：管理課] P.187

2001 道路維持補修に要する経費 233,103,000 円 (245,144,000 円)

[国・県 15,400,000 円 その他 14,928,000 円 一財 202,775,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:防災・安全交付金(インフラ老朽化対策分) 28,000,000 円×55%=15,400,000 円]

[使用料:道路使用料 12,201,000 円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 2,700,000 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 27,000 円]

### ○ 目的

総延長約 1,000 km の市道を安全・快適に利用できるように道路施設の点検・維持・修繕を行う。また、橋梁や道路施設の点検を実施し修繕を計画的に行う。

### ○ 内容

道路施設で破損があった場合に、専門的な技術及び機器等を使用しなければならないような破損については専門業者に修繕を依頼し、破損の程度が小さく職員で補修できるものについては補修材料を購入して修繕する。なお、委託料は、街路樹の剪定、道路法面の草刈、道路構造物の処分費等の維持管理に要する経費及び道路の側溝、路面の清掃、取手・藤代各駅のエレベーター、エスカレーターの点検・清掃等に要する経費である。

橋梁においては、点検を実施し損傷の大きな橋梁についての修繕を実施する。

[担当：道路建設課] P.189

26 道路維持に要する経費 55,461,000 円 (71,461,000 円)

[地方債 52,600,000 円 一財 2,861,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債:合併特例債 55,461,000 円×95%≒52,600,000 円]

### ○ 目的

当該地は地盤状況が悪く、舗装打ち替えが 10 年～30 年以上前であることから道路施設の劣化が激しい為、道路利用者の安全を図る。

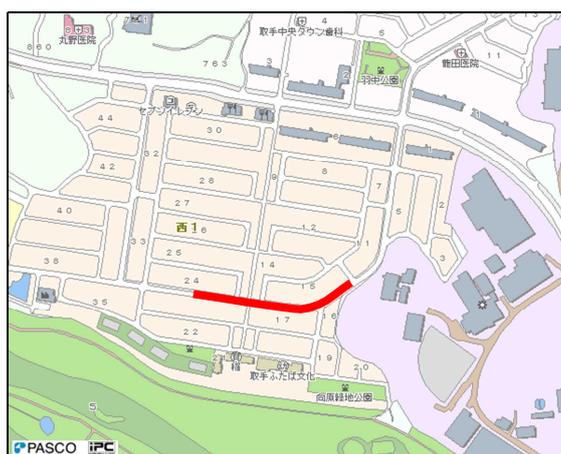
### ○ 内容

アスファルト路面の凸凹及びマンホールと路面間の段差等による騒音、振動が顕著である為、振動対策と舗装の打ち替えを行う。

(単位:円)

事業名	事業費	事業内容
2603 西一・二丁目 (市道 2548 号線他)	55,461,000	維持工事 54,000,000 L=200m
		消火栓修繕工事 1,461,000 N=1 箇所

2603 西一・二丁目(市道 2548 号線他)



## 2 道路橋りょう費 3 道路改良費

[担当：道路建設課] P. 189

20 道路改良に要する経費 71,071,000 円 (279,883,000 円)

[地方債 66,700,000 円 一財 4,371,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：市道整備事業債 12,799,000 円×90%≒11,500,000 円]

[市債：合併特例債 58,272,000 円×95%≒55,200,000 円]

○ 目的

生活に密着した道路を拡幅整備し、緊急時の救急車両の通過や交通の利便性を図る。

○ 内容

道路改良事業を実施する。各路線の事業費・内容等は次のとおり。

(単位:円)

事業名	事業費	事業内容
2015 井野三丁目 (市道 4305 号線)	17,232,000	路線測量業務委託 L=400m 3,672,000
		地盤調査業務委託 2,344,000
		道路詳細設計業務委託 L=400m 6,416,000
		電柱移設補償費 4,800,000

2024 市之代 (市道 1032 号線他)	12,799,000	路線測量業務委託 L=270m 用地測量業務委託 地盤調査業務委託 道路詳細設計業務委託 L=270m	4,104,000 2,981,000 2,128,000 3,586,000
2056 山王上曾根 (市道 0128 号線)	41,040,000	改良工事 L=110m	41,040,000

2015 井野三丁目(市道 4305 号線)



2024 市之代(市道 1032 号線他)



2056 山王上曾根(市道 0128 号線)



[担当：道路建設課] P. 190

25 通学路整備に要する経費 150,536,000 円 (142,380,000 円)

[国・県 82,500,000 円 地方債 64,500,000 円 一財 3,536,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：防災・安全交付金(生活空間の安全確保分) 150,000,000 円×55%=82,500,000 円]

[市債：合併特例債 (150,536,000 円-82,500,000 円)×95%≒64,500,000 円]

○ 目的

小中学生の通学路の歩道整備等を行い、児童等の安全対策を図る。

○ 内容

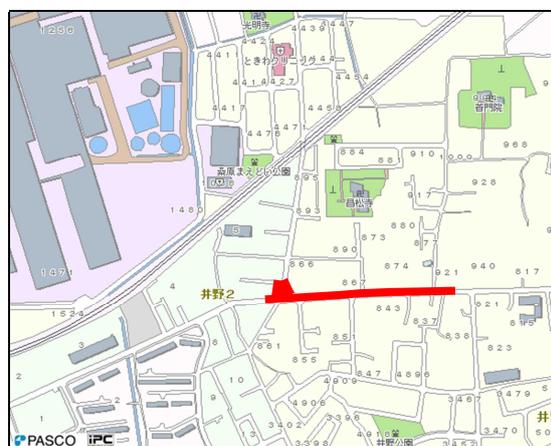
道路改良事業を実施する。各路線の事業費・内容等は次のとおり。

(単位:円)

事業名	事業費	事業内容
2505 下高井田向 (市道 0104 号線)	50,170,000	不動産鑑定評価業務 170,000
		補償調査算定業務委託 1,441,000
		土地評価業務委託 2,050,000
		改良工事 L=50m 11,773,000
		公有財産購入費 2,700,000
		損失補償費 36,000
		物件移転補償費 30,000,000
		電柱移設補償費 2,000,000
2509 井野前土井 (市道 4009 号線他)	40,000,000	改良工事 40,000,000 L=300m
2512 山王 (市道 4262 号線他)	60,366,000	不動産鑑定評価業務 366,000
		路線測量業務委託 4,072,000
		地質調査業務委託 8,500,000
		道路詳細設計業務委託 6,362,000
		土地評価業務 497,000
		改良工事 L=250m 38,171,000
		用地費 1,362,000
		損失補償費 36,000
電柱移設補償費 1,000,000		

2505 下高井田向(市道 0104 号線)

2509 井野前土井(市道 4009 号線他)



2512 山王(市道 4262 号線他)



### 3 都市計画費 1 都市計画総務費

[担当：都市計画課] P. 194

0801 桑原地区整備推進に要する経費 72,940,000 円 (24,711,000 円)

[国・県 24,000,000 円 一財 48,940,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:街路交通調査補助金 72,000,000 円×1/3=24,000,000 円]

#### ○ 目的

桑原地区の新市街地の創出に向けて整備の推進を図る。当該地区の商業・業務拠点としてのまちづくりにより、再び、市の求心力を高めることで、市民生活の向上ばかりではなく、雇用の創出や若者世代の定住を促進し、まちの活力を高めていく。

現在、事業の実現に向けて地権者と協働で地区の新たな土地利用の展開について検討し、市街地開発事業の早期事業化を目指している。

#### ○ 内容

桑原周辺地区測量業務は、事業区域の設定や実現性の高い事業計画案を作成するために必要な土地の現況を、測量の実施により整理するものであり、桑原周辺地区地質調査業務は、実現性の高い事業計画案を作成する際の造成費及び、土地利用計画等を検討していく上で必要な資料として地質の状態を調査、解析を行うものである。

また、桑原周辺地区土地区画整理事業調査業務は、事業区域の設定、区画整理設計、整備効果調査、事業計画調査等を行い、事業計画案を作成するものであり、区画整理準備組合の設立に向け、地権者の合意形成を図る。

費用負担:補助対象調査費の 1/3 相当額を国が補助

調査期間:平成 29 年度

桑原周辺地区測量業務委託	30,093,000 円
桑原周辺地区地質調査業務委託	10,973,000 円

桑原周辺地区土地区画整理事業調査業務委託	31,860,000円
その他の経費	14,000円

[担当：都市計画課] P.194

2201 立地適正化計画策定に要する経費 10,128,000円 新規

[国・県 5,000,000円 一財 5,128,000円]

\* 特財積算根拠

[国補:集約都市形成支援事業費補助金 10,000,000円×1/2=5,000,000円]

○ 目的

市が直面する急速な少子高齢化の進展や人口の逡減に対応し、地域コミュニティの維持・増進や公共投資の効率化により持続可能な都市の活性化を図るため、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の理念に基づき都市構造の見直しを行い、商業、医療、福祉、教育、文化等の各種都市機能の再配置・誘導等を検討する必要があるため、都市の包括的マスタープランとして、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画を策定する。

○ 内容

平成30年度の計画案策定に向けて調査分析・方針策定を内容とする業務委託を行う。今年度は、関連する計画や他部局の関係施策等の整理、都市が抱える課題の分析及び解決すべき課題の抽出、まちづくりの方針の検討、目指すべき都市の骨格構造の検討、課題解決のための施策・誘導方針の検討等を行う。なお、策定に当たっては、健康・医療・福祉施策と連携するまちづくりの増進、既存の住宅団地の再生及び持続可能で都市の維持・発展に資する公共交通網の形成等を視野に入れ行うこととする。

また、策定に係る事項を調査審議するため、学識経験者、各種団体等から構成される委員会を設置する。

立地適正化計画策定業務委託 10,000,000円

立地適正化計画策定委員会委員謝礼 128,000円

[担当：都市計画課] P.195

2501 都市交通政策の推進に要する経費 118,440,000円 (113,646,000円)

[一財 118,440,000円]

○ 目的

市民の日常の交通手段を確保する観点から、民間路線バスとコミュニティバス等の市内公共交通網に関する整備を図る。

コミュニティバスにおいては、公共公益施設や中心市街地へのアクセス性向上及び利便性を図るため、また、高齢者や交通弱者等に対しての移動手段を確保することを目的に運行するものである。

また、路線バスにおいては、市民の日常生活における通勤、通学、通院や買い物などの

移動手段を確保するとともに、複数市町村間の広域的・幹線的な交通網を確保するため、運行するバス路線に補助をするものである。

○ 内容

コミュニティバスは、市内7路線を7台の車両で運行し、運行に係る経費と運賃等の収入の差額分を運行事業者に補填する。バス車両においては、老朽化が進んでいる車両1台について新たにリースを行い、新しい車両を導入する。この車両入替により、コミュニティバス7路線すべてに低床で乗り降りのしやすい車両が導入されることとなる。

路線バスにおいてはバス運行事業者に対し、取手駅西口からグリーンスポーツセンターを經由し戸頭駅を結ぶ路線の運行経費の一部について補助し、また、取手駅や藤代駅を発着として複数市町村間を運行する路線の維持を図るため、県や沿線市町と経費の一部を負担する。

コミュニティバス運行経費補償金	91,086,000円
コミュニティバス使用料	16,840,000円
路線バス運行事業負担金	1,974,000円
路線バス運行事業補助金	7,200,000円
その他の経費	1,340,000円

[担当：都市計画課] P.195

2601 交通バリアフリー推進に要する経費 1,400,000円 (0円)

[一財 1,400,000円]

○ 目的

取手市公共交通バリアフリー化設備補助要綱に基づき、一般乗合旅客自動車運送事業者が行うバリアフリー化設備整備事業に要する経費の一部を市が助成することにより、市内を運行する路線バスのノンステップバスの導入を促進し、もって高齢者、障害者等が、安全かつ身体的負担の少ない方法でバス車両等の利用を享受できるようにすることを目的とする。

○ 内容

市内一般乗合旅客自動車運送事業者が導入するノンステップバス車両2台に対する補助を行う。補助額は、補助対象経費と通常車両の導入価格との差額に2分の1を乗じた額を限度としている。

当該補助対象については、県との協調となることから、4分の1を乗じた額を限度額とし補助するものである。

公共交通バリアフリー化設備整備費補助金	1,400,000円
---------------------	------------

### 3 都市計画費 2 建築指導費

[担当：建築指導課] P. 197

#### 1001 建築審査会に要する経費 266,000 円 (258,000 円)

[その他 255,000 円 一財 11,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料:建築許可手数料 255,000 円]

##### ○ 目的

建築基準法に基づく特定行政庁の諮問機関として、様々な基準法上の案件について審議を行い、その審議結果を特定行政庁に答申する。

##### ○ 内容

建築基準法に規定する同意及び審査請求に対する審議を行うとともに、特定行政庁の諮問に応じて、この法律の施行に関する重要事項を調査審議する。

[担当：建築指導課] P. 197

#### 1101 旅館等建築審査会に要する経費 51,000 円 (47,000 円)

[その他 47,000 円 一財 4,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料:建築許可手数料 47,000 円]

##### ○ 目的

取手市ラブホテル建築規制に関する条例に基づき設置された市長の諮問機関であり、条例に基づく案件を審議し、その審議結果を市長に答申する。

##### ○ 内容

条例に基づき申請された建築計画が、ラブホテルの建築に該当するかどうかを審議し、市長に答申する。

[担当：建築指導課] P. 197

#### 2001 狭あい道路拡幅事業に要する経費 2,300,000 円 (2,300,000 円)

[その他 2,300,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料:建築確認等手数料 250,000 円]

[手数料:建築完了検査手数料 500,000 円]

[手数料:工作物確認手数料 70,000 円]

[手数料:工作物完了検査手数料 115,000 円]

[手数料:建築許可手数料 478,000 円]

[手数料:建築認定手数料 417,000 円]

[手数料:開発行為許可申請手数料 470,000 円]

(1) 狭あい道路拡幅整備促進補助金 1,350,000円

○ 目的

狭あい道路に接する敷地所有者等が建築行為を行う際に、建築基準法の規定により既存塀等を撤去し道路を拡幅する場合、既存塀等の撤去及び再築造費用を市が補助することにより、狭あい道路の拡幅を促進し同法の主旨徹底を図るとともに、快適な住環境の整備に寄与することを目的とする。

○ 内容

本年度の撤去及び再築造の補助予定件数は次のとおり。

補助金の名称	件数	金額
狭あい道路拡幅整備促進補助	解体 11件	550,000円
	再築造 8件	800,000円
計	19件	1,350,000円

(2) 建築行為等に係る分筆測量補助金 950,000円

○ 目的

狭あい道路に接する敷地所有者等が建築行為を行う際に、建築基準法の規定により既存塀等を撤去し道路を拡幅する場合、後退部分を分筆して道路とするために市が補助することにより、狭あい道路の拡幅を促進し同法の主旨徹底を図るとともに、快適な住環境の整備に寄与することを目的とする。

○ 内容

本年度の地目替及び寄付の補助予定件数は次のとおり。

補助金の名称	件数	金額
建築行為等に係る分筆測量補助金	分筆地目替 1件	50,000円
	分筆寄付 6件	900,000円
計	7件	950,000円

[担当：建築指導課] P.197

2101 木造住宅耐震事業に要する経費 1,880,000円 (1,880,000円)

[国・県 1,140,000円 一財 740,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成分)

1,080,000円×50%=540,000円]

[国補：社会資本整備総合交付金(地域住宅交付金分) 800,000円×50%=400,000円]

[県補：木造住宅耐震診断費補助金 200,000円]

○ 目的

木造住宅の耐震診断を実施することで、地震に対する建築物の安全性に関する知識の普及・向上を図り、耐震改修等に対して補助をすることにより改修を促進させ、今後予想され

る地震災害から市民の生命、財産を守ることを目的とする。

○ 内容

本年度の木造耐震診断件数及び補強工事に対する補助予定件数は次のとおり。

名 称	件 数	金 額
木造住宅耐震診断	20 件	1,080,000 円
木造住宅耐震補強補助	耐震補強計画 2 件	200,000 円
	耐震補強工事 2 件	600,000 円
計	24 件	1,880,000 円

### 3 都市計画費 5 街路事業費

[担当：道路建設課] P. 200

#### 2101 都市計画道路 3・4・7 号取手東口城根線(台宿工区)に要する経費

245,732,000 円 (0 円)

[国・県 134,750,000 円 地方債 105,400,000 円 一財 5,582,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:防災・安全交付金(生活空間の安全確保分) 245,000,000 円×55%≒134,750,000 円]

[市債:合併特例債 (245,732,000 円-134,750,000 円)×95%≒105,400,000 円]

○ 目的

本路線は、取手駅東口までの主要なアクセス道路で多くの利用者があるにもかかわらず、歩道等の整備が十分でないことから早期の整備が必要である。

○ 内容

- ・不動産鑑定評価業務 44,000 円
- ・土地評価業務 474,000 円
- ・用地費 101,000,000 円
- ・物件移転補償費 144,000,000 円
- ・損失補償費 214,000 円

#### 2101 都市計画道路 3・4・7 号取手東口城根線



[担当：道路建設課]P. 201

2201 都市計画道路 3・5・23 号北敷・沼附線に要する経費 12,993,000 円 (9,850,000 円)

[地方債 12,300,000 円 一財 693,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債:合併特例債 12,993,000 円×95%≒12,300,000 円]

○ 目的

本路線は、近隣から北浦川緑地へのアクセス道路として位置づけられており、北浦川緑地の整備事業(茨城県事業)と一体的に整備を進めている路線である。

○ 内容

・用地費 12,956,000 円

・損失補償費 37,000 円

2201 都市計画道路 3・5・23 号北敷・沼附線



[担当：中心市街地整備課] P. 201

2401 藤代駅北口駅前広場施設整備に要する経費 11,010,000 円 (17,759,000 円)

[地方債 10,400,000 円 一財 610,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債:合併特例債 11,000,000 円×95%≒10,400,000 円]

○ 目的

藤代駅北口においては、通勤通学者の送迎者の混雑解消や歩行者の安全確保等が課題となっていることから、駅利用者の利便性向上を図るため、交通広場の改修及び駅自由通路に繋がる階段の増設を行い、交通結節機能の充実を図る。

○ 内容

補償費(電力設備移設費) 11,000,000 円

### 3 都市計画費 6 都市排水費

[担当：排水対策課・管理課] P. 202

2001 排水路の維持管理に要する経費 50,992,000 円 (46,844,000 円)

[その他 3,618,000 円 一財 47,374,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,600,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 18,000 円]

○ 目的

市内の都市排水施設の維持管理及び排水路の清掃を行い、道路冠水・家屋浸水被害を緩和する。

○ 内容

市内の雨水排水ポンプ施設点検(36箇所、ポンプ64台)や修繕及び排水路(39箇所)調整池(18箇所)の維持管理を実施する。

修繕料	双葉第1始動用真空ポンプオーバーホール	3,496,000 円
-----	---------------------	-------------

[担当：排水対策課] P. 203

2101 樋管の維持管理に要する経費 33,172,000 円 (72,484,000 円)

[国・県 2,134,000 円 その他 15,100,000 円 一財 15,938,000 円]

\* 特財積算根拠

[国委：樋管管理業務受託収入 2,134,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 15,100,000 円]

○ 目的

利根川、小貝川への都市排水放流口である樋管の維持管理及び老朽化した排水機場の補修工事を行い、水害の予防を図る。

○ 内容

樋管及び排水機場の維持管理は業者に委託し、樋管の操作は地元の各消防団と民間人に依頼する。

排水施設改修工事	長町・取手樋管防護柵改修工事	2,965,000 円
	中谷津排水機場自家発オーバーホール	6,804,000 円
	添排水機場ポンプオーバーホール	5,238,000 円

[担当：排水対策課] P. 204

27 都市排水整備に要する経費 180,994,000 円 (300,721,000 円)

[地方債 139,900,000 円 その他 7,060,000 円 一財 34,034,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：都市排水路整備事業債 43,906,000 円×75%≒32,800,000 円]

[市債:合併特例債 112,883,000円×95%≒107,100,000円]

[諸収入:取手地方広域下水道組合業務受託収入 7,060,000円]

○ 目的

雨水排水路整備をすることで、家屋への浸水被害や道路冠水を解消し、居住環境の改善を図る。

○ 内容

今年度は、駒場一丁目地区・野々井地区・藤代地区・野々井大門地区・野々井前原地区・下高井水砂地区の家屋調査や雨水排水整備工事及び道路排水流末の測量設計、野々井大門地区・青柳地区の舗装復旧工事や駒場地区の設計委託を行うものである。併せて敷地内雨水の流出を抑制するため雨水浸透の施設設置費用の一部を助成するものである。

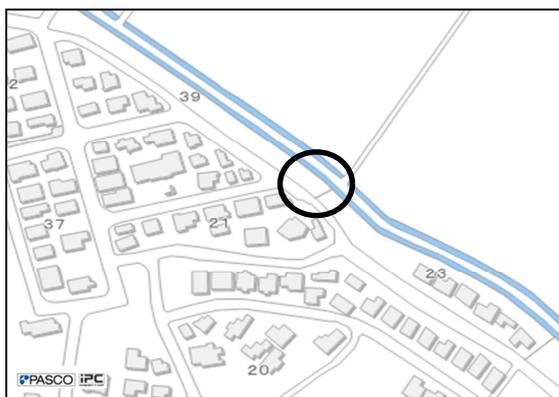
都市排水整備事業一覧

(単位:円)

事業名	事業費	事業内容
2703 駒場一丁目雨水排水	12,587,000	委託料(実施設計) 8,306,000 委託料(事後調査) 3,381,000 補償費(家屋) 900,000
2715 青柳地区雨水排水	7,060,000	舗装工事 7,060,000 ・県道・市道 A=940 m <sup>2</sup>
2724 野々井地区雨水排水	30,639,000	委託料(事前・事後調査) 2,182,000 排水工事 26,957,000 ・U字溝 L=191m 補償費(移設・家屋) 1,500,000
2751 雨水排水流出抑制対策事業	205,000	浸透枿・浸透地下埋設管設置助成金 1～3号施設:3件 205,000
2756 藤代地区雨水排水	16,338,000	委託料(事前・事後調査) 1,469,000 排水工事 12,669,000 ・U字溝 L=106m 補償費(移設・家屋) 2,200,000
2765 藤代横町雨水排水	68,857,000	委託料(事前調査) 929,000 排水工事 66,928,000 ・マンホールポンプ 補償費(移設) 1,000,000
2768 野々井大門地区雨水排水	19,623,000	委託料(家屋事前調査) 2,625,000 排水工事 14,278,000 ・雨水排水 L=82m 負補交 舗装工事負担金 720,000 補償費(移設費) 2,000,000

2772 野々井前原雨水排水	23,385,000	委託料(事前調査)	2,204,000
		排水工事	19,581,000
		・マンホールポンプ	
		補償費(移設)	1,600,000
2774 下高井水砂雨水排水	2,300,000	委託料(測量設計)	2,300,000

2703 駒場一丁目雨水排水



2715 青柳地区雨水排水



2724 野々井地区雨水排水



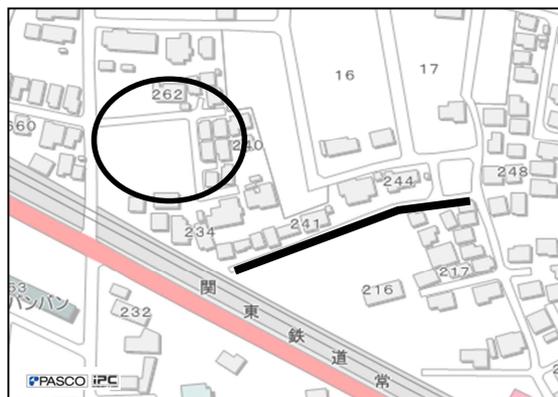
2756 藤代地区雨水排水



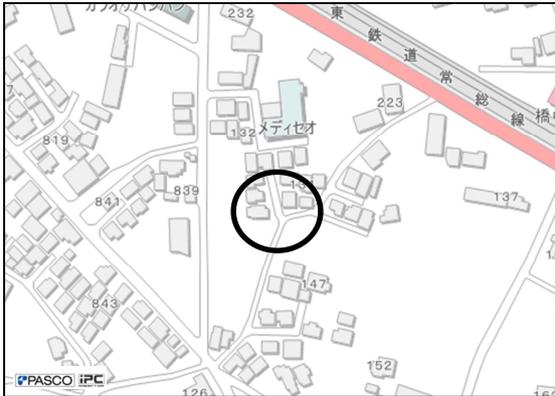
2765 藤代横町雨水排水



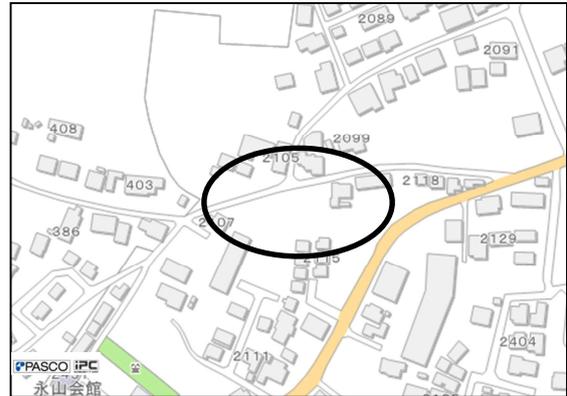
2768 野々井大門雨水排水



2772 野々井前原雨水排水



2774 下高井水砂雨水排水



### 3 都市計画費 7 公共下水道事業費

[担当：排水対策課] P. 206

2001 取手地方広域下水道組合負担金 1,660,000,000円 (1,660,000,000円)

[一財 1,660,000,000円]

○ 目的

生活汚水の排除処理及びトイレの水洗化による住環境の改善や公共水域の水質保全を図る。また、下水道施設の建設改良を図る。

○ 内容

負担金 1,430,000,000円

雨水処理に要する経費に対する負担金 97,465,000円

分流式下水道に要する経費等に対する補助金 1,215,000,000円

企業債の元金償還等に対する補助金 117,535,000円

出資金 230,000,000円

下水道施設の建設改良費に対する出資金 230,000,000円

### 3 都市計画費 8 公園緑地費

[担当：水とみどりの課] P. 208

2201 保存緑地・保存樹木等に要する経費 696,000円 (697,000円)

[その他 696,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:みどりの基金繰入金 696,000円]

○ 目的

取手市緑の保全と緑化の推進に関する条例に基づき、市内の緑地・樹木・樹林を保存指定し、助成することにより緑の保全を図る。また、市民を対象として市内の樹木をめぐる催しを実施し、樹木やみどりの環境についての学習・啓発を推進する。

○ 内容

報償費	巨木・名木めぐりツアー講師謝礼(5,000円×3回)	15,000円
委託料	保存緑地・保存樹木等標柱作成業務委託料 8本 (古くなった標柱の交換、新規指定の標柱作成)	212,000円
負担金, 補助及び交付金		
	保存緑地・保存樹木等助成金 (内訳)	
	・保存樹木 85本(2,700円/本)	229,500円
	・保存緑地 17箇所20件(9円/㎡、上限9,000円)	153,100円
	・保存樹林 5箇所(180円/m、上限18,000円)	86,200円

[担当：水とみどりの課] P. 208

2401 市民緑地整備に要する経費 867,000円(834,000円)

[その他 867,000円]

\* 特財積算根拠

[財産収入:みどりの基金利子 1,000円]

[繰入金:みどりの基金繰入金 866,000円]

○ 目的

あけぼの市民緑地及び山の坊市民緑地を適正に管理することにより、緑を保全し、市民の憩いの場としての機能を維持する。

○ 内容

市民緑地の除草、清掃、樹木管理等を委託する。

あけぼの市民緑地管理委託料	草刈1回(一部2回)、清掃12回等	494,000円
山の坊市民緑地管理委託料	草刈3回、集草、樹木管理等	373,000円

[担当：水とみどりの課] P. 208

2501 緑化推進に要する経費 12,355,000円(830,000円)

[その他 12,325,000円 一財 30,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:みどりの基金繰入金 12,325,000円]

○ 目的

緑化推進のため、緑化フェア等のイベントや緑の募金などの事業を実施することにより、緑化の推進及び緑化に対する市民の意識高揚を図る。

また、緑地の保全や緑化の推進に関して、将来像、目標、施策などを定め、総合的、計画的に位置づけた取手市緑の基本計画を策定する。

○ 内容

- ・緑の募金活動、苗木や花鉢の配布、緑化ボランティアへの支援等を行うとともに、募金交付金による学校緑化事業を推進する。

取手市緑化推進委員会への緑化推進事業委託料 800,000 円

- ・緑化保全作業としてガーデンロードや小堀渡船場、小貝川水辺プラザなど花壇等の耕耘や除草を行うためのスポーツトラクター購入。

緑化保全用備品スポーツトラクター購入 4,311,000 円

- ・取手市緑の基本計画策定

緑の基本計画策定業務委託 7,139,000 円

緑の基本計画検討委員会謝礼 75,000 円

[担当：水とみどりの課] P. 209

2701 公園維持管理に要する経費 181,809,000 円 (126,089,000 円)

[国・県 33,930,000 円 地方債 27,800,000 円 その他 16,377,000 円

一財 103,702,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：社会資本整備総合交付金(公園長寿命化対策支援事業分) 33,930,000 円]

[市債：都市公園整備事業債 (61,943,000 円-30,970,000 円)×90%≒27,800,000 円]

[使用料：公園施設使用料 6,565,000 円]

[使用料：公園施設占用料 780,000 円]

[使用料：公園敷地使用料 7,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 8,600,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 54,000 円]

[諸収入：資源物売却代 50,000 円]

[諸収入：自動販売機売上配分金 174,000 円]

[諸収入：自動販売機電気料 147,000 円]

○ 目的

公園の樹木や芝生、スポーツ施設・トイレ・駐車場や遊具などを適切に維持管理を行うとともに、公園施設の保全管理を実施し、利用者に潤いと安らぎのある空間を提供する。

○ 内容

・樹木の剪定、除草、トイレの清掃、遊具や浄化槽などの施設点検、駐車場やスポーツ施設の施錠、施設の修繕などを行う。

・都市公園長寿命化対策工事として、とがしら公園のトイレの改修工事及び外構工事を実施する。また、公園施設長寿命化計画に基づく保全管理として遊具改修工事を実施する。

・テニスコートのある向原公園に、バリアフリー対応のトイレを設置し、利便性の向上を図る。

委託料

・取手緑地運動公園・とがしら公園及び他公園管理委託料

(内訳)

取手緑地運動公園内 15 箇所 (排水路の法面・擬木周りの除草 年 2 回、中低木の刈込 年 1 回)	8,468,000 円
高井城址公園他 31 公園 (芝刈り・除草 年 2 回、中低木の刈込 年 1 回)	5,940,000 円
相野谷川親水公園他 13 公園 (除草 年 3 回、中低木の刈込 年 1 回)	6,675,000 円
とがしら公園、宮ノ前ふれあい公園 (園庭及び側溝の清掃・芝刈り・除草 通年管理)	8,018,000 円
・公園美化業務委託料 市内公園 63 箇所(除草 年 2~3 回)	3,230,000 円
・新取手三丁目緑地及び大山緑地管理委託料(除草 年 2 回)	1,030,000 円
・公園管理委託料 片町町内会他 10 自治会公園(除草 年 2 回以上)	6,057,000 円
・公園管理及びトイレ清掃業務委託料 向原公園他 10 箇所 (テニスコート及び駐車場の鍵の開閉 毎日、トイレ清掃・園内巡回清掃 週 2~3 日)	5,837,000 円
・下高井近隣公園管理委託料 ゆめみ野公園他 3 公園 (芝刈り・除草・刈込年 1~3 回、施肥 年 1 回、トイレ清掃 週 3 回)	4,547,000 円
・公園遊具定期点検委託料 市内公園 155 箇所 計 419 基 (遊具の安全に関する規準に準拠した安全点検)	1,955,000 円
・小貝川緑地管理委託料 小貝川緑地 (除草・芝刈り 年 5 回、刈込 年 1 回、花壇管理 年 3 回)	4,968,000 円
・藤代地区他公園管理委託料 中内大塚線緑道他 4 公園 (除草 年 2~3 回、刈込 年 1 回)	5,973,000 円
・とがしら公園トイレ改修工事に伴う 実施設計、工事監理業務委託	1,610,000 円

使用料及び賃借料

・公園管理用機械借上料(高所作業車・重機等リース)	400,000 円
・公園敷地借上料(高井城址公園他 7 公園の敷地借上料)	4,846,000 円

工事請負費

・大塚公園フェンス改修工事 L=145m	3,000,000 円
・とがしら公園テニスコートシェルター設置工事 3 箇所	1,000,000 円
・とがしら公園トイレ改修工事 1 箇所 (既存のトイレを撤去し、バリアフリー対応のトイレを新設する。)	31,396,000 円
・とがしら公園外構工事 (トイレ改修工事に伴う外構及び駐車場のバリアフリー化を行う。)	14,310,000 円

・都市公園遊具改修工事	20,547,000 円
備品購入費	
・バリアフリー対応簡易トイレ(向原公園) 1基	2,155,000 円

[担当：水とみどりの課] P. 211

3301 水辺利用推進に要する経費 3,674,000 円 (2,580,000 円)

[一財 3,674,000 円]

○ 目的

利根川及び小貝川河川敷の水辺で広く市民が利用できるイベント等を開催し、河川について河川愛護・河川美化・環境等への市民意識の高揚と水辺利用の推進を図る。

○ 内容

①「とりで利根川河川まつり」「レンタサイクル事業」により利根川及び小貝川河川敷の利用促進、市民の交流及び上下流の地域の交流を図る。

②利根川レンタサイクル事業では、レンタサイクルステーションの常磐線側壁面に描画を行い、アートのまちをPRするとともに一層の利用者増を図る。また、電動アシスト付自転車を購入することにより、幅広い利用者が水辺にふれあえる機会を提供する。

③河川敷の水辺において活動を行っているボランティア団体等の支援を行う。

・とりで利根川河川まつり委託料 1,500,000 円

10月第1日曜日に取手緑地運動公園を会場に行う「第20回とりで利根川河川まつり」実施業務を委託する。

・レンタサイクル管理業務委託料 489,000 円

4月1日から11月30日、3月20日から3月31日までの土・日・祝日の午前9時から午後4時までの貸出業務を委託する。

・レンタサイクルステーション壁画描画委託料 947,000 円

レンタサイクルステーションの常磐線側壁面にPR用描画を行う。

・レンタサイクル用自転車購入費 218,000 円

電動アシスト付自転車2台を購入する。

[担当：水とみどりの課] P. 212

3401 小堀の渡し運航に要する経費 14,578,000 円 (18,335,000 円)

[その他 541,000 円 一財 14,037,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料:渡船使用料 541,000 円]

○ 目的

小堀の渡しは、小堀地区住民の生活の足だけでなく、観光する一般利用者が誰でも利用できる取手市の貴重な観光資源である。利根川の歴史や自然環境の一環として単なる河川

敷利用のみでなく、川を挟んだ両岸を一体的空間として活用を図っていく。

○ 内容

取手市小堀、取手緑地運動公園駐車場前船着場、ふれあい栈橋の3箇所の船着場を循環する形で渡船を運航し、小堀地区住民(無料)及び一般乗客(有料、小学生半額、一部無料)で運航する。

小堀の渡し運航業務委託料 13,682,000 円

取手市小堀、取手緑地運動公園駐車場前船着場、ふれあい栈橋の3箇所の船着場を循環する形で1日7便運航する。毎週水曜日及び年末年始運休。

[担当：水とみどりの課] P.212

3501 舟運交流推進に要する経費 1,098,000 円 (1,050,000 円)

[一財 1,098,000 円]

○ 目的

利根川下流域19市町村により、利根川舟運・地域づくり協議会を立ち上げ、舟運を通じて水面・空間の利用促進、沿川の交流・連携を行う「利根川舟運による地域活性化事業」の実施により地域活性化を図る。

○ 内容

利根川舟運による地域活性化事業を実施し、観光資源や地域特産品の宣伝・紹介等による地域の交流・連携を促進する。

舟運交流推進事業委託料 880,000 円

利根川舟運による地域活性化事業において、バス及び船舶の運航を委託する。

[担当：水とみどりの課] P.212

3601 緑の少年団に要する経費 390,000 円 (390,000 円)

[その他 390,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:みどりの基金繰入金 221,000 円]

[諸収入:森林愛護運動推進事業補助金 169,000 円]

○ 目的

次代を担う子どもたちが森林で土や木や動植物とふれあうことを通じて森林環境を学習し、さらに、地域での社会奉仕活動や、野外でのレクリエーション活動を通じて、自然を愛し、人を愛し、社会を愛する心豊かな人間形成を図る。

○ 内容

「緑の少年団」小学校11校、中学校2校に対する森林愛護運動推進のための補助金

緑の少年団補助金 30,000 円 × 13 団体 = 390,000 円

[担当：水とみどりの課] P. 212

3701 フラワーカナル事業に要する経費 1,742,000円 (1,745,000円)

[一財 1,742,000円]

○ 目的

小貝川河川敷で行われるフラワーカナル事業(花の運河)を推進し、河川に対する市民の緑化意識の高揚を図るとともに、市民の集う親しみある河川空間を創出する。

○ 内容

花の栽培(春花・秋花の2回)、枯花の刈取り(2回)、花祭り(5月)を開催する。

報償費	フラワーカナル推進団体謝礼(20,000円×2回×4団体)	160,000円
需用費	消耗品(種子、肥料代)	742,000円
委託料	フラワーカナル刈取委託料	692,000円
	花祭り音響委託料	146,000円

[担当：水とみどりの課] P. 213

3801 北浦川緑地管理に要する経費 18,349,000円 (17,795,000円)

[国・県 8,957,000円 その他 557,000円 一財 8,835,000円]

\* 特財積算根拠

[県委:北浦川緑地管理委託金 8,957,000円]

[使用料:公園敷地使用料 2,000円]

[諸収入:北浦川緑地利用料 364,000円]

[諸収入:自動販売機売上配分金 156,000円]

[諸収入:自動販売機電気料 35,000円]

○ 目的

北浦川緑地を適正に維持管理し、利用者の利便性の向上を図る。

○ 内容

公園内の樹木の剪定・草刈り・清掃を実施する。

委託料	北浦川緑地清掃及び巡視点検業務委託 (トイレ清掃 週2回、門扉開閉 359日)	3,294,000円
	北浦川緑地植栽管理業務委託 (芝刈り 年8回、除草 年2回、刈込 年2回)	14,170,000円
	北浦川緑地浄化槽保守点検及び清掃業務委託 (浄化槽の点検 月1回、清掃 年1回)	153,000円
	北浦川緑地遊具安全点検業務委託 (遊具 10基の法定点検 年1回)	115,000円

#### 4 住宅費 1 住宅管理費

[担当：管理課] P.214

2001 市営住宅管理に要する経費 50,559,000 円 (36,736,000 円)

[国・県 12,150,000 円 地方債 14,800,000 円 その他 20,967,000 円

一財 2,642,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：社会資本整備総合交付金(地域住宅交付金分) 27,000,000 円×45%≒12,150,000 円]

[市債：市営住宅整備事業債 (27,000,000 円-12,150,000 円) ×100%≒14,800,000 円]

[使用料：住宅使用料 19,907,000 円]

[諸収入：住宅防火施設整備事業補助金 1,060,000 円]

○ 目的

住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃の賃貸住宅を供給することにより、市民生活の安定と、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

○ 住宅概要

(H29. 1. 31 現在)

管理戸数	利用戸数	空家戸数	政策空家戸数
281 戸	198 戸	65 戸	18 戸

※政策空家とは、市営住宅の老朽化が著しいことから、政策的に入居募集を停止した結果、空家の状態となっている住宅のこと。なお、募集不可能な住宅も政策空家に含む。

平成 29 年度	構造・階数	建設年次	住戸面積	管理戸数	家賃(円/月)
宮和田住宅	木造・1 階	昭和 26 年	23.1 m <sup>2</sup>	2 戸	600 円～ 900 円
舟山住宅	木造・1 階	昭和 38 年	32.2 m <sup>2</sup>	8 戸	4,300 円～ 6,400 円
南住宅	木造・1 階	昭和 40 年	31.6 m <sup>2</sup>	4 戸	4,100 円～ 6,100 円
第二南住宅	PC 造・1 階	昭和 41 年	31.4 m <sup>2</sup> (36.5 m <sup>2</sup> )	16 戸	4,300 円～ 7,600 円
野々井住宅	PC 造・1 階	昭和 42 年	31.4 m <sup>2</sup> (36.5 m <sup>2</sup> )	20 戸	4,900 円～ 8,700 円
第二野々井住宅	PC 造・1 階	昭和 43 年	31.4 m <sup>2</sup>	15 戸	5,200 円～ 7,900 円
西方住宅	PC 造・1 階	昭和 43 年	36.5 m <sup>2</sup>	25 戸	5,700 円～ 8,700 円
大利根住宅	PC 造・2 階	昭和 44～46 年	39.5 m <sup>2</sup> (42.7 m <sup>2</sup> )	121 戸	9,600 円～11,700 円
駒場住宅	PC 造・2 階	昭和 47 年	42.7 m <sup>2</sup>	14 戸	13,200 円～19,200 円
駒場住宅 A 棟	PC 造・4 階	昭和 48 年	46.6 m <sup>2</sup>	32 戸	14,300 円～21,300 円
駒場住宅 B 棟	PC 造・4 階	昭和 49 年	46.6 m <sup>2</sup>	24 戸	14,600 円～21,700 円

◇消耗品費	1,634,000円	
・住宅用煙感知器(2,916円×530個)		1,545,480円
◇修繕料	6,700,000円	
・住宅修繕(玄関ドア修繕、壁クロス張替え、床板張替え、水廻り修繕等)		
◇火災保険料	250,000円	
(加入物件:11団地281戸、1集会所)		
◇委託料	1,401,000円	
・高架水槽清掃委託(駒場住宅A・B棟:高架水槽2基・受水槽1基)		112,000円
・住宅空地等草刈業務委託		943,000円
(大利根住宅法面:A=740m <sup>2</sup> 、西方住宅法面:A=410m <sup>2</sup> 、その他:A=14,120m <sup>2</sup> )		
・汚水雨水管清掃委託(第二南住宅敷地内側溝:L=29.4m)		130,000円
・大利根住宅改修工事設計再積算委託(第2期工事分)		216,000円
◇使用料及び賃借料	11,368,000円	
・住宅敷地借上料(市営住宅9団地ほか:A=40,869.08m <sup>2</sup> )		11,283,000円
◇工事請負費	27,000,000円	
・大利根住宅改修工事		
(第2期工事=3棟14戸:外壁塗装、屋根防水、窓用手摺等の改修)		
◇負担金、補助及び交付金	1,910,000円	
・下水道受益者負担金(大利根住宅:500円×14,942.91m <sup>2</sup> ÷5年)		1,494,000円
(西方住宅 :500円×3,957.26m <sup>2</sup> ÷5年)		395,600円

[担当：都市計画課] P.215

2301 定住化促進住宅政策に要する経費 40,432,000円 (50,350,000円)

[国・県 18,000,000円 一財 22,432,000円]

\* 特財積算根拠

[国補:社会資本整備総合交付金(地域住宅交付金分)40,000,000円×45%=18,000,000円]

○ 目的

急速に進展する少子高齢化に対し、まちの活力を創出し、持続可能なまちづくりを進めるため、子育て世代等の市内定住化を促進し、あわせて魅力ある住環境の整備を図る。

○ 内容

良質な新築住宅の取得や中古住宅のリノベーションに対する補助、シニア世代の持家を活かした子育て世代への家賃補助等を行う。

定住化促進住宅補助金		40,000,000円
住宅取得補助金	@400,000円×75戸=	30,000,000円
住宅リノベーション補助金	@300,000円×30戸=	9,000,000円
シニア層の持家活用よる住み替え支援補助金		1,000,000円

定住化促進住宅政策パンフレット印刷代	432,000 円
印刷部数 6,000 部	

## 8 消防費

### 1 消防費 1 常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P.217

0501 消防総務事務に要する経費 21,569,000 円 (24,470,000 円)

[その他 429,000 円 一財 21,140,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料:危険物許認可手数料 429,000 円]

#### ○ 目的

多様化、高度化する住民ニーズに的確かつ効果的に対応するため、適正な消防行政事務の推進を図る。

#### ○ 内容

各種災害による被害を軽減するための取組みや、高齢化の進展等による救急需要の増加に対応するなど、住民サービスの向上を図る。

・平成 28 年出動件数[H28. 1. 1~H28. 12. 31] ( ) は、平成 27 年の件数

火災 18 件 (21 件)

救急 4,584 件 (4,492 件)

救助 47 件 (50 件)

[担当：消防本部 総務課] P.219

2001 職員研修に要する経費 4,034,000 円 (3,729,000 円)

[その他 938,000 円 一財 3,096,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:研修入校本人負担分 672,000 円]

[諸収入:県立消防学校派遣教官費負担金 266,000 円]

#### ○ 目的

複雑多様化する各種災害に対応するため、高度な知識や技術を兼ね備えた人材育成による組織力の向上を図る。

#### ○ 内容

消防大学校、茨城県立消防学校及びその他の機関で実施される各種研修会等に職員を派遣し、法令、活動基準、災害事例等の広範囲な知識を習得させ、安全・確実・迅速に活動できる能力と正確な判断力の向上を図る。

平成 30 年度から 2 年間、茨城県立消防学校へ教官として 1 名を派遣するため、消防大学校警防科へ入校する。なお、入校に係る経費は茨城県の負担となる。

消防大学校における研修

・幹部科 1 名

・警防科	1名
茨城県立消防学校における研修	
・初任科	9名
・救急科	3名
・救助科	2名
・特殊災害科	1名
・火災調査科	2名
・警防科	2名
・水難救助科	1名

[担当：消防本部 総務課] P. 220

2201 消防庁舎の管理運営に要する経費 25,653,000円 (31,654,000円)

[地方債 4,000,000円 その他 524,000円 一財 21,129,000円]

\* 特財積算根拠

[市債：合併特例債 4,300,000円×95%≒4,000,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 300,000円]

[諸収入：いばらき指令センター基地局電気代 224,000円]

○ 目的

防災の拠点施設である消防庁舎の適正な維持管理を図る。

○ 内容

消防庁舎施設及び設備の点検、修繕等を実施し、職場環境の充実に図る。また、昭和58年9月に竣工した櫛木消防署の大規模改修工事实施設計を委託し、平成30年度に本工事を実施する。

- ・消防庁舎
  - 取手市消防本部
  - 取手消防署
  - 戸頭消防署
  - 吉田消防署
  - 櫛木消防署
  - 宮和田出張所

[担当：消防本部 警防課] P. 220

2301 消防自動車等の維持管理に要する経費 12,119,000円 (11,952,000円)

[一財 12,119,000円]

○ 目的

火災及び救助などの災害時に出動する消防自動車等が、十分な能力を発揮できるよう適切な維持管理を行う。

○ 内容

・主な配備車両	指揮車	1台
	指令車	4台
	はしご車	1台
	救助工作車	1台
	水槽付ポンプ車	5台(化学車1台含む)
	ポンプ車	4台
	重機搬送車	1台(重機1台含む)

[担当：消防本部 警防課] P.221

2501 救急救命士の養成に要する経費 3,419,000円 (3,508,000円)

[その他 91,000円 一財 3,328,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:研修入校本人負担分 91,000円]

○ 目的

救急救命士法に基づく高度な救命処置を行うため、救急救命士を養成し、救命効果のさらなる向上を図る。

○ 内容

(1) 各消防署所の救急隊に、常時1名以上の救急救命士の配置を可能にするため、1名の救急救命士を養成する。

救急救命士資格取得者 33名

・救急救命士の養成

①期間 平成29年9月～平成30年3月

②場所 東京都八王子市南大沢4-5 救急救命東京研修所

③経費 入校負担金 2,071,000円

旅費 72,000円

テキスト及び受験料等 100,000円

計 2,243,000円

(2) 救急救命士を含めた救急隊員の資質向上のため、1名の指導的立場の救急救命士を養成する。

指導的立場の救急救命士取得者 2名

・指導的立場の救急救命士の養成

①期間 平成29年4月～平成29年6月

②場所 福岡県北九州市八幡西区大浦3-8-1 救急救命九州研修所

③経費 入校負担金 324,000円

旅費 89,000円

計 413,000円

(3) 救急救命士気管挿管病院実習のため、筑波大学附属病院に2名とJAとりで総合医療センターに1名を実習委託する。

・実習期間

筑波大学附属病院	1名	平成29年6月上旬～30症例を終了するまで
	1名	平成29年9月上旬～30症例を終了するまで
JAとりで総合医療センター	1名	平成29年12月上旬～30症例を終了するまで

[担当：消防本部 総務課] P.222

3401 いばらき消防指令センターに要する経費 20,816,000円 (22,312,000円)

[その他 5,000円 一財 20,811,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:いばらき指令センター設備保険料受入金 5,000円]

○ 目的

県内33市町20消防本部が共同運用する「いばらき消防指令センター」により、様々な情報が一元化・共有化され、よりの確で迅速な消防・救急業務や関係機関等への情報提供が可能となる。

○ 内容

いばらき消防指令センターの維持管理に必要な負担金等である。

## 1 消防費 2 救急業務費

[担当：消防本部 警防課] P.222

0501 救急業務に要する経費 5,404,000円 (6,092,000円)

[一財 5,404,000円]

○ 目的

救急資機材の適正な管理と、的確な救急業務の遂行を図る。

○ 内容

救急活動に必須のガーゼ類や感染防止衣などの消耗品及び医薬材料等の充実や、隊員の感染防止対策を適正に行う。また、住民への応急手当の普及啓発活動の推進を図る。

・救急自動車配備状況 高規格救急自動車 6台(予備車1台含む)

## 1 消防費 3 非常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P.223

2001 消防団員に要する経費 59,410,000円 (53,682,000円)

[国・県 571,000円 その他 12,132,000円 一財 46,707,000円]

\* 特財積算根拠

[県補:茨城県消防団充実強化推進事業費補助金 571,000円]

[諸収入:消防団員退職報償金受入金 12,000,000円]

[諸収入:消防団福祉共済返戻金 132,000円]

○ 目的

消防団員の処遇及び福利厚生 of 充実を図る。

○ 内容

消防団員の報酬や手当等をはじめ、消防団員退職報償金及び消防団員等公務災害補償共済負担金などの各種負担金等である。

消防団の装備の基準一部改正により消防団本部・各消防分団にトランシーバーを配備し双方向の情報伝達が可能な装備を充実させる。また、消防団員服制基準一部改正により全消防団員の活動服を更新する。

・消防団員の定数 649人

[担当:消防本部 総務課] P.224

2101 消防団の運営に要する経費 63,818,000円 (42,857,000円)

[地方債 41,000,000円 その他 780,000円 一財 22,038,000円]

\* 特財積算根拠

[市債:消防防災設備整備事業債 36,639,000円×1/2×100%≒18,300,000円]

[市債:消防防災設備整備事業債 (36,639,000円-18,300,000円)×90%≒16,500,000円]

[市債:消防防災施設整備事業債 6,980,000円×90%≒6,200,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 780,000円]

○ 目的

消防団組織の充実した運営の維持と活性化を図る。

○ 内容

消防団活動に必要な施設等の維持管理を行う。

・消防団車庫35棟のうち、老朽化の著しい2棟を改築する。

・消防団車両整備計画によりポンプ車2台を更新する。

消防団組織 1本部35分団(女性消防分団含む)

消防団配備車両 ポンプ車 19台(うち2台更新)

小型ポンプ積載車 16台

## 1 消防費 4 消防施設費

[担当:消防本部 警防課] P.225

2001 消防水利の整備に要する経費 22,850,000円 (0円)

[国・県 4,080,000円 地方債 15,800,000円 一財 2,970,000円]

\* 特財積算根拠

[国補:消防防災施設整備補助金 基準額8,160,000円×1/2=4,080,000円]

[市債：消防防災施設整備事業債 (8,160,000円－4,080,000円) ×90%≒3,600,000円]

[市債：消防防災施設整備事業債 13,631,000円×90%≒12,200,000円]

○ 目的

円滑な消火活動を行うため消防水利の適切な設置を行う。

○ 内容

消防水利不足地域へ耐震性貯水槽1基を設置する。

[担当：消防本部 警防課] P.225

2201 消防施設の整備に要する経費 105,479,000円(214,006,000円)

[国・県 26,208,000円 地方債 71,100,000円 一財 8,171,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：緊急消防援助隊設備整備費補助金 基準額 23,316,000円×1/2=11,658,000円]

[国補：緊急消防援助隊設備整備費補助金 基準額 29,100,000円×1/2=14,550,000円]

[市債：消防防災設備整備事業債 (23,316,000円－11,658,000円) ×90%≒10,400,000円]

[市債：消防防災設備整備事業債 (29,100,000円－14,550,000円) ×90%≒13,000,000円]

[市債：消防防災設備整備事業債 43,571,000円×90%≒39,200,000円]

[市債：消防防災設備整備事業債 9,492,000円×90%≒8,500,000円]

○ 目的

水槽付消防自動車と高規格救急自動車を更新し、消防・救急体制の充実強化を図る。

○ 内容

戸頭署に配備された平成8年式水槽付消防自動車の更新と、平成16年式高規格救急自動車を更新する。

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P. 229

2001 スクールバス運行に要する経費 14,231,000 円 (16,390,000 円)

[国・県 813,000 円 一財 13,418,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 350,000 円]

[県補：市立小学校適正規模化支援事業費補助金 463,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童生徒の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

・小文間地区スクールバス運行業務委託料 7,128,000 円

・小堀地区スクールバス運行業務委託料 7,103,000 円

[担当：学務給食課] P. 230

2201 通学送迎に要する経費 3,590,000 円 (1,932,000 円)

[一財 3,590,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

・桜が丘小学校通学送迎委託料(大留地区) 827,000 円

・永山小学校通学送迎委託料(市之代/貝塚地区) 2,100,000 円

[担当：学務給食課] P. 230

2301 教育情報機器整備に要する経費 111,824,000 円 (96,645,000 円)

[その他 1,800,000 円 一財 110,024,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,800,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図る経費である。

・教育センターシステムクラウド運用管理委託料 10,309,000 円

・教育センターシステムクラウド使用料 34,288,000 円

・教育相談センターインターネット回線工事 814,000 円

・教育相談センターネットワーク工事 1,188,000 円

## 1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 231

2101 奨学生貸付金 5,160,000 円 (5,160,000 円)

[その他 3,872,000 円 一財 1,288,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 3,872,000 円 償還者数：21 名]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付けし、有為な人材を育成する。

○ 内容

・新規分 5 人(国・公立 30,000 円/月 私立 40,000 円/月)

・貸付中 7 人(国立 3 人 私立 4 人)

合 計 12 人

## 1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 232

0501 教育振興に要する経費 48,411,000 円 (49,475,000 円)

[一財 48,411,000 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。

そこで、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業などの実践を行う。

○ 内容

・英語指導助手業務委託料 45,144,000 円

英語指導助手(ALT)11 名(中学校各校に 1 人配置、小学校は 2~3 校に 1 人配置)を民間専門業者に委託する。ALT の活用により、外国語(英語)教育・国際理解教育の充実を図る。

・地域人材活用事業講師謝礼 488,000 円

・学校問題解決サポートチーム員謝礼 38,000 円

・市立中学校生徒自殺事案調査委員会委員謝礼 552,000 円

・「わたしたちの茨城県」購入 576,000 円

・中 1・小 3 用地図印刷 529,000 円

・研究委嘱校補助金 5 校 310,000 円

・その他(需用費・負担金等) 774,000 円

[担当：指導課] P. 232

1001 特別支援教育に要する経費 4,513,000 円 (2,835,000 円)

[一財 4,513,000 円]

○ 目的

障害のある幼児児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内の小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

専門的な知識や経験を有する特別支援教育相談員を配置、適切な就学のための就学相談の実施、市内保幼小中における個別の相談に当たる。

・教育支援委員会委員報酬等(4人)	89,000円
・特別支援教育相談員報酬(3人)	3,672,000円
・特別支援学校との交流等自動車借上料	221,000円
・発達検査器具購入	135,000円
・研修会講師謝礼・検査用紙等	396,000円

[担当：指導課] P.233

2301 適応指導事業に要する経費 25,377,000円 (25,137,000円)

[一財 25,377,000円]

○ 目的

教育相談センター及び学校において、学校生活における相談に応じ、支援を行う。また、不登校児童生徒等に対応するために、児童生徒の所属小中学校や関係機関との連携のもと、適切な援助指導を行う。学校生活における相談の対応にはその状況に応じた援助・支援が必要である。さらに、不登校児童生徒のための適応指導教室を教育相談センターに併設することにより、学習面、人間関係の面での指導支援を継続的に行い、早期の学校復帰を目指す。

○ 内容

指導主事や相談員が、教育相談センターや併設されている適応指導教室及び学校において、教科の指導、集団での活動、個別の相談業務等を行う。これらを通して、児童生徒が自立しコミュニケーション力をつけ、学校生活に適応できるよう継続的に支援する。併せて保護者との面談も行い、家庭との連携を図る。電話や電子メール、来訪による面談、定期的な学校訪問等、様々なかたちで学校生活上の相談に応じている。また、学校と連携した指導を図るため、各校に子どもと親の相談員を配置する。

教育相談センター及び適応指導教室は現在借用している建物の耐震性の確保が確認されていないため、8月をめどとし、暫定的に旧戸頭西小学校へ移転する。

・指導主事派遣負担金等	9,980,000円
・教育相談員報酬(7人)	8,568,000円
・子どもと親の相談員謝礼	3,860,000円
・教育相談センター維持管理費等	2,324,000円
・教育相談センター移転にかかる経費	645,000円

[担当：指導課] P.234

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 3,189,000円 (4,627,000円)

[一財 3,189,000円]

○ 目的

児童生徒が校外で直接体験する学習を充実させるため、移動に必要なバスを運行して、校外での学習活動を支援する。

○ 内容

行き先: 公共施設、福祉施設、市内スーパー・工場等

- ・小学校 3・4 年生(社会科見学) 2,865,000 円
- ・中学生(ボランティア・職場体験学習等) 324,000 円

[担当: 指導課] P. 234

4201 日本語指導員に要する経費 2,021,000 円 (1,685,000 円)

[一財 2,021,000 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

○ 内容

臨時職員賃金 6 人 2,021,000 円

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

[担当: 指導課] P. 235

4501 学力向上推進事業に要する経費 5,054,000 円 (4,471,000 円)

[国・県 1,976,000 円 一財 3,078,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補: 地域の教育支援体制等構築事業費補助金 320,000 円]

[県委: 学びの広場サポートプラン委託金 1,656,000 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の習得を図り、確かな学力を育成するため、指導体制や指導方法の確立など授業力の向上を目指した取組を中心に事業を進め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

国語や算数・数学については、指導方法や指導体制の改善に関する研修会や講演会を通して、授業力向上など教職員の資質の向上を図る。理科では、小学校に理科特別講師を派遣し、興味関心を高めるとともに小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図る。

また、小学校 4 年生以上及び中学 1・2 年生を対象に長期休業期間中等、特に算数・数学における基礎学力の習得を図ることで、児童生徒の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力を育成する。

土曜日学習支援については、取手市内の小学校高学年を対象に学習の機会と場所を提供し、子供達に自ら進んで学習する習慣を身に付けさせ、学力向上を図る。

- ・学力向上に関する特色ある取組経費 2,000,000 円
- ・理科特別講師謝礼 336,000 円
- ・夏休み算数スクール支援員謝礼 490,000 円
- ・学びの広場サポーター謝礼(小学校) 810,000 円
- ・学びの広場サポーター謝礼(中学校) 846,000 円

・土曜日学習支援員謝礼等	480,000 円
・消耗品(教材作成材料代)等	92,000 円

[担当：指導課] P. 235

**4801 小中連携教育推進事業に要する経費 1,515,000 円 (1,688,000 円)**

[一財 1,515,000 円]

○ 目的

学力の向上、学校生活への適応、教員の力量向上と学校全体の活性化をねらいとした小中連携の取組を、モデル学区の研究成果を踏まえて各中学校区の実態に応じて推進する。

○ 内容

小中連携教育を推進するために、3つの柱と6つの視点を提示し、それを踏まえた具体的な施策を市内の各中学校区において実践する。

※3つの柱

- 1 学力の向上
- 2 学校生活への適応
- 3 教員の力量向上と学校全体の活性化

6つの視点

- 1 教育課程の連続性や教育内容の一貫性
- 2 学力向上対策の一貫性
- 3 教科担任制への適応
- 4 児童生徒間の交流
- 5 生徒指導の一貫性や学校生活への適応
- 6 小中教師それぞれの特長を生かした教師間の交流

事業の取組を充実させるため、9年間を貫くキャリア教育を支援する地域人材等の活用や、児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行う。

・キャリア教育に係る地域人材等への謝礼	510,000 円
・児童生徒の交流活動用楽器運搬費	454,000 円
・児童生徒の交流活動移動用自動車借上料	551,000 円

[担当：指導課] P. 235

**5001 外部施設を活用した水泳学習推進事業に要する経費 19,288,000 円(2,198,000 円)**

[一財 19,288,000 円]

○ 目的

小学校及び中学校の水泳学習を外部施設の屋内プールを活用し、夏季以外でも水泳学習を行うことにより、計画的・効率的に学習を進め、水泳授業の充実を図る。

○ 内容

小学校は白山小・取手東小・宮和田小の3校で民間プールを活用し、中学校は取手一中を除く5校で取手グリーンスポーツセンターを活用して、水泳学習を行う。取手一中は旧取手一中のプールを活用する。児童生徒の移動は安全面を配慮し市有バスと借上げバスを利用する。

・水泳学習業務委託料(小学校3校)	5,510,000 円
-------------------	-------------

・水泳学習業務委託料(中学校 5校)	2,847,000 円
・バス借上料(小学校)	6,027,000 円
・バス借上料・市バス等運転業務委託料(中学校)	4,904,000 円

## 1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 236

1001 青少年健全育成に要する経費 11,017,000 円 (10,925,000 円)

[国・県 51,000 円 その他 11,000 円 一財 10,955,000 円]

\* 特財積算根拠

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 51,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 11,000 円]

### ○ 目的

青少年センターを核とした特別青少年相談員、青少年相談員による相談活動及び街頭指導を通じ、青少年及び保護者の悩みの解消・軽減に寄与するとともに、青少年の非行や犯罪被害の未然防止に努める。

青少年健全育成関係団体に対し助成を行い、団体が行う青少年向け事業の活性化に寄与するとともに、団体への加入促進を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組む市民意識の向上を目指す。

### ○ 内容

#### ・報酬

青少年相談員報酬(56人) 6,317,000 円

特別青少年相談員報酬(2人) 2,712,000 円

#### ・負担金、補助及び交付金

青少年健全育成団体負担金及び補助金 1,101,000 円

## 2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 237

2001 小学校管理に要する経費 239,624,000 円 (247,606,000 円)

[その他 5,755,000 円 一財 233,869,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,445,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 4,200,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 12,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 98,000 円]

### ○ 目的

学校運営全般にかかる経費であり、学校環境の維持及び充実を図る。

### ○ 内容

主な経費は、学校の需用費である。

・学校活性化 TT(ティームティーチング)特別配置事業により、少人数指導加配のない小学校に非常勤講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎力の定着を図る。 6,013,000 円

- ・障害のある児童が在籍する小学校に教育補助員を配置し、学校生活を支援する。  
70,011,000 円
- ・学校司書を全小学校に配置する。  
13,038,000 円
- ・諸備品(ブランコ・チャイム音源等)の購入を行う。  
2,656,000 円

[担当：学務給食課] P. 240

2201 小学校保健衛生に要する経費 29,279,000 円 (28,491,000 円)

[その他 1,992,000 円 一財 27,287,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金: 日本スポーツ振興センター災害給付負担金

460 円 × (4,780 - 449) 人 ÷ 1,992,000 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより、健康管理と健康保持を図る。

○ 内容

児童及び教職員の定期健康診断を実施するための学校嘱託医・歯科医等の報酬及び検診委託料(心臓検査、小児生活習慣病検査、教職員生化学検査等)である。

また、学校検診用備品及び学校環境検査用備品を購入する。

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 241

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 25,915,000 円 (24,944,000 円)

[国・県 702,000 円 その他 1,400,000 円 一財 23,813,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補: 理科教育設備整備費等補助金 1,404,000 円 × 1/2 = 702,000 円]

[繰入金: ふるさと取手応援基金繰入金 1,400,000 円]

○ 目的

児童用教材教具及び学校図書を整備を図る。

○ 内容

一般教材教具及び図書、理科備品を整備するとともに、老朽化した備品の更新に要する経費である。

[担当：学務給食課] P. 242

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 45,720,000 円 (46,941,000 円)

[一財 45,720,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

・主に、パソコン教室で児童 1 人 1 台が利用できるパソコン使用料に要する経費である。

・小学校 14 校パソコン教室リース料 44,518,000 円

[担当：学務給食課] P. 242

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 36,551,000 円 (35,853,000 円)

[国・県 3,824,000 円 一財 32,727,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:要保護児童就学援助費補助金 74,470 円×1/2≒37,000 円]

[国補:特別支援教育就学奨励費補助金 6,451,600 円×1/2≒3,225,000 円]

[県補:県被災児童就学支援等事業補助金 562,990×10/10≒562,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで教育環境の向上を図る。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費の援助に要する経費である。

要保護児童数 20 人

準要保護児童数 425 人

※準要保護児童数には、東日本大震災の被災児童 8 人を含む。

[担当：指導課] P. 242

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,781,000 円 (2,781,000 円)

[一財 2,781,000 円]

○ 目的

音楽発表会、体育大会、その他の諸発表大会等を通して児童の各種活動への参加意欲を高める。

○ 内容

・音楽発表会・コンクール派遣自動車借上料	1,290,000 円
・音楽発表会・コンクール楽器運搬費	100,000 円
・体育事業補助金	1,310,000 円
・賞状印刷代	81,000 円

## 2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 243

2101 小学校施設整備に要する経費 22,078,000 円 (49,680,000 円)

[その他 7,300,000 円 一財 14,778,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 7,300,000 円]

○ 目的

白山小体育館の床の損傷等、藤代小自家発電設備の劣化が著しいことから改修を行う。また、取手小・藤代小の電波障害が解消したエリアの支柱等の撤去を行う。学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実に図る。

○ 内容

・工事請負費	体育館改修工事	2,506,000 円
・工事請負費	電波障害施設撤去工事	1,964,000 円
・工事請負費	小学校消防設備改修工事	5,708,000 円
・工事請負費	施設管理営繕工事	11,500,000 円

## 2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 244

2001 給食運営に要する経費 279,227,000 円 (280,807,000 円)

[その他 178,565,000 円 一財 100,662,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:小学校給食代自校分 178,534,000 円 ※児童月額 4,370 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 31,000 円]

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、体力の増進と望ましい食習慣の形成を図ることを目標に、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

- ・賄材料費 178,534,000 円
- ・学校給食調理業務委託料 75,480,000 円  
6 校分(取手小、白山小、寺原小、永山小、取手西小、戸頭小)

[担当：学務給食課] P. 245

2101 給食施設整備に要する経費 4,734,000 円 (3,216,000 円)

[その他 1,400,000 円 一財 3,334,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 1,400,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備を図ることで、給食室内の衛生管理を強化する。

○ 内容

- ・施設修理、調理器具の修繕を実施する。
- ・給食用備品を購入する。

## 3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 246

2001 中学校管理に要する経費 83,725,000 円 (81,007,000 円)

[その他 4,707,000 円 一財 79,018,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料:学校開放中学校体育館使用料 680,000 円]

[使用料:学校開放中学校武道場使用料 98,000 円]

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 3,900,000 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 29,000 円]

○ 目的

学校運営全般にかかる経費であり、学校環境の維持及び充実を図る。

○ 内容

主な経費は、学校の需用費である。

- ・学校生活の支援を必要とする障害のある生徒が在籍する中学校に教育補助員を配置する。 6,557,000 円
- ・学校司書を全中学校に配置する。 5,588,000 円

**[担当：学務給食課] P. 249**

**2201 中学校保健衛生に要する経費 14,834,000 円 (15,222,000 円)**

[その他 980,000 円 一財 13,854,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金

460 円×(2,426-295)人≒980,000 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより、健康管理と健康保持を図る。

○ 内容

生徒及び教職員の定期健康診断を実施するための、学校嘱託医・歯科医等の報酬及び検診委託料(心臓検査、小児生活習慣病検査、教職員生化学検査等)である。

また、学校検診用備品を購入する。

**3 中学校費 2 教育振興費**

**[担当：学務給食課] P. 250**

**2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 15,391,000 円 (15,145,000 円)**

[国・県 648,000 円 その他 600,000 円 一財 14,143,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:理科教育設備整備費等補助金 1,296,000 円×1/2=648,000 円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 600,000 円]

○ 目的

生徒用教材教具及び学校図書を整備を図る。

○ 内容

一般教材教具及び図書、理科備品を整備するとともに、老朽化した備品の更新に要する経費である。

**[担当：学務給食課] P. 250**

**2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 24,475,000 円 (24,475,000 円)**

[一財 24,475,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

- ・主に、パソコン教室で生徒1人1台が利用できるパソコン使用料に要する経費である。
- ・中学校6校パソコン教室リース料 23,847,000円

[担当：学務給食課] P. 251

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 33,363,000円 (33,846,000円)

[国・県 1,142,000円 一財 32,221,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 182,770円×1/2≒91,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,732,770円×1/2≒866,000円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 185,410円×10/10≒185,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対し、教育費の援助を行うことで教育環境の向上を図る。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費の援助に要する経費である。

要保護生徒数 12人

準要保護生徒数 280人

※準要保護生徒数には、東日本大震災の被災生徒2人を含む。

[担当：指導課] P. 251

2901 中学校特別活動助成に要する経費 19,231,000円 (16,871,000円)

[一財 19,231,000円]

○ 目的

音楽発表会、体育大会、その他の諸発表大会等を通して生徒の各種活動への参加意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽発表会・体育大会等派遣自動車借上料 10,800,000円
- ・音楽発表会等楽器運搬費 800,000円
- ・各種大会参加負担金 720,000円
- ・取手市中学校体育連盟・体育大会等補助金 6,800,000円
- ・運動部活動外部指導者損害保険料 19,000円
- ・賞状印刷代・中学校バンドフェスティバル消耗品等 92,000円

### 3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 251

2001 中学校施設整備に要する経費 19,260,000円 (389,940,000円)

[地方債 4,500,000円 その他 5,800,000円 一財 8,960,000円]

\* 特財積算根拠

[市債：合併特例債 4,800,000円×95%≒4,500,000円]

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 5,800,000 円]

○ 目的

中学校武道場(取手二中、永山中、戸頭中、藤代中、藤代南中)の非構造部材等(天井・屋根等)の耐震改修工事等を進めるため実施設計を行う。

中学校の校内 LAN の機器劣化に伴う改修及び、校内で可動式情報端末を普通教室や特別教室で更なる利活用ができるよう無線 LAN 環境を新たに整備する設計を行う。

藤代中技術棟屋根の塗装工事を行う等、学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

・委託料	中学校武道場非構造部材耐震改修工事实施設計業務委託料	4,800,000 円
・委託料	中学校校内 LAN 改修工事实施設計業務委託料	1,820,000 円
・工事請負費	校舎屋根塗装工事	2,895,000 円
・工事請負費	施設管理営繕工事	8,000,000 円

[担当:教育総務課] P. 252

2105 中学校建設事業に要する経費(戸頭中学校) 17,000,000 円 新規

[地方債 16,100,000 円 その他 900,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債:合併特例債 17,000,000 円×95%≒16,100,000 円]

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 900,000 円]

○ 目的

老朽化の著しい戸頭中校舎の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)の実施設計を行い、平成 30 年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

・委託料	校舎大規模改造工事实施設計業務委託料	17,000,000 円
------	--------------------	--------------

### 3 中学校費 4 学校給食費

[担当:学務給食課] P. 252

2001 給食運営に要する経費 155,994,000 円 (156,414,000 円)

[その他 96,060,000 円 一財 59,934,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:中学校給食代自校分 96,047,000 円 ※生徒月額 4,880 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 13,000 円]

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、体力の増進と望ましい食習慣の形成を図ることを目標に、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

・賄材料費	96,047,000 円
・学校給食調理業務民間委託料	46,840,000 円
4 校分(取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	

[担当：学務給食課] P. 253

2101 給食施設整備に要する経費 3,955,000円(2,070,000円)

[その他 1,600,000円 一財 2,355,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:学校施設整備基金繰入金 1,600,000円]

○ 目的

給食施設、設備の整備を図ることで、給食室内の衛生管理を強化する。

○ 内容

- ・施設修理・調理器具の修繕を実施する。
- ・給食用備品を購入する。

#### 4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 254

2001 幼稚園管理に要する経費 12,600,000円(12,085,000円)

[その他 2,202,000円 一財 10,398,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料:市立幼稚園保育料(保護者負担分) 2,068,000円]

[使用料:市立幼稚園預かり保育料 90,000円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 44,000円]

○ 目的

幼稚園運営に必要な経費であり、幼稚園環境の充実を図る。

○ 内容

市立幼稚園の運営に要する経費である。

[担当：学務給食課] P. 255

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 671,000円(660,000円)

[その他 7,000円 一財 664,000円]

\* 特財積算根拠

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金 135円×52人≒7,000円]

○ 目的

学校保健安全法に基づき、園児の定期健康診断を実施することで、園児の健康管理と健康保持を図る。

○ 内容

園児の定期健康診断を実施するための園嘱託医・歯科医等の報酬及び検診委託料である。

#### 4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P. 256

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 34,525,000円(32,435,000円)

[国・県 11,508,000円 一財 23,017,000円]

\* 特財積算根拠

[国補:幼稚園就園奨励費補助金 11,508,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園(子ども・子育て支援新制度移行分除く)に在園する園児の保護者に対し、補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

世帯の所得状況等に応じ、308,000円(年額)を上限に保護者に対して補助する。

[担当：学務給食課] P. 256

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 7,604,000円(7,604,000円)

[一財 7,604,000円]

○ 目的

私立幼稚園(子ども・子育て支援新制度移行分除く)に在園する園児の保護者に対し保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

園児1人当たり月額2,500円×在園月数×253人

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 259

2001 成人式に要する経費 1,863,000円(1,857,000円)

[一財 1,863,000円]

○ 目的

成人式を迎える若者の新たな門出を祝す。

○ 内容

当該年度に成人式を迎える市内中学校の卒業生からなる実行委員会を結成し、企画・立案・実施について事業を委託し、心に残る成人式を開催する。

・報償費	成人式記念品	863,000円
・委託料	成人式実行委員会委託料	1,000,000円

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 259

2201 生涯学習推進に要する経費 5,398,000円(2,623,000円)

[その他 600,000円 一財 4,798,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：市民大学講座受講料 600,000円]

○ 目的

市民一人ひとりが充実した心豊かな生活を送れるよう、市民の学習ニーズに応えた幅広い学習環境づくりと生涯学習情報の提供を図る。

○ 内容

(1) 市民大学講座

市民大学は、市民の多様なニーズに応えるため、法律・経済・歴史・文学、さらに哲学・科学・健康まで、専門的な知識を持っている方を講師に招き、学習機会を体系的・継続的に提供し、生涯学習の推進を図る。

また、参加者が学習成果をそれぞれのコミュニティーの場に生かすことなどを通して、地域に役立てることを目的とする。

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」内容をメニューから選択、人材登録されているリーダーバンク登録指導者及び行政職員が地域へ出向き講座を実施することで市民の学習意欲の充足を図る。

(3) 米づくりふれあい体験事業

市内小学校児童及び台東区小学校児童を対象に、親子で田植えから稲刈り、収穫までの一連の米づくり体験学習を通じて交流を図る。

・米づくりふれあい体験事業委託料 198,000 円

(4) 子育て学習講座

就学時の健康診断の機会を活用した子育て講座や思春期の親を対象とした子育て講座、家庭教育学級の全体研修会を開催し、子育て、家庭教育について考える機会を提供し、家庭での教育力の向上を図る。

・子育て学習講座謝礼(22回) 252,000 円

・家庭教育学級委託料(21学級) 630,000 円

(5) 子どもサポーター事業

小学生を対象に週末、地域の大人と関わるスポーツ活動、文化活動など様々な体験活動を5地区(井野・高須・戸頭・六郷・相馬)で実施する。

**[担当：スポーツ生涯学習課] P. 260**

**2301 ネットワークフェア開催に要する経費 120,000 円 (0 円)**

[一財 120,000 円]

○ 目的

誰もが安心して暮らすことのできる地域をめざし、市民、各種団体、行政のネットワークづくりを行う。

○ 内容

藤代スポーツセンター、県南防災センターを会場に各種団体の展示、模擬店、バザーの出店など、市民団体と市の共同イベント。

事務局は教育委員会、まちづくり振興部、福祉部が持ち回りで務める。

平成 29 年度事務局担当課として、ネットワークフェア開催に要する経費の計上を行う。

**[担当：文化芸術課] P. 261**

**2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,044,000 円 (4,292,000 円)**

[その他 2,212,000 円 一財 1,832,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,212,000 円]

○ 目的

市民の文化芸術活動を支援し、また市主催の文化芸術に関する事業を推進し、市民文化の発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催月	内容
取手市民美術展	11・12月	洋画、日本画、彫刻、工芸、書、写真及びデザイン部門による一般公募作品展及び小中学校の絵画・デザイン・書の作品展
取手美術作家展	6月	身近な地元作家の作品展 委託料 712,000円(取手美術作家展) 小中学生送迎用ギャラリーツアーバス 借上料 350,000円
取手市藤代文化祭	4・10・11月	市民が日頃行っている文化的活動を集約した芸能(伎芸)、展示の発表、チャリティ販売等 委託料
取手市文化祭	11月	・取手市文化祭 1,000,000円(取手市文化連盟) ・取手市藤代文化祭 500,000円(取手市藤代文化協会)

(2) 補助金の交付

補助金交付先団体	予算額(円)	内容
取手市文化連盟	288,000	運営活動費の助成
取手市藤代文化協会	210,000	運営活動費の助成
取手少年少女合唱団	80,000	運営活動費の助成
国際音楽の日コンサート 実行委員会	200,000	運営活動費の助成
取手合唱連盟	130,000	一般公募補助金 運営活動費の助成

(3) 文化振興奨励金 90,000円

市民の芸術文化の振興を図るため、取手市又は茨城県の代表として関東規模以上の芸術文化発表会やコンクール等に予選を経て参加する18歳以下の個人、大学を除く学校等の団体に交付する。

**[担当：文化芸術課] P. 261**

**2901 市民会館・福社会館管理運営に要する経費 95,623,000円(91,945,000円)**

[その他 2,500,000円 一財 93,123,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 2,100,000円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 400,000円]

○ 目的

行政の枠を越えた特色ある運営と円滑な市民会館・福社会館の管理を行い、市民の文化教養の向上と福祉の増進に寄与する。

○ 内容

指定管理制度により(公財)取手市文化事業団が市民会館・福社会館の管理運営を行う。

また、市民会館・福祉会館の緊急修繕等に対応することで利用者の安全を確保する。

主な内訳	予算額(円)	内容
修繕料	1,000,000 2,700,000 248,000	施設修繕 福祉会館 トップライト修繕 楽屋入口脇外壁修繕料
市民会館・福祉会館指定管理料	91,018,000	両施設の管理運営に係る指定管理

[担当：文化芸術課] P. 262

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 5,641,000円 (5,024,000円)

[その他 2,199,000円 一財 3,442,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,199,000円]

○ 目的

市内に東京芸術大学取手校地があるという地域性を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化芸術の振興を推進する。

○ 内容

事業名	内容
東京芸術大学卒業制作展 取手市長賞	東京芸術大学卒業制作展における優秀作品2点に取手市長賞を授与する。 ・賞賜金 1,000,000円
ミニコンサート	東京芸術大学音楽学部によるミニコンサートを年3回開催する。(藤代公民館、福祉交流センター、ウェルネスプラザを予定) ・出演謝礼 400,000円 ・著作権演奏使用料 9,000円
東京芸術大学との文化交流事業 委託料	市内の希望する小学校と中学校が、東京芸術大学生による美術・音楽の指導を受ける。 ・美術(小学校) 2,359,000円 ・音楽(中学校) 1,483,000円

[担当：文化芸術課] P. 263

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 33,028,000円 (24,802,000円)

[その他 19,714,000円 一財 13,314,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 900,000円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 8,500,000円]

[諸収入:井野アーティストヴィレッジ利用料 4,874,000円]

[諸収入:オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 5,440,000円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ文化の発信を行うとともに、東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという地理的環境を活かし、他市町村にはないアートのあるまちづくりの推進を図る。

○ 内容

東京芸術大学やアート関連団体と連携し、その知識・技術・手法などを活用して、市民を交えた創作事業を実施する。

- (1) 取手音楽の日事業委託料 4,000,000 円  
ジャズという音楽を中心にプロ・アマを問わず愛好家を一同に集め、市内で音楽イベントを開催する。音楽からのアプローチによる「アートのあるまちづくり」を全国に発信する。
- (2) ストリートアートステージ作品制作・設置委託料 4,500,000 円
- (3) 藤代庁舎前広場イルミネーション委託料 2,096,000 円  
藤代庁舎前「水と緑と祭りの広場」に、イルミネーションの装飾を施し、光の芸術に触れあう機会を提供することを目的としている。
- (4) 壁画によるまちづくり委託料 6,469,000 円  
市民が芸術を身近に鑑賞でき、地域の環境美化にもつながる壁画の制作と映像の投影を委託する。
- (5) 取手の芸術活動連携サポート事業委託料 700,000 円  
市内で実施される文化芸術に関する企画及び団体の活動について、連携を促進し企画を磨きあげ、発信力の強化を図る。
- (6) 井野アーティストヴィレッジ施設賃借料(7戸分施設) 5,688,000 円
- (7) ストリートアートステージリング作品設置工事 3,000,000 円
- (8) JOBAN アートライン協議会負担金 100,000 円
- (9) 取手アートプロジェクト事業運営補助金 3,240,000 円

[担当：文化芸術課] P.264

**3401 市民会館改修事業に要する経費 76,000,000 円 (273,953,000 円)**

[地方債 57,000,000 円 その他 19,000,000 円]

\* 特財積算根拠

[市債：市民会館整備事業債 76,000,000 円×75%=57,000,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 19,000,000 円]

○ 目的

市民会館の設備を改修することにより市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市民会館の高圧受変電設備(キュービクル)の更新を行うとともに、耐震補強及び客席、舞台を含めた設備などの大規模改造工事の設計業務委託を行う。

- ・工事請負費 市民会館 高圧受変電設備(キュービクル)改修工事 51,000,000 円
- 市民会館 耐震補強・大規模改造工事实施設計業務委託 25,000,000 円

[担当：スポーツ生涯学習課] P.264

**3501 IT 基礎技術講習会に要する経費 1,258,000 円 (1,894,000 円)**

[一財 1,258,000 円]

○ 目的

主に初級者、初心者を対象に、ITに関する基礎技術の習得、市民の情報リテラシーの向上を図る。

○ 内容

1年間を上期(4月から9月)と下期(10月から3月)に分け、毎月2回ずつ、6ヶ月間で計12回の講習会を市内6公民館(井野、寺原、白山、永山、戸頭、藤代)で実施する。

[担当：文化芸術課] P. 264

**3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 7,329,000円(7,413,000円)**

[その他 452,000円 一財 6,877,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料:アートギャラリー使用料 277,000円]

[使用料:市民ギャラリー使用料 175,000円]

○ 目的

美術に関する作品等の発表及びその鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、芸術及び文化の振興に寄与する。

○ 内容

取手駅と藤代駅の通路に設置された市民ギャラリーの貸し出しを行い、市民の作品展示の場を提供する。また、取手駅西口の民間ビル2階フロアに設置しているアートギャラリーの貸し出しを行うとともに、取手市民美術展や小中学校児童生徒作品展を始めとした様々な企画展を開催する。

・アートギャラリー企画展実施委託料 500,000円

市内の芸術活動団体に企画展の実施を委託し、市と協働で開催する。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 265

**3801 放課後児童対策事業に要する経費 133,406,000円(125,530,000円)**

[国・県 52,074,000円 その他 42,158,000円 一財 39,174,000円]

\* 特財積算根拠

[国補:子ども・子育て支援交付金  $63,516,000円 \times 1/3 = 21,172,000円$ ]

[国補:子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金  
 $60,000円 \times 1/2 = 30,000円$ ]

[県補:子ども・子育て支援交付金  $63,516,000円 \times 1/3 = 21,172,000円$ ]

[県補:放課後児童対策事業補助金  
放課後子供教室推進事業費  $8,290,000円 \times 2/3 = 5,526,000円$   
土曜日の教育支援体制等構築事業費  $6,261,000円 \times 2/3 = 4,174,000円$ ]

[負担金:放課後児童対策事業保護者負担金 38,900,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 2,800,000円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分  $114,351,000 \times 0.4\% = 458,000円$ ]

○ 目的

放課後等に子ども達が安全で健やかに過ごせる活動拠点として、学校施設等を利用し、様々な体験活動や交流活動等を通して、子ども達の健全育成と子育て支援の充実に努める。

○ 内容

主な経費は、放課後児童支援員賃金、コーディネーター謝金、学習アドバイザー謝金及びクラブ室消耗品費である。

・放課後児童支援員賃金	114,351,000 円
・コーディネーター謝礼	2,097,000 円
・学習アドバイザー謝礼	2,788,000 円
・クラブ室消耗品費	4,379,000 円

また、桜が丘小学校の放課後子どもクラブ室を校舎内空き教室へ移設するための消耗品費及び工事請負費を計上。平成30年度(平成30年4月1日)から新クラブ室での運営を目指す。

・移設に伴う消耗品費(タイルカーペット等)	453,000 円
・移設に伴う工事請負費	3,180,000 円

平成20年度より市内の全小学校で子どもの居場所づくり事業として「放課後子どもクラブ」を開設している。親の就労や学年の区別なく、平日の放課後や土曜日及び長期休業日等に、小学1～6年生まですべての子どもたちの居場所を確保し、異学年間の交流を図るとともに、教育的な視点を考慮した活動内容の充実に努める。

直接児童の指導や安全管理を行う支援員のほかに、学校との調整や企画運営に携わるコーディネーターや児童に学習を指導する学習アドバイザー等、広く地域の方々の参画を得て事業の展開を図る。

## 5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P.267

0501 公民館事務に要する経費 61,913,000 円 (490,391,000 円)

[その他 18,806,000 円 一財 43,107,000 円]

\* 特財積算根拠

[使用料:公民館使用料 7,725,000 円]

[手数料:コピー手数料 300,000 円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 10,600,000 円]

[諸収入:印刷機使用料 180,000 円]

[諸収入:電話通話料 1,000 円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行う。主な経費は公民館の需用費、委託料となる。

- ・光熱水費 21,125,000 円(各公民館施設の光熱水費)
- ・委託料 20,517,000 円  
(各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託、消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託)
- ・備品購入費 10,638,000 円(藤代公民館内各部屋の備品購入)

[担当：公民館] P. 269

2101 公民館活動に要する経費 2,000,000円(1,827,000円)

[一財 2,000,000円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が14館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実を図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催し、地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

・報償費 1,434,000円(各公民館講師謝礼等)

[担当：公民館] P. 269

2301 公民館施設整備に要する経費 12,063,000円 新規

[その他 9,800,000円 一財 2,263,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 9,800,000円]

○ 目的

公民館施設の適切な整備、及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕、又は工事を行い、施設整備を行う。

・修繕料 4,534,000円(各公民館施設の修繕)

・工事請負費 7,529,000円

小文間、永山公民館調理室空調設備設置工事 4,019,000円

久賀公民館駐車場整備工事 3,510,000円

## 5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 270

2001 図書館管理運営に要する経費 26,238,000円(34,743,000円)

[その他 3,500,000円 一財 22,738,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 3,500,000円]

○ 目的

市民の図書館として、安全で快適な環境を提供し、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

取手図書館は昭和54年の開館から38年が経過し、建物、設備の老朽化が著しい。ふじしろ図書館は平成15年の開館から14年が経過し、設備を中心に修繕が必要な箇所が発生してきている。修繕等が必要な箇所について、施設の管理運営上、必要な維持管理を行う。

・ふじしろ図書館空調機修繕 559,000円

・ふじしろ図書館自動ドア修繕 1,102,000円

・ふじしろ図書館2階児童書架雨漏り修繕 314,000円

・ふじしろ図書館温水洗浄便座取付	441,000 円
・取手図書館外壁・屋上防水改修工事実施設計業務委託料	950,000 円

[担当：図書館] P.271

2101 図書館活動に要する経費 88,796,000 円 (64,443,000 円)

[その他 916,000 円 一財 87,880,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料:コピー手数料 156,000 円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 700,000 円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 60,000 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに応えるよう、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努める。

○ 内容

市内の図書館・公民館図書室で、迅速かつ身近な場所での図書館資料の閲覧・貸出返却、リクエストサービス、レファレンスサービス、その他館内での事業や文化活動を図書館ボランティアや団体の協力を得ながら積極的に進める。平成 29 年度より第 2 次の子ども読書活動推進計画を推進し、ブックスタート事業や、学校図書館との連携強化などを重点的に行う。図書配送業務を委託し、公民館・学校を主とした公共施設間で、円滑な配送業務を遂行する。平成 29 年 7 月に市立図書館システムを更改し、夏休み終了後、学校図書館システムの新規導入を予定しており、子ども達が市立図書館(市内蔵書約 40 万冊)の本も学校図書館で借りられる環境を構築し、また、インターネットサービスを刷新することにより、市民の読書環境の更なる充実等、サービス向上に努める。

・図書配送業務委託料	5,216,000 円
・旧図書館システムデータ抽出業務委託料	8,165,000 円
・電算機賃借料	32,086,000 円

[担当：図書館] P.272

2201 図書館資料購入に要する経費 33,449,000 円 (33,732,000 円)

[その他 58,000 円 一財 33,391,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:図書弁償金 28,000 円]

[諸収入:広告掲載料 30,000 円]

○ 目的

市民の幅広いニーズに即した図書館資料・情報の提供を図るとともに、市民の文化教養の向上に資する。

○ 内容

市民が必要とし、有意義に活用できるような図書館資料を整備する。

・図書、AV 資料購入費	26,651,000 円
・定期刊行物等資料購入費(新聞・雑誌等)	3,610,000 円

## 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P. 273

### 2001 文化財保護に要する経費 4,725,000 円 (595,000 円)

[その他 705,000 円 一財 4,020,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：市史売却代 700,000 円]

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 5,000 円]

#### ○ 目的

市内の指定文化財の維持管理等に対して助成を行うことにより、指定文化財の保護と積極的な活用を図る。

#### ○ 内容

##### (1) 指定文化財管理補助金 19 件 432,000 円

「取手市文化財等補助金交付要綱」に基づく、指定文化財の維持管理に対する補助金の交付等を行う。

##### (2) 「ふるさと探訪」発刊・頒布事業

平成 17 年より『広報とりで』に連載していた「ふるさと散歩道」20 回分と平成 20 年から連載中の「ふるさと探訪」のうち 60 回分を 1 冊にまとめ、広く頒布する。

・印刷製本費 2,160,000 円

##### (3) 山崎家住宅部材調査事業

昭和 63 年に復原可能な状態で解体し寄贈を受けた市内稲の山崎家住宅の部材の状態を、調査・確認する。

・部材調査委託料 1,971,000 円

[担当：教育総務課] P. 273

### 2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 8,305,000 円 (7,300,000 円)

[その他 240,000 円 一財 8,065,000 円]

\* 特財積算根拠

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000 円]

#### ○ 目的

県・市指定文化財である「旧取手宿本陣」の保護・活用により、文化財への愛着や関心を高める。

#### ○ 内容

「旧取手宿本陣」の保存・管理に努め、一般公開を行う。

・管理委託料(防災設備保守点検、庭園維持管理等)	1,566,000 円
・公開日受付業務委託料	1,791,000 円
・土地賃借料(史跡、駐車場)	3,387,000 円
・裏山銀杏伐採委託料	335,000 円
・二の間漆喰・消火ポンプ用呼水槽等修繕料	590,000 円

[担当：教育総務課] P. 275

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 2,487,000円(1,310,000円)

[その他 372,000円 一財 2,115,000円]

\* 特財積算根拠

[負担金:発掘調査原因者負担金 312,000円]

[諸収入:郷土史売却代 60,000円]

○ 目的

文化財保護法に基づく埋蔵文化財の保護のため、調査・研究を進めると同時に、埋蔵文化財保護行政の理解と協力が得られるよう、土地の所有者等に対する保護思想の普及啓発に努める。

○ 内容

「取手市埋蔵文化財取扱い要領」によって、埋蔵文化財保護の体制を整備・強化し、土木工事や宅地開発などに伴う埋蔵文化財の確認や発掘調査に迅速に対応するとともに、出土品の整理を実施する。

(1) 市内遺跡確認緊急調査 1,159,000円

(2) 原因者負担発掘調査 312,000円

開発行為等の要因により、緊急の原因者負担発掘調査に迅速に対応するため、最低限の発掘作業が行える経費を計上し、緊急調査に備える。

(3) 「市内遺跡発掘調査報告書14」印刷製本業務 956,000円

平成22年度から平成27年度までに実施した市内遺跡確認緊急調査等の調査報告書(300部)を刊行する。

[担当：教育総務課] P. 275

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 820,000円(780,000円)

[一財 820,000円]

○ 目的

埋蔵文化財センターを様々な文化財に関する情報発信・収集の拠点施設として活用を図り、市民の郷土史に対する理解と親しみを深め、文化的向上に資する。

○ 内容

市内の埋蔵文化財や歴史資料をテーマとして、年2回企画展を実施する。

講演会講師謝礼 30,000円×2回=60,000円

ポスター・パンフレット印刷代 327,000円×2回=654,000円

借用資料賠償保険代 20,000円×2回=40,000円

## 6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 278

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,337,000円(9,337,000円)

[一財 9,337,000円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することで、市民の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

今年度は、下表の体育協会・スポーツ少年団の育成支援育成を図る。

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	31部	5,724人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講習会の開催</li> <li>・視察研修</li> <li>・機関紙の発行</li> <li>・交流会</li> <li>・市主催行事への協力及び参加</li> <li>・競技別大会の企画運営</li> <li>・指導者の育成</li> </ul>
スポーツ少年団	9連盟 35単位団	1,445人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年のスポーツ指導</li> <li>・競技別大会、教室の企画運営</li> <li>・認定員養成講習会</li> <li>・取手ブロック近隣市町交流会</li> <li>・市主催行事への協力及び参加</li> <li>・県各講習、研修会への参加</li> </ul>

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 278

2002 社会体育振興関係経費 976,000円 (1,188,000円)

[一財 976,000円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツの振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種大会を実施する。ドッジボール大会、ソフトボール大会、ふれあいウォーキング、ソフトバレーボール大会、新春健康マラソン大会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会を開催する。

また、災害協定交流自治体(南相馬市、杉並区)とのスポーツ少年団(野球・サッカー・ミニバスケットボール)を通じて、相互のスポーツ交流を図る。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 279

2003 スポーツ振興奨励関係経費 2,500,000円 (2,500,000円)

[一財 2,500,000円]

○ 目的

奨励金を支給することにより、選手の経費負担軽減と優秀選手の育成を図る。また、市民スポーツの振興及び生涯スポーツの振興普及を図る。

○ 内容

出場大会当日に市内に住所を有する個人又は団体が、予選会・選考会などの選抜手続きを経て、関東大会以上の全国大会・国際大会・オリンピック等の大会に出場する際に、奨励金を支給する。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 279

2101 学校施設開放に要する経費 540,000円 (540,000円)

[一財 540,000円]

○ 目的

市立小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民のスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、市内小中学校(閉校後の体育施設を含む)の体育館・校庭・武道場を、登録した市内スポーツ団体並びに文化団体等に、学校教育に支障のない範囲で開放する。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 279

2301 いきいき茨城ゆめ国体 2019 開催に要する経費 8,968,000円 (755,000円)

[その他 6,000円 一財 8,962,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:雇用保険料本人負担分 6,000円]

○ 目的

いきいき茨城ゆめ国体(第74回国民体育大会)いきいき茨城ゆめ大会(第19回全国障害者スポーツ大会)の会場地として、全国から訪れる選手役員をはじめ応援観戦される皆様をお迎えできるよう、大会成功に向け準備する。

○ 内容

いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会の会場地として、正式種目の自転車(トラック)、ボウリング、公開競技の武術太極拳、デモンストレーションスポーツのエアロビック、ダンススポーツの5種目の開催が決定している。また、障害者スポーツ大会のボウリング競技も予定されており、取手市実行委員会各種専門委員会を立ち上げ、より実践的に運営を行いリハーサル大会や本大会の成功に向け準備を進める。

## 6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 280

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 288,893,000円

(148,389,000円)

[地方債 69,700,000円 その他 91,479,000円 一財 127,714,000円]

\* 特財積算根拠

[市債:グリーンスポーツセンター整備事業債

(155,000,000円-62,000,000円)×75%≒69,700,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 29,479,000円]

[諸収入:スポーツ振興くじ助成金 93,000,000円×2/3=62,000,000円]

○ 目的

生涯スポーツの拠点となる取手グリーンスポーツセンターの維持・管理を行うことで、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

指定管理者による充実した施設管理を行い、更なる利用者の拡大を目指し、市民の健康、

体力づくりの拠点としてスポーツ・レクリエーションの普及発展に努める。

指定管理料	125,452,000円(人件費、施設管理費等含む)
火災保険料	139,000円
敷地賃借料	2,123,000円
空調設備改修工事設計単価見直し業務委託	500,000円
改修工事实施設設計委託料(音響・照明制御・洋式トイレ)	4,000,000円
第1・第2体育室床張替工事	93,000,000円
空調設備改修工事(第IV期)	27,000,000円
第1体育室暗幕ワイヤー改修工事	1,000,000円
音響・照明制御装置改修工事	30,000,000円

[担当：スポーツ生涯学習課] P.281

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 46,128,000円(80,670,000円)

[その他 13,508,000円 一財 32,620,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料:藤代スポーツセンター使用料 7,526,000円]

[手数料:コピー手数料 38,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 5,400,000円]

[繰入金:ふるさと取手応援基金繰入金 500,000円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 3,000円]

[諸収入:ファクシミリ使用料 1,000円]

[諸収入:印刷機使用料 40,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

市民の健康、体力づくりの場としてスポーツ・レクリエーションの普及発展に努める。

工事請負費

体育館空調機更新工事 6,039,000円

備品購入費(サッカーゴール・ネット更新・血圧計) 796,000円

[担当：スポーツ生涯学習課] P.282

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 8,381,000円(6,460,000円)

[その他 4,500,000円 一財 3,881,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料:藤代武道場使用料 1,800,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 2,700,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、武道場の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

市民の健康、体力づくりの場としてスポーツ・レクリエーションの普及発展に努める。  
修繕料 共用スペース照明器具(LED)交換修繕 3,022,000円

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 283

2401 社会体育施設管理に要する経費 2,188,000円 (1,952,000円)

[その他 237,000円 一財 1,951,000円]

\* 特財積算根拠

[使用料:高須体育館使用料 237,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

市民の健康、体力づくりの場としてスポーツ・レクリエーションの普及発展に努める。

## 6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 284

2001 給食センター運営に要する経費 144,653,000円 (137,412,000円)

[その他 126,459,000円 一財 18,194,000円]

\* 特財積算根拠

[諸収入:幼稚園給食代 2,929,000円 ※月額4,170円]

[諸収入:小学校給食代センター分 79,708,000円 ※月額4,240円]

[諸収入:中学校給食代センター分 43,814,000円 ※月額4,750円]

[諸収入:雇用保険料本人負担分 8,000円]

○ 目的

子どもたちに安全な食材による給食を提供することで、体力の増進と望ましい食習慣の形成を図ることを目標に、学校給食の円滑な運営を図る。

○ 内容

賄材料費 126,451,000円

[担当：学務給食課] P. 285

2101 給食センター施設整備に要する経費 35,933,000円 (66,583,000円)

[その他 4,100,000円 一財 31,833,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 4,100,000円]

○ 目的

適正な維持管理と設備の充実により、給食施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

・施設内設備、調理器具設備等の老朽化による修理、維持管理を行う。

修繕料 4,089,000円

・調理等に使用している蒸気ボイラー及び食器洗浄機が経年劣化により交換改修が必要

な状況のため、平成 30 年度に蒸気ボイラー、平成 31 年度に洗浄機の交換改修工事を進めるための実施設計を行う。

蒸気ボイラー・洗浄機改修工事实施設計業務委託料 1,600,000 円

## 11 公債費

### 1 公債費 1 元金 2 利子

[担当：財政課・社会福祉課] P. 290

9701 地方債元金償還金 利子償還金 4,028,991,000円 (3,976,497,000円)

[国・県 28,650,000円 その他 104,000円 一財 4,000,237,000円]

\* 特財積算根拠

[県補：新市町村づくり支援事業費補助金 14,370,000円]

[県補：合併市町村幹線道路緊急整備支援事業補助金 14,280,000円]

[諸収入：災害援護資金貸付金元利収入 104,000円]

(単位：千円)

区 分	平成28年度末	平成 29 年 度 償 還 額			平成29年度中	平成29年度末
	残高見込額A	元 金 B	利 子 C	計	起債見込額D	残高見込額A-B+D
1. 普通債	16,993,500	1,825,433	161,727	1,987,160	1,126,200	16,294,267
(1)議会債	2,520	840	31	871		1,680
(2)総務債	246,159	37,222	2,116	39,338		208,937
(3)民生債	246,258	58,472	3,270	61,742	69,900	257,686
(4)衛生債	12,700	1,270	89	1,359		11,430
(5)農林水産業債	296,921	34,880	3,683	38,563	10,400	272,441
(6)商工債	30,000		195	195	14,200	44,200
(7)土木債	3,200,961	651,233	38,160	689,393	86,900	2,636,628
(8)消防債	350,970	20,758	1,533	22,291	127,900	458,112
(9)教育債	1,770,851	235,717	21,105	256,822	126,700	1,661,834
(10)臨時経済対策事業債	3,220	3,220	23	3,243		
(11)地域再生事業債	98,600	24,510	1,675	26,185		74,090
(12)合併特例債	9,883,961	649,221	86,184	735,405	522,600	9,757,340
(13)行政改革等推進債(地域再生分)	50,956	7,066	885	7,951		43,890
(14)災害復旧債	18,535	2,537	318	2,855		15,998
(15)緊急防災・減災事業債	680,688	94,732	2,185	96,917		585,956
(16)全国防災事業債	100,200	3,755	275	4,030		96,445
(17)公共施設等除却債					167,600	167,600
2. 減税補てん債	998,366	187,649	8,276	195,925		810,717
3. 臨時税収補てん債	37,631	37,631	568	38,199		
4. 臨時財政対策債	21,773,132	1,283,424	149,168	1,432,592	2,130,000	22,619,708
5. 減収補てん債	2,148,967	298,368	37,992	336,360		1,850,599
6. 退職手当債	271,540	33,940	4,607	38,547		237,600
7. 災害援護資金貸付債	28,072	208		208	2,500	30,364
合 計	42,251,208	3,666,653	362,338	4,028,991	3,258,700	41,843,255

地方債の利率別現在高の状況

(単位：千円)

平成28年度末 現在高見込額	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下
42,251,208	33,302,180	7,941,107	961,134				46,787
構成比	78.8%	18.8%	2.3%				0.1%

取手駅西口都市整備事業  
特 別 会 計

## 1 概要

取手駅西口地区においては、交通結節機能の充実と都市機能の集積を目的として、取手駅北土地区画整理事業による都市基盤整備を進め、合わせて建築物整備事業を一体的に施行することによって、潤いと活気に満ちた中心市街地の活性化を進めている。

取手駅北土地区画整理事業では、取手駅西口地区の宅地造成、交通広場及び都市計画道路の整備を行い、環境に考慮した都市空間の整備を進めることにより、交通結節機能強化及び回遊性の向上を図る。

取手駅西口地区における土地利用については、健康・医療・福祉等各種都市機能の充実を図り、持続可能な魅力ある中心市街地の形成を図る。

## 2 歳入の状況

(単位：千円)

款	項	目	予算額
1. 使用料及び手数料	1. 使用料	1. 土木使用料	22
2. 国庫支出金	1. 国庫補助金	1. 国庫補助金	136,400
3. 県支出金	1. 県補助金	1. 県補助金	7,189
4. 繰入金	1. 他会計繰入金	1. 一般会計繰入金	585,630
5. 繰越金	1. 繰越金	1. 繰越金	1,100
6. 諸収入	1. 市預金利子	1. 市預金利子	10
	2. 受託事業収入	1. 下水道事業受託収入	7,820
7. 市債	1. 市債	1. 土木債	140,200
合 計			878,371

## 3 歳出の状況

(単位：千円)

款	項	目	歳出予算
1. 事業費	1. 審議会費	1. 審議会費	70
	2. 総務費	1. 総務費	134,268
	3. 事業費	1. 事業費	451,225
2. 公債費	1. 公債費	1. 元金	247,585
		2. 利子	44,723
3. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	500
合 計			878,371

# 1 事業費

## 3 事業費 1 事業費

[担当：区画整理課] P.17

7501 取手駅北土地区画整理事業に要する経費 441,321,000 円 (734,936,000 円)

[国・県 136,400,000 円 地方債 140,200,000 円 その他 164,699,000 円

一財 22,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補:防災・安全交付金 (生活空間の安全確保分)

248,000,000 円×55%=136,400,000 円]

[市債:取手駅北土地区画整理事業債 248,000,000 円×45%×90%≒100,400,000 円]

[市債:取手駅北土地区画整理事業債 53,082,000 円×75%≒39,800,000 円]

[繰入金:一般会計繰入金 156,879,000 円]

[諸収入:下水道受託事業収入 7,820,000 円]

○ 目的

取手駅北土地区画整理事業は、多様な都市機能の集積と土地の高度利用の促進を図るため、都市基盤の整備を進めている。今年度は西部地区造成工事及び建物移転補償を実施する。

○ 内容

事業年度 平成 5 年 8 月～平成 35 年 3 月

施行面積 6.5ha

[委託業務]

委託件数 9 件

委託金額 91,434,000 円

[工事請負]

工事内容 電線共同溝工事

工事金額 23,544,000 円

工事内容 西部地区造成工事

工事金額 172,628,000 円

工事内容 都市計画道路 3・5・39 号付帯工事

工事金額 5,076,000 円

[建物移転補償]

建物移転補償件数 33 件

補償金額 128,402,000 円

工事に伴う補償件数 2 件

補償金額 18,000,000 円

## 取手駅北土地区画整理事業区域



[担当：中心市街地整備課] P. 19

7701 取手駅北地区建築物整備事業に要する経費 9,872,000円 (10,296,000円)

[その他 9,872,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：一般会計繰入金 9,872,000円]

### ○ 目的

取手駅北土地区画整理事業によって整備された宅地の促進を図ることによって、中心市街地としての取手駅周辺地区にふさわしい都市機能の集積と市街地整備の事業効果の早期発現化を図るため、A街区の土地利用について、取手駅北土地利用構想に基づいた、土地利用計画及び施設計画を策定し、事業の推進を図る。

### ○ 内容

[委託業務]

A街区事業推進支援業務委託料 9,860,000円

用地先行取得事業  
特 別 会 計

### 1. 概要

当特別会計は、公共用地の円滑かつ効率的な先行取得を目的としているものであり、取手駅東口多目的広場用地に係る元金及び利子の償還金である。

### 2. 歳入の状況

歳入の予算額は112,439千円であり、一般会計繰入金である。

### 3. 歳出の状況

歳出の予算額は112,439千円であり、内容は公債費（元金・利子）である。

(単位：円)

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成29年度償還額			平成29年度末 現 在 高
		元 金	利 子	計	
取手駅東口 多目的広場用地	219,720,000	109,860,000	2,579,000	112,439,000	109,860,000
計	219,720,000	109,860,000	2,579,000	112,439,000	109,860,000

国民健康保険事業  
特 別 会 計

## 1 概要

国民健康保険（以下「国保」という。）は、制度創設以来、市民の医療の確保と健康維持に貢献し、医療保険制度の中核として重要な役割を果たしてきた。

しかしながら、急速な少子高齢化の進展や医療技術の高度化及び疾病構造の変化等に伴い医療費が増大する一方で、国保はその制度上、他の医療保険と比較して、年齢構成が高いことに加え、加入者に低所得者層や無職者層が多く、必然的に財政運営が厳しくなるという構造的問題を従来から抱えている。

このような状況の中、国民健康保険制度については、平成 30 年度から都道府県が財政運営の責任主体となり事業運営の中心的な役割を担い、市町村は引き続き資格管理や賦課徴収、保険給付、保健事業等地域におけるきめ細かな事業を担う。

県は、新制度への円滑な移行に向け、市町村と国保連合会との協議を進めてきた。今年度は、新制度に向けた最終年となり、国民健康保険運営方針の策定や、平成 30 年度の国保事業費納付金及び標準保険料率の算定、関係法規の整備などを行う。

今年度は、新制度への移行に向けたシステム改修費用を計上するとともに、国保事業の適正かつ安定的な運営を図るため、保険税負担の公平性と医療費の抑制を重点項目とし、予算編成を行った。

### (1) 被保険者資格の適用適正化

被保険者資格の適用適正化については、事業運営の基本であり、被保険者の医療の確保及び国保運営の健全化のために極めて重要である。特に、国保に加入すべき対象者でありながら加入の手続きがなされていない無保険状態の者、逆に社会保険等の他の健康保険に加入しているのに、国保喪失の届出がされていないため、重複して健康保険に加入してしまっている者などについて、早期に適正な適用を図るための対策を講じる。

### (2) 国保税収入の確保

適正な課税及び収納対策により、被保険者間の負担の公平性を確保する。国保税算定の基礎となる所得については、正確な把握が必要であるので、申告のない世帯については、関係機関との連携を図りながら、申告の勧奨などにより所得の把握に努める。

また、保険税収納率の向上のための取り組みに努める。

### (3) 医療費の適正化

医療費の適正化を進めるため、第三者求償事務の充実、医療機関における適正受診の啓発、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及啓発に努める。

### (4) 保健事業の推進

特定健康診査については、第二期特定健康診査等実施計画（平成 25 年～平成 29 年度）に基づき受診率の向上に努める。また、「国保データベース（KDB）システム」の各種統計情報に関するデータを活用したデータヘルス計画（平成 28・29 年度）を策定し、効果的な保健事業の実施により生活習慣病の重症化予防に努める。

### (5) その他

国民健康保険の現状や医療情報等を積極的に市民に発信することにより、市民の医療費に対する意識の向上を図り、医療費抑制と適正化を進める。

○取手市国保の現況

(1) 歳入歳出の状況

歳入歳出予算額は、14,070,961千円で、前年度に比較して1.6%の減となった。

歳入

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減率 (%)
国民健康保険税	2,744,063	2,815,971	△2.6
使用料及び手数料	2,200	1,100	100.0
国庫支出金	2,408,492	2,703,248	△10.9
療養給付費等交付金	251,995	350,001	△28.0
前期高齢者交付金	3,950,698	3,800,879	3.9
県支出金	686,980	672,670	2.1
共同事業交付金	2,983,428	2,915,872	2.3
財産収入	139	429	△67.6
繰入金	905,626	899,250	0.7
繰越金	100,001	100,001	0.0
諸収入	37,339	37,773	△1.1
歳入合計	14,070,961	14,297,194	△1.6

歳出

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減率 (%)
総務費	257,952	242,213	6.5
保険給付費	8,119,668	8,404,939	△3.4
後期高齢者支援金等	1,853,750	1,885,297	△1.7
前期高齢者納付金等	1,930	1,959	△1.5
老人保健拠出金	101	101	0.0
介護納付金	669,111	670,328	△0.2
共同事業拠出金	2,983,428	2,915,872	2.3
保健事業費	140,311	130,524	7.5
基金積立金	10,137	10,427	△2.8
公債費	542	1,083	△50.0
諸支出金	14,031	14,451	△2.9
予備費	20,000	20,000	0.0
歳出合計	14,070,961	14,297,194	△1.6

(2) 国保加入者の状況

(年間平均)

区 分	年 度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	増減率 (%)	
		(見込)	(見込)	(実績)	29/28	28/27
加入世帯数		18,751 世帯	19,132 世帯	19,638 世帯	△2.0	△2.5
被保険者数	一般	29,209 人	30,022 人	31,073 人	△2.7	△3.4
	退職	586 人	858 人	1,346 人	△31.7	△36.3
	合計	29,795 人	30,880 人	32,419 人	△3.5	△4.7

## (3) 保険給付費等の状況

(単位：千円)

年 度		療養給付費	療養費	高額療養費	出産育児一時金	葬祭費
平成29年度(予算)	一般	6,888,000	63,360	900,000	37,800	11,000
	退職	165,120	1,740	26,400		
平成28年度(見込)	一般	6,814,000	68,300	865,000	37,406	10,500
	退職	215,000	1,500	34,900		
平成27年度(実績)	一般	6,876,836	77,517	809,270	34,285	10,150
	退職	351,561	2,782	57,709		

## (4) 1人当たりの医療費

(単位：円)

年 度	一 般	退 職
平成29年度(見込)	315,658	381,477
平成28年度(見込)	308,782	373,490
平成27年度(実績)	304,206	376,326

## 1 総務費

## 1 総務管理費 1 一般管理費

[担当：国保年金課] P.60

7001 国保事務に要する経費 50,667,000円(45,201,000円)

[国・県 1,404,000円 その他 49,263,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：国民健康保険制度関係業務準備補助金 1,404,000円]

[繰入金：事務費等繰入金 49,263,000円]

## ○ 目的

国民健康保険制度の効率的な実施と被保険者に対するサービスの向上を図る。

## ○ 内容

国民健康保険事務に係る経費であるが、主なものとしては保険証・納税通知書の郵送料及び電算処理業務の手数料・委託料である。

主な経費	一斉・随時保険証郵送料	6,781,440円
	納税通知書・特別徴収通知書郵送料	1,874,000円
	国保・介護納付済額通知郵送料	1,140,000円
	第三者行為求償事務手数料	2,080,000円
	連合会レセプト管理システム手数料	1,603,800円
	保険者事務共同電算処理業務委託料	9,134,965円
	国保事務電算処理委託料	22,254,000円
	国民健康保険システム改修委託料	1,404,000円

[担当：国保年金課] P. 61

7501 医療費適正化特別対策に要する経費 11,943,000 円 (11,212,000 円)

[その他 11,943,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：事務費等繰入金 11,935,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,000 円]

○ 目的

国民健康保険に係る医療費の適正化を図り、国保財政の安定化を目的とする。

○ 内容

診療報酬明細書（レセプト）二次点検業務を、茨城県国民健康保険団体連合会に委託することによる事業の効率化とレセプト点検の充実強化を図るとともに、医療費の過誤請求の防止や国民健康保険被保険者資格の適用適正化に努め、医療費の削減を図る。

主な経費	国保被保険者資格点検事務報酬 1 人	1,041,624 円
	国保適用適正化事務報酬 1 人	1,041,624 円
	医療費通知及びジェネリック差額通知郵送料	4,742,700 円
	保険者レセプト二次点検業務手数料	3,888,000 円

## 2 徴税費 1 徴税総務費

[担当：納税課] P. 63

7601 国保税徴収に要する経費 21,260,000 円 (22,372,000 円)

[その他 21,260,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：督促手数料 2,200,000 円]

[繰入金：事務等繰入金 19,040,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 20,000 円]

○ 目的

国保税収納率向上のため、職員及び徴収事務員による徴収を行うとともに、納税者からの照会等に対する回答の迅速化及び収納管理事務の効率化を図る。

○ 内容

(1) 国保税の収納状況（現年度） (単位：千円)

年 度	調 定 額	収 納 額	収納率(%)
平成 28 年度(見込)	2,767,148	2,543,009	91.9
平成 27 年度(実績)	2,930,367	2,688,294	91.7
平成 26 年度(実績)	3,085,149	2,824,500	91.6

(2) コンビニ収納取扱手数料 1,837,000 円

国保税をコンビニエンスストアの店舗（一部を除く）から納付できる。

また、納期限を過ぎた場合も、コンビニ用納付書を再発行することで納付可能となる。

(3) 公金収納情報データ処理手数料 1,517,000 円

国保税の収納処理について、金融機関等の窓口で収納された領収済通知書（紙ベース）を OCR 読み込み・パンチ入力処理によって電子データに変換し、「消込み用データ」として

受け取り事務処理を行う。

## 8 保健事業費

### 1 特定健康診査等事業費 1 特定健康診査等事業費

[担当：国保年金課] P. 77

7701 特定健康診査等事業に要する経費 98,681,000 円 (90,978,000 円)

[国・県 32,820,000 円 一財 65,861,000 円]

\* 特財算出根拠

[国負：特定健康診査等負担金 15,528,000 円]

[県負：特定健康診査等県負担金 15,528,000 円]

[県補：第2号県財政調整交付金 250,000 円]

[県補：健康増進事業費補助金 1,514,000 円]

#### ○ 目的

国保加入者の40歳から75歳未満を対象に内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査を実施する。健診結果に基づき保健指導の該当と判定された者に対し、その要因となっている生活習慣を改善するための指導を行うことにより、糖尿病等の有病者・予備群を減少させ、国保加入者の健康増進及び中長期的な医療費の抑制を図る。

#### ○ 内容

##### ・特定健康診査

糖尿病・高血圧・脂質異常症等の生活習慣病の有病者・予備群を減少させるため、保健指導を必要とする方を的確に抽出するための健診を実施する。

〈健診項目〉

質問項目、身体計測（身長・体重・BMI・腹囲）、身体診察、血圧測定、血液検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査、心電図検査、眼底検査、貧血検査、血清クレアチニン、尿酸

区 分	平成 29 年度 (予算)	平成 28 年度 (見込)	平成 27 年度 (実績)
対象者	25,000 人	25,000 人	25,477 人
受診者	10,520 人	10,220 人	10,091 人
受診率	42.08%	40.88%	39.61%

(※年間移動分含む)

##### ・特定保健指導

健診結果から「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」の3つにグループ分けをし、「動機付け支援」及び「積極的支援」の対象者に対して、保健師や管理栄養士等が食習慣や効果的な運動など生活習慣の改善に必要な支援を行う。平成29年度は、指導対象であっても指導を受けていない方への利用勧奨を実施するとともに、指導実施委託機関を増やし、指導率の向上と生活習慣病の改善を図る。

## 2 保健事業費 1 保健衛生普及費

[担当：国保年金課] P. 78

7601 健康優良世帯表彰に要する経費 1,907,000 円(1,907,000 円)

[一財 1,907,000 円]

### ○ 目的

健康に対する住民意識の向上を図り、合わせて国保医療費節減に関する啓発を行う。

### ○ 内容

1 年間以上無受診の健康優良世帯に対し、感謝状及び記念品を贈呈する。

区 分	平成 29 年度(予算)	平成 28 年度(実績)	平成 27 年度(実績)
1 年間無受診世帯	450 世帯	411 世帯	444 世帯
2 年間無受診世帯	400 世帯	448 世帯	398 世帯
合 計	850 世帯	859 世帯	842 世帯

## 2 保健事業費 2 疾病予防費

[担当：国保年金課] P. 78

7501 疾病の予防に要する経費 39,576,000 円(37,492,000 円)

[一財 39,576,000 円]

### ○ 目的

国保加入者が、日帰り人間ドック・脳ドック及び肺ドックを受診する際に助成を行うことにより、生活習慣病予防対策事業に寄与するとともに、疾病の早期発見及び成人病予防等健康の保持増進に資する。

### ○ 内容

市が実施する特定健康診査を受診しない満 40 歳以上 75 歳未満で、国保税に未納がない国保加入者に対し、下記いずれかのドック検診について、年度内に一度助成する。

(1) 日帰り人間ドック 助成額 24,500 円

(2) 脳ドック 助成額 35,000 円

(3) 肺ドック 助成額 24,500 円

(\*ただし、特定健康診査を含む人間ドック検診を受けた対象者に係る助成金の額は、当該助成金の額から特定健康診査に係る部分に要した費用@6,520 円を減じた額とする。)

ドック名	平成 29 年度(予算)	平成 28 年度(見込)	平成 27 年度(実績)
日帰り人間ドック	1,680 人	1,727 人	1,547 人
脳ドック	310 人	378 人	293 人
肺ドック	30 人	15 人	9 人
合 計	2,020 人	2,120 人	1,849 人

後期高齢者医療  
特別会計

## 1. 概要

高齢者の医療費が急激に増大するなかで世代間の医療費負担を明確化し、医療保険制度の安定的な財政運営を維持していくために、75歳以上の後期高齢者について新たに独立した後期高齢者医療制度が平成20年4月から開始された。

今後の高齢社会において持続可能な医療保険制度体系の確立を図るためには、後期高齢者医療制度の円滑な運営が不可欠であり、市町村がそれぞれ単独で取り組むよりも、他の市町村と協力して、広域的に事務処理を行う方がより効率的であることから、茨城県内のすべての市町村が加入する「茨城県後期高齢者医療広域連合」が平成19年1月24日付で設立された。

広域連合は、地方自治法に規定される特別地方公共団体であり独自の首長や議会を持ち、後期高齢者医療の運営主体として、保険料の賦課・医療の給付・医療費の通知や保健事業等を行い、各種届出の受付・保険料の徴収や被保険者証の引渡し等の窓口受付は市町村が行っている。

社会保障制度改革推進法（平成24年法律第64号）に基づき、内閣に社会保障制度改革国民会議が設置され、社会保障制度改革について審議が行われている。後期高齢者医療制度については、現在では十分定着しており、現行制度を基本としながら、実施状況等を踏まえ必要な改善を行うことが適当であると報告されている。

当市の後期高齢者被保険者数は、人口統計からも今後右肩上がり増加する。被保険者数の伸びに合わせて予算編成を行った。

### (1) 歳入・歳出の状況

歳入歳出予算額は、2,369,868千円で昨年と比較して8.8%の増となる。

#### 歳入

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増減率 (%)
後期高齢者医療保険料	1,118,758	1,001,593	11.7
使用料及び手数料	296	137	116.1
繰 入 金	1,248,110	1,172,775	6.4
繰 越 金	600	600	0.0
諸 収 入	2,104	2,104	0.0
県 支 出 金	-	514	皆減
歳 入 合 計	2,369,868	2,177,723	8.8

#### 歳出

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増減率 (%)
総 務 費	153,694	143,538	7.1
納 付 金	2,213,474	2,031,485	9.0
諸 支 出 金	2,200	2,200	0.0
予 備 費	500	500	0.0
歳 出 合 計	2,369,868	2,177,723	8.8

(2) 被保険者の状況 (各年度末)

区 分 \ 年 度	平成 29 年度 (見込)	平成 28 年度 (見込)	平成 27 年度 (実績)
被保険者数	16,500 人	15,700 人	14,467 人

(3) 1人当たりの医療費 (単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 29 年度 (見込)	平成 28 年度 (見込)	平成 27 年度 (実績)
医療費	825,145	826,486	825,061

## 1 総務費

### 1 総務管理費 1 一般管理費

[担当：国保年金課] P. 108

7001 後期高齢者医療事務に要する経費 113,547,000 円 (101,696,000 円)

[その他 113,546,000 円 一財 1,000 円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：事務費繰入金 54,370,000 円]

[繰入金：後期高齢者健診事業繰入金 38,553,000 円]

[繰入金：後期高齢者人間ドック検診事業繰入金 20,622,000 円]

[諸収入：雑入 1,000 円]

○ 目的

後期高齢者医療制度の効率的な実施と被保険者に対するサービスの向上を図る。

○ 内容

後期高齢者医療事務に係る経費であるが、主なものとして被保険者証の郵送料・茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて行う健康診査のための経費・広域連合への共通経費の負担金や人間ドック検診の助成金である。

また、日常の健康づくり・疾病予防への関心を高めるため、無受診者を対象とした健康優良表彰と記念品の贈呈を行う。

報償費	健康優良者記念品	446,000 円
役務費	郵送料などの通信運搬費、健診データ管理手数料	9,760,000 円
委託料	健康診査、電算処理経費	47,178,000 円
負・補・交	広域連合共通経費負担金、人間ドック助成金	55,366,000 円

(1) 健康優良者 (1年間以上無受診者に対し、感謝状及び記念品を贈呈する。)

区 分	平成 29 年度(予算)	平成 28 年度(実績)	平成 27 年度(実績)
対象者	330 人	287 人	267 人

(2) 健康診査

区 分	平成 29 年度(予算)	平成 28 年度(見込)	平成 27 年度(実績)
受診者	4,350 人	4,075 人	3,743 人

(3) 人間ドック (助成額：日帰り・肺ドック 24,500 円、脳ドック 35,000 円)

ドック名	平成 29 年度(予算)	平成 28 年度(見込)	平成 27 年度(実績)
日帰りドック	550 人	493 人	381 人
脳ドック	200 人	161 人	130 人
肺ドック	6 人	5 人	4 人
合 計	756 人	659 人	515 人

## 2 徴収費 1 徴収費

[担当：国保年金課] P. 109

7501 保険料徴収に要する経費 3,247,000 円 (3,652,000 円)

[その他 3,247,000 円]

\* 特財積算根拠

[手数料：督促手数料 296,000 円]

[繰入金：事務費繰入金 2,951,000 円]

○ 目的

後期高齢者医療保険料を徴収し、後期高齢者医療の適正な運営を図る。

○ 内容

茨城県後期高齢者医療広域連合が賦課した保険料を徴収するための経費であり、納付書の郵送料及び被保険者の利便性の向上を図るためコンビニエンスストアでの納付を実施するものである。

主な経費	郵送料などの通信運搬費	2,240,120 円
	口座振替分手数料	447,984 円
	コンビニ収納手数料	349,920 円

## 2 後期高齢者医療広域連合納付金

1 後期高齢者医療広域連合納付金 1 後期高齢者医療広域連合納付金

[担当：国保年金課] P. 111

7501 後期高齢者医療広域連合納付金に要する経費 2,213,474,000 円(2,031,485,000 円)

[その他 2,213,474,000 円]

\* 特財積算根拠

[保険料：特別徴収分 788,642,000 円]

[保険料：普通徴収分 327,912,000 円]

[保険料：普通徴収分前年度以前分 2,204,000 円]

[繰入金：医療給付費負担分繰入金 894,197,000 円]

[繰入金：低所得者軽減分繰入金 189,488,000 円]

[繰入金：被扶養者軽減分繰入金 11,029,000 円]

[諸収入：延滞金 1,000 円]

[諸収入：過料 1,000 円]

○ 目的

医療給付費に対する市の負担分や市が徴収した保険料を茨城県後期高齢者医療広域連合へ納付する。

○ 内容

保険料徴収分	1,118,758,000 円
低所得者軽減分	189,488,000 円
被扶養者軽減分	11,029,000 円
医療給付費負担分	894,197,000 円
延滞金・過料	2,000 円

# 介護保険特別会計

## 1. 概要

高齢者を社会全体で支える制度としてスタートした介護保険制度は、3年毎に制度の見直しを行っている。平成29年度は第6期介護保険事業計画(平成27年度～平成29年度)の3年目にあたる年であり、引き続き円滑な介護保険制度の継続を図る。

取手市の平成29年1月1日現在の65歳以上の人口は34,818人で、高齢化率は32.1%を示し、要介護認定者が4,278人、認定率は12.3%である。益々加速する高齢化に伴い、居宅サービスを中心にサービス利用者が拡大するとともに介護給付費も増大している。

地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、高齢者の社会参加・介護予防に向けた取り組み、配食・見守り等の生活支援体制の整備、在宅生活を支える医療と介護の連携及び認知症の人への支援の仕組みづくり等を一体的に推進しながら、高齢者を地域全体で支えていく体制を構築するものである。

### 要介護(支援)認定者の推移

(4月1日現在)

年 度	65歳以上の人口	高齢化率	65歳以上の認定者数
平成29年度	34,818人	32.1%	4,278人
平成28年度	34,266人	31.5%	4,204人
平成27年度	33,106人	30.3%	4,017人
平成26年度	31,818人	29.1%	3,826人
平成25年度	30,473人	27.7%	3,740人

平成29年度は、平成29年1月1日現在

### 受給者の推移

(4月1日現在)

年 度	居宅介護(予防)サービス受給者	地域密着型(介護予防)サービス受給者	施設サービス受給者
平成29年度	2,545人	519人	837人
平成28年度	2,570人	130人	822人
平成27年度	2,395人	125人	754人
平成26年度	2,204人	122人	752人
平成25年度	2,097人	129人	707人

平成29年度は、平成29年1月1日現在

### 介護(予防)給付費当初予算額の推移

年 度	居宅介護(予防)サービス給付費	地域密着型(介護予防)サービス給付費	施設サービス給付費
平成29年度	2,604,600,000円	726,744,000円	2,744,280,000円
平成28年度	2,498,152,000円	661,452,000円	2,831,280,000円
平成27年度	2,732,760,000円	391,420,000円	2,831,280,000円
平成26年度	2,676,780,000円	415,290,000円	2,572,248,000円
平成25年度	2,560,896,000円	392,226,000円	2,472,000,000円

## 2. 歳入の状況

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増 減 率(%)
介 護 保 険 料	1,900,446	1,831,309	3.8
使用料及び手数料	330	160	106.3
国 庫 支 出 金	1,387,150	1,305,028	6.3
支 払 基 金 交 付 金	2,005,891	1,961,111	2.3
県 支 出 金	1,080,349	1,063,329	1.6
財 産 収 入	46	91	△49.5
繰 入 金	1,163,189	1,165,591	△0.2
繰 越 金	25,000	25,000	0.0
諸 収 入	3,126	463	575.2
歳 入 合 計	7,565,527	7,352,082	2.9

## 3. 歳出の状況

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増 減 率(%)
総 務 費	150,172	169,670	△11.5
保 険 給 付 費	6,965,386	6,899,076	1.0
地 域 支 援 事 業 費	372,949	256,315	45.5
諸 支 出 金	57,020	7,021	712.1
予 備 費	20,000	20,000	0.0
歳 出 合 計	7,565,527	7,352,082	2.9

## 1 総務費

### 1 総務管理費 1 一般管理費

[担当：高齢福祉課] P.136

7001 介護保険事務に要する経費 12,916,000 円 (12,483,000 円)

[その他 12,915,000 円 一財 1,000 円]

\* 特財積算根拠

[財産収入：介護給付費準備基金利子 45,000 円]

[繰入金：事務費等繰入金 12,804,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 66,000 円]

#### ○ 目的

介護保険制度の適正かつ効率的な実施、被保険者に対する行政サービスの向上を図る。

#### ○ 内容

介護保険制度を適正に実施する。

主な経費	通信運搬費（被保険者証・決定通知郵送等）	2,120,000 円
	委託料（介護保険電算情報処理業務他）	7,839,000 円

介護保険システムOA機器使用料（事務処理システム機器賃貸借他）

1,491,000円

## 2 徴収費 1 賦課徴収費

[担当：高齢福祉課] P.138

7501 保険料賦課徴収費に要する経費 6,495,000円（6,276,000円）

[その他 6,495,000円]

\* 特財積算根拠

[手数料：保険料督促手数料 330,000円]

[繰入金：事務費等繰入金 6,165,000円]

○ 目的

介護サービス給付費などに充てる財源を確保するために、市内に住所を有する65歳以上の被保険者（第1号被保険者）に対し、介護保険料の賦課及び徴収事務を行う。

○ 内容

介護保険第1号被保険者に保険料内容の周知を図ると共に、保険料の賦課及び徴収を行い保険料納入者の管理を行う。

主な経費 印刷製本費（介護保険料リーフレット・封筒作成）

937,000円

通信運搬費（特別徴収額決定通知書・普通徴収納入通知書等郵送料）

3,981,000円

手数料（特別徴収業務・コンビニ収納等手数料）

1,203,000円

## 3 介護認定審査会費 1 介護認定審査会費

[担当：高齢福祉課] P.138

7501 介護認定審査会に要する経費 12,966,000円（13,959,000円）

[その他 12,966,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：事務費等繰入金 12,966,000円]

○ 目的

介護認定審査会を開催し、介護保険認定申請者の要介護・要支援の審査判定を適正に行うことで、介護保険制度の適正な運営を図る。

○ 内容

介護認定調査結果をコンピュータ処理により一次判定し、審査会資料の作成を行う。認定審査会を開催し、一次判定結果・主治医意見書・認定調査特記事項をもとに介護度の認定を行う。

主な経費 介護認定審査会委員報酬 9,139,000円

介護保険システムOA機器使用料（認定審査業務システム賃貸借他）

2,327,000円

### 3 介護認定審査会費 2 認定調査等費

[担当：高齢福祉課] P. 139

7501 認定調査等に要する経費 38,595,000円 (41,647,000円)

[その他 38,595,000円]

\* 特財積算根拠

[繰入金：事務費等繰入金 38,595,000円]

#### ○ 目的

訪問調査の的確な実施、主治医意見書の作成依頼など認定審査会の開催準備をし、公平で適正な要介護・要支援認定を行うことで介護保険制度の適正な運営を図る。

#### ○ 内容

介護認定調査員が要介護認定申請者に対して訪問調査を実施。かかりつけの医師へ主治医意見書の作成を依頼する。

主な経費	報酬（介護認定調査員他）	16,416,000円
	通信運搬費（認定調査票・主治医意見書郵送料）	707,000円
	主治医意見書作成手数料	15,096,000円
	居宅介護支援事業者介護認定調査委託料	1,763,000円
	公用車リース料（認定調査用）	1,289,000円

## 2 保険給付費

### 1 介護サービス等諸費 1 居宅介護サービス給付費

[担当：高齢福祉課] P. 141

7501 居宅介護サービス給付費に要する経費 2,516,400,000円 (2,412,252,000円)

[国・県 849,130,000円 その他 1,667,270,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 503,280,000円]

[国補：普通調整交付金 31,300,000円]

[県負：介護給付費負担金 314,550,000円]

[保険料：特別徴収分 606,697,000円]

[保険料：普通徴収分 26,866,000円]

[保険料：普通徴収分前年度以前分 53,000円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 704,592,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 314,550,000円]

[繰入金：低所得者の保険料軽減に要する費用 13,864,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 648,000円]

#### ○ 目的

要介護認定者が、指定居宅サービス事業者から介護サービスを受けた時に、居宅介護サービス給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

#### ○ 内容

居宅介護サービス給付費 @46,600円×4,500人×12ヶ月

## 1 介護サービス等諸費 2 地域密着型介護サービス給付費

[担当：高齢福祉課] P. 141

7501 地域密着型介護サービス給付費に要する経費 725,040,000円(638,292,000円)

[国・県 235,638,000円 その他 489,402,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 145,008,000円]

[県負：介護給付費負担金 90,630,000円]

[保険料：特別徴収分 195,009,000円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 203,011,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 90,630,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 752,000円]

○ 目的

要介護認定者が、住み慣れた地域で生活できるよう地域に密着したサービスを受けた時に、地域密着型介護サービス給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。なお、制度改正により平成28年4月から地域密着型通所介護移行にともない居宅介護サービス給付費から移行した。

○ 内容

地域密着型介護サービス給付費 @106,000円×570人×12ヶ月

## 1 介護サービス等諸費 3 施設介護サービス給付費

[担当：高齢福祉課] P. 141

7501 施設介護サービス給付費に要する経費 2,744,280,000円(2,831,280,000円)

[国・県 891,892,000円 その他 1,852,388,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 411,642,000円]

[県負：介護給付費負担金 480,249,000円]

[県補：財政安定化基金貸付金 1,000円]

[保険料：特別徴収分 739,684,000円]

[保険料：普通徴収分前年度以前分 58,000円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 768,398,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 343,035,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 1,213,000円]

○ 目的

要介護認定者が、指定施設である指定介護老人福祉施設サービス、指定介護老人保健施設サービス、指定介護療養型医療施設サービスを受けた時に、食費、居住費、日常生活費を除く施設介護サービス給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

施設介護サービス給付費 @254,100円×900人×12ヶ月

## 1 介護サービス等諸費 4 居宅介護福祉用具購入給付費

[担当：高齢福祉課] P. 142

7501 居宅介護福祉用具購入給付費に要する経費 9,000,000円 (8,568,000円)

[国・県 2,925,000円 その他 6,075,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 1,800,000円]

[県負：介護給付費負担金 1,125,000円]

[保険料：特別徴収分 1,449,000円]

[保険料：普通徴収分前年度以前分 531,000円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 2,520,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 1,125,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 450,000円]

○ 目的

要介護認定者が、厚生労働大臣が定める特定福祉用具を購入した時に、居宅介護福祉用具購入給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

特定福祉用具購入に係る費用100,000円を上限とし、購入額の9割、または8割を支給する。

居宅介護福祉用具購入給付費 @30,000円×25件×12ヶ月

## 1 介護サービス等諸費 5 居宅介護住宅改修給付費

[担当：高齢福祉課] P. 142

7501 居宅介護住宅改修給付費に要する経費 26,400,000円 (24,480,000円)

[国・県 8,580,000円 その他 17,820,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 5,280,000円]

[県負：介護給付費負担金 3,300,000円]

[保険料：特別徴収分 1,176,000円]

[保険料：普通徴収分 4,632,000円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 7,392,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 3,300,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 1,320,000円]

○ 目的

要介護認定者が、手すりの取付け等の住宅改修を行った時に、居宅介護住宅改修給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

住宅改修に係る費用200,000円を上限とし、改修費の9割、または8割を支給する。

居宅介護住宅改修給付費 @110,000円×20件×12ヶ月

## 1 介護サービス等諸費 6 居宅介護サービス計画給付費

[担当：高齢福祉課] P. 143

7501 居宅介護サービス計画給付費に要する経費 341,784,000 円 (336,456,000 円)

[国・県 111,080,000 円 その他 230,704,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 68,357,000 円]

[県負：介護給付費負担金 42,723,000 円]

[保険料：特別徴収分 36,135,000 円]

[保険料：普通徴収分 55,057,000 円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 95,700,000 円]

[繰入金：介護給付費繰入金 42,723,000 円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 1,089,000 円]

○ 目的

要介護認定者が、指定居宅介護支援事業者から介護支援を受けた時に、居宅介護サービス計画給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

居宅介護サービス計画給付費 @14,100 円×2,020 人×12 ヶ月

## 2 介護予防サービス等諸費 1 介護予防サービス給付費

[担当：高齢福祉課] P. 143

7501 介護予防サービス給付費に要する経費 88,200,000 円 (85,900,000 円)

[国・県 28,665,000 円 その他 59,535,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 17,640,000 円]

[県負：介護給付費負担金 11,025,000 円]

[保険料：特別徴収分 15,258,000 円]

[保険料：普通徴収分 4,146,000 円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 24,696,000 円]

[繰入金：介護給付費繰入金 11,025,000 円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 4,410,000 円]

○ 目的

要支援認定者が、指定居宅サービス事業者から介護サービスを受けた時に、介護予防サービス給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。なお、制度改正により平成28年4月から予防訪問介護及び予防通所介護のサービスが介護予防・生活支援サービス事業（総合事業）へ段階的に移行している。

○ 内容

介護予防サービス給付費 @21,000 円×350 人×12 ヶ月

## 2 介護予防サービス等諸費 2 地域密着型介護予防サービス給付費

[担当：高齢福祉課] P. 143

7501 地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費 1,704,000 円 (23,160,000 円)

[国・県 554,000 円 その他 1,150,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 341,000 円]

[県負：介護給付費負担金 213,000 円]

[保険料：特別徴収分 375,000 円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 477,000 円]

[繰入金：介護給付費繰入金 213,000 円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 85,000 円]

○ 目的

要支援認定者が、住み慣れた地域で生活できるよう地域に密着したサービスを受けた時に、地域密着型介護予防サービス給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

地域密着型介護予防サービス給付費 @71,000 円×2 人×12 ヶ月

## 2 介護予防サービス等諸費 3 介護予防福祉用具購入給付費

[担当：高齢福祉課] P. 144

7501 介護予防福祉用具購入給付費に要する経費 1,920,000 円 (1,944,000 円)

[国・県 624,000 円 その他 1,296,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 384,000 円]

[県負：介護給付費負担金 240,000 円]

[保険料：特別徴収分 422,000 円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 538,000 円]

[繰入金：介護給付費繰入金 240,000 円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 96,000 円]

○ 目的

要支援認定者が、厚生労働大臣が定める特定福祉用具を購入した時に、介護予防福祉用具購入給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

特定福祉用具購入に係る費用 100,000 円を上限とし、購入額の9割、または8割を支給する。

介護予防福祉用具購入給付費 @20,000 円×8 件×12 ヶ月

## 2 介護予防サービス等諸費 4 介護予防住宅改修給付費

[担当：高齢福祉課] P. 144

7501 介護予防住宅改修給付費に要する経費 12,600,000 円 (10,920,000 円)

[国・県 4,095,000 円 その他 8,505,000 円]

＊ 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 2,520,000 円]

[県負：介護給付費負担金 1,575,000 円]

[保険料：特別徴収分 2,772,000 円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 3,528,000 円]

[繰入金：介護給付費繰入金 1,575,000 円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 630,000 円]

○ 目的

要支援認定者が、手すりの取付け等の住宅改修を行った時に、介護予防住宅改修給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

住宅改修に係る費用 200,000 円を上限とし、改修費の9割、または8割を支給する。

介護予防住宅改修給付費 @150,000 円×7 件×12 ヶ月

## 2 介護予防サービス等諸費 5 介護予防サービス計画給付費

[担当：高齢福祉課] P. 145

7501 介護予防サービス計画給付費に要する経費 15,209,000 円 (18,991,000 円)

[国・県 4,943,000 円 その他 10,266,000 円]

＊ 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 3,042,000 円]

[県負：介護給付費負担金 1,901,000 円]

[保険料：特別徴収分 3,289,000 円]

[保険料：普通徴収分 57,000 円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 4,259,000 円]

[繰入金：介護給付費繰入金 1,901,000 円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 760,000 円]

○ 目的

要支援認定者が、指定居宅介護支援事業者から介護支援を受けた時に、介護予防サービス計画給付費を支給することにより、利用者負担の軽減を図る。なお、計画給付費の一部が平成28年4月から介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い介護予防ケアマネジメントへ段階的に移行した。

○ 内容

介護予防サービス計画給付費 (初回) @7,811 円×15 人×12 ヶ月

(継続) @4,601 円×250 人×12 ヶ月

## 3 その他の諸費 1 審査支払手数料

[担当：高齢福祉課] P. 145

7501 審査支払手数料に要する経費 6,687,000 円 (6,213,000 円)

[国・県 2,173,000 円 その他 4,514,000 円]

＊ 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 1,337,000 円]

[県負：介護給付費負担金 836,000 円]  
[保険料：特別徴収分 1,472,000 円]  
[支払基金：第2号被保険者保険料 1,872,000 円]  
[繰入金：介護給付費繰入金 836,000 円]  
[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 334,000 円]

○ 目的

介護保険の適正な給付をするため、茨城県国民健康保険団体連合会にレセプト審査及び支払を依頼する。

○ 内容

茨城県国民健康保険団体連合会に審査支払手数料を支払う。

審査支払手数料 県内 @57 円×9,130 件×12 ヶ月  
県外 @57 円×645 件×12 ヶ月

#### 4 高額介護サービス等費 1 高額介護サービス費

[担当：高齢福祉課] P.146

7501 高額介護サービス費に要する経費 156,600,000 円 (134,076,000 円)

[国・県 50,895,000 円 その他 105,705,000 円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 31,320,000 円]  
[県負：介護給付費負担金 19,575,000 円]  
[保険料：特別徴収分 22,007,000 円]  
[保険料：普通徴収分 16,445,000 円]  
[支払基金：第2号被保険者保険料 43,848,000 円]  
[繰入金：介護給付費繰入金 19,575,000 円]  
[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 776,000 円]  
[財産収入：高額介護サービス費貸付基金利子 1,000 円]  
[諸収入：第1号被保険者延滞金 51,000 円 第三者納付金 3,000,000 円 返納金 2,000 円]

○ 目的

要介護認定者が受けた居宅介護サービス、地域密着型サービス、施設介護サービスに係る利用者負担額が一定額を超えた時に、高額介護サービス費を支給し利用者負担の軽減を図る。

○ 内容

同一月に利用したサービスの1割または、2割の利用者負担の合計額（同じ世帯内に複数の利用者がある場合には世帯合計額）が一定額を超えた時に、申請により超えた分を高額介護サービス費として支給する。

公費分 @11,000 円×95 件×12 ヶ月 償還分 @24,500 円×980 件×6 ヶ月



[支払基金：第2号被保険者保険料 5,544,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 2,475,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 990,000円]

○ 目的

医療及び介護の利用者の負担の軽減を図る。

○ 内容

各医療保険（国民健康保険、被用者保険、後期高齢者医療制度）における世帯内で、1年間（毎年8月1日～翌7月31日）の医療及び介護両制度における自己負担額が著しく高額となった場合に、申請に基づき一定の自己負担限度額を超えた部分を要介護認定者に高額医療合算介護サービス費として支給する。

高額医療合算介護サービス費 @25,000円×792件

## 5 高額医療合算介護サービス等費 2 高額医療合算介護予防サービス費

[担当：高齢福祉課] P.147

7501 高額医療合算介護予防サービス費に要する経費 24,000円（24,000円）

[国・県 8,000円 その他 16,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 5,000円]

[県負：介護給付費負担金 3,000円]

[保険料：特別徴収分 1,000円]

[保険料：普通徴収分 4,000円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 7,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 3,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 1,000円]

○ 目的

医療及び介護の利用者の負担の軽減を図る。

○ 内容

各医療保険（国民健康保険、被用者保険、後期高齢者医療制度）における世帯内で、1年間（毎年8月1日～翌7月31日）の医療及び介護両制度における自己負担額が著しく高額となった場合に、申請に基づき一定の自己負担限度額を超えた部分を要支援認定者に高額医療合算介護予防サービス費として支給する。

高額医療合算介護予防サービス費 @2,000円×1件×12ヶ月

## 6 特定入所者介護サービス等費 1 特定入所者介護サービス費

[担当：高齢福祉課] P.148

7501 特定入所者介護サービス費に要する経費 299,578,000円（346,560,000円）

[国・県 97,361,000円 その他 202,217,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 44,936,000円]

[県負：介護給付費負担金 52,425,000円]

[保険料：特別徴収分 45,511,000円]

[保険料：普通徴収分 34,400,000 円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 83,881,000 円]

[繰入金：介護給付費繰入金 37,446,000 円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 979,000 円]

○ 目的

所得の低い方の施設利用が困難にならないよう利用者の収入状況に応じた自己負担限度額を設定し、基準費用額との差額を保険給付で補う補足給付を設け負担軽減を図る。

○ 内容

基準費用額 - 利用者負担段階に応じた負担限度額 = 補足給付額

平成27年8月からは、住民税非課税世帯でも一定以上の預貯金などの資産がある場合や住民票上世帯が異なっても配偶者が課税されている場合には、給付の対象外となる。

平成28年8月からは、利用者の非課税年金（「遺族」、「障害」、「寡婦」、「かん夫」、「母子」、「準母子」、「遺児」が印字された年金）も収入として算定し、負担限度額段階の判断基準に反映する。

特定入所者介護サービス費

施設・食事 @26,690円×480人×12ヶ月      施設・居住 @22,620円×450人×12ヶ月

短期・食事 @10,680円×95人×12ヶ月      短期・居住 @9,600円×100人×12ヶ月

利用者 負担段階	居住費等の負担限度額				食費の 負担 限度額
	ユニット型		従来型個室	多床室	
	個室	準個室			
第1段階	820円	490円	490円 (320円)	0円	300円
第2段階	820円	490円	490円 (420円)	370円	390円
第3段階	1,310円	1,310円	1,310円 (820円)	370円	650円
基準費用額	1,970円	1,640円	1,640円 (1,150円)	840円	1,380円

※（ ）内は介護老人福祉施設または短期入所生活介護を利用した場合

## 6 特定入所者介護サービス等費      2 特定入所者介護予防サービス費

[担当：高齢福祉課] P.148

7501 特定入所者介護予防サービス費に要する経費 100,000円 (100,000円)

[国・県 33,000円    その他 67,000円]

\* 特財積算根拠

[国負：介護給付費負担金 20,000円]

[県負：介護給付費負担金 13,000円]

[保険料：特別徴収分 3,000円]

[保険料：普通徴収分 18,000円]

[支払基金：第2号被保険者保険料 28,000円]

[繰入金：介護給付費繰入金 13,000円]

[繰入金：介護給付費準備基金繰入金 5,000円]

○ 目的

所得の低い方の短期入所生活介護が困難にならないよう利用者の収入状況に応じた自己

負担限度額を設定し、基準費用額との差額を保険給付で補う補足給付を設け負担軽減を図る。

○ 内容

基準費用額 - 利用者負担段階に応じた負担限度額 = 補足給付額

特定入所者介護予防サービス費

食費 @1,800 円×2 人×12 ヶ月 居住費 @2,350 円×2 人×12 ヶ月

### 3 地域支援事業費

#### 1 介護予防生活支援サービス事業費 1 介護予防・生活支援サービス事業費

[担当：高齢福祉課] P.149

7501 介護予防・生活支援サービス事業に要する経費 142,200,000 円(70,860,000 円)

[国・県 52,087,000 円 その他 90,113,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 34,725,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 17,362,000 円]

[保険料：特別徴収分 28,719,000 円]

[保険料：普通徴収分前年度以前分 1,840,000 円]

[支払基金：地域支援事業支援交付金 38,892,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業繰入金 20,662,000 円]

○ 目的

要支援者等に対して、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるように支援することを目的として実施する高齢者に対し、運動機能の維持向上や閉じこもり予防を図るとともに、活動的で生きがいのある人生を送ることができるように支援することを目的とする。

○ 内容

従来、介護予防訪問介護及び介護予防通所介護により提供されていた専門的なサービスに加え、住民主体の支援等の多様なサービス、一般介護予防事業の充実を図り、市の独自事業等を活用することにより、要支援者等の能力を最大限いかしつつ、要支援者等の状態等に応じたサービスを実施する。

(第1号訪問事業費)

・訪問介護相当サービス

(従来、介護予防訪問介護により提供されていた専門的なサービス)

@17,000 円×220 人×12 月=44,880,000 円

(第1号通所事業費)

・通所介護相当サービス

(従来、介護予防通所介護により提供されていた専門的なサービス)

@26,000 円×280 人×12 月=87,360,000 円

## 1 介護予防生活支援サービス事業費      2 介護予防ケアマネジメント費

[担当：高齢福祉課] P. 149

7501 介護予防ケアマネジメントに要する経費 34,283,000円(9,220,000円)

[国・県 12,856,000円 その他 21,427,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 8,571,000円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 4,285,000円]

[保険料：特別徴収分 7,543,000円]

[支払基金：地域支援事業支援交付金 9,599,000円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業繰入金 4,285,000円]

### ○ 目的

介護予防ケアマネジメントは、介護予防の目的である「高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ」「要支援・要介護状態になっても状態がそれ以上に悪化しないようにする」ために、高齢者自身が地域における自立した日常生活を送ることができるよう支援することを目的とする。

### ○ 内容

介護予防ケアマネジメントは、要支援者等から依頼を受けて、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、その選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他生活支援サービスのほか、一般介護予防事業などにより提供される生活支援サービスも含め、要支援者等の状態等にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行う事業である。

(介護予防ケアマネジメント委託料)

初回 @7,811円×30名×12月=2,811,960円

継続 @4,601円×570名×12月=31,470,840円

## 2 一般介護予防事業費      1 一般介護予防事業費

[担当：健康づくり推進課] P. 150

7501 介護予防普及啓発事業に要する経費 15,592,000円(17,216,000円)

[国・県 5,847,000円 その他 9,745,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 3,898,000円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 1,949,000円]

[保険料：特別徴収分 3,431,000円]

[支払基金：地域支援事業支援交付金 4,365,000円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業繰入金 1,949,000円]

### ○ 目的

要介護認定や基本チェックリストに該当しない元気な高齢者を対象にきらり笑顔教室、脳活教室や取手プラン生命の樹等の一般介護予防教室を開くことで、高齢者の健康の保持増進を図る。

○ 内容

(きらり笑顔教室)

高齢者を対象にきらり笑顔教室を開催。市内にある3事業所に委託し、運動機能向上・口腔機能向上・認知症予防等についての講話や運動を行うことで介護予防を図る。

きらり笑顔教室委託料 @384,000円×3教室=1,152,000円

(取手プラン生命の樹)

高齢者の健康状態を、体力測定・問診・血液検査の結果から総合的に分析し、それぞれの状態に応じた健康づくりの方法を指導(カウンセリング)する。その後、年間を通じて、転倒予防・チューブ体操・シルバーリハビリ体操・太極拳・脳力アップ・栄養指導など、さまざまなプログラムを提供して、継続的な健康づくりの機会を提供する。

取手プラン生命の樹業務委託料 11,430,000円

(脳活教室)

65歳以上の元気な高齢者を対象に、「アタマとカラダ」の健康を維持しながら認知症予防を目指す教室。同時にボランティアアシスタントも養成していく。

脳活教室業務委託料 1,039,000円

[担当：高齢福祉課・健康づくり推進課] P.150

8001 地域介護予防活動支援事業に要する経費 8,610,000円(6,620,000円)

[国・県 3,230,000円 その他 5,380,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 2,153,000円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 1,077,000円]

[保険料：特別徴収分 1,361,000円]

[保険料：普通徴収分 531,000円]

[支払基金：地域支援事業支援交付金 2,411,000円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業繰入金 1,077,000円]

○ 目的

介護予防活動の地域展開を目指して、住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援することを目的とする。

○ 内容

(介護予防講座)

介護予防に関する専門分野の講師を招いて、介護予防講座を開催する。

介護予防講座講師謝礼 41,000円

(シルバーリハビリ体操指導士3級養成)

シルバーリハビリ体操を住民に指導するボランティア「シルバーリハビリ体操指導士」を養成するためにシルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会を委託し、1年に1回養成講習会を開催する。

シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会委託料 195,000円

(介護予防拠点運営)

地域の高齢者が気軽に集い、ふれあえる場を提供し、さらに健康づくりや趣味のサークルを企画することにより健康増進と生きがいづくりを図り、介護予防の拠点とする。

指定管理者は取手市社会福祉協議会とし、指定管理期間は平成 26 年度から平成 29 年度。

介護予防拠点運営指定管理料運営費分(人件費、消耗品費等) 5,841,000 円

(チューブ体操指導者養成講習会)

チューブ体操を住民に指導するボランティア「チューブ体操指導者」を養成するために、指導者養成講習会やフォローアップ講習会を委託する。

チューブ指導者養成講習会委託料 175,000 円

(地域介護予防教室)

住民主体の活動の場に、内容をより専門的に充実させるために講師を派遣する。

地域介護予防教室委託料 540,000 円

(地域介護予防支援事業補助金)

主に元気高齢者を対象に介護予防事業等に取り組む地域住民やボランティア団体に対し、活動費等の補助金を交付する。

地域介護予防支援事業補助金 @350,000 円×3 団体=1,050,000 円

(介護支援ボランティアポイント事業)

65 歳以上の要介護認定を受けていない高齢者が、市内の指定された介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホーム、通所介護事業所でボランティア活動に従事。市は従事した時間数に対して、ポイントを付与(1 時間単位=1 ポイント)。累積したポイントに対し、年度末に申請を受け付け交付金を交付する。(1 ポイント=100 円。上限は 50 ポイント。)

介護支援ボランティア事業委託料 @231,481 円×1.08 =250,000 円

介護支援ボランティア交付金 @100 円×200 名×0.6×年間平均従事時間 25 時間  
=300,000 円

### 3 包括的支援事業費・任意事業費 1 総務費

[担当：高齢福祉課] P.152

7601 地域包括支援センターに要する経費 104,941,000 円 (96,575,000 円)

[国・県 61,390,000 円 その他 43,551,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 40,927,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 20,463,000 円]

[保険料：特別徴収分 23,082,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 20,463,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 6,000 円]

○ 目的

平成 27 年度以降、おおよその日常生活圏域ごとに 4 ヶ所の地域包括支援センターを社会福祉法人等に業務委託し、高齢者がいつまでも自分らしく、可能な限り住みなれた地域で自立した生活を続けられるように、主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士の専門職員が互いに連携をとりながら継続的・包括的に支援していくことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を図る。

○ 内容

地域包括支援センター業務委託料 101,000,000 円

地域包括支援センターシステム使用料	1,186,000 円
一般職非常勤報酬	1,476,000 円

### 3 包括的支援事業費・任意事業費 2 任意事業費

[担当：高齢福祉課] P. 153

#### 7901 住宅改修支援事業に要する経費 6,000 円 (10,000 円)

[国・県 3,000 円 その他 3,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 2,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 1,000 円]

[保険料：特別徴収分 2,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 1,000 円]

○ 目的

住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由がわかる書類の作成及び必要な理由がわかる書類を作成した場合の経費の助成を行う。

○ 内容

住宅改修理由書作成手数料 @2,000 円×3 件

[担当：高齢福祉課] P. 153

#### 8001 介護給付費等適正化事業に要する経費 945,000 円 (570,000 円)

[国・県 552,000 円 その他 393,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 368,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 184,000 円]

[保険料：特別徴収分 210,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 183,000 円]

○ 目的

受給者に介護サービスの利用実績を通知することにより、利用したサービスの種類や回数・費用額などが事実と相違ないかの確認を促し、架空請求などの不正発見と防止を図る。

○ 内容

介護サービス利用実績通知作成委託料 465,000 円

〃 郵送料 480,000 円

[担当：高齢福祉課] P. 153

#### 8202 紙おむつ支給に関する経費 13,723,000 円 (13,723,000 円)

[国・県 8,028,000 円 その他 5,695,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 5,352,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 2,676,000 円]

[保険料：特別徴収分 992,000 円]

[保険料：普通徴収分前年度以前分 2,027,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 2,676,000 円]

○ 目的

在宅要介護高齢者等に対して紙おむつを支給することにより、要介護高齢者等及び介護にあたる家族の負担軽減を図る。

○ 内容

要介護認定 3 以上の在宅高齢者及び要介護認定 1 以上の在宅の認知症高齢者に対して、紙おむつを年 4 回支給する。（本人が市民税非課税の方を対象とする）

扶助費 @3,300 円×320 人×12 月×1.08=13,685,760 円

通信運搬費 @82 円×440 人=36,080 円

[担当：高齢福祉課] P. 153

8203 在宅高齢者家族介護慰労金支給に関する経費 300,000 円 (300,000 円)

[国・県 176,000 円 その他 124,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 117,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 59,000 円]

[保険料：普通徴収分 65,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 59,000 円]

○ 目的

市民税非課税世帯で、要介護 4 または 5 に相当する高齢者を在宅で介護し、過去 1 年間介護保険サービスを受けなかった介護者を慰労する。

○ 内容

家族介護慰労金 @100,000 円×3 人=300,000 円

[担当：高齢福祉課] P. 154

8206 認知症高齢者見守り事業に関する経費 1,448,000 円 (1,493,000 円)

[国・県 847,000 円 その他 601,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 565,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 282,000 円]

[保険料：普通徴収分 319,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 282,000 円]

○ 目的

地域における認知症高齢者の見守り体制の構築を目的とした、徘徊高齢者を早期発見できる仕組みの構築を行う。

○ 内容

徘徊のおそれのある認知症高齢者を対象に、見守りキーホルダー・ステッカーの配布や、GPS の貸し出しを行い、徘徊時に早期に発見できるようにする。

見守りステッカー @295 円×1.08×2,500 足=796,500 円

システム使用料 @35,000 円×1.08×12 月=453,600 円

[担当：高齢福祉課] P. 154

8301 配食サービスに関する経費 8,084,000円(6,715,000円)

[国・県 2,623,000円 その他 5,461,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 1,749,000円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 874,000円]

[保険料：普通徴収分 987,000円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 4,474,000円]

○ 目的

要支援認定者または基本チェックリストに該当する対象者を除くひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等で、身体的に買い物や調理が困難な人を対象に、夕飯の配達をすることにより、安否の確認、栄養摂取の補助、孤独感の解消を図る。

○ 内容

月～金までの週5回のうち必要と認められる日の夕食を配達する。利用者負担は400円。

委託料金 @550円×3,600食×4施設=7,920,000円

[担当：高齢福祉課] P. 154

8401 認知症サポーター等養成事業に要する経費 168,000円(166,000円)

[国・県 99,000円 その他 69,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 66,000円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 33,000円]

[保険料：特別徴収分 36,000円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 33,000円]

○ 目的

認知症を理解し温かく見守り支援する認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを市民の手で展開することを目的とする。

○ 内容

認知症キャラバンメイトが講師となり、「認知症とは」「認知症の診断・治療・予防について」「認知症の方への接し方」について、認知症標準教材を用いて実施し、認知症についての知識の普及啓発を図る。

認知症サポーター養成講座テキスト・ステッカー代(送付代・通知代込) 167,710円

[担当：高齢福祉課] P. 154

8501 成年後見制度利用支援事業に要する経費 1,591,000円(1,642,000円)

[国・県 930,000円 その他 661,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 620,000円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 310,000円]

[保険料：特別徴収分 351,000円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 310,000円]

○ 目的

市町村申立て等に係る低所得の高齢者に係る成年後見制度の申立てに要する経費や成年後見人等の報酬の助成等を行うことを目的とする。

○ 内容

身寄りのない重度の認知症高齢者等であって、契約による介護保険サービス等の利用が困難な方のうち、成年後見人等による支援を必要とするが、審判の申立てを行う親族がない場合などに、市長が成年後見制度の審判の申立てを家庭裁判所に行う。

市長申立てに要する各種手数料 @246,800 円

成年後見制度利用支援事業後見人等報酬助成 @1,344,000 円

### 3 包括的支援事業費・任意事業費 3 在宅医療・介護連携推進事業費

[担当：高齢福祉課] P.155

7501 在宅医療・介護連携推進事業に要する経費 5,000,000 円 (4,000,000 円)

[国・県 2,925,000 円 その他 2,075,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 1,950,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 975,000 円]

[保険料：特別徴収分 1,100,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 975,000 円]

○ 目的

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進することを目的とする。

○ 内容

市民が住み慣れた地域で生活することを支えるため、取手市医師会に業務委託を行い、在宅医療において積極的役割を担う地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、介護支援専門員等の多職種協働による在宅医療の支援体制を構築することで、退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応及び看取りまでが包括的かつ継続的に実践される在宅医療の提供体制を確立する。

在宅医療・介護連携推進事業委託料 @5,000,000 円

### 3 包括的支援事業費・任意事業費 4 生活支援体制整備事業費

[担当：高齢福祉課] P.155

7501 生活支援体制整備事業に要する経費 2,136,000 円 (420,000 円)

[国・県 1,250,000 円 その他 886,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 833,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 417,000 円]

[保険料：特別徴収分 469,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 417,000 円]

### ○ 目的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、地域住民に身近な存在である市町村が中心となって、NPO 法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、老人クラブ、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図って行くことを目的とする。

### ○ 内容

地域における助け合い・支え合いづくりの推進を目的に、定期的な情報共有・連携強化の中核となる場で、地域の課題やニーズの解決策や対応策等を一緒に考える場として、「地域における支え合いづくり推進協議会（協議体）」を第1層（市全体）及び第2層（各地域包括支援センター）に設置する。

具体的には、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を選出し、介護予防・生活支援サービスに関する必要事項を協議する。

また、新たな生活支援のサポーターを養成するため、「生活支援サポーター養成講座」を社会福祉協議会へ委託する。

第1層協議体委員報酬 @2,000円×10人×2回=40,000円

生活支援体制整備事業委託料 @1,879,200円

生活支援サポーター養成講座委託料 @200,000円×1.08=216,000円

## 3 包括的支援事業費・任意事業費 5 権利擁護事業費

[担当：高齢福祉課] P. 155

7501 権利擁護事業に要する経費 88,000円（0円）

[国・県 51,000円 その他 37,000円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 34,000円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 17,000円]

[保険料：特別徴収分 20,000円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 17,000円]

### ○ 目的

地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援を行うことを目的とする。成年後見制度の普及・啓発を図ることで成年後見制度の利用を促進する。

### ○ 内容

日常生活自立支援事業、成年後見制度等の権利擁護を目的とするサービスや制度を活用する等、ニーズに即した適切なサービスや機関につなぎ、適切な支援を提供することにより、高齢者の生活の維持を図る。

また、成年後見制度の普及・啓発活動を行なっている NPO 法人とりで市民後見の会に対

して、活動費の助成等を実施する。

権利擁護関係セミナー参加費 @18,000 円

成年後見制度普及・啓発活動事業補助金 @70,000 円

### 3 包括的支援事業費・任意事業費 6 地域ケア会議推進事業費

[担当：高齢福祉課] P. 156

7501 地域ケア会議推進事業に要する経費 363,000 円 新規

[国・県 213,000 円 その他 150,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 142,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 71,000 円]

[保険料：特別徴収分 79,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 71,000 円]

#### ○ 目的

個別ケースを検討する地域ケア会議（地域ケア個別会議）は、地域包括支援センターが主催し、医療、介護等の専門職をはじめ、民生委員、自治会長、NPO法人、社会福祉法人、ボランティア等地域の多様な関係者が協働し、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、介護等が必要な高齢者の住み慣れた住まいでの生活を地域全体で支援していくことを目的とする。

#### ○ 内容

個別事例の検討を通じて、多職種協働によるケアマネジメント支援を行うとともに、地域のネットワーク構築につなげることとする。

地域ケア会議推進事業委託料 @84,000 円×4×1.08=362,880 円

### 3 包括的支援事業費・任意事業費 7 認知症総合支援事業費

[担当：高齢福祉課] P. 156

7501 初期集中支援事業に要する経費 852,000 円 (0 円)

[国・県 498,000 円 その他 354,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 332,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 166,000 円]

[保険料：特別徴収分 188,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 166,000 円]

#### ○ 目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センター緑寿荘に配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

#### ○ 内容

認知症に係る専門的な知識・技能を有する医師の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問、観察・評価、家族支援等

の初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う。

認知症施策推進会議 @2,000 円×12 人×2 回=48,000 円

認知症初期集中支援事業委託料 @744,000 円×1×1.08=803,520 円

[担当：高齢福祉課] P. 156

7601 地域支援・ケア向上事業に要する経費 1,560,000 円 (0 円)

[国・県 912,000 円 その他 648,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 608,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金 304,000 円]

[保険料：特別徴収分 344,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業繰入金 304,000 円]

○ 目的

医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置し、当該推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図ることを目的とする。

○ 内容

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるよう、地域包括支援センター、認知症疾患医療センターを含む医療機関や、介護サービス事業者や認知症サポーター等地域において認知症の人を支援する関係者の連携を図るための取組を実施する。

認知症地域支援・ケア向上推進事業委託 @240,000 円×4×1.08=1,036,800 円

認知症カフェ（オレンジカフェ）運営補助金 @100,000 円×5=500,000 円

#### 4 その他諸費 1 審査支払手数料

[担当：高齢福祉課] P. 157

7501 審査支払手数料に要する経費 1,129,000 円 (974,000 円)

[国・県 423,000 円 その他 706,000 円]

\* 特財積算根拠

[国補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 282,000 円]

[県補：介護予防・日常生活支援総合事業交付金 141,000 円]

[保険料：特別徴収分 249,000 円]

[支払基金：地域支援事業支援交付金 316,000 円]

[繰入金：介護予防・日常生活支援総合事業繰入金 141,000 円]

○ 目的

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に必要な費用の支払決定に係る審査及び支払の事務を茨城県国民健康保険団体連合会に依頼する。

○ 内容

茨城県国民健康保険団体連合会に審査支払手数料を支払う。

審査支払手数料 @57 円×3 件×550 人×12 月=1,128,600 円

## 4 諸支出金

### 1 償還金及び還付加算金 1 第1号被保険者保険料還付金

[担当：高齢福祉課] P.158

7501 第1号被保険者保険料還付金 2,000,000円 (2,000,000円)

[その他 2,000,000円]

\* 特財積算根拠

[保険料：普通徴収分 2,000,000円]

○ 目的

前年度以前における過誤納付保険料の還付をする。

○ 内容

過誤納還付金 2,000,000円

# 競輪事業特別会計

# 1 競輪事業費

## 1 総務費 1 総務費

[担当:産業振興課] P. 181

7001 競輪事務に要する経費 11,832,000 円 (11,859,000 円)

○ 内容

今年度の取手市競輪事業基金積立金は 10,002,000 円とする。

## 2 事業費 1 競輪開催費

[担当:産業振興課] P. 182

7501 通常競輪事業に要する経費 1,302,997,000 円 (1,302,997,000 円)

○ 内容

今年度は、通常競輪を 1 回 6 日間開催実施する。

競 輪 名		日数	入場者見込	売上見込
通常競輪	前 節	3	9,000 人	800,000 千円
〃	後 節	3	7,500 人	500,000 千円

※通常競輪の前節 3 日間は、サテライトしおさい鹿島、サテライト水戸、ラ・ピスタ新橋、サテライト中越、サテライト六郷等、後節 3 日間は、サテライトしおさい鹿島、サテライト水戸にて場外車券発売を予定。

衛星テレビ放映(スピードチャンネル)については 6 日間放映予定。

[担当:産業振興課] P. 184

7701 場外車券発売競輪事業に要する経費 19,540,000 円 (19,540,000 円)

○ 内容

場外車券発売競輪名	日数	入場者見込	売上見込
共同通信社杯 G II	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円
記 念 競 輪	4	6,920 人	107,400 千円

入場者見込 69,200 人 売上見込 1,074,000,000 円

### 3 諸支出金

#### 1 諸支出金 1 一般会計繰出金

[担当:産業振興課] P.186

7501 競輪事業繰出金 10,000,000 円 (10,000,000 円)

○ 内容

(単位:千円、%)

	29 年度	28 年度	比較	増減率
競輪事業繰出金	10,000	10,000	0	0.0

取手地方公平委員会  
特 別 会 計

## 1. 概要

公平委員会は、地方公務員法（以下「法」という。）第7条により、人口15万人未満の市町村及び地方公共団体の組合は、条例で公平委員会を置かなければならず、また、議会の議決を経て定める規約により、他の地方公共団体と共同して公平委員会を置くことができると規定され、当委員会は、昭和32年10月1日に共同設置された。

公平委員会の職務については、法第8条により、①職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し、及び必要な措置を執ること。②職員に対する不利益な処分についての不服申立てに対する裁決又は決定をすること。③職員の苦情を処理すること。④その他法律に基づきその権限に属せしめられた事務となっている。

公平委員会の委員については、法第9条の2により3人の委員をもって組織し、議会の同意を得て、地方公共団体の長が選任する。

## 2. 歳入予算

歳入予算額は753,000円で、内訳は負担金515,000円、前年度繰越金237,000円及び諸収入1,000円である。

### 負担金の内訳

取手地方公平委員会規約により、平等割2分の1、職員数割2分の1を関係団体が分担することとなっている。

(単位：円)

関係団体名	金額
取手市	191,000
守谷市	89,000
利根町	53,000
取手地方広域下水道組合	43,000
取手市外2市火葬場組合	37,000
利根川水系県南水防事務組合	37,000
常総地方広域市町村圏事務組合	65,000
合計	515,000

## 3. 歳出予算

歳出予算額は、753,000円である。

## 1 総務費

### 1 総務費 1 委員会費

[担当：監査委員事務局] P. 197

7001 公平委員会事務に要する経費 227,000 円 (232,000 円)

[その他 55,000 円 一財 172,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金：取手地方公平委員会負担金 55,000 円]

○ 内容

各公平委員会連合会への年会費負担金及び研究会等の参加旅費が主なものである。

[担当：監査委員事務局] P. 197

7201 公平委員報酬等に要する経費 460,000 円 (386,000 円)

[その他 460,000 円]

\* 特財積算根拠

[負担金：取手地方公平委員会負担金 460,000 円]

○ 内容

委員 3 人分の報酬及び各公平委員会連合会研究会等の参加旅費が主な支出である。

報酬金額 413,000 円

委員長 9,000 円×16 日

委員 8,400 円×16 日×2 人

# 参 考 資 料

## 目 次

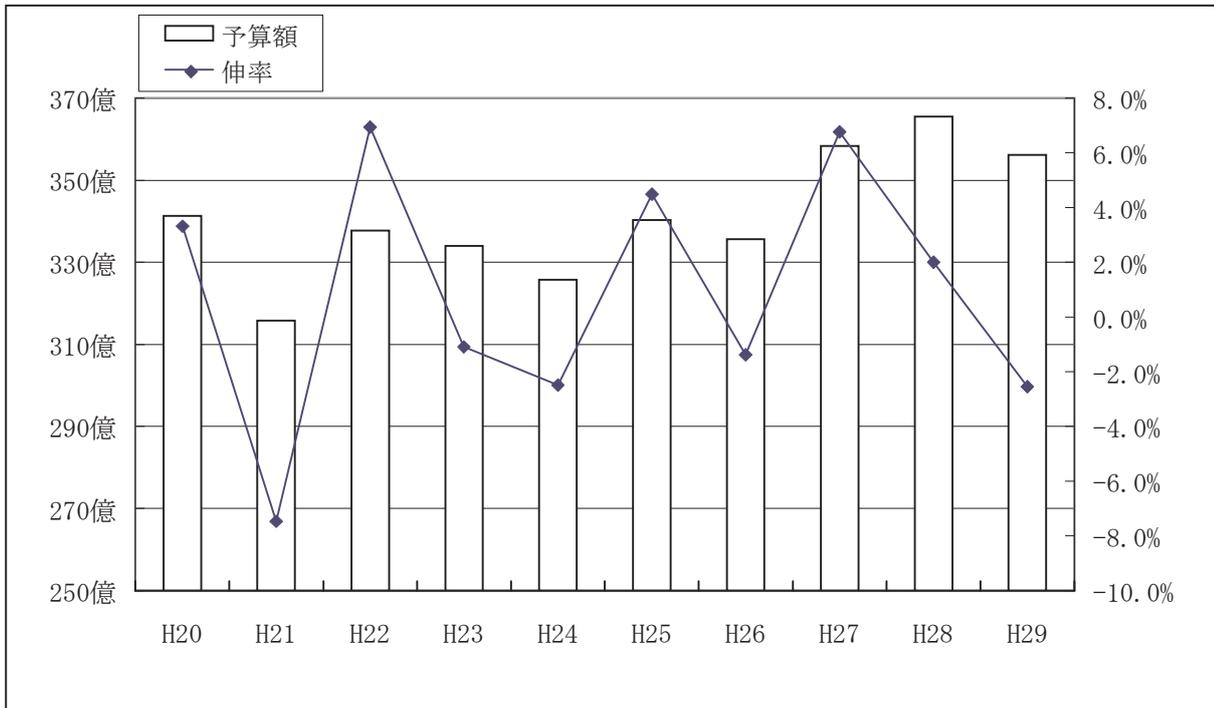
一般会計予算額の推移	235
一般会計款別歳入・歳出の割合	235
一般会計性質別歳出内訳	236
特別会計予算額の推移	237
款別性質別一覧表(一般会計)	238
各款における節の占める予算額及び比率(一般会計)	240
平成 29 年度常総地方市町村圏事務組合	
市町村負担金算出計算書	242
平成 29 年度常総地方市町村圏事務組合	
共通維持管理費市町村負担金計算書	244
平成 29 年度取手地方広域下水道組合	
負担金及び出資金算出計算書	245
平成 29 年度地方消費税引上げ分の社会保障財源化	246
平成 29 年度合併特例債充当一覧(一般会計)	247
平成 28 年度～平成 29 年度	
補助金等予算比較表(一般会計)	248
財政指標の推移	252

## 一般会計予算額の推移

(単位:千円)

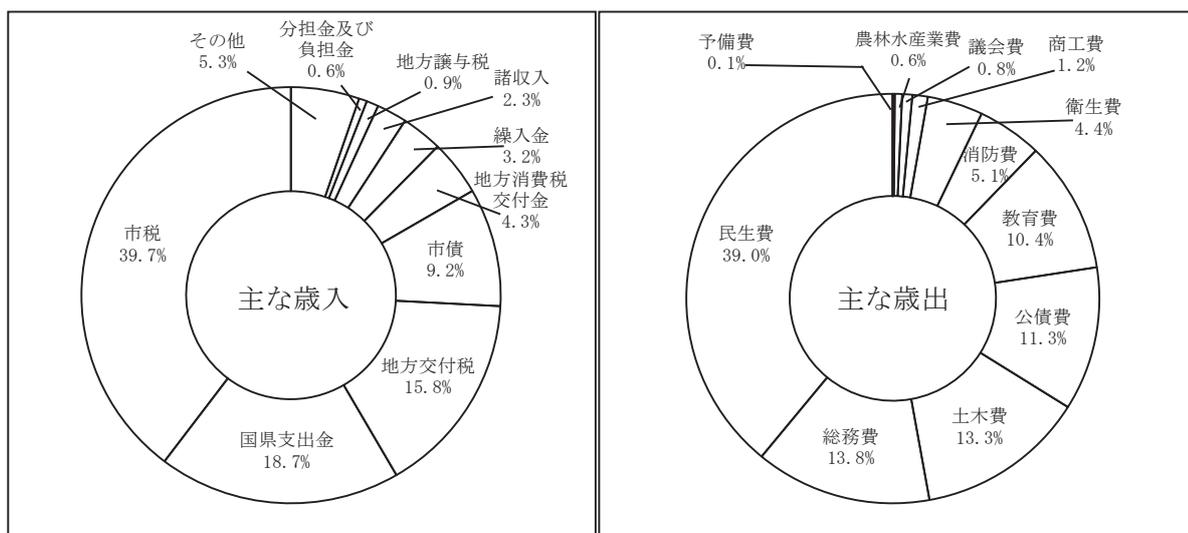
年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	32,570,000	34,030,000	33,560,000	35,831,471	36,550,000	35,620,000

※平成27年度は当初骨格予算のため、6月補正後の予算額で比較



※平成23年度、27年度は当初骨格予算のため、6月補正後の予算額で比較

## 一般会計款別歳入・歳出の割合

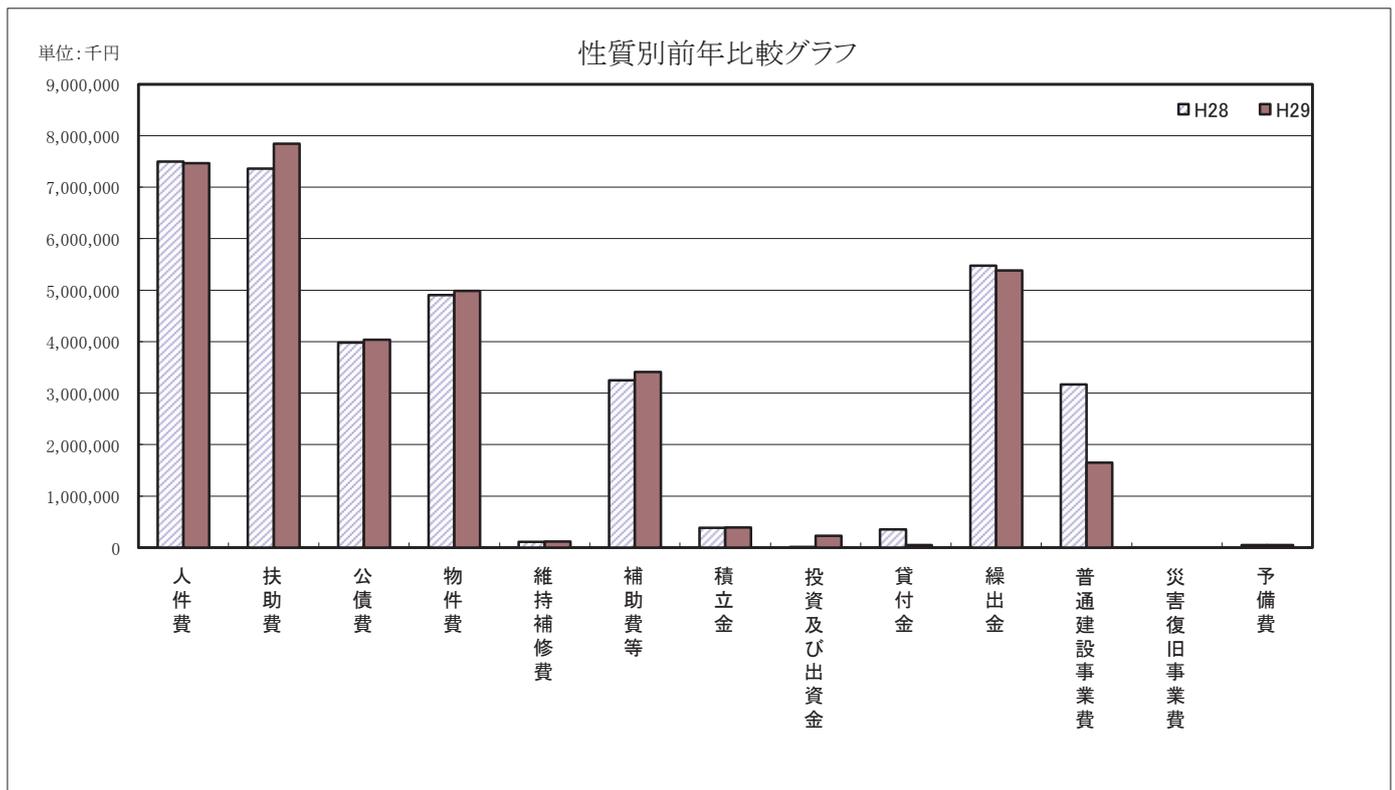


平成29年度一般会計性質別歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度 当初予算		平成28年度 当初予算		比 較	増減率
		構成比		構成比		
人 件 費	7,462,105	21.0	7,493,096	20.5	△ 30,991	△ 0.4
うち特別職	45,227	0.1	32,530	0.1	12,697	39.0
うち議員	204,251	0.6	204,638	0.6	△ 387	△ 0.2
うち一般職	6,645,788	18.7	6,727,517	18.4	△ 81,729	△ 1.2
うち一般職非常勤	402,406	1.1	365,408	1.0	36,998	10.1
扶 助 費	7,841,400	22.0	7,360,737	20.1	480,663	6.5
公 債 費	4,032,991	11.3	3,981,497	10.9	51,494	1.3
物 件 費	4,986,479	14.0	4,903,564	13.4	82,915	1.7
維 持 補 修 費	120,910	0.3	116,420	0.3	4,490	3.9
補 助 費 等	3,413,558	9.6	3,253,281	8.9	160,277	4.9
積 立 金	395,963	1.1	386,435	1.1	9,528	2.5
投 資 及 び 出 資 金	236,100	0.7	10,600	0.0	225,500	2,127.4
貸 付 金	50,662	0.2	350,661	1.0	△ 299,999	△ 85.6
繰 出 金	5,380,457	15.1	5,477,097	15.0	△ 96,640	△ 1.8
普 通 建 設 事 業 費	1,649,370	4.6	3,166,607	8.7	△ 1,517,237	△ 47.9
災 害 復 旧 事 業 費	5	0.0	5	0.0	0	0.0
予 備 費	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
合 計	35,620,000	100.0	36,550,000	100.0	△ 930,000	△ 2.5

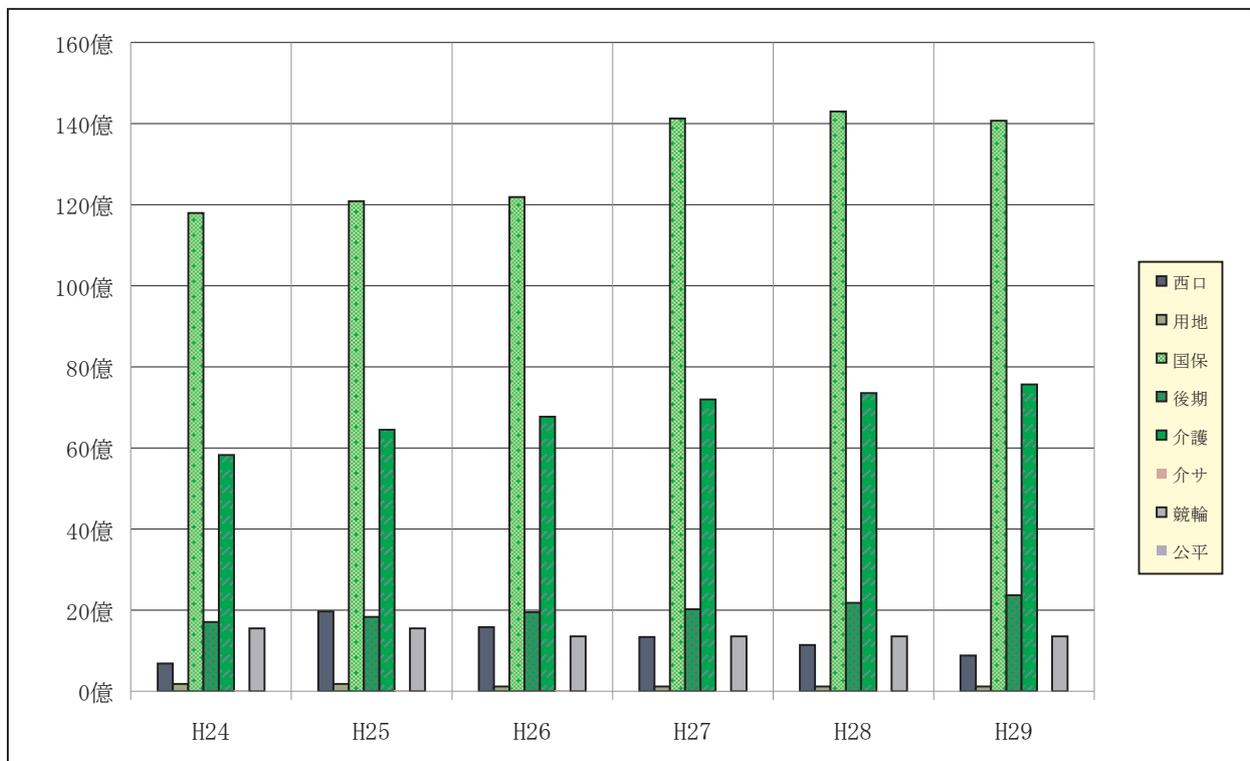
※人件費のうち特別職の増は、法令の改正により教育長が一般職から特別職に移行することになったため。



## 特別会計予算額の推移

(単位:千円)

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
取 手 駅 西 口	678,234	1,968,574	1,577,279	1,338,430	1,136,387	878,371
用地先行取得	180,008	177,530	116,880	115,417	113,925	112,439
国民健康保険	11,790,164	12,085,419	12,188,163	14,125,395	14,297,194	14,070,961
後期高齢者医療	1,708,324	1,832,564	1,951,433	2,020,829	2,177,723	2,369,868
介 護 保 険	5,826,387	6,445,795	6,770,477	7,193,695	7,352,082	7,565,527
介護サービス	14,279	17,038	19,549	1,942	廃 止	
競 輪	1,549,145	1,549,579	1,349,425	1,348,658	1,348,660	1,348,633
公平委員会	774	765	771	689	657	753
計	21,747,315	24,077,264	23,973,977	26,145,055	26,426,628	26,346,552



款別性質別一覧表（一般会計）

区 分	議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
1 人件費	262,751	2,037,924	1,345,693	325,914	94,236	134,822
うち職員給	46,200	1,155,881	978,176	260,780	64,700	104,100
2 物件費	19,090	903,404	500,421	857,938	11,422	20,474
3 維持補修費		7,004				
4 扶助費		38,000	7,724,205	9,281		
5 補助費等	4,191	1,483,600	926,071	333,654	85,722	197,693
6 普通建設事業費		50,524	143,003	32,609	17,666	28,600
(1) 補助事業費		1,597		32,609		26,600
(2) 単独事業費		48,927	143,003		3,350	2,000
(3) 県営事業費					14,316	
7 災害復旧事業費						
(1) 補助事業費						
(2) 単独事業費						
8 公債費						
9 積立金		395,791	7	26		
10 投資及び出資金						6,100
11 貸付金		2,500	10,002			33,000
12 繰出金			3,252,383			
13 予備費						
合 計	286,032	4,918,747	13,901,785	1,559,422	209,046	420,689

(単位：千円)

土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	予備費	合計	構成比
678,415	1,479,827	1,102,523					7,462,105	21.0%
549,900	1,152,631	763,851					5,076,219	14.3%
576,204	94,545	2,002,977		4			4,986,479	14.0%
66,887		47,019					120,910	0.3%
		69,914					7,841,400	22.0%
149,243	60,307	173,077					3,413,558	9.6%
899,446	176,921	300,601					1,649,370	4.6%
491,742	60,576						613,124	1.7%
372,904	116,345	300,601					987,130	2.8%
34,800							49,116	0.1%
			5				5	0.0%
								0.0%
			5				5	0.0%
				4,032,991			4,032,991	11.3%
134		5					395,963	1.1%
230,000							236,100	0.7%
		5,160					50,662	0.2%
2,128,069					5		5,380,457	15.1%
						50,000	50,000	0.1%
4,728,398	1,811,600	3,701,276	5	4,032,995	5	50,000	35,620,000	100.0%

各款における節の占める予算額及び比率（一般会計）

節	議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
1 報酬	119,760	102,466	164,170	15,892	15,936	11,536
2 給料	25,400	687,824	594,500	159,000	38,600	62,400
3 職員手当等	62,101	966,287	383,676	101,780	28,100	41,700
4 共済費	55,490	325,262	209,689	49,862	11,608	19,186
5 災害補償費						
6 恩給及び退職年金						
7 賃金		24,554	148,040	9,082	654	
8 報償費	299	2,168	8,499	7,122	87	514
9 旅費	2,459	7,819	5,507	644	13	449
10 交際費	400	1,100			63	
11 需用費	2,757	99,745	111,060	20,346	3,549	6,552
12 役務費	1,822	92,863	26,969	20,310	667	406
13 委託料	1,037	493,812	2,071,601	817,224	5,192	18,446
14 使用料及び賃借料	1,382	179,375	31,190	6,697	1,291	1,665
15 工事請負費		41,770	88,023		1,016	
16 原材料費		1,008	140	20		
17 公有財産購入費						
18 備品購入費	9,233	6,889	7,657			
19 負担金、補助及び交付金	3,892	1,267,024	817,486	342,423	102,270	218,735
20 扶助費			5,971,162	8,931		
21 貸付金		2,500	10,002			33,000
22 補償、補填及び賠償金		179,239				
23 償還金、利子及び割引料		41,000				
24 投資及び出資金						6,100
25 積立金		395,791	7	26		
26 寄附金						
27 公課費		251	24	63		
28 繰出金			3,252,383			
29 予備費						
合計	286,032	4,918,747	13,901,785	1,559,422	209,046	420,689
構成比	0.8%	13.8%	39.0%	4.4%	0.6%	1.2%

(単位：千円)

土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	予備費	合計	構成比
36,233	19,635	130,978					616,606	1.7%
311,700	662,000	463,297					3,004,721	8.4%
227,700	578,631	365,951					2,755,926	7.8%
102,782	207,100	146,854					1,127,833	3.2%
		255,851					438,181	1.2%
701	14,027	22,726					56,143	0.2%
1,231	5,775	2,704					26,601	0.1%
	70	108					1,741	0.0%
134,436	55,708	770,478					1,204,631	3.4%
5,671	8,074	29,591		4			186,377	0.5%
506,046	18,504	708,359					4,640,221	13.0%
62,510	15,892	260,026					560,028	1.6%
447,484	23,461	258,752					860,506	2.4%
19,360	129	60	5				20,722	0.1%
118,018							118,018	0.3%
7,361	145,293	78,454					254,887	0.7%
1,525,417	55,931	131,975					4,465,153	12.5%
		69,914					6,050,007	17.0%
		5,160					50,662	0.1%
293,409	1						472,649	1.3%
				4,032,991			4,073,991	11.5%
230,000							236,100	0.7%
134		5					395,963	1.1%
136	1,369	33					1,876	0.0%
698,069					5		3,950,457	11.1%
						50,000	50,000	0.1%
4,728,398	1,811,600	3,701,276	5	4,032,995	5	50,000	35,620,000	100.0%
13.3%	5.1%	10.4%	0.0%	11.3%	0.0%	0.1%	100.0%	

平成29年度常総地方広域市町村圏事務組合市町村負担金算出計算書

区分		予算額 (按分比) 【A】	特 定 歳 入 控 除 額							
			国 庫 支出金	県 支出金	地方債	使用料 及び 手数料	財産収入 雑 入	繰 越 金 預金利子	消防費 負担金	
款別	負担割合									
共 通 事 業 分	1 議会費	均等割 10 人口割 90	870 (0.02)						26	
	2 総務費	(経常分) 均等割 10 人口割 90	96,684 (2.69)				336	18	2,906	
		(交流センター分) 均等割 10 人口割 90	29,001					13,834		
		(防災センター分) 均等割 10 人口割 90	7,815				126	6	1,587	
	3 民生費	入所者数割 100	231						4	
	4 衛生費	均等割 10 実績割 90	2,058,051 (57.20)	239,459			287,866	22,547	61,870	
	5 土木費	均等割 10 人口割 90	413,192 (11.48)		7,812	38,500	27,415	75,738	12,422	
	7 公債費	(一般分) 均等割 10 人口割 90	1,017,873 (28.29)						30,600	
(障害者施設分) 入所者数割 100		53,605								
8 予備費	均等割 10 人口割 90	11,500 (0.32)						346		
小 計			3,688,822	239,459	7,812	38,500	315,743	112,143	109,761	
消 防 分	6 消防費	均等割 10 人口割 60 署員数割 30	2,429,849	5,776		40,500	4,429	17,752	47,250	524
合 計			6,118,671	245,235	7,812	79,000	320,172	129,895	157,011	524

注) 市町村負担金欄及び市町別内訳欄中の( )書は、つくばみらい市の消防団無線共同購入事業負担金を除く実質負担金である。

【単位：千円】

計 【B】	市 町 村 負 担 金 【A】-【B】	左 の 市 町 別 内 訳							
		常総市	取手市	守谷市	つくばみらい市	龍ヶ崎市	牛久市	つくば市	利根町
26	844	187	305	197	155	—	—	—	—
3,260	93,424	20,698	33,804	21,772	17,150	—	—	—	—
13,834	15,167	2,401	5,947	3,818	3,001	—	—	—	—
1,719	6,096	774	1,272	814	639	958	1,032	347	260
4	227	85	65	32	45	—	—	—	—
611,742	1,446,309	221,707	597,376	360,879	266,347	—	—	—	—
161,887	251,305	39,780	98,542	63,268	49,715	—	—	—	—
30,600	987,273	156,280	387,129	248,555	195,309	—	—	—	—
	53,605	20,102	15,316	7,658	10,529	—	—	—	—
346	11,154	2,471	4,036	2,599	2,048	—	—	—	—
823,418	2,865,404	464,485	1,143,792	709,592	544,938	958	1,032	347	260
116,231	2,314,142 (2,313,618)	660,147	—	900,304	753,691 (753,167)	—	—	—	—
939,649	5,179,546 (5,179,022)	1,124,632	1,143,792	1,609,896	1,298,629 (1,298,105)	958	1,032	347	260

平成29年度常総地方広域市町村圏事務組合共通維持管理費市町村負担金計算書

(消防費を除く)

(単位:千円・%)

区分	市町村負担金	左の款別内訳							構成比	前年度市町村負担金	前年度との比較
		議会費	総務費	民生費	衛生費	土木費	公債費	予備費			
常総市	464,485	187	23,873	85	221,707	39,780	176,382	2,471	16.2	454,814	9,671
取手市	1,143,792	305	41,023	65	597,376	98,542	402,445	4,036	39.9	1,096,955	46,837
守谷市	709,592	197	26,404	32	360,879	63,268	256,213	2,599	24.8	675,050	34,542
つくばみらい市	544,938	155	20,790	45	266,347	49,715	205,838	2,048	19.0	503,751	41,187
龍ヶ崎市	958		958						0.0	1,246	△ 288
牛久市	1,032		1,032						0.1	1,329	△ 297
つくば市	347		347						0.0	444	△ 97
利根町	260		260						0.0	340	△ 80
合計	2,865,404	844	114,687	227	1,446,309	251,305	1,040,878	11,154	100.0	2,733,929	131,475

平成29年度取手地方広域下水道組合負担金及び出資金算出計算書

収益的収入

(単位：千円)

	予算額	負担割合	
営業収益	1,319,985		
下水道使用料	1,190,138		
負担金①	128,996	取手市分 97,465	つくばみらい市分 31,531
その他営業収益	851		
営業外収益	3,022,435		
受取利息及び配当金	15		
受託工事収益	4,539		
負担金②	1,676,206	取手市分 1,215,000	つくばみらい市分 461,206
長期前受金戻入	1,341,078		
雑収益	597		
特別利益	1		
計	4,342,421	取手市分 1,312,465	つくばみらい市分 492,737

収益的支出

	予算額	負担割合	
営業費用	3,641,482		
議会費	2,421	均等割10%	計画汚水量割90%
処理場費	450,533	均等割 8%	有収水量割 92%
ポンプ場費	67,497	事業負担割	
管きよ費	94,988	事業負担割	
業務費	57,188	均等割 8%	有収水量割 92%
総係費	64,675	均等割10%	計画汚水量割90%
給与費	329,074	事業負担割	
減価償却費	2,575,052	事業負担割	
資産減耗費	54	事業負担割	
営業外費用	558,883		
支払利息及び企業債取扱諸費	516,927	事業負担割	
受託工事費	4,311	事業負担割	
消費税及び地方消費税	37,645	事業負担割	
特別損失	37,390	事業負担割	
予備費	20,000	事業負担割	
計	4,257,755		

資本的収入

	予算額	負担割合	
資本的収入	1,950,174		
企業債	953,100		
負担金③	171,798	取手市分 117,535	つくばみらい市分 54,263
出資金④	270,000	取手市分 230,000	つくばみらい市分 40,000
国庫補助金	480,100		
県補助金	1		
受益者負担金、分担金	75,175		
計	1,950,174	取手市分 347,535	つくばみらい市分 94,263

資本的支出

	予算額	負担割合	
建設改良費	1,791,904		
処理場建設費	311,036	日最大汚水量割	
ポンプ場建設費	9,299	事業負担割	
管きよ建設費	1,283,712	事業負担割	
下水道事業計画	41,847	事業負担割	
給与費	146,010	事業負担割	
固定資産購入費	168	事業負担割	
企業債償還金	1,568,325	事業負担割	
計	3,360,397		

負担金及び出資金

	予算額	負担割合	
負担金 ①+②+③	1,977,000	取手市分 1,430,000	つくばみらい市分 547,000
出資金 ④	270,000	取手市分 230,000	つくばみらい市分 40,000
計	2,247,000	取手市分 1,660,000	つくばみらい市分 587,000

## 平成29年度 地方消費税率引上げ分の社会保障財源化

社会保障・税一体改革において、引き上げ分の地方消費税収入は、社会保障4経費その他社会保障施策（社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策）に要する経費に充てるものとされています。

※「社会保障4経費」消費税法第1条第2項に規定

制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費。

(歳入) 地方消費税交付金（社会保障財源化分） 706,000 千円

(歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 12,864,677 千円

【歳出内訳】

(単位：千円)

事業名		平成29年度 予算額	財源内訳			
			特定財源		一般財源	
			国県支出金	その他	引上げ分の 地方消費税 交付金	その他
社会福祉	障がい者福祉事業	1,512,555	1,069,377	400	53,007	389,771
	高齢者福祉事業	195,725	691	6,348	22,588	166,098
	児童福祉事業	5,174,375	2,571,252	916,630	201,897	1,484,596
	母子福祉事業	9,697	7,254	13	291	2,139
	生活保護事業	1,737,094	1,347,621	3,731	46,179	339,563
	その他社会福祉事業	167,568	16,330		18,105	133,133
	小計	8,797,014	5,012,525	927,122	342,067	2,515,300
社会保険	国民健康保険事業	651,305	440,632		25,220	185,453
	後期高齢者医療事業	1,153,889	151,014	40,427	115,219	847,229
	介護保険事業	943,082	10,396		111,656	821,030
	小計	2,748,276	602,042	40,427	252,095	1,853,712
保健衛生	医療費助成事業	619,180	269,027	66,676	33,936	249,541
	健康づくり事業	147,509	163	6,021	16,918	124,407
	医療提供体制確保事業	164,080		31,221	15,905	116,954
	疾病予防対策事業	230,562		7	27,601	202,954
	母子衛生対策事業	83,802	5,856	687	9,249	68,010
	生活習慣病対策事業	74,254	5,116	400	8,229	60,509
	小計	1,319,387	280,162	105,012	111,838	822,375
合計		12,864,677	5,894,729	1,072,561	706,000	5,191,387

平成29年度 合併特例債充当一覧(一般会計)

(単位:千円)

款項目	事業名	項目	対象事業費	充当額
020106	藤代庁舎の管理に要する経費	藤代庁舎エレベーター改修事業	22,784	21,600
030204	保育所の施設整備に要する経費	(仮称)取手東部保育所 及び地域子育て支援センター新築事業	37,800	35,900
070101	道路管理に要する経費	北浦川谷中第5号橋(仮称)相橋架替負担金	34,800	33,000
070202	道路維持に要する経費	西一・二丁目(市道2548号線他)維持事業	55,461	52,600
070203	道路改良に要する経費	井野三丁目(市道4305号線)改良事業	17,232	16,300
		山王上曾根(市道0128号線)改良事業	41,040	38,900
	通学路整備に要する経費	下高井田向(市道0104号線)通学路整備事業	50,170	21,500
		井野前土井(市道4009号線他)通学路整備事業	40,000	17,100
		山王(市道4262号線他)通学路整備事業	60,366	25,900
070305	都市計画道路3・4・7号取手東口 城根線に要する経費(台宿工区)	不動産鑑定料	518	105,400
		用地取得費	101,000	
		物件移転補償費	144,214	
	都市計画道路3・5・23号 北敷・沼附線に要する経費	用地取得費	12,956	12,300
		損失補償費	37	
藤代駅北口駅前広場 施設整備に要する経費	物件移転補償費	11,000	10,400	
070306	都市排水整備に要する経費	野々井地区雨水排水整備事業	27,957	26,500
		藤代横町雨水排水整備事業	67,928	64,500
		野々井大門地区雨水排水整備事業	16,998	16,100
080101	消防庁舎の管理運営に要する経費	櫛木消防署大規模改修事業	4,300	4,000
090303	中学校施設整備に要する経費	中学校武道場非構造部材耐震補強事業	4,800	4,500
090303	中学校建設事業に要する経費	戸頭中学校大規模改造事業	17,000	16,100
合計			768,361	522,600

平成28年度～平成29年度補助金等予算比較表（一般会計）

（単位：千円）

補助金名	平成29年度	平成28年度	対前年度比較
政務活動費交付金	2,400	2,400	0
議会費計	2,400	2,400	0
市自主防犯組織結成事業補助金	50	50	0
取手市国際交流協会補助金	720	720	0
ユーバ市派遣に伴う学生派遣者補助金	540	540	0
交通安全母の会補助金	230	230	0
地区補助金	21,183	21,001	182
コミュニティ助成事業補助金	5,000	5,000	0
地区集会所建設等事業費補助金	8,780	2,427	6,353
防災士育成事業補助金	800	800	0
自主防災組織補助金	6,250	6,089	161
自主防災組織資機材補助金	600	600	0
被災住宅復興支援利子補給補助金	701	776	△ 75
地域改善対策事業補助金	683	683	0
総務費計	45,537	38,916	6,621
社会福祉協議会運営費補助金	125,026	124,386	640
民生委員協議会補助金	17,448	17,448	0
更生保護女性会補助金	98	98	0
取手地区保護司会取手支部補助金	300	300	0
手話サークル「あゆみ」補助金	60	60	0
チャレンジの広場補助金	35	35	0
身体障害者福祉協議会補助金	72	72	0
重症心身障害児（者）を守る会補助金	28	28	0
社会参加促進事業補助金	786	837	△ 51
成年後見制度利用支援事業後見人等報酬助成金	336	0	336
移送サービス介助等補助金	1,704	1,560	144
移送サービス福祉車両点検整備費補助金	380	600	△ 220
ステッキカー購入助成金	130	140	△ 10
シルバー人材センター補助金	24,100	24,100	0
高齢者クラブ助成事業補助金	3,406	2,690	716
生活困難者軽減制度補助金	120	111	9
三次元プロジェクト運営補助金	4,500	4,500	0
とねっこ保育会補助金	100	0	100
乳児等保育事業費補助金	6,833	6,833	0
障害児保育事業補助金	2,880	12,960	△ 10,080
民間保育園運営補助金	42,741	39,588	3,153
特別支援教育費補助金	1,320	1,320	0
民間保育園一時預かり事業補助金	6,106	6,106	0
民間保育園延長保育促進事業補助金	14,004	21,141	△ 7,137

(単位：千円)

補 助 金 名	平成29年度	平成28年度	対前年度比較
民間保育園病児保育事業補助金	0	2,407	△ 2,407
民間保育園病児保育事業補助金	5,328	0	5,328
日本スポーツ振興センター共済掛金助成金	346	337	9
認定こども園一時預かり事業補助金	12,469	14,617	△ 2,148
実費徴収に伴う補足給付補助金	318	150	168
公立保育所すこやか保育応援事業補助金	0	1,620	△ 1,620
私立保育園すこやか保育応援事業補助金	0	1,620	△ 1,620
認定こども園すこやか保育応援事業補助金	0	360	△ 360
多子世帯保育料軽減事業補助金	11,926	0	11,926
民 生 費 計	282,900	286,024	△ 3,124
取手献血連合会補助金	180	180	0
骨髄移植ドナー支援事業助成金	140	100	40
常総地域病院群輪番制病院運営費補助金	31,901	31,828	73
老人保健施設建設補助金	0	8,730	△ 8,730
公的病院等運営費補助金	102,219	161,000	△ 58,781
取手市里山・谷津田保全「いもりの里」協議会補助金	350	350	0
合併処理浄化槽設置費補助金	15,933	15,933	0
生ごみ処理機等購入補助金	600	684	△ 84
資源回収助成金	8,900	9,060	△ 160
衛 生 費 計	160,223	227,865	△ 67,642
認定農業者支援事業補助金	1,500	1,500	0
青年就農給付金（経営開始型）事業補助金	3,000	1,500	1,500
農業経営基盤強化資金利子助成補助金	80	150	△ 70
農業振興研究団体補助金	180	180	0
農業近代化資金利子補給補助金	0	50	△ 50
農業公社育成補助金	0	8,237	△ 8,237
水田農業転作等実施補助金	40,000	40,000	0
水田農業推進センター活動事業費補助金	200	200	0
県経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金	6,864	8,748	△ 1,884
岡堰土地改良区維持管理補助金	14,400	14,400	0
農 林 水 産 業 費 計	66,224	74,965	△ 8,741
商工会事業補助金	19,226	51,583	△ 32,357
とりで産業まつり補助金	2,000	2,000	0
藤代商工祭補助金	1,000	1,000	0
商店街活性化事業補助金	1,640	1,640	0
買い物弱者支援事業補助金	2,136	0	2,136
中小企業事業資金融資あっ旋保証料補助金	54,684	54,686	△ 2
関東・東北豪雨災害緊急対策融資保証料補助金	171	260	△ 89
関東・東北豪雨災害緊急対策融資利子補給金	200	200	0
産業振興チャレンジ支援事業補助金	900	1,100	△ 200

(単位：千円)

補助金名	平成29年度	平成28年度	対前年度比較
市民事業活動促進補助金	3,527	0	3,527
産業活動支援施設奨励金	44,488	64,131	△ 19,643
産業活動支援雇用促進奨励金	1,700	4,000	△ 2,300
創業支援事業補助金	49,554	0	49,554
空き店舗活用事業補助金	3,200	3,200	0
中小企業労働者金融保証料補助金	36	36	0
市観光協会補助金	33,403	34,103	△ 700
商工費計	217,865	217,939	△ 74
路線バス運行事業補助金	7,200	7,200	0
公共交通バリアフリー化設備整備費補助金	1,400	0	1,400
狭あい道路拡幅整備促進補助金	1,350	900	450
分筆測量補助金	950	1,400	△ 450
木造住宅耐震補強補助金	800	800	0
雨水浸透施設助成金	205	205	0
保存緑地・保存樹木等助成金	469	470	△ 1
緑化推進支援事業補助金	200	200	0
鯉のぼりプロジェクト補助金	200	200	0
緑の少年団補助金	390	390	0
定住化促進住宅補助金	40,000	50,000	△ 10,000
土木費計	53,164	61,765	△ 8,601
消防団ポンプ操法県大会出場分団補助金	180	180	0
消防団運営交付金(分団・団幹部)	6,138	6,138	0
消防費計	6,318	6,318	0
研究委嘱校補助金	310	300	10
市子ども会育成連合会補助金	560	560	0
青少年育成市民会議補助金	410	410	0
夏季PTAプール水泳指導員補助金	450	550	△ 100
特別活動補助金(小)	1,310	1,310	0
特別活動補助金(中)	6,800	5,500	1,300
私立幼稚園就園奨励費補助金	34,525	32,435	2,090
私立幼稚園児保育料補助金	7,590	7,590	0
私立幼稚園施設運営費補助金	270	270	0
私立幼稚園特別支援教育費補助金	330	330	0
私立幼稚園預かり保育助成金	120	120	0
私立幼稚園日本スポーツ振興センター災害共済掛金補助金	35	35	0
社会教育団体補助金	559	559	0
取手合唱連盟補助金	130	130	0
少年少女合唱団補助金	80	80	0
文化連盟補助金	288	488	△ 200
藤代文化協会補助金	210	210	0

(単位：千円)

補助金名	平成29年度	平成28年度	対前年度比較
国際音楽の日コンサート補助金	200	200	0
取手アートプロジェクト事業運営補助金	3,240	3,240	0
文化財関係補助金	432	503	△ 71
市体育協会補助金	7,317	7,317	0
市スポーツ少年団指導者養成・育成助成金	1,000	1,000	0
関東高等学校自転車競技大会補助金	0	300	△ 300
各種大会助成金	2,500	2,500	0
茨城国体取手市実行委員会交付金	7,000	0	7,000
教 育 費 計	75,666	65,937	9,729
総 計	910,297	982,129	△ 71,832

## 財政指標の推移

経常収支比率  
(%)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
90.9	90.1	90.7	98.2	90.8

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
92.7	91.2	90.6	91.8	91.9

財政力指数

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
0.969	1.010	1.037	1.000	0.914

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
0.833	0.799	0.797	0.784	0.760

実質公債費比率  
(%)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
15.3	12.1	12.0	11.2	11.0

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
10.6	10.2	9.9	9.1	8.5

将来負担比率  
(%)

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
88.3	89.0	96.4	86.0

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
83.2	82.3	67.5	55.2	47.3